

大田区政に関する世論調査

令和5年6月実施

大 田 区



大田区シンボルマーク

今後の区政運営のために

区は、「大田区基本構想」（平成 20 年 10 月策定）で描いた将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現のため、多様な施策を展開してまいりました。現在の基本構想は策定後 15 年が経過し、現在、「区の目指すべき将来像」を描く、新たな基本構想の策定に向けて取り組んでおります。新たに策定される基本構想に基づき、笑顔と温かさあふれる大田区を目指し、引き続き、区民の皆様のより豊かな生活の実現に向け、的確かつ着実な区政運営に努めてまいります。

「大田区政に関する世論調査」は、広聴事業のひとつとして実施しており、今回で 40 回目となります。今回の調査にあたりましては、区民の皆様の意識変化を把握するため、区政全般に関することで比較的長期にわたり継続的に調査する項目を設定いたしました。また、「羽田空港跡地をどのように感じているか」、「地域特性に応じ、賑わいと活力を生むまちづくりが進められているか」、「防災アプリ」についても調査いたしました。

調査の結果につきましては、今後の区政運営のための基礎資料として活用してまいります。

「大田区政に関する世論調査」にご協力くださった区民の皆様に、改めて厚くお礼申し上げます。

令和 5 年 11 月

大田区長 **鈴木晶雅**

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査の設計	3
4. 回収の結果	3
5. 報告書の見方	4
6. 標本誤差について	4
7. 調査対象者の抽出	6

II 調査結果の概要

1. 回答者の属性	11
2. 質問と回答	13

III 調査結果の分析

1. 定住性	31
(1) 居住年数	31
(2) 定住意向	34
(3) ずっと住みたい理由	39
(4) 当分は住みたい期間	42
(5) 住んでいるまちが魅力的か	46
2. 暮らしやすさ	49
(1) 住んでいるまちの暮らしやすさ	49
(2) 生活環境の満足度	52
(3) 住んでいるまちにどのようになってほしいか	58
3. 緊急対策	61
(1) 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと	61

《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

4. 健康に暮らせるまち	64
(1) 健康状態	64
5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち	67
(1) 男女の地位平等	67
(2) 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先	75
6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち	78
(1) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時	78
(2) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度	81

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}》

7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち	84
(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか	84

目次

8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち	87
(1) 羽田空港跡地について、どう感じているか	87
9. 持続可能な国際交流・多文化共生	90
(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか	90
(2) 賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているか	93
《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》	
10. 魅力的で住み続けたいまち	96
(1) 地域活動への参加意向	96
(2) 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか	99
11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり	102
(1) 防災に対する意識	102
(2) 災害情報の入手手段	105
(3) 大田区防災アプリの認知度	107
(4) 大田区防災アプリの認知方法	110
(5) 住んでいるまちの治安の変化	112
12. 持続可能な地球環境	115
(1) 地球温暖化防止への関心度	115
(2) 家庭で取り組んでいる省エネ行動	119
13. 区政への関心と要望	123
(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度	123
(2) 施策要望	126
(3) 区内施設の利用目的	130
(4) 区の媒体の利用頻度	133
(5) 区の行政サービスや窓口への印象	142
(6) 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由	144
(7) 区の職員の窓口や電話対応への印象	146
(8) 区政への参加意向	148
(9) 区政に参加したいと思わない理由	150
14. 自由意見	152
基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	152
基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市	159
基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	169

IV 調査結果の概観

1. 生活環境の満足度	187
-------------	-----

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

大田区の各行政分野における区民の意向・要望・生活実態を把握するとともに、今後の区政運営や政策立案の基礎資料とする。

2. 調査項目

- (1) 定住性
- (2) 暮らしやすさ
- (3) 緊急対策
- (4) 健康に暮らせるまち
- (5) 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち
- (6) 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち
- (7) 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち
- (8) 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち
- (9) 持続可能な国際交流・多文化共生
- (10) 魅力的で住み続けたいまち
- (11) 災害に強く、防犯力の高い地域づくり
- (12) 持続可能な地球環境
- (13) 区政への関心と要望

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 大田区全域
- (2) 調査対象 大田区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
- (3) 標本数 4,000人
- (4) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施
- (6) 調査期間 令和5年5月31日（水）～6月19日（月）
- (7) 調査機関 株式会社エスピー研

4. 回収の結果

- (1) 回収数 2,025人（電子申請544件含む）（回収率 50.6%）
- (2) 有効回収数 2,021人（有効回収率 50.5%）

5. 報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問(性別、性/年齢別等)に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。
- (4) 回答者数が30に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。
- (5) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。

6. 標本誤差について

この調査の基本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の表のとおりである。基本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、及び②回答の比率(P)によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数(大田区の満18歳以上の男女個人)
 n = 比率算出の基数(サンプル数)
 P = 回答の比率(%)

※後にかかげる表は $\frac{N - n}{N - 1} \div 1$ として算出した。本調査は層化を行っているので誤差はこの表よりやや小さくなる。

たとえば、回答者総数(2,021人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%で

あった場合の標本誤差を計算すると、

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{0.5 \times (1 - 0.5)}{2,021}} = \pm 2.2\% \text{ となる。}$$

つまり、回答者総数(2,021人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%の時、大田区民(満18歳以上の男女)の真の値は47.8%~52.2%の間にあると考えられる。ただし、信頼度は95%であるので、95%の確率で間違いないと判断できるという意味である。

nとPを上記の式に代入すれば、必要な標本誤差はすべて計算できる。

標本誤差早見表は下記の図のとおりである。

図1 標本誤差早見表 (信頼度 95%)

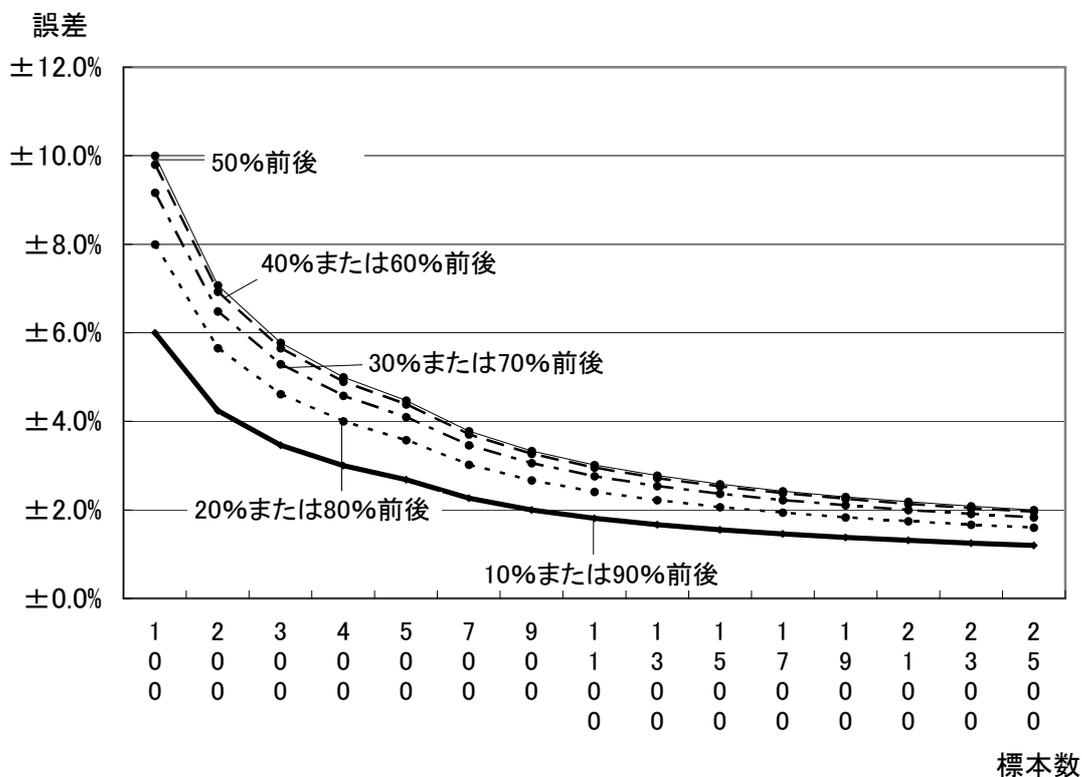


図2 本調査における標本誤差一覧 (信頼度 95%)

回答の比率(P)		基数 (n)	10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
全体		2,021	± 1.3%	± 1.8%	± 2.0%	± 2.2%	± 2.2%
地域別	大森地域	663	± 2.3%	± 3.1%	± 3.6%	± 3.8%	± 3.9%
	調布地域	517	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%
	蒲田地域	559	± 2.5%	± 3.4%	± 3.9%	± 4.1%	± 4.2%
	糎谷・羽田地域	184	± 4.4%	± 5.9%	± 6.8%	± 7.2%	± 7.4%
性別	男性	817	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
	女性	1,114	± 1.8%	± 2.4%	± 2.7%	± 2.9%	± 3.0%
性／年代別	男性10・20代	94	± 6.2%	± 8.3%	± 9.5%	±10.1%	±10.3%
	男性30代	75	± 6.9%	± 9.2%	±10.6%	±11.3%	±11.5%
	男性40代	163	± 4.7%	± 6.3%	± 7.2%	± 7.7%	± 7.8%
	男性50代	143	± 5.0%	± 6.7%	± 7.7%	± 8.2%	± 8.4%
	男性60代	141	± 5.1%	± 6.7%	± 7.7%	± 8.3%	± 8.4%
	男性70歳以上	200	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
	女性10・20代	122	± 5.4%	± 7.2%	± 8.3%	± 8.9%	± 9.1%
	女性30代	138	± 5.1%	± 6.8%	± 7.8%	± 8.3%	± 8.5%
	女性40代	215	± 4.1%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.7%	± 6.8%
	女性50代	221	± 4.0%	± 5.4%	± 6.2%	± 6.6%	± 6.7%
	女性60代	157	± 4.8%	± 6.4%	± 7.3%	± 7.8%	± 8.0%
	女性70歳以上	258	± 3.7%	± 5.0%	± 5.7%	± 6.1%	± 6.2%

7. 調査対象者の抽出

- (1) 母集団 大田区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
(令和5年4月1日時点)
- (2) 抽出台帳 大田区住民基本台帳
- (3) 標本数 4,000人
- (4) 抽出法 層化無作為抽出法
- (5) 地域区分 区内を、4地域（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）に分類し、それぞれを層とした。

地域名	所管区域
大森地域	大森東特別出張所管内、大森西特別出張所管内、入新井特別出張所管内、馬込特別出張所管内、池上特別出張所管内、新井宿特別出張所管内
調布地域	嶺町特別出張所管内、田園調布特別出張所管内、鶉の木特別出張所管内、久が原特別出張所管内、雪谷特別出張所管内、千束特別出張所管内
蒲田地域	六郷特別出張所管内、矢口特別出張所管内、蒲田西特別出張所管内、蒲田東特別出張所管内
糀谷・羽田地域	糀谷特別出張所管内、羽田特別出張所管内

図3 地域図



- (6) 標本数の配分 各地域における18歳以上の人口（令和5年4月1日現在）に応じて標本数を比例配分した。
- (7) 対象者抽出 1地域ごとに、「(6)」で設定した標本数を無作為抽出した。

以上の結果、地域別の標本数及び有効回収数は次のとおりである。

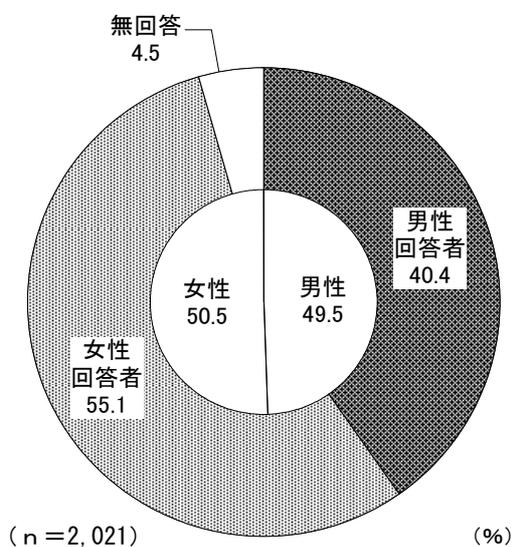
地域名	18歳以上人口(構成比)	標本数	有効回収数(率)
大森地域	213,876 (33.4%)	1,336	663 (49.6%)
調布地域	162,977 (25.5%)	1,018	517 (50.8%)
蒲田地域	194,493 (30.4%)	1,215	559 (46.0%)
糀谷・羽田地域	69,011 (10.8%)	431	184 (42.7%)
無 回 答			98
合 計	640,357 (100.0%)	4,000	2,021 (50.5%)

Ⅱ 調査結果の概要

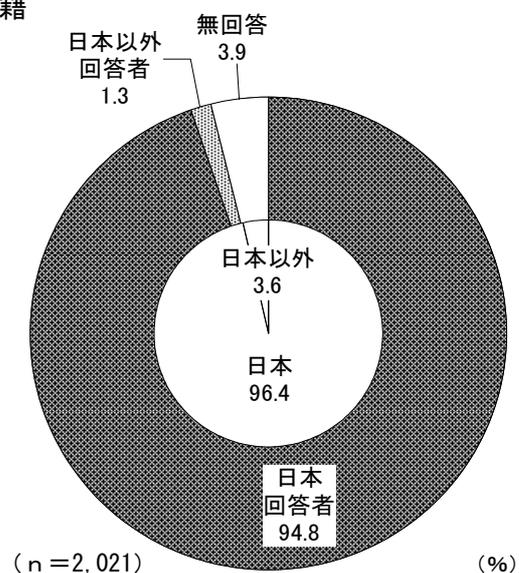
II 調査結果の概要

1. 回答者の属性

(1) 性別

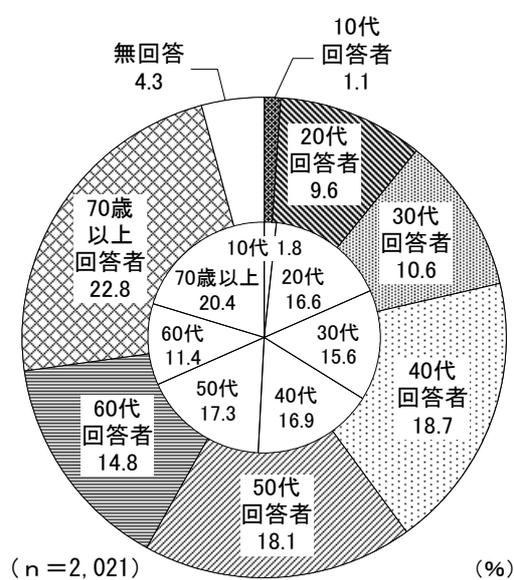


(2) 国籍

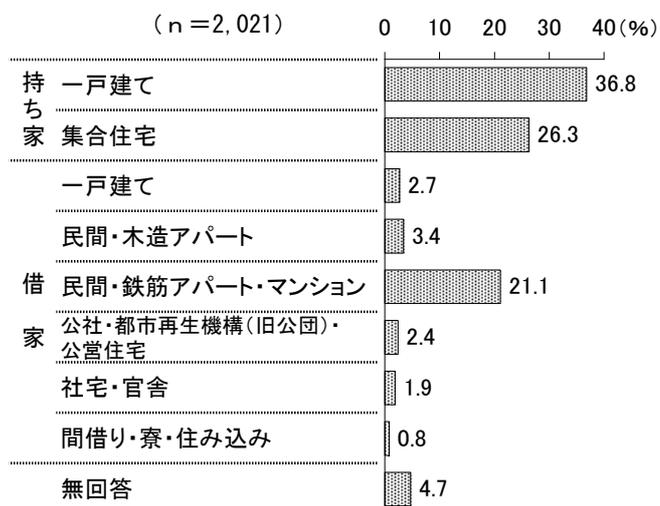


※内円は母集団の、外円は調査回答者の構成比を表している

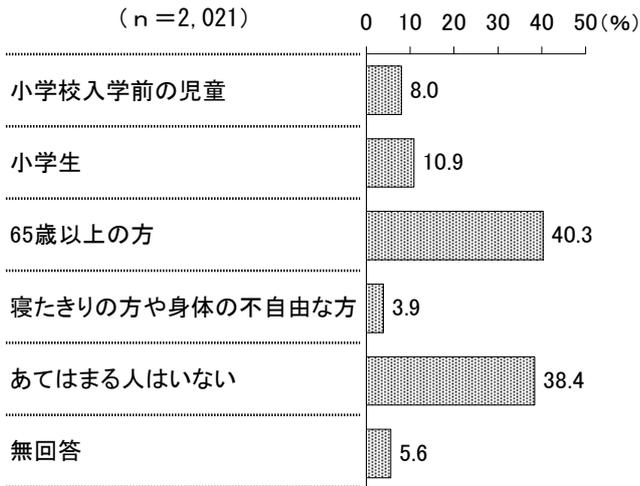
(3) 年齢



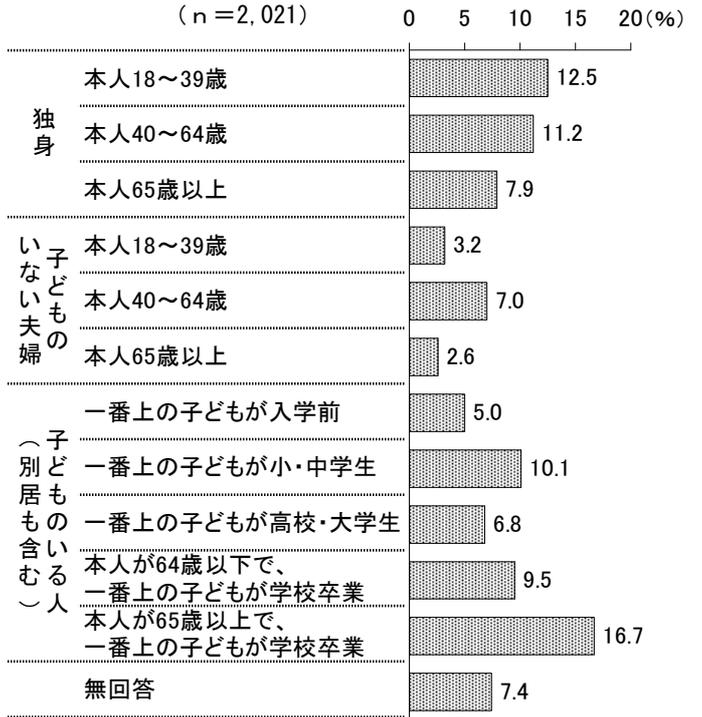
(4) 住居形態



(5) 同居家族



(6) ライフステージ



2. 質問と回答

<定住性>

居住開始時期

問1 あなたは、大田区にお住まいになって何年ですか。(〇は1つだけ) n=2,021

1	2年未満	6.5%	6	20年以上30年未満	14.1%
2	2年以上5年未満	8.7%	7	30年以上40年未満	10.6%
3	5年以上10年未満	10.2%	8	40年以上60年未満	20.9%
4	10年以上15年未満	8.0%	9	60年以上	12.4%
5	15年以上20年未満	8.1%		無回答	0.5%

定住意向

問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(〇は1つだけ) n=2,021

1	ずっと住み続けたい	54.1%	3	できれば大田区外へ移りたい	4.4%	} 問3へ
2	当分は住み続けたい	30.6%	4	大田区外へ移りたい	1.4%	
			5	わからない	9.2%	
				無回答	0.3%	

(問2で、「1」と回答した方に)

▶ 問2-1 「ずっと住み続けたい」理由は何ですか。(〇はいくつでも) n=1,093

1	自分又は配偶者の出身地だから	35.6%	5	子育てしやすいから	5.5%
2	仕事、通勤に都合が良いから	32.1%	6	住環境がよいから	41.1%
3	土地、建物を持っているから	53.2%	7	その他(具体的に)	6.2%
4	都心よりも家賃が安いから	4.1%	8	特になし	1.9%
				無回答	1.0%

(問2で、「2」と回答した方に)

▶ 問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(〇は1つだけ) n=618

1	1年未満	(理由)		1.8%
2	3年未満	(理由)		16.7%
3	5年未満	(理由)		18.9%
4	10年未満	(理由)		29.1%
5	10年以上	(理由)		31.4%
				無回答 2.1%

問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(〇は1つだけ) n=2,021

1	感じている	31.2%	3	あまり感じていない	11.7%	5	どちらともいえない	16.1%
2	やや感じている	37.3%	4	感じていない	2.3%		無回答	1.3%

暮らしやすさ

問4 現在住んでいるまちの暮らしやすさを、どのように感じていますか。(○は1つだけ) n = 2,021

1	とても暮らしやすいと感じている	16.8%	4	暮らしにくいと感じている	1.6%
2	暮らしやすいと感じている	63.1%	5	どちらともいえない	8.9%
3	あまり暮らしやすいと感じない	5.8%		無回答	3.8%

問5 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

n = 2,021

	満足している	ほぼ満足している	少し不満である	不満である	わからない	無回答
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(1) 緑の多さ	16.5%	49.1%	21.2%	7.9%	2.8%	2.4%
(2) 道路の整備	13.3%	50.3%	22.8%	8.9%	2.1%	2.7%
(3) 公園や子どもの遊び場	13.5%	42.2%	19.9%	9.4%	12.1%	3.0%
(4) 交通の便	33.9%	44.7%	14.8%	4.6%	0.3%	1.7%
(5) 買い物の便	32.9%	45.6%	15.0%	4.8%	0.2%	1.4%
(6) 町並み・景観	12.9%	47.0%	25.7%	8.8%	3.5%	2.0%
(7) 交通の安全性	13.1%	44.9%	28.1%	8.4%	3.6%	1.9%
(8) 災害時の安全性	8.2%	34.0%	28.0%	10.5%	17.2%	2.1%
(9) 治安のよさ	14.0%	46.4%	23.8%	9.5%	4.6%	1.7%
(10) 病院や診療所の便	20.7%	56.6%	14.1%	3.6%	2.9%	2.1%
(11) スポーツ・レクリエーション施設の数	5.0%	32.5%	27.8%	10.8%	21.9%	2.1%
(12) 図書館・文化施設の数	12.3%	47.4%	19.4%	5.6%	13.0%	2.4%
(13) あなたご自身の住宅事情	19.4%	52.1%	18.7%	7.0%	1.5%	1.4%
(14) 近所付き合い	12.0%	50.8%	12.7%	4.5%	18.4%	1.6%
(15) バリアフリー	4.8%	33.8%	26.6%	8.8%	24.1%	1.9%

問6 あなたは、現在住んでいるまちに対して、今後、どのようなまちになってほしいとお考えですか。
 (1位から3位まで1つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください) n=2,021

	累計	1位	2位	3位
1 治安の良いまち	60.7%	35.4%	16.5%	8.9%
2 災害に強いまち	38.8%	13.2%	16.2%	9.4%
3 健康に暮らせるまち	23.6%	6.5%	8.4%	8.8%
4 高齢者が活躍するまち	6.0%	1.3%	2.3%	2.4%
5 福祉の充実したまち	20.9%	4.9%	7.9%	8.1%
6 子育てしやすいまち	22.1%	9.9%	7.0%	5.1%
7 産業が活発なまち	5.1%	1.3%	1.6%	2.2%
8 便利に暮らせるまち	39.0%	12.1%	13.8%	13.1%
9 緑の多いまち	17.1%	3.7%	5.9%	7.6%
10 環境にやさしいまち	9.5%	1.5%	3.2%	4.8%
11 区民が支えあうまち	4.3%	0.9%	1.3%	2.1%
12 景観の良いまち	10.9%	1.4%	4.0%	5.5%
13 文化あふれるまち	6.2%	0.9%	1.5%	3.8%
14 国際的に開かれたまち	3.0%	0.6%	1.1%	1.3%
15 行政が身近なまち	5.9%	0.6%	2.1%	3.2%
16 区民の個性が生きるまち	1.0%	0.1%	0.2%	0.7%
17 性別や障がいの有無や国籍などに関わらず誰もが暮らしやすいまち	10.7%	2.7%	2.3%	5.7%
18 人や物の移動がしやすいまち	8.4%	1.0%	2.7%	4.7%
19 多くの来訪者でにぎわうまち	0.8%	0.2%	0.2%	0.3%
無回答	1.6%	1.6%	1.9%	2.4%

〈回答欄〉

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

緊急対策

問7 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に即した行政となるために、今後、区に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも) n=2,021

1 区施設等の感染防止策の徹底	26.8%	5 電子図書館の継続、イベント配信等オンラインサービスの拡充	14.1%
2 キャッシュレス決済の拡充	25.5%	6 自転車走行などの環境整備	49.3%
3 電子申請の拡充	33.2%	7 公園等の憩いの場の整備	39.6%
4 オンライン相談・面談、AIチャットロボット導入等、相談機能の向上	16.9%	8 特になし	8.9%
		無回答	0.9%

《基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

健康に暮らせるまちをつくります

問 8 あなたは、現在のご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つだけ) n=2,021

1 非常に健康である	14.3%	3 あまり健康ではない	14.7%
2 だいたい健康である	65.2%	4 健康ではない	2.8%
		無回答	3.1%

誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります

問 9 以下の分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

n=2,021

	女性が優遇 されている	やや女性が優遇 されている	平等になっ ている	やや男性が優遇 されている	男性が優遇 されている	無回答
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(1) 家庭生活	1.7%	7.1%	46.1%	30.6%	8.6%	5.9%
(2) 職場	1.5%	5.8%	35.1%	36.2%	12.4%	8.9%
(3) 教育の場	0.4%	3.4%	63.4%	19.3%	3.9%	9.6%
(4) 政治の場	0.6%	1.9%	17.1%	39.0%	34.6%	6.9%
(5) 法律や制度	1.3%	4.8%	37.0%	33.3%	15.3%	8.4%
(6) 社会通念や慣習	1.0%	3.9%	23.8%	43.9%	20.2%	7.2%
(7) 地域活動の場 (自治会やNPOなど)	0.7%	4.0%	51.5%	27.9%	7.6%	8.4%

問 10 あなたは、日々の暮らしで困りごとや心配ごとがあった場合、主に誰に相談していますか。

(○はいくつでも) n=2,021

1 家族や親族	80.5%	7 医療機関、介護事業者	14.4%
2 友人や同僚	57.5%	8 区の公的な相談機関の職員	6.7%
3 インターネット上だけのつながりの人	3.3%	9 区以外の公的な相談機関の職員	1.2%
4 先生や上司	4.5%	10 民間の相談機関の相談員	1.6%
5 近所の人	6.8%	11 同じ悩みを抱える人	3.6%
6 自治会・町会などの地域団体	2.2%	12 相談できるところはない	4.6%
		無回答	2.7%

学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります

問 11 日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時ですか。

(1位から3位まで1つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください)

n=2,021

	累計	1位	2位	3位
1 仕事に打ち込んでいる時	33.8%	16.4%	7.4%	10.1%
2 社会参加をしている時 (PTA 活動、地域行事、ボランティア活動など)	5.2%	1.7%	1.7%	1.8%
3 教養や自己啓発に身を入れている時 (学習、読書、習い事など)	22.3%	6.4%	9.2%	6.8%
4 趣味・娯楽に熱中している時 (趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など)	56.1%	27.6%	18.2%	10.3%
5 スポーツに取り組んでいる時 (体操、運動、各種スポーツなど自分で行うもの)	17.0%	5.4%	6.6%	4.9%
6 ゆったりと休養している時	40.6%	9.3%	15.0%	16.3%
7 家族団らんの時	41.4%	15.3%	15.5%	10.5%
8 友人や知人と会合、雑談をしている時	38.7%	6.3%	13.9%	18.5%
9 健康であると感じる時	30.0%	8.0%	7.9%	14.1%
10 その他 (具体的に)	1.4%	0.5%	0.2%	0.6%
無回答	3.0%	3.0%	4.4%	6.0%

〈回答欄〉

1 位		2 位		3 位	
--------	--	--------	--	--------	--

問 12 あなたは、区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境に満足していますか。(○は1つだけ)

n=2,021

1 満足している	8.2%	3 あまり満足していない	19.1%	5 どちらともいえない	41.5%
2 やや満足している	22.0%	4 満足していない	6.7%	無回答	2.5%

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります

問13 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(○は1つだけ) n=2,021

1 感じている	22.3%	3 あまり感じていない	26.8%	5 どちらともいえない	8.5%
2 やや感じている	32.4%	4 感じていない	9.0%	無回答	1.0%

空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります

問14 本格的に稼働を始める羽田空港跡地（HANEDA GLOBAL WINGS）について、どのように感じていますか。(○は1つだけ) n=2,021

1 訪れたことがあり、今後もまた訪れてみたい	12.2%
2 訪れたことはないが、今後訪れてみたい	58.9%
3 訪れたことはあるが、今後訪れたいとは思わない	3.4%
4 訪れたことがなく、今後も訪れたいとは思わない	6.7%
5 関心がない	17.5%
無回答	1.2%

「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます

問15 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(○は1つだけ) n=2,021

※多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

1 感じている	4.9%	3 あまり感じていない	37.6%	5 どちらともいえない	20.8%
2 やや感じている	19.8%	4 感じていない	15.7%	無回答	1.3%

問16 あなたが住んでいるまちにおいて、地域特性に応じ、賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じていますか。(○は1つだけ) n=2,021

1 感じている	4.0%	3 あまり感じていない	41.8%	5 どちらともいえない	18.5%
2 やや感じている	18.0%	4 感じていない	16.7%	無回答	1.1%

《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくりま

問17 あなたは、現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)
n=2,021

1	現在参加している	6.3%
2	ぜひ参加したい	3.4%
3	きっかけや条件が整えば参加してみたい	38.2%
4	参加してみたいが都合により参加できない	13.4%
5	関心がない	24.6%
6	わからない	12.8%
	無回答	1.2%

問18 あなたは、現在住んでいるまちで、区や区民、さまざまな団体（自治会・町会、ボランティアグループ、NPO、民間企業等）の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じていますか。(○は1つだけ)
n=2,021

1	そう思う	7.5%	4	そう思わない	11.2%
2	どちらかというと思う	24.6%	5	わからない	41.3%
3	どちらかというと思わない	14.4%		無回答	1.1%

地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくりま

問19 あなたは、1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思いますか。(○は1つだけ)
n=2,021

1	高まった	12.9%	3	変わらない	45.4%	5	わからない	9.2%
2	やや高まった	30.9%	4	低くなった	0.8%		無回答	0.9%

問20 あなたは、災害時における災害情報をどの手段で入手しますか。(○はいくつでも) n=2,021

1	区ホームページ	22.5%
2	区公式SNS（ツイッター、LINEなど）	12.5%
3	区民安全・安心メール	8.7%
4	防災行政無線	13.2%
5	広報車	5.6%
6	家族・友人・知人・近所	31.4%
7	緊急速報メール（エリアメールなど）	57.8%
8	インターネット（区以外のホームページなど）	49.8%
9	テレビ（ケーブルテレビ）	57.9%
10	ラジオ	14.1%
11	防災アプリ・防災ポータルサイト	18.3%
12	その他（具体的に)	0.9%
	無回答	0.9%

問 21 あなたは、大田区防災アプリを知っていますか。(○は1つだけ)

n=2,021

1	知っている (ダウンロード済)	11.2%
2	知っている (未ダウンロード)	19.1%
3	知らない	68.0%
	無回答	1.7%

(問 21 で、「1」または「2」と回答した方に)

▶ 問 21-1 大田区防災アプリをどこで知りましたか。(○は1つだけ)

n=613

1	区報	49.3%	5	チラシ	4.6%
2	区ホームページ	20.2%	6	自治会町会	1.8%
3	知人・家族	10.4%	7	YouTube	0.5%
4	各種 SNS (Twitter・LINE)	5.7%	8	その他 (具体的に)	3.6%
				無回答	3.9%

問 22 あなたは、1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じていますか。
(○は1つだけ) n=2,021

1	良くなった	1.4%	4	どちらかというと悪くなった	12.6%
2	どちらかというと良くなった	4.4%	5	わからない	10.8%
3	変わらない	67.5%	6	区内在住1年未満	2.3%
				無回答	1.0%

持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます

問 23 あなたは、地球温暖化防止に関心がありますか。(○は1つだけ)

n=2,021

1	関心がある	84.3%	2	関心がない	14.1%	無回答	1.6%
---	-------	-------	---	-------	-------	-----	------

問 24 あなたのご家庭で実践している省エネ等の環境配慮行動を教えてください。(○はいくつでも)
n=2,021

1	買い物の際にはエコバッグを利用する	85.4%
2	外出時には、マイボトルを持ち歩く	40.5%
3	白熱電球をLED電球に交換する	60.5%
4	便座の設定温度を低めに設定する	44.9%
5	家電を買い替える時には、省エネ性能の高いものを購入する	48.2%
6	食品は、事前に冷蔵庫内を点検し、必要なものだけを購入する	39.4%
7	冷蔵庫は、季節に合わせて設定温度を調整する	18.4%
8	食器洗いのお湯の量を減らす	17.4%
9	テレビの画面は明るすぎないように設定する	12.9%
10	冷房時の室温を28℃目安に設定する	40.2%
11	暖房時の室温を20℃目安に設定する	29.6%
12	その他 (具体的に)	4.5%
13	何もしていない	2.6%
	無回答	0.7%

区政への関心と要望

問25 以下の大田区等の制度、施策、施設のうち、あなたがご存知のものをすべて挙げてください。

(○はいくつでも) n=2,021

- | | |
|--|-------|
| 1 「さぼーとぴあ (障がい者総合サポートセンター)」: 障がいのある方の暮らしを総合的にサポートする施設であり、地域の方も参加できる余暇活動やイベントを実施 | 15.8% |
| 2 「ヘルプカード」: 障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に支援が必要な内容を記載して携帯して手助けを求めるためのカード | 30.0% |
| 3 「『おおむすび』の取組み」: 区内障がい者施設が連携し、自主生産品の共同販売や区内企業等からのシール貼りなどの軽作業の共同受注等を促すことにより、作業等に携わる利用者の工賃(給与)向上や社会参加を図る取組み | 3.6% |
| 4 「自立訓練(機能訓練)施設」: 脳出血、脳梗塞等の後遺症及び事故や病気などによる脳の損傷による高次脳機能障がいに対する機能回復の訓練をする施設(大田区立志茂田福祉センター(機能訓練室)、大田区立障がい者総合サポートセンター(居住支援部門)) | 7.7% |
| 5 「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA (ジョボタ)」: さまざまな理由により経済的に困り、生活・しごと・住まいなどについてのお悩みを抱えている方の相談窓口 | 10.2% |
| 6 「おおた健康経営事業所」: 従業員の健康づくりを経営的視点から戦略的に取り組む区内事業所を区が『おおた健康経営事業所』として認定・表彰している事業所 | 1.4% |
| 7 「在宅医療」: 自宅等において医師の往診や治療、訪問看護などの医療サービスを受けながら療養生活を送ること | 31.7% |
| 8 「クールアクション」: 一人ひとりが「省エネ・3R・環境にやさしい商品の購入」を実践し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を削減する区民運動 | 2.6% |
| 9 「Unique0ta/ユニークおおた」: 区が多様な魅力や価値を区内外の方に伝えるシティプロモーションを展開するための「他にはない、大田区ならではのユニークな場所と出会えるまち」という意味が込められたブランドメッセージ | 2.3% |
| 10 「大田区若者サポートセンター「フラットおおた」」: 様々な困難を抱える概ね15~39歳の方に対する相談窓口と気軽に立ち寄れる居場所の提供 | 4.3% |
| 11 「大田区ひきこもり支援室SAPOTA (サポタ)」: ひきこもり状態にあるご本人やご家族が抱える悩みを、一緒に考え、サポートする無料の相談窓口 | 4.4% |
| 12 「Minto Ota (みんとおおた) おおた国際交流センター」: 外国人区民などが多言語で生活相談できる窓口や、国際交流や多文化共生を推進する団体が活動する会議室、様々な国や地域の情報を掲示したコーナーを備えた施設 | 3.6% |
| 13 どれも知らない | 36.9% |
| 無回答 | 9.5% |

問 26 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも) n=2,021

《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》		15 公園・児童遊園の整備	34.3%
1 児童福祉(子育て支援・保育等)	39.7%	16 交通安全対策	35.4%
2 学校教育	33.0%	17 住宅対策	22.2%
3 青少年の健全育成	19.4%	18 国際交流の推進	8.5%
4 保健・健康(休日診療を含む)	41.5%	19 観光振興	10.6%
5 食の安全・安心の確保	23.1%	20 産業振興	16.2%
6 障がい者(児)福祉	15.4%	《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》	
7 生涯学習の推進	20.5%	21 地域活動活性化の推進	14.8%
※生涯学習:生涯にわたって文化、スポーツなどをさまざまに学んでいく学習活動		22 消費生活相談・対策	9.3%
8 スポーツの振興	14.4%	23 文化事業の推進	12.7%
9 男女平等の推進	11.7%	24 防災対策	57.5%
10 低所得世帯の援護	20.9%	25 防犯対策	55.0%
11 高齢者福祉	35.8%	26 緑化推進	32.6%
《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》		27 公害対策	19.0%
12 都市再開発の推進	18.3%	28 清掃・リサイクルの推進	35.9%
13 道路の整備	32.4%	29 その他の施策(具体的に)	1.2%
14 公共交通網の整備	27.5%	30 特にない	1.2%
		無回答	2.0%

問 27 あなたは、どんな目的で大田区の施設を利用することが多いですか。(○は3つまで) n = 2,021

1	生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため	55.8%
2	個人的な困りごとについて相談し、助言を受けるため	6.5%
3	自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)	23.4%
4	区政を含む行政情報や、地域情報を積極的に収集するため	4.3%
5	区政に何らかの形で積極的に参加するため	1.2%
6	区民どうし又は地域、団体等との交流を図るため	3.6%
7	自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため	13.0%
8	その他(具体的に)	1.8%
9	区の施設をほとんど利用しないのでわからない	24.9%
	無回答	3.0%

問 28 あなたは区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用して(見て)いますか。(○はそれぞれ1つ) n = 2,021

	よく利用している	たまに利用している	利用したことがある	利用したことがない	わからない	無回答
回答例 ⇒	1	②	3	4	5	
(1) おおた区報	22.3%	27.8%	21.3%	21.0%	3.7%	4.0%
(2) 大田区ホームページ	5.3%	28.3%	30.2%	23.9%	4.5%	7.8%
(3) 大田区公式 SNS (ツイッター、LINE など)	1.2%	4.8%	7.5%	69.3%	7.8%	9.4%
(4) 大田区公式チャンネル (YouTube)	0.2%	1.0%	3.4%	77.4%	8.2%	9.8%
(5) ケーブルテレビ番組(「おおたシティニュース」)	0.8%	2.3%	6.9%	72.0%	8.7%	9.3%
(6) デジタルサイネージ(電子掲示板)	0.1%	0.5%	2.9%	73.8%	12.8%	9.7%
(7) 冊子「くらしのガイド」	1.8%	6.2%	15.4%	56.6%	11.4%	8.6%
(8) おおたふれあい情報(区施設や区の掲示板に掲示してある月替わりのポスター)	2.5%	8.3%	14.5%	55.5%	11.4%	7.9%

問 29 あなたは、大田区の行政サービスや窓口は以前に比べて使いやすくなった、便利になったと思いますか。(○は1つだけ) n=2,021

1	そう思う	6.9%	3	どちらかといえばそう思わない	9.7%
2	どちらかといえばそう思う	22.7%	4	そう思わない	8.7%
			5	わからない	50.0%
				無回答	2.1%

(問 29 で、「1」または「2」と回答した方に)

▶ 問 29-1 そのように思った理由は何ですか。(○はいくつでも) n=597

1	手続きの事務処理に要する時間が短くなったから	52.1%
2	利用できる場所や時間帯が広がったから	33.5%
3	行政サービスの内容や種類が充実したから	8.5%
4	応対する職員の接遇レベルがよくなったから	39.4%
5	インターネットやオンラインで利用できるサービスが増えたから	31.5%
6	区からの情報発信の方法や内容が充実したから	6.4%
7	その他(具体的に)	1.2%
	無回答	1.2%

問 30 あなたは、大田区の職員の窓口や電話での応対についてどのように感じていますか。(○は1つだけ) n=2,021

1	良い	17.0%	3	どちらかという悪い	6.0%	5	わからない	36.1%
2	どちらかという良い	37.6%	4	悪い	1.5%		無回答	1.8%

問 31 あなたは、何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)
n = 2,021

※ここでいう「区政への参加」とは、大田区が実施する区民向けのワークショップや委員会、審議会などの公募委員、区民意見公募手続き（パブリックコメント）への参加のほか、窓口・電話・メールなどを通じた区への意見・要望、住民説明会・意見交換会・シンポジウム・フォーラムへの参加、アンケートへの回答など、区が関係する幅広い機会・手段を指すものとします。

1	そう思う	6.2%
2	どちらかといえばそう思う	22.1%
3	どちらかといえばそう思わない	19.4%
4	そう思わない	21.1%
5	わからない	27.5%
	無回答	3.6%

(問31で、「3」または「4」と回答した方に)

▶ 問31-1 そのように思った理由は何ですか。(○はいくつでも)

n = 820

1	区政に関心がないから	12.1%
2	区政のことはよくわからないから	26.2%
3	区民の意見が反映されるとは思わないから	23.0%
4	どのように参加してよいかわからないから	17.8%
5	時間に余裕がなく参加できるとは思わないから	44.6%
6	自分には参加するための知識や経験がないと思うから	32.1%
7	その他（具体的に)	5.0%
	無回答	1.3%

自由意見

大田区政についてのご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

フェイスシート

- これまでのお答えの内容を統計的に分類するために必要なことをおたずねします。
あなたご自身のことについて、さしさわりのない範囲でお答えください。

F 1 性別／戸籍上の性別に関係なく、ご自身の主観でお答えください。(○は1つだけ) n=2,021

1 男性	40.4%	2 女性	55.1%	無回答	4.5%
------	-------	------	-------	-----	------

F 2 国籍／あなたの国籍はどちらですか。(○は1つだけ) n=2,021

1 日本	94.8%	2 日本以外	1.3%	無回答	3.9%
------	-------	--------	------	-----	------

F 3 年齢／あなたの年齢は満でいくつですか。(○は1つだけ) n=2,021

1 18～19歳	1.1%	4 40～49歳	18.7%	7 60～64歳	8.0%	10 75歳以上	14.6%
2 20～29歳	9.6%	5 50～54歳	9.8%	8 65～69歳	6.8%	無回答	4.3%
3 30～39歳	10.6%	6 55～59歳	8.3%	9 70～74歳	8.2%		

F 4 住居形態／住宅の種類は、次のどれでしょうか。(○は1つだけ) n=2,021

持ち家	1 一戸建て	36.8%
	2 集合住宅	26.3%
借家	3 一戸建て	2.7%
	4 民間・木造アパート	3.4%
	5 民間・鉄筋アパート・マンション	21.1%
	6 公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅	2.4%
	7 社宅・官舎	1.9%
	8 間借り・寮・住み込み	0.8%
	無回答	4.7%

F 5 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中で、あなたご自身を含めて、あてはまる方をすべて挙げてください。 n=2,021

1 小学校入学前の児童	8.0%	4 寝たきりの方や身体の不自由な方	3.9%
2 小学生	10.9%	5 あてはまる人はいない	38.4%
3 65歳以上の方	40.3%	無回答	5.6%

F 6 ライフステージ／人生にはさまざまな段階がありますが、現在のあなたご自身は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=2,021

独身	1 本人 18～39 歳	12.5%
	2 本人 40～64 歳	11.2%
	3 本人 65 歳以上	7.9%
子どものいない夫婦	4 本人 18～39 歳	3.2%
	5 本人 40～64 歳	7.0%
	6 本人 65 歳以上	2.6%
子どものいる人 (別居も含む)	7 一番上の子どもが入学前	5.0%
	8 一番上の子どもが小・中学生	10.1%
	9 一番上の子どもが高校・大学生	6.8%
	10 本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが学校卒業	9.5%
	11 本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業	16.7%
	無回答	7.4%

F 7 あなたのお住まいの地域はどちらですか。各地域の()内は、管轄する特別出張所です。
(○は1つだけ) n=2,021

1 大森地域 (大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿)	32.8%
2 調布地域 (嶺町、田園調布、鶉の木、久が原、雪谷、千束)	25.6%
3 蒲田地域 (六郷、矢口、蒲田西、蒲田東)	27.7%
4 糀谷・羽田地域 (糀谷、羽田)	9.1%
無回答	4.8%

Ⅲ 調査結果の分析

Ⅲ 調査結果の分析

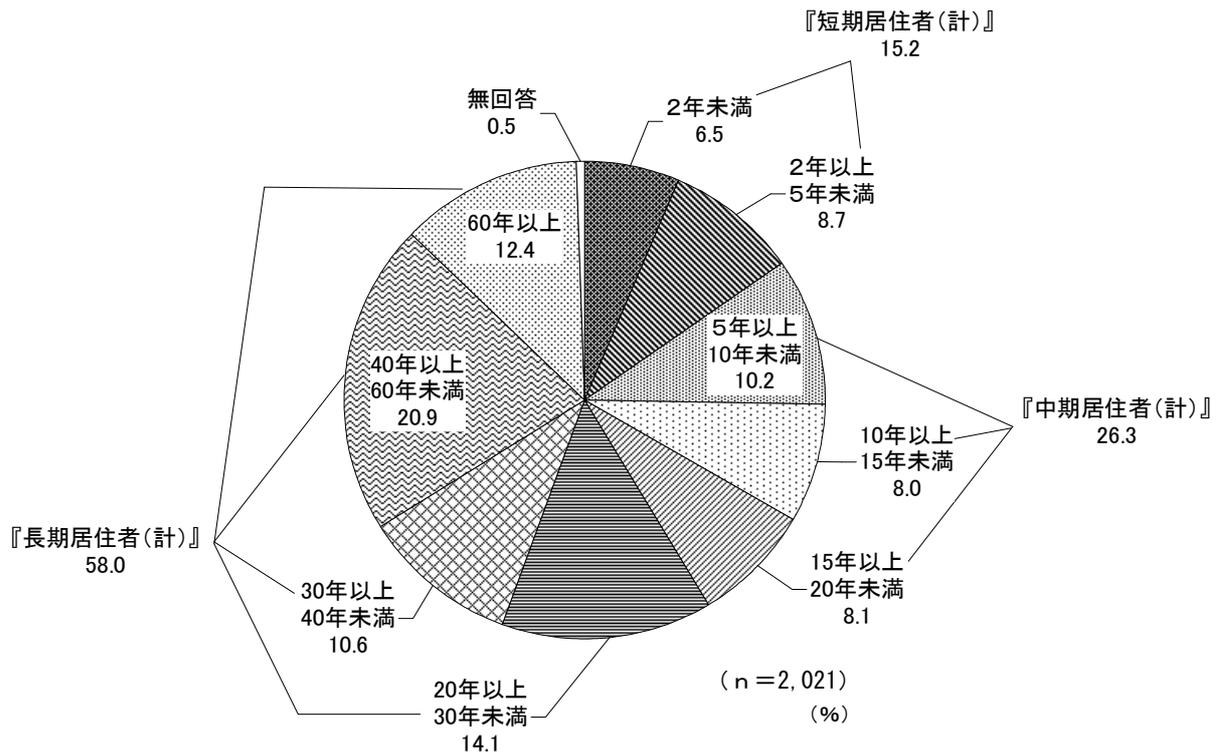
1. 定住性

(1) 居住年数

◇20年以上住んでいる方を表す『長期居住者(計)』は6割近く

問1 あなたは、大田区にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

図1-1-1



※ 『長期居住者(計)』：居住年数20年以上
『中期居住者(計)』：居住年数5年以上20年未満
『短期居住者(計)』：居住年数5年未満

居住年数を聞いたところ、「40年以上60年未満」(20.9%)が約2割で最も高く、これに「20年以上30年未満」(14.1%)、「30年以上40年未満」(10.6%)、「60年以上」(12.4%)を合わせた『長期居住者(計)(居住年数20年以上)』(58.0%)は6割近くとなっている。「5年以上10年未満」(10.2%)、「10年以上15年未満」(8.0%)、「15年以上20年未満」(8.1%)を合わせた『中期居住者(計)(居住年数5年以上20年未満)』(26.3%)は2割半ばで、「2年未満」(6.5%)と「2年以上5年未満」(8.7%)を合わせた『短期居住者(計)(居住年数5年未満)』(15.2%)は1割半ばとなっている。

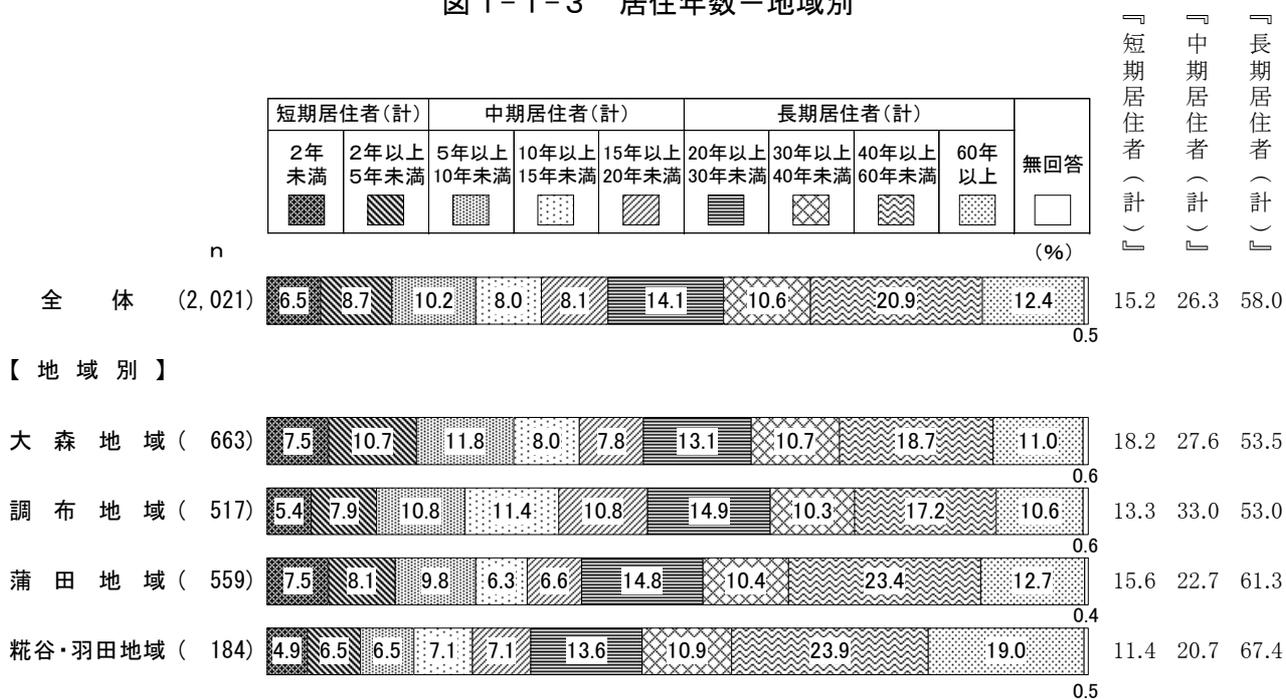
(図1-1-1)

図 1-1-2 居住年数一経年比較



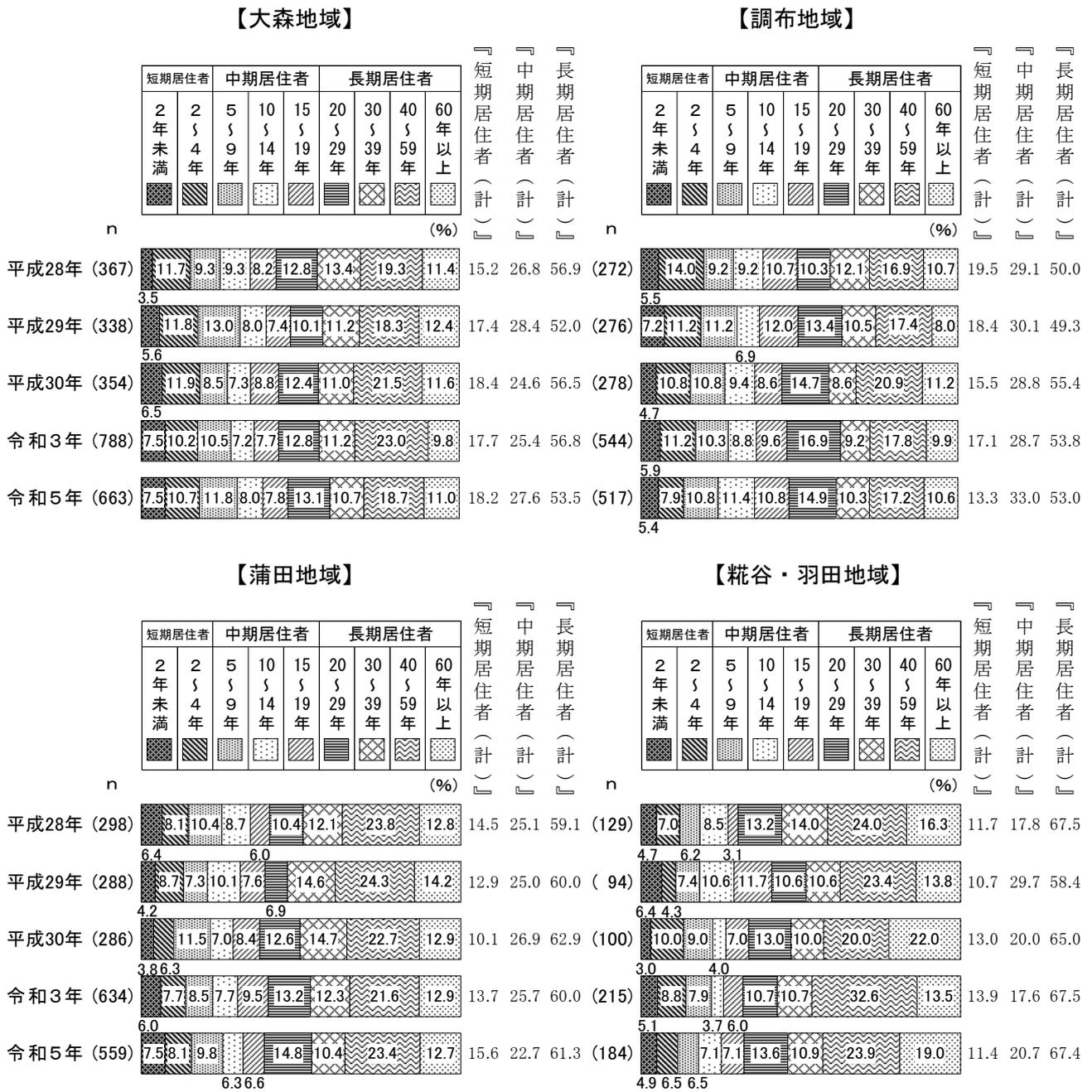
経年比較をみると、『長期居住者(計)』は平成29年以降増加傾向にあったが、今回調査では減少に転じている。(図1-1-2)

図 1-1-3 居住年数一地域別



地域別でみると、『長期居住者(計)』は糀谷・羽田地域(67.4%)で7割近くと高くなっている。『中期居住者(計)』は調布地域(33.0%)で3割を超えて高くなっている。『短期居住者(計)』は大森地域(18.2%)で2割近くとなっている。(図1-1-3)

図 1-1-4 居住年数一地域別（経年比較）



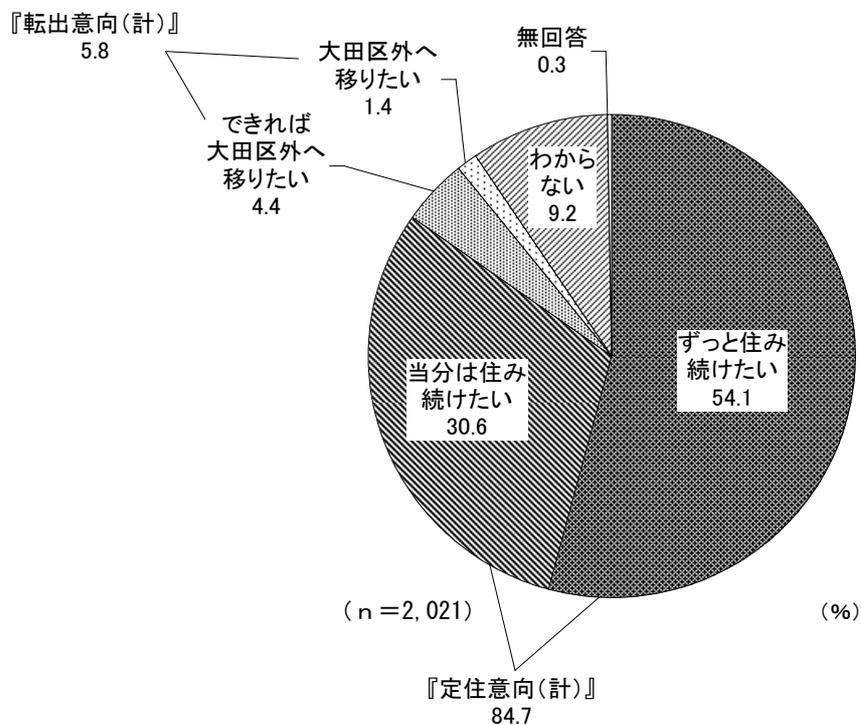
地域別で経年比較をみると、『短期居住者（計）』は調布地域で前回より3.8ポイント減少している。『中期居住者（計）』は調布地域で前回より4.3ポイント、糀谷・羽田地域で前回より3.1ポイント、それぞれ増加し、蒲田地域で前回より3.0ポイント減少している。『長期居住者（計）』は大森地域で前回より3.3ポイント減少している。（図 1-1-4）

(2) 定住意向

◇「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『定住意向(計)』は8割半ば

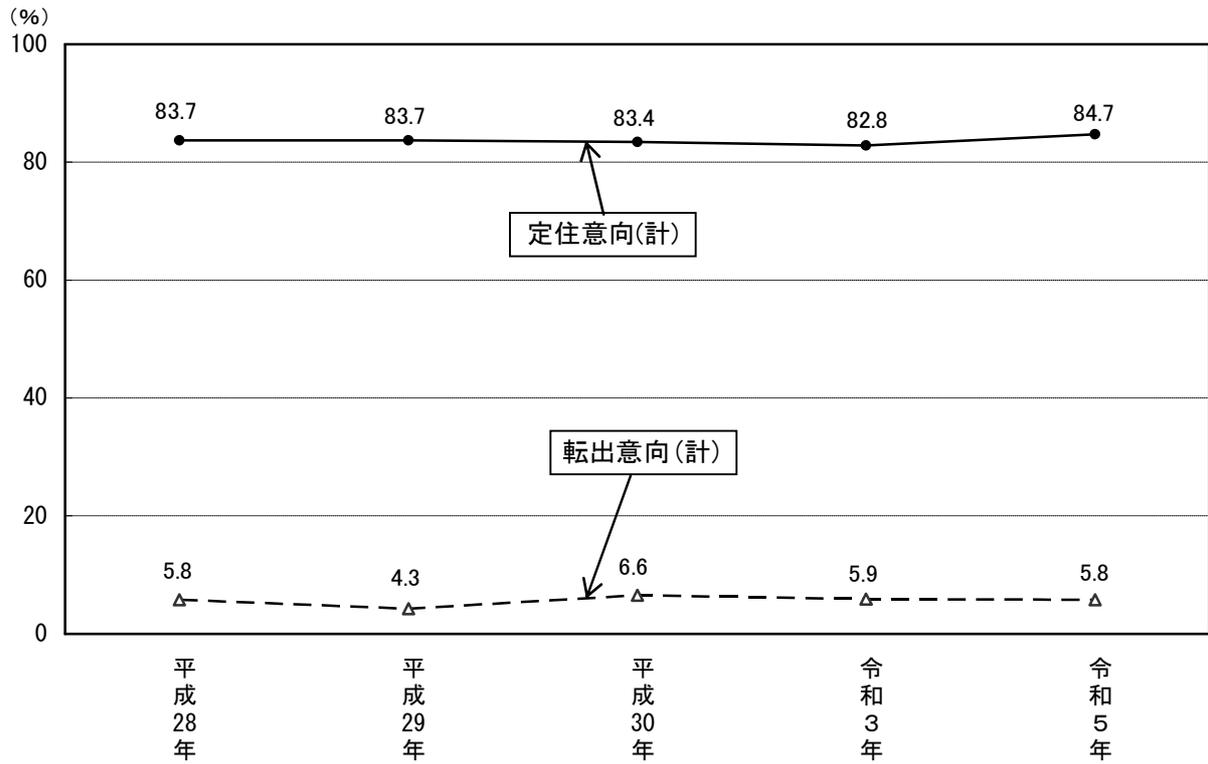
問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-2-1



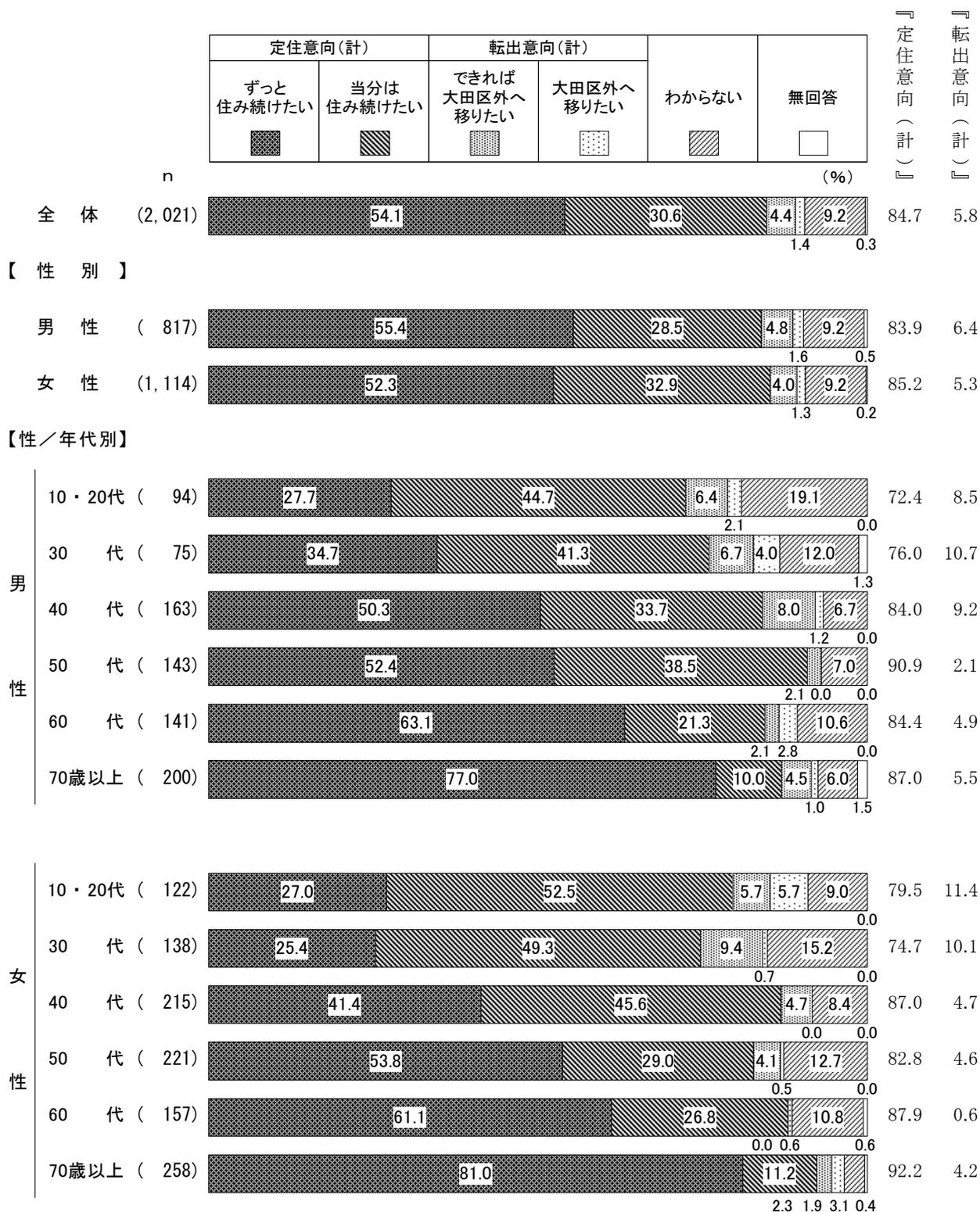
定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(54.1%)が5割半ばで最も高く、これに「当分は住み続けたい」(30.6%)を合わせた『定住意向(計)』(84.7%)は8割半ばとなっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」(4.4%)と「大田区外へ移りたい」(1.4%)を合わせた『転出意向(計)』(5.8%)は1割未満となっている。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住意向一経年比較



経年比較をみると、『定住意向 (計)』は平成28年以降8割台で推移している。(図 1-2-2)

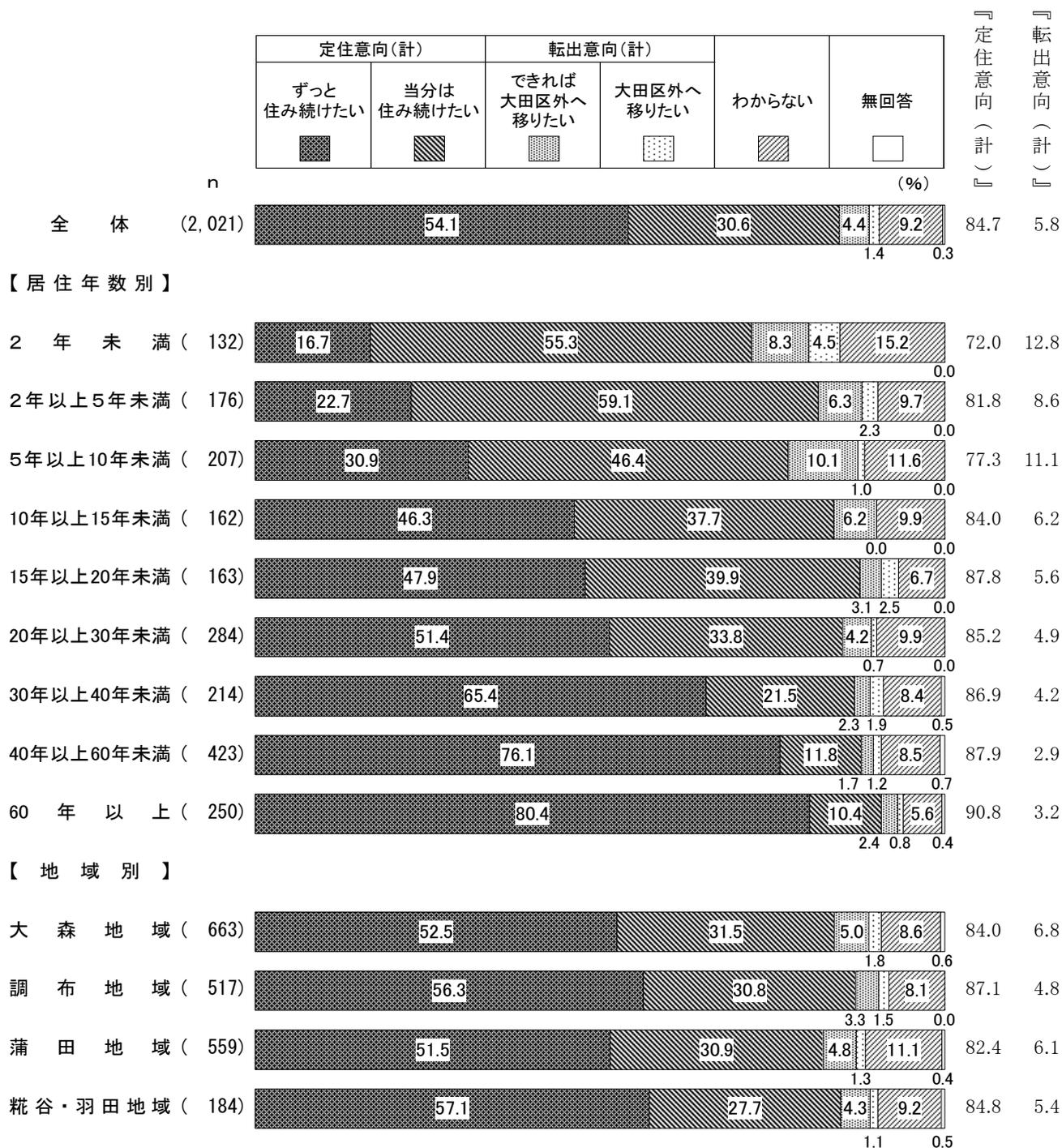
図 1-2-3 定住意向一性／年代別



性別でみると、「ずっと住み続けたい」は男性（55.4%）が女性（52.3%）より3.1ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「ずっと住み続けたい」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（81.0%）で8割を超え、男性70歳以上（77.0%）で8割近くとなっている。『定住意向（計）』は女性70歳以上（92.2%）で9割を超えて高くなっている。（図1-2-3）

図 1-2-4 定住意向—居住年数別、地域別

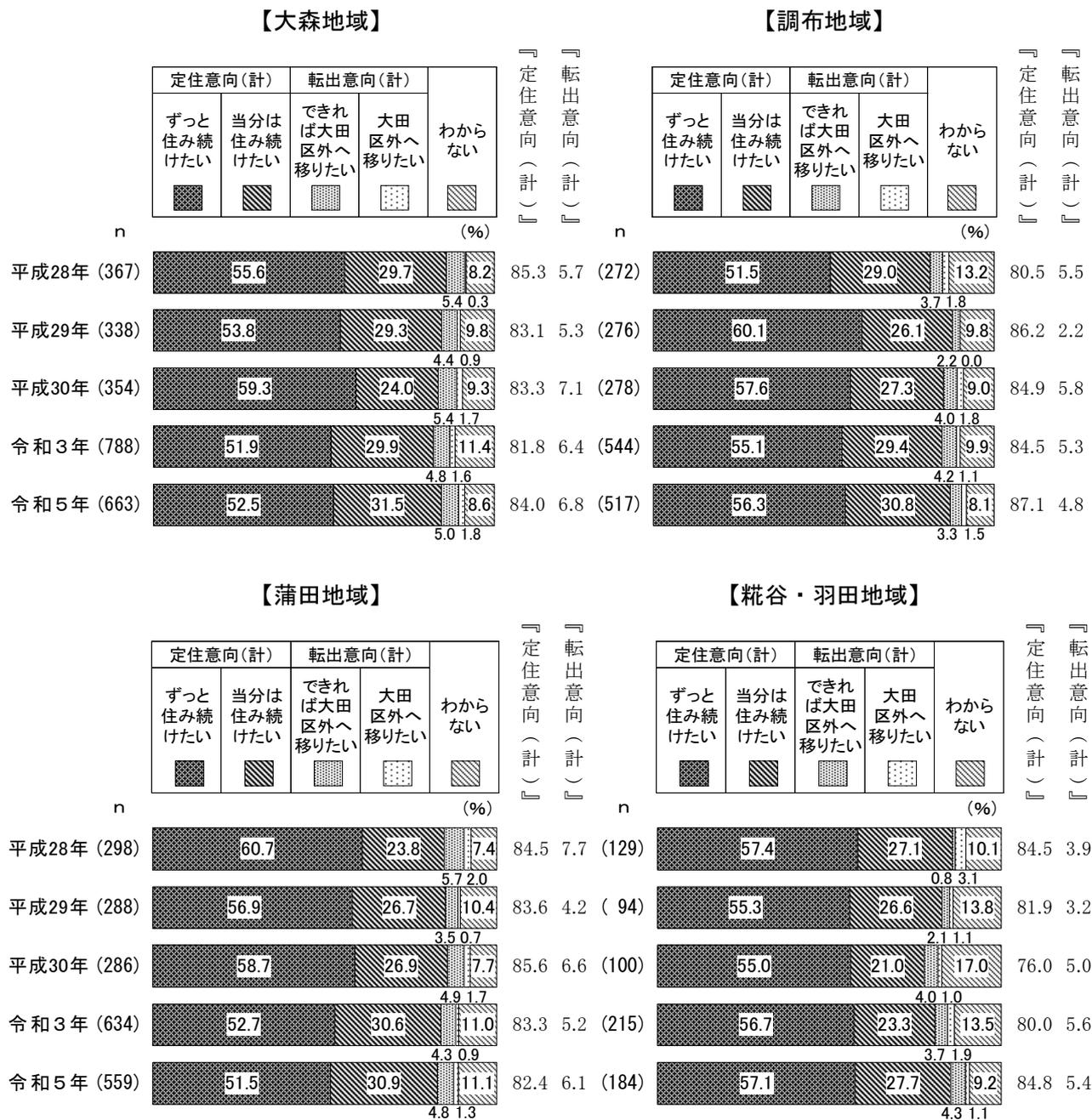


居住年数別で見ると、「ずっと住み続けたい」は居住年数が長くなるほど割合が高く、“居住年数60年以上”(80.4%)で8割となっている。『定住意向(計)』は“居住年数60年以上”(90.8%)で約9割と高くなっている。

地域別で見ると、『定住意向(計)』は調布地域(87.1%)で9割近くと高くなっている。

(図 1-2-4)

図 1-2-5 定住意向—地域別（経年比較）



地域別で経年比較をみると、『定住意向（計）』は糀谷・羽田地域で前回より4.8ポイント増加している。（図 1-2-5）

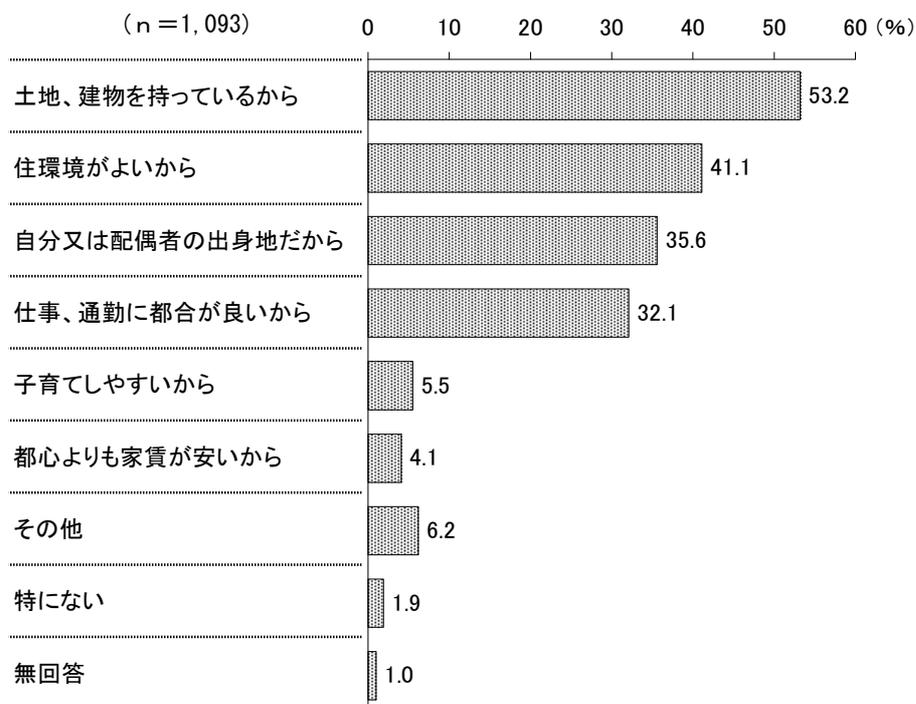
(3) ずっと住みたい理由

◇「土地、建物を持っているから」が5割を超える

(問2で、「ずっと住みたい」と回答した方に)

問2-1 「ずっと住みたい」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

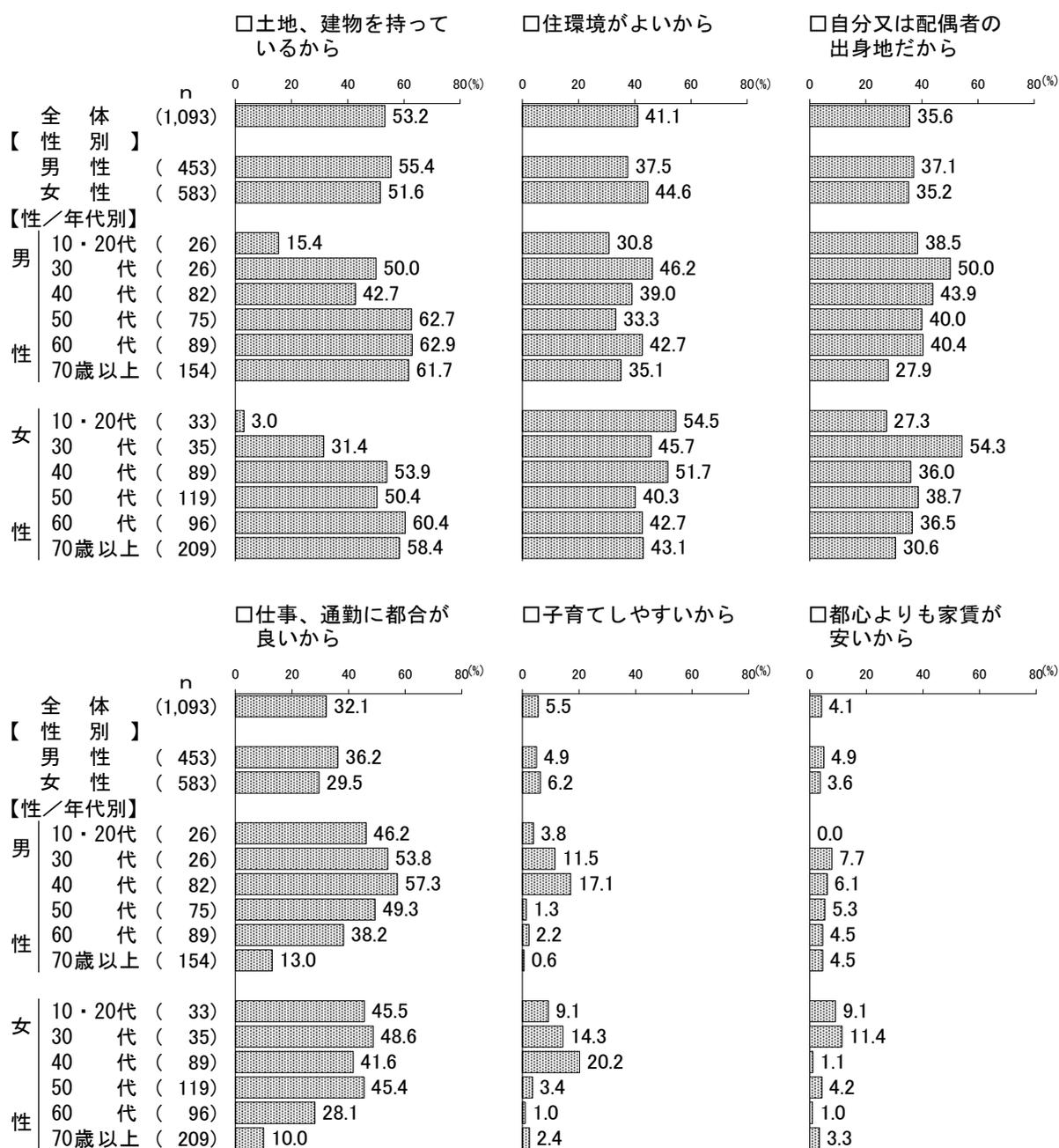
図1-3-1



これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人(1,093人)に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(53.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「住環境がよいから」(41.1%)、「自分又は配偶者の出身地だから」(35.6%)、「仕事、通勤に都合が良いから」(32.1%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「交通の便が良い」、「住み慣れている」、「家族や親族が近くに住んでいる」などがあげられている。(図1-3-1)

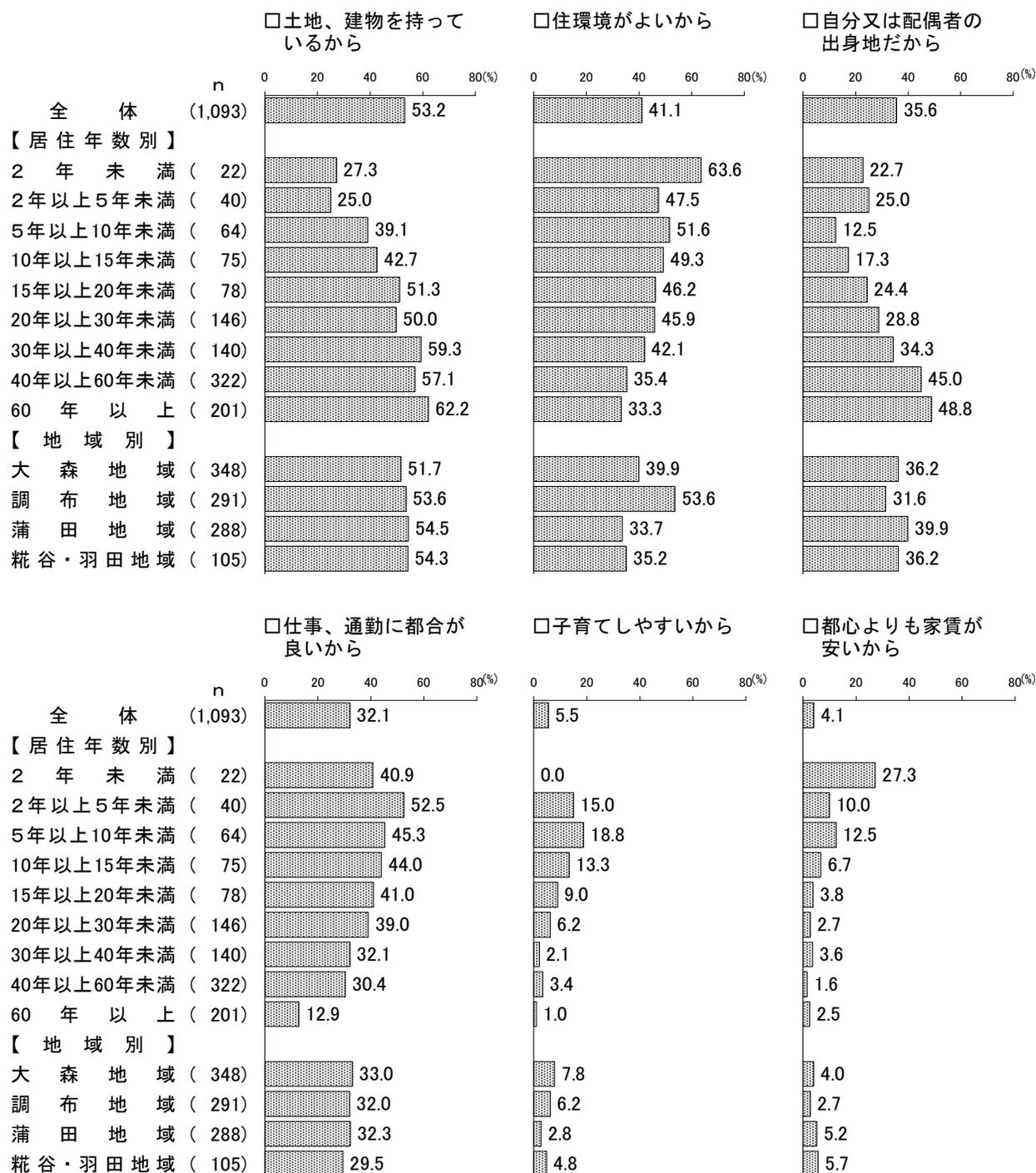
図 1-3-2 ずっと住み続けたい理由－性／年代別



性別で見ると、「住環境がよいから」は女性（44.6%）が男性（37.5%）より7.1ポイント高くなっている。一方、「仕事、通勤に都合が良いから」は男性（36.2%）が女性（29.5%）より6.7ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「土地、建物を持っているから」は男性50代以上の年代で6割を超えて高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は男性40代（57.3%）で6割近くと高くなっている。（図1-3-2）

図 1-3-3 ずっと住みたい理由—居住年数別、地域別



居住年数別でみると、「土地、建物を持っているから」は「居住年数60年以上」(62.2%)で6割を超えて高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は「居住年数2年以上5年未満」(52.5%)で5割を超えて高くなっている。

地域別でみると、「住環境がよいから」は調布地域(53.6%)で5割を超えて高くなっている。「自分又は配偶者の出身地だから」は蒲田地域(39.9%)で4割と高くなっている。(図1-3-3)

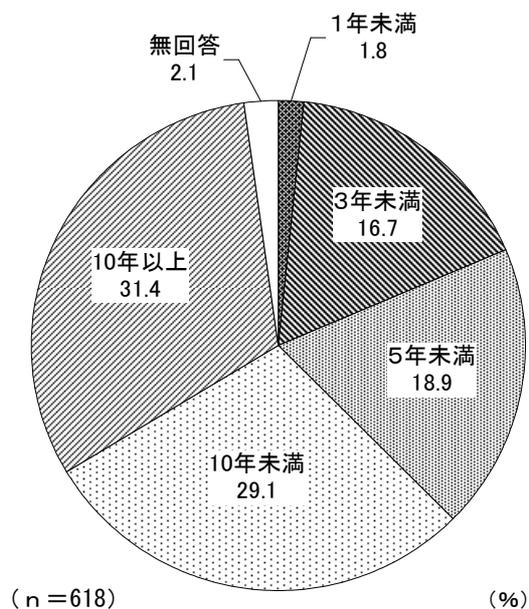
(4) 当分は住み続けたい期間

◇「10年以上」が3割を超える

(問2で、「当分は住み続けたい」と回答した方に)

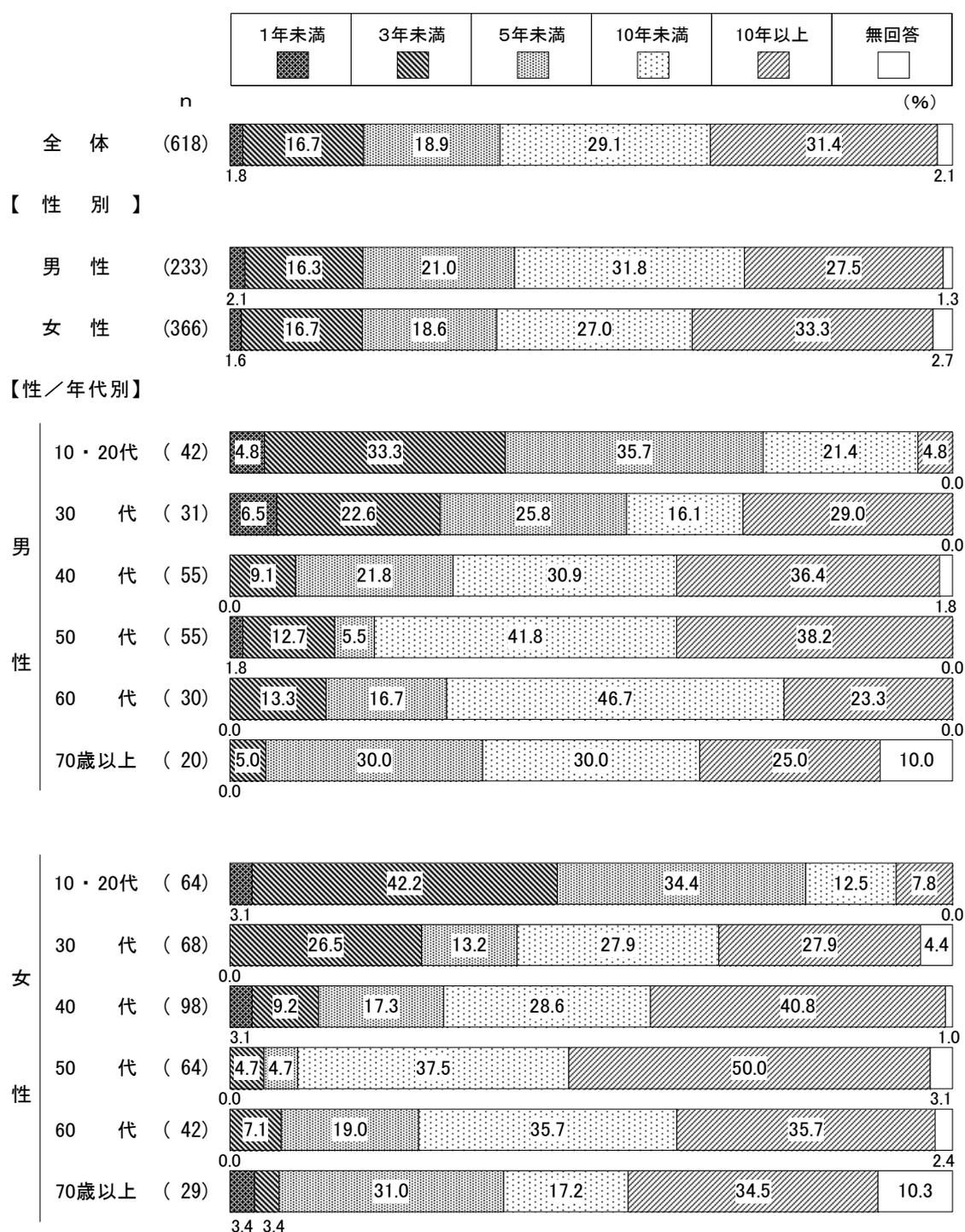
問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(○は1つだけ)

図1-4-1



大田区に「当分は住み続けたい」と答えた人(618人)に、それはどのくらいの期間か聞いたところ、「10年以上」(31.4%)が3割を超えて最も高く、次いで「10年未満」(29.1%)、「5年未満」(18.9%)、「3年未満」(16.7%)などの順になっている。(図1-4-1)

図 1-4-2 当分は住み続けたい期間－性／年代別



性別でみると、「10年以上」は女性 (33.3%) が男性 (27.5%) より5.8ポイント高くなっている。一方、「10年未満」は男性 (31.8%) が女性 (27.0%) より4.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「3年未満」は女性10・20代 (42.2%) で4割を超えて高くなっている。「10年未満」は男性60代 (46.7%) で5割近くと高くなっている。「10年以上」は女性50代 (50.0%) で5割と高くなっている。(図 1-4-2)

また、「当分は住み続けたい」と答えた理由については、547人から581件の回答があった。住み続けたい期間別に分類して整理した結果は以下のとおりである。

①「1年未満」と答えた理由（計9件）

- 転居の予定や可能性があるから…………… 2件
- 結婚したら転居する可能性があるから…………… 2
- マンション等の更新の都合があるから…………… 1
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 1
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 1
- 転勤・転職の可能性があるから…………… 1
- その他…………… 1

②「3年未満」と答えた理由（計98件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 18件
- 転勤・転職の可能性があるから…………… 9
- 特に引っ越す理由がないから…………… 8
- マンション等の更新の都合があるから…………… 7
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 6
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 6
- 転居の予定や可能性があるから…………… 5
- もっと環境が良い所に住みたいから…………… 5
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 4
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 4
- 退職するまでは住みたいから…………… 3
- 引っ越すのが手間、費用が掛かるから…………… 3
- 商店や飲食店が充実しているから…………… 3
- 実家だから、実家に近いから…………… 2
- 他の場所に住んでみたい、居住環境を変えたいから…………… 2
- 治安が良いから…………… 2
- 結婚したら転居する可能性があるから…………… 2
- その他…………… 9

③「5年未満」と答えた理由（計119件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 24件
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 16
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 13
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 8
- 引っ越す理由や予定がないから…………… 6
- 交通の便が良いから…………… 5
- 老後に転居する可能性があるから…………… 5
- 転勤・転職の可能性があるから…………… 4
- 実家だから、実家に近いから…………… 4
- 進学・就職・独立するため…………… 4
- 将来的にライフスタイルが変わると思うから…………… 4
- 家賃が安いから…………… 3
- 他の場所に住んでみたい、居住環境を変えたいから…………… 2
- 家を購入したい・購入する予定だから…………… 2

- 不自由がなく、引っ越す理由が無いから…………… 2
- 子どもと一緒に住む予定だから…………… 2
- 社宅の期限があるから…………… 2
- その他…………… 13

④「10年未満」と答えた理由（計173件）

- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 29件
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 26
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 16
- 老後に転居する可能性があるから…………… 12
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 11
- 退職するまでは住みたいから…………… 9
- 家族の都合によるから…………… 8
- 年齢や健康状態によって転居する可能性があるから…………… 8
- 交通の便が良いから…………… 6
- 他の場所に住んでみたいから…………… 4
- 土地、建物を持っているから…………… 4
- 不自由がなく、引っ越す理由が無いから…………… 3
- 子育て環境が良いから…………… 3
- 引っ越す理由や予定がないから…………… 3
- 結婚したら転居する可能性があるから…………… 3
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 3
- 社宅の期限があるから…………… 3
- 自宅が老朽化しているから…………… 2
- 住環境が以前より悪化しているから…………… 2
- 転勤・転職の可能性があるから…………… 2
- その他…………… 16

⑤「10年以上」と答えた理由（計182件）

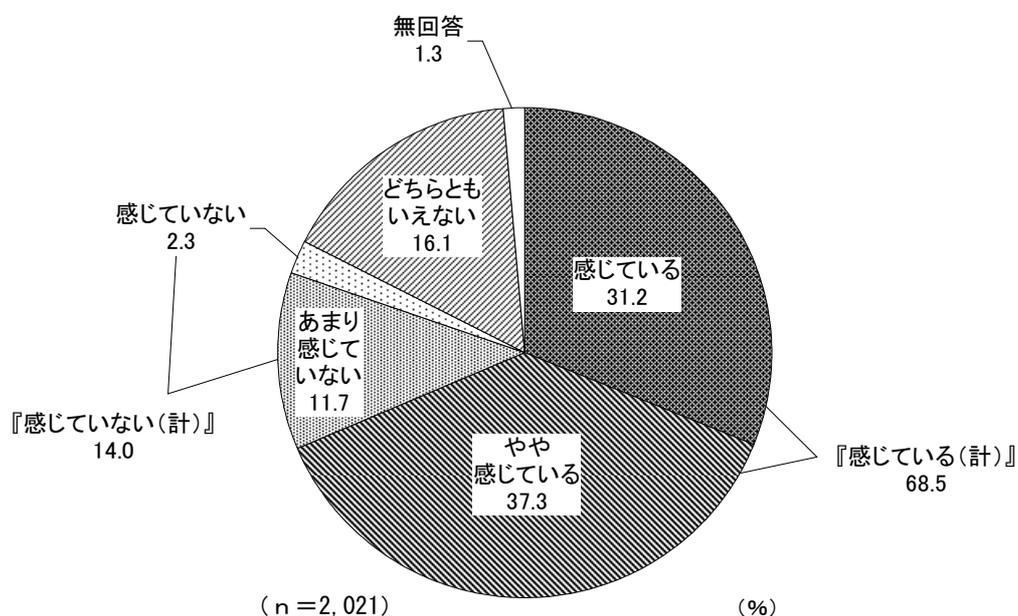
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 33件
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 26
- 土地、建物を持っているから…………… 22
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 13
- 老後に転居する可能性があるから…………… 9
- 退職するまでは住みたいから…………… 8
- 不自由がなく、引っ越す理由が無いから…………… 8
- 家族・友人・親族がいるから…………… 7
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 7
- 交通の便が良いから…………… 6
- 住環境が良いから…………… 6
- 年齢や健康状態によって転居する可能性があるから…………… 6
- 他の場所に住んでみたいから…………… 3
- 実家だから、実家に近いから…………… 2
- 将来のことはわからないから…………… 2
- 施設へ入る可能性があるから…………… 2
- 経済的に心配だから…………… 2
- 子育て環境が良いから…………… 2
- その他…………… 18

(5) 住んでいるまちが魅力的か

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は7割近く

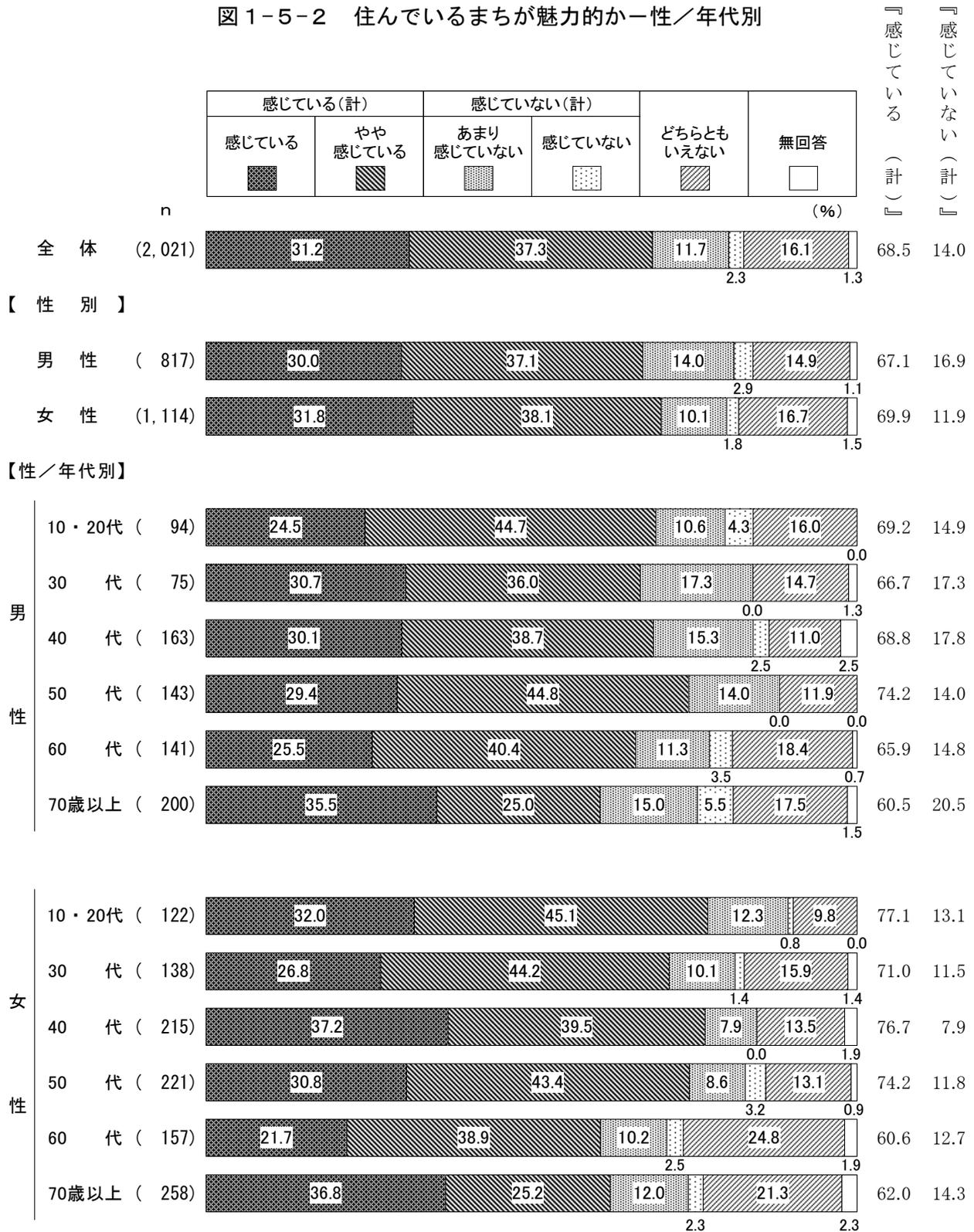
問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ)

図1-5-1



住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「感じている」(31.2%)と「やや感じている」(37.3%)を合わせた『感じている(計)』(68.5%)は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(11.7%)と「感じていない」(2.3%)を合わせた『感じていない(計)』(14.0%)は1割半ばとなっている。(図1-5-1)

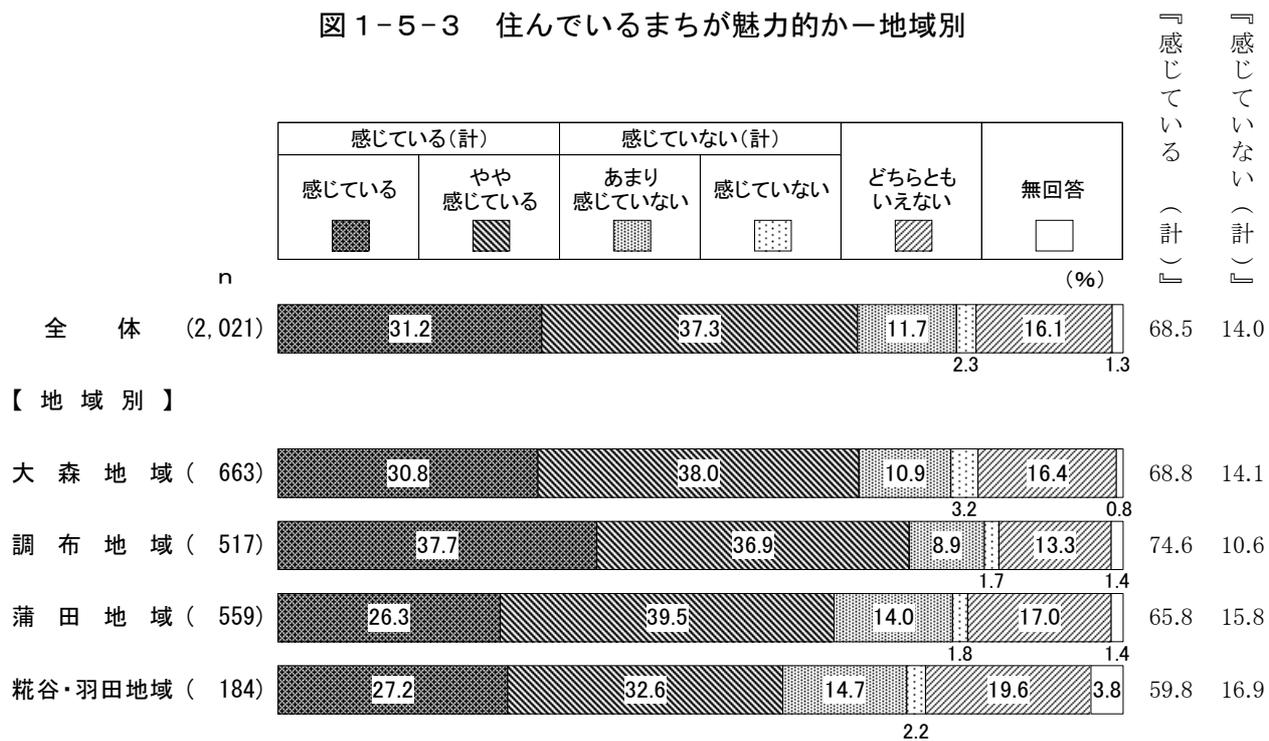
図 1-5-2 住んでいるまちが魅力的かー性／年代別



性別でみると、『感じていない (計)』は男性 (16.9%) が女性 (11.9%) より5.0ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている (計)』は女性10・20代 (77.1%) と女性40代 (76.7%) で8割近くと高くなっている。一方、『感じていない (計)』は男性70歳以上 (20.5%) で約2割と高くなっている。(図 1-5-2)

図 1-5-3 住んでいるまちが魅力的かー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(74.6%)で7割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は糀谷・羽田地域(16.9%)で2割近くとなっている。(図1-5-3)

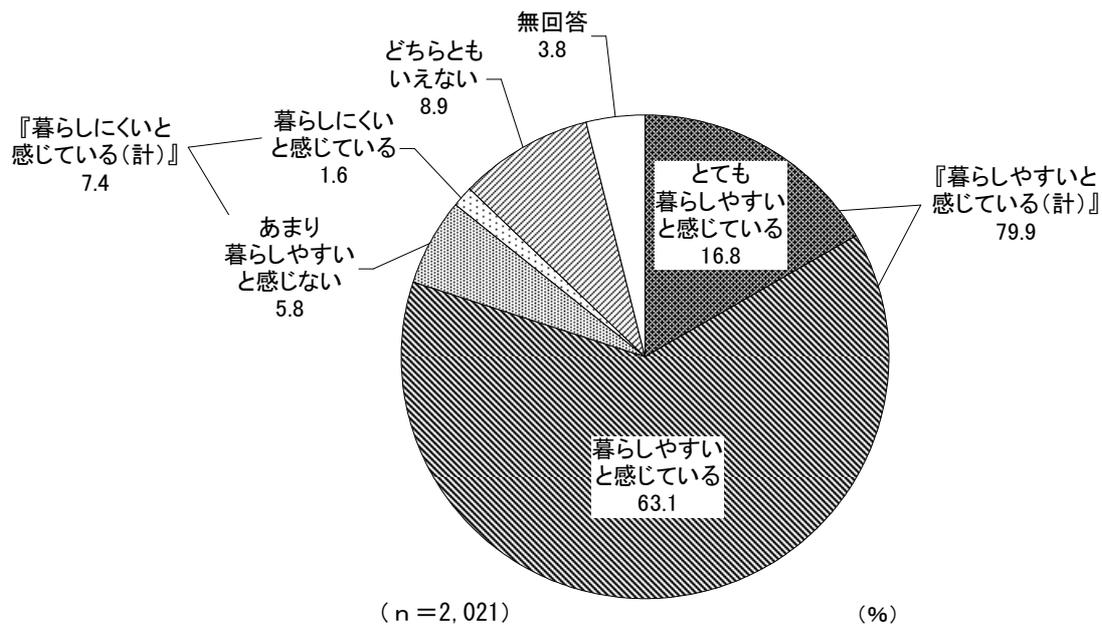
2. 暮らしやすさ

(1) 住んでいるまちの暮らしやすさ

◇「とても暮らしやすいと感じている」と「暮らしやすいと感じている」を合わせた『暮らしやすいと感じている(計)』は8割

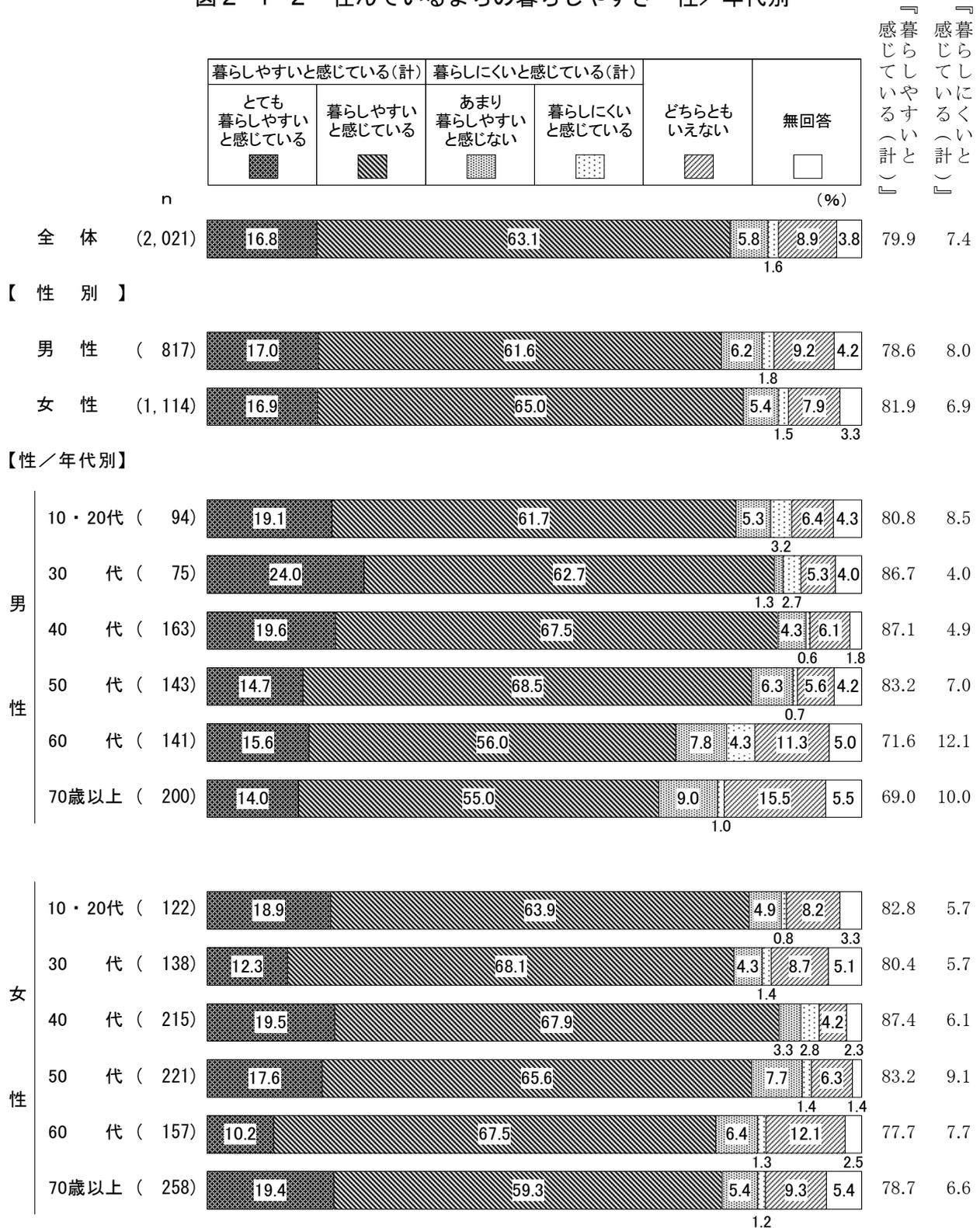
問4 現在住んでいるまちの暮らしやすさを、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

図2-1-1



現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」(63.1%)が6割を超えて最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」(16.8%)を合わせた『暮らしやすいと感じている(計)』(79.9%)は8割となっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」(5.8%)と「暮らしにくいと感じている」(1.6%)を合わせた『暮らしにくいと感じている(計)』(7.4%)は1割未満となっている。(図2-1-1)

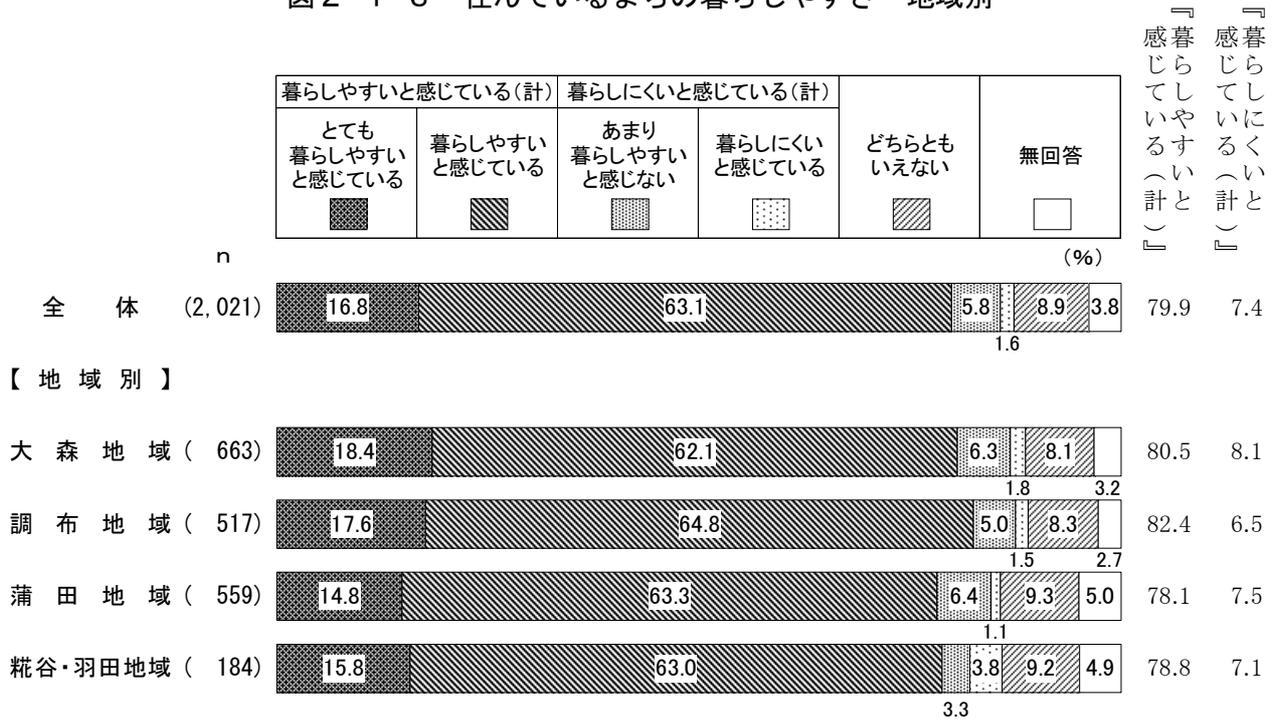
図2-1-2 住んでいるまちの暮らしやすさー性／年代別



性別でみると、『暮らしやすと感じている(計)』は女性(81.9%)が男性(78.6%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『暮らしやすと感じている(計)』は男性30代(86.7%)、男性40代(87.1%)、女性40代(87.4%)で9割近くと高くなっている。(図2-1-2)

図 2-1-3 住んでいるまちの暮らしやすさ—地域別



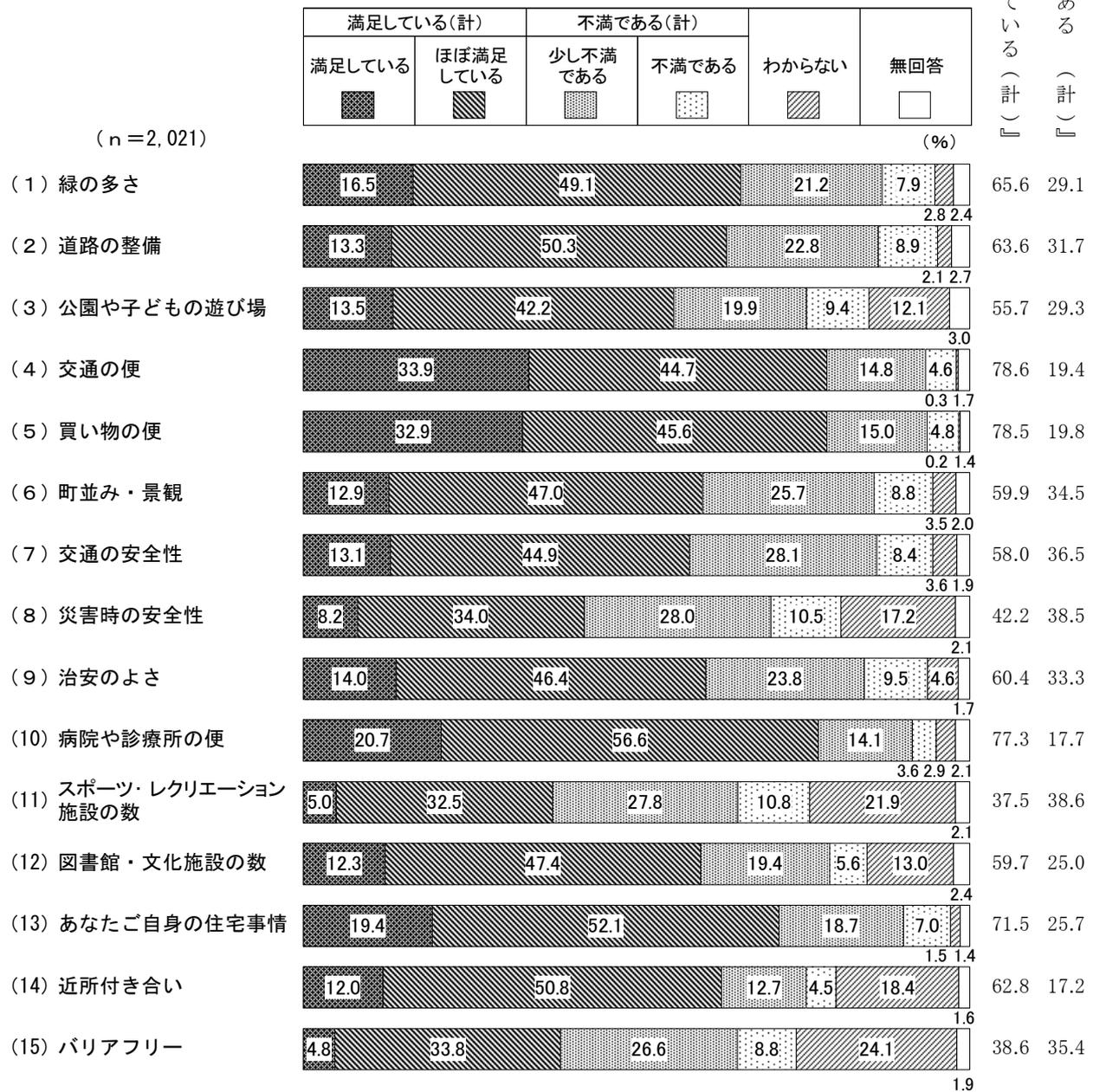
地域別でみると、『暮らしやすいと感じている(計)』は調布地域(82.4%)で8割を超えて高くなっている。(図2-1-3)

(2) 生活環境の満足度

◇「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」、
「買い物の便」、「病院や診療所の便」で8割近く

問5 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つ)

図2-2-1



住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」(78.6%)、「買い物の便」(78.5%)、「病院や診療所の便」(77.3%)の3項目で8割近くと高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である(計)』は「スポーツ・レクリエーション施設の数」(38.6%)、「災害時の安全性」(38.5%)、「交通の安全性」(36.5%)の3項目で4割近くと高くなっている。

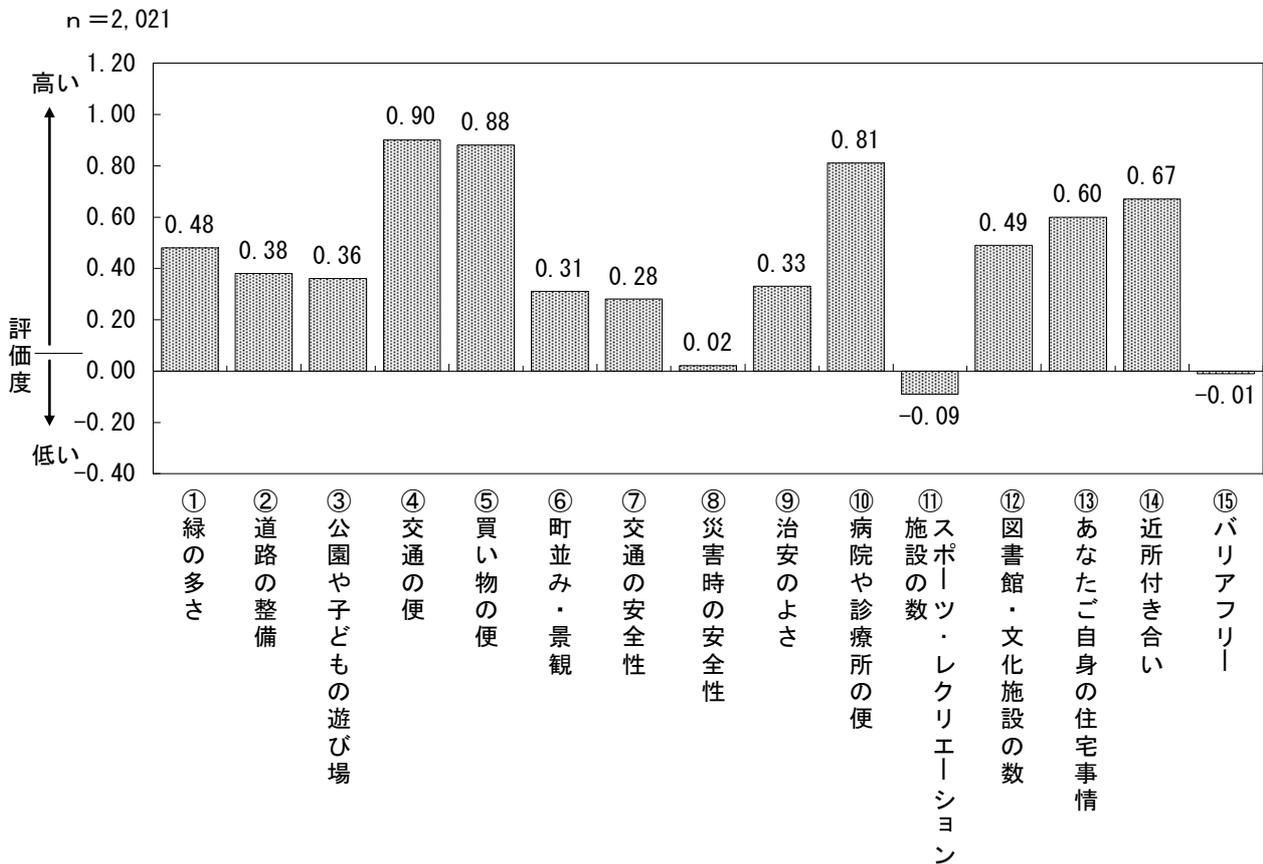
(図2-2-1)

15項目にわたる生活環境の満足度の比較をしやすいするため、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。なお、「わからない」は計算から除外した。

$$\text{評価点} = \frac{\text{「満足している」} \times 2 + \text{「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{「少し不満である」} \times (-1) + \text{「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}}$$

15項目の生活環境の満足度を評価点で見ると、評価が高いのは「交通の便」(0.90)、「買い物の便」(0.88)、「病院や診療所の便」(0.81)の順になっている。一方、評価が低いのは「スポーツ・レクリエーション施設の数」(-0.09)、「バリアフリー」(-0.01)、「災害時の安全性」(0.02)の順になっている。(図2-2-2)

図2-2-2 生活環境の満足度（評価点）



以下、生活環境の満足度の評価点を地域別でみる。地域ごとに、全体と比べて評価の高いベスト3の項目と、評価の低いワースト3の項目を表に掲げた。

【大森地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が0.12ポイント上回り1位、「図書館・文化施設の数」が0.11ポイント上回り2位、「治安のよさ」が0.10ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「道路の整備」と「交通の安全性」が1位、「買い物の便」が3位となっている。(図2-2-3、表2-2-1)

図2-2-3 生活環境の満足度－【大森地域】(全体との評価点の比較)

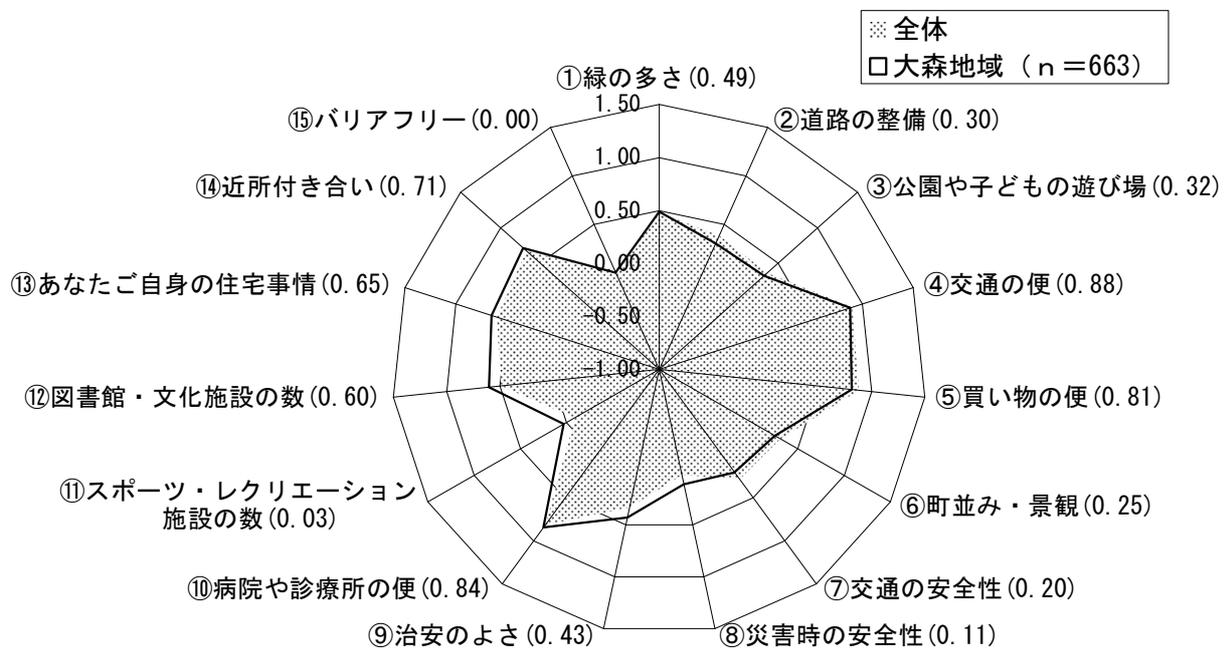


表2-2-1 生活環境の満足度－【大森地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

全体との差	1位	2位	3位
ベスト3	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数 0.12	⑫図書館・文化施設の数 0.11	⑨治安のよさ 0.10
ワースト3	②道路の整備／⑦交通の安全性 -0.08		⑤買い物の便 -0.07

【調布地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「治安のよさ」が0.60ポイント上回り1位、「災害時の安全性」が0.40ポイント上回り2位、「町並み・景観」が0.39ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が1位、「買い物の便」が2位、「図書館・文化施設の数」が3位となっている。(図2-2-4、表2-2-2)

図2-2-4 生活環境の満足度－【調布地域】(全体との評価点の比較)

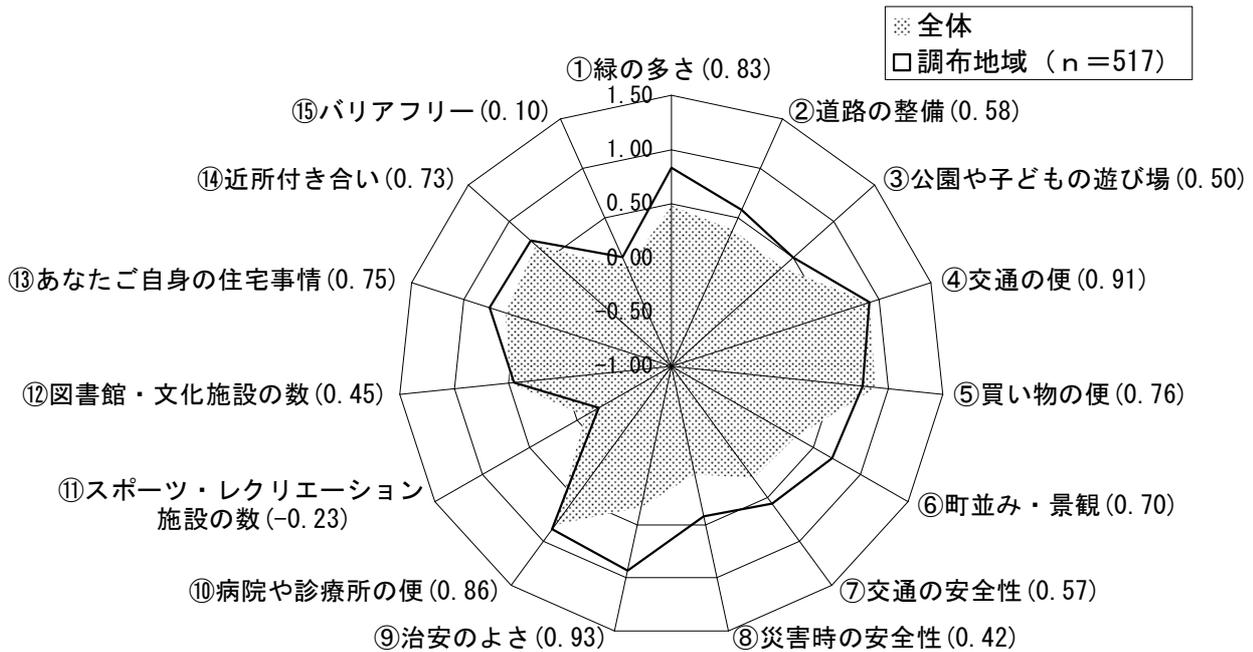


表2-2-2 生活環境の満足度－【調布地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

全体との差	1位	2位	3位
ベスト3	⑨治安のよさ 0.60	⑧災害時の安全性 0.40	⑥町並み・景観 0.39
ワースト3	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数 -0.14	⑤買い物の便 -0.12	⑫図書館・文化施設の数 -0.04

【蒲田地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「買い物の便」が0.16ポイント上回り1位、「交通の便」が0.10ポイント上回り2位、「バリアフリー」が0.02ポイント下回っているものの3位となっている。

一方、ワースト3では、「治安のよさ」が1位、「災害時の安全性」が2位、「緑の多さ」が3位となっている。(図2-2-5、表2-2-3)

図2-2-5 生活環境の満足度－【蒲田地域】(全体との評価点の比較)

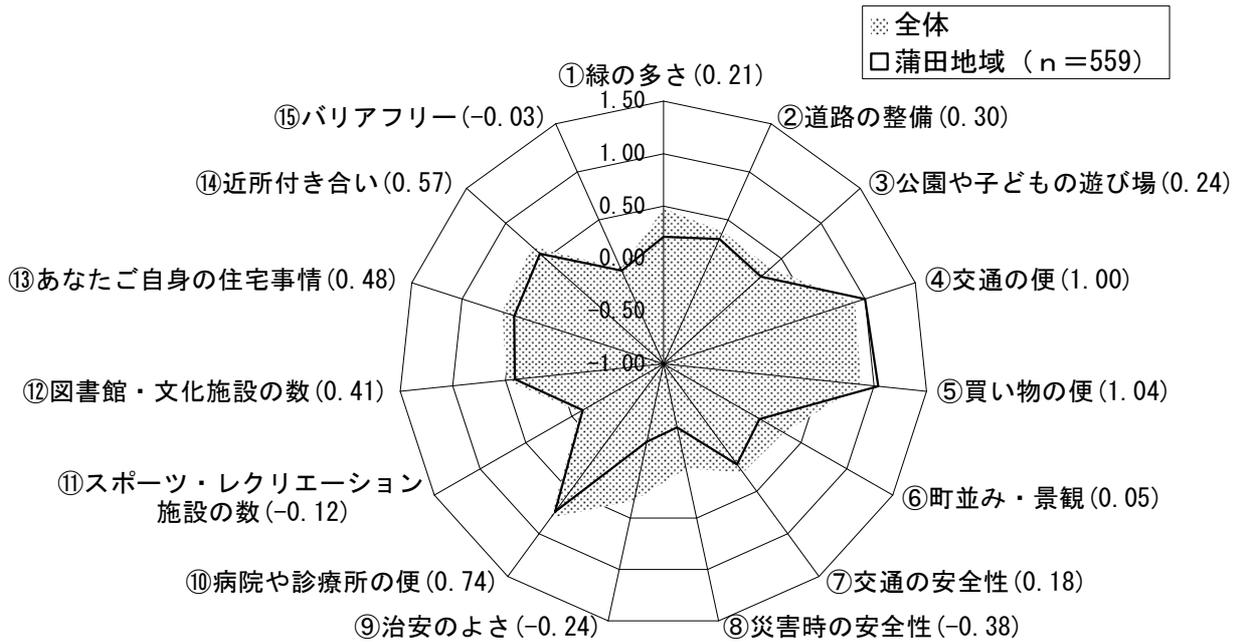


表2-2-3 生活環境の満足度－【蒲田地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

全体との差	1位		2位		3位	
ベスト3	⑤買い物の便	0.16	④交通の便	0.10	⑮バリアフリー	-0.02
ワースト3	⑨治安のよさ	-0.57	⑧災害時の安全性	-0.40	①緑の多さ	-0.27

【糶谷・羽田地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が0.12ポイント上回り1位、「公園や子どもの遊び場」が0.08ポイント上回り2位、「図書館・文化施設の数」が0.07ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「緑の多さ」が1位、「治安のよさ」が2位、「交通の安全性」が3位となっている。(図2-2-6、表2-2-4)

図2-2-6 生活環境の満足度－【糶谷・羽田地域】(全体との評価点の比較)

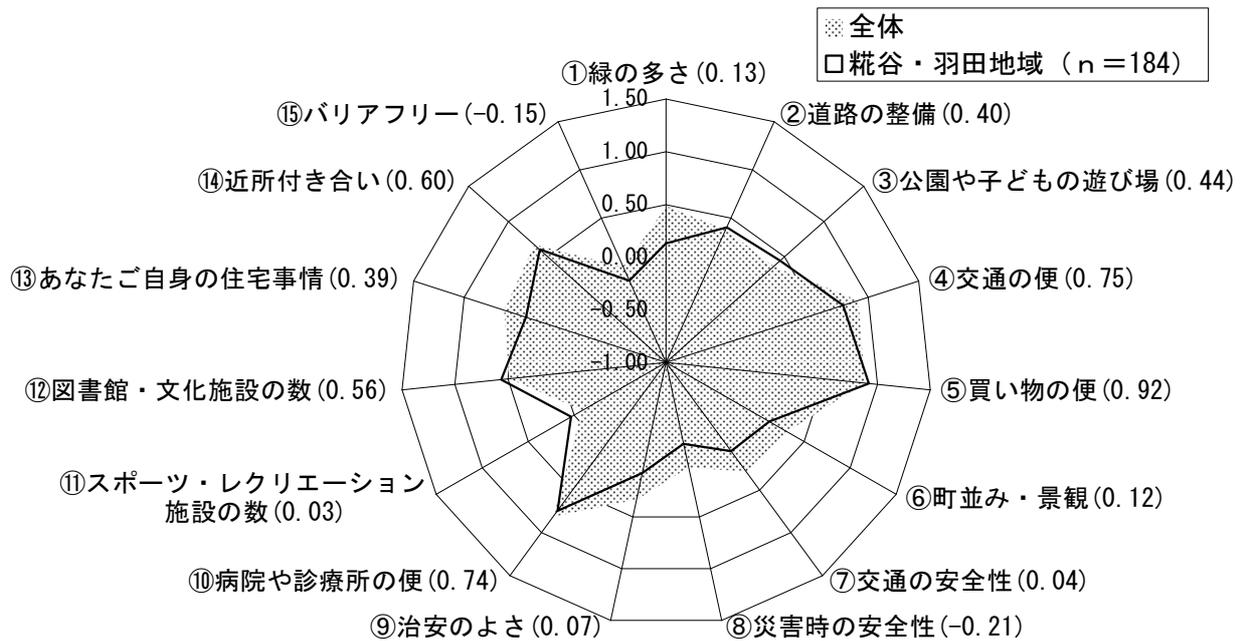


表2-2-4 生活環境の満足度－【糶谷・羽田地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

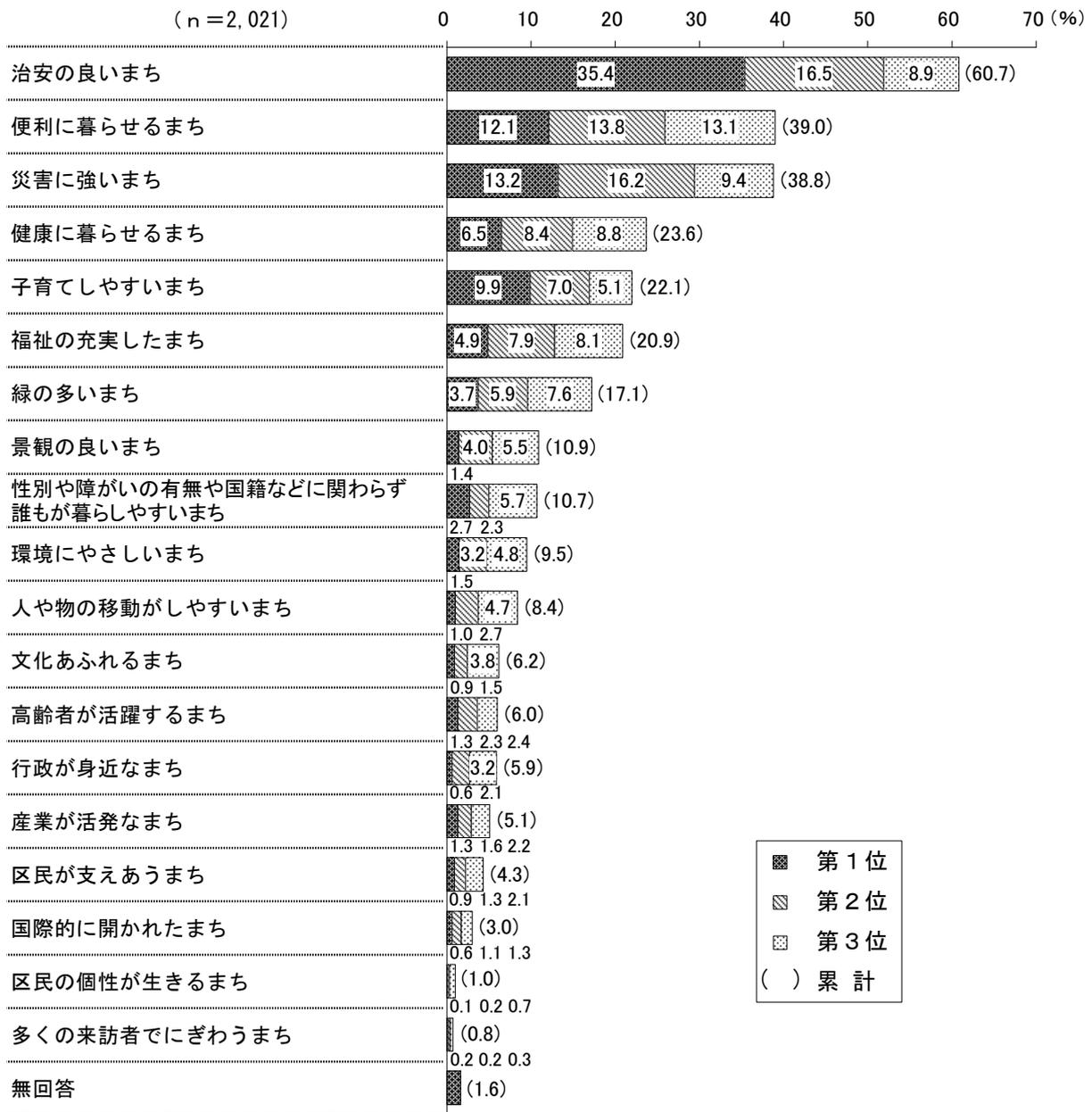
全体との差	1位	2位	3位
ベスト3	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数 0.12	③公園や子どもの遊び場 0.08	⑫図書館・文化施設の数 0.07
ワースト3	①緑の多さ -0.35	⑨治安のよさ -0.26	⑦交通の安全性 -0.24

(3) 住んでいるまちにどのようになってほしいか

◇第1位から第3位までを合わせた《累計》では「治安の良いまち」が約6割

問6 あなたは、現在住んでいるまちに対して、今後、どのようなまちになってほしいとお考えですか。(1位から3位まで1つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください)

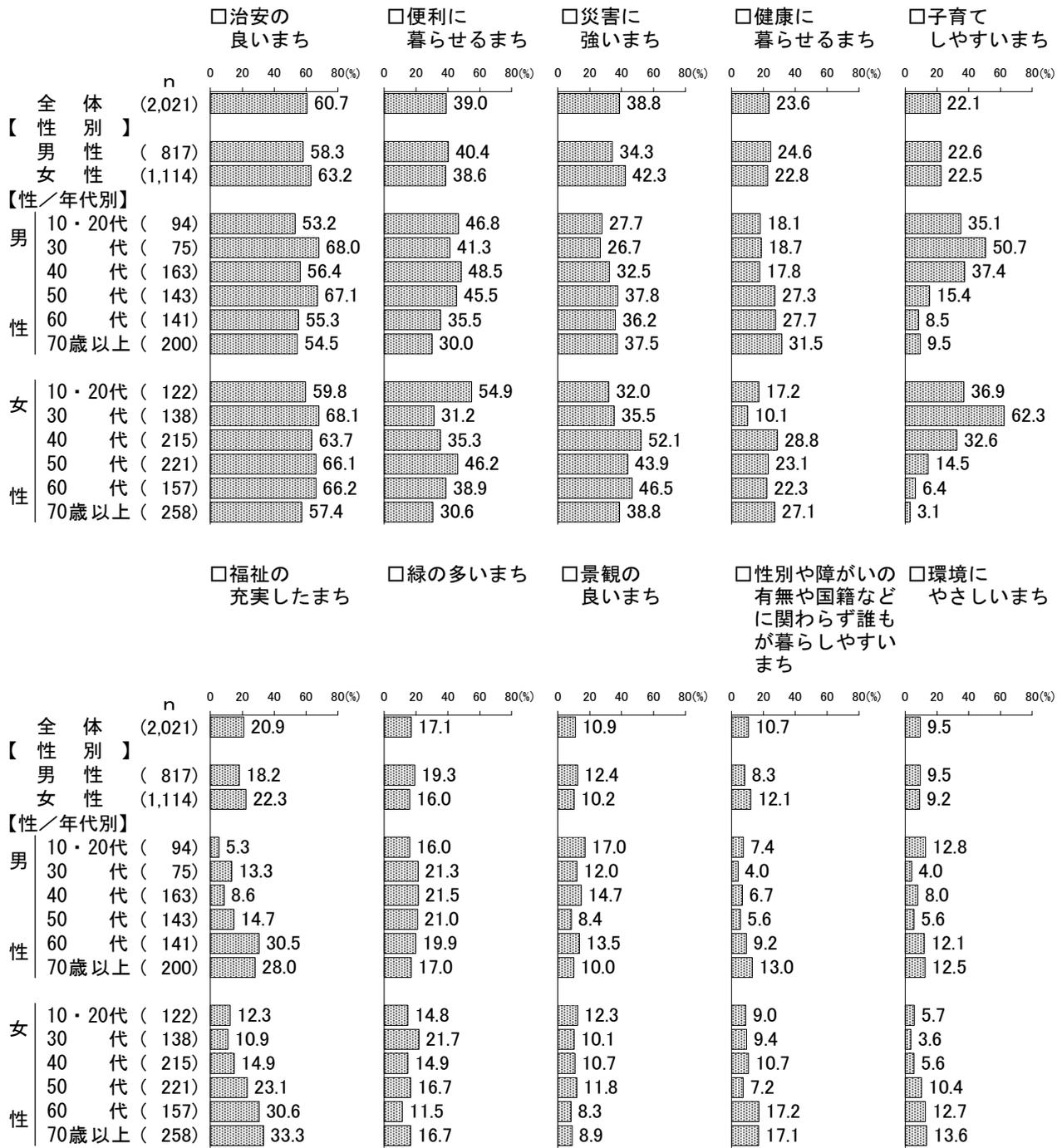
図2-3-1



住んでいるまちにどのようになってほしいか聞いたところ、第1位では「治安の良いまち」(35.4%)が3割半ばで最も高く、次いで「災害に強いまち」(13.2%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》で見ると、「治安の良いまち」(60.7%)が約6割で最も高く、次いで「便利に暮らせるまち」(39.0%)、「災害に強いまち」(38.8%)、「健康に暮らせるまち」(23.6%)などの順になっている。(図2-3-1)

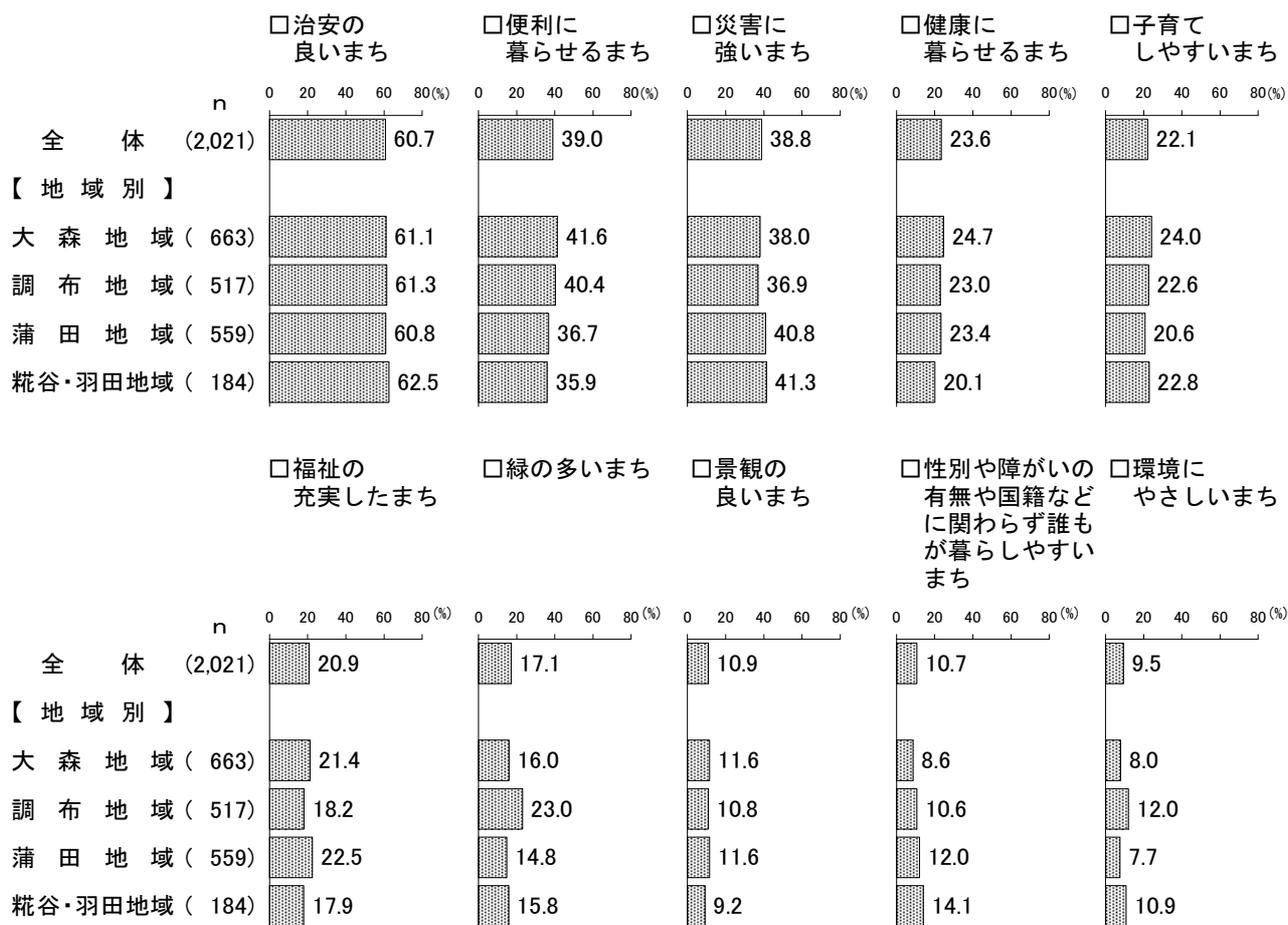
図2-3-2 住んでいるまちにどのようなになってほしいか—性／年代別（累計・上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、「災害に強いまち」は女性（42.3%）が男性（34.3%）より8.0ポイント、「治安の良いまち」は女性（63.2%）が男性（58.3%）より4.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「緑の多いまち」は男性（19.3%）が女性（16.0%）より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「便利に暮らせるまち」は女性10・20代（54.9%）で5割半ばと高くなっている。「災害に強いまち」は女性40代（52.1%）で5割を超えて高くなっている。「子育てしやすいまち」は女性30代（62.3%）で6割を超えて高くなっている。（図2-3-2）

図2-3-3 住んでいるまちにどのようになってほしいかー地域別（累計・上位10項目）



上位10項目を地域別で見ると、「便利に暮らせるまち」は大森地域（41.6%）で4割を超えて高くなっている。「災害に強いまち」は糎谷・羽田地域（41.3%）で4割を超えて高くなっている。「緑の多いまち」は調布地域（23.0%）で2割を超えて高くなっている。（図2-3-3）

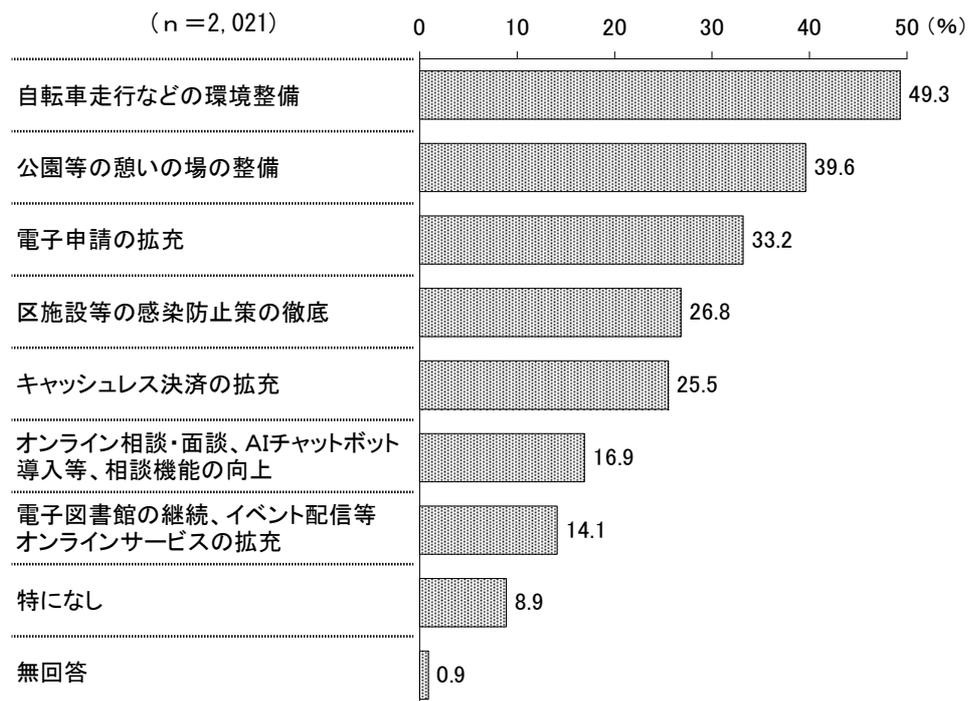
3. 緊急対策

(1) 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと

◇ 「自転車走行などの環境整備」が約5割

問7 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に即した行政となるために、今後、区に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

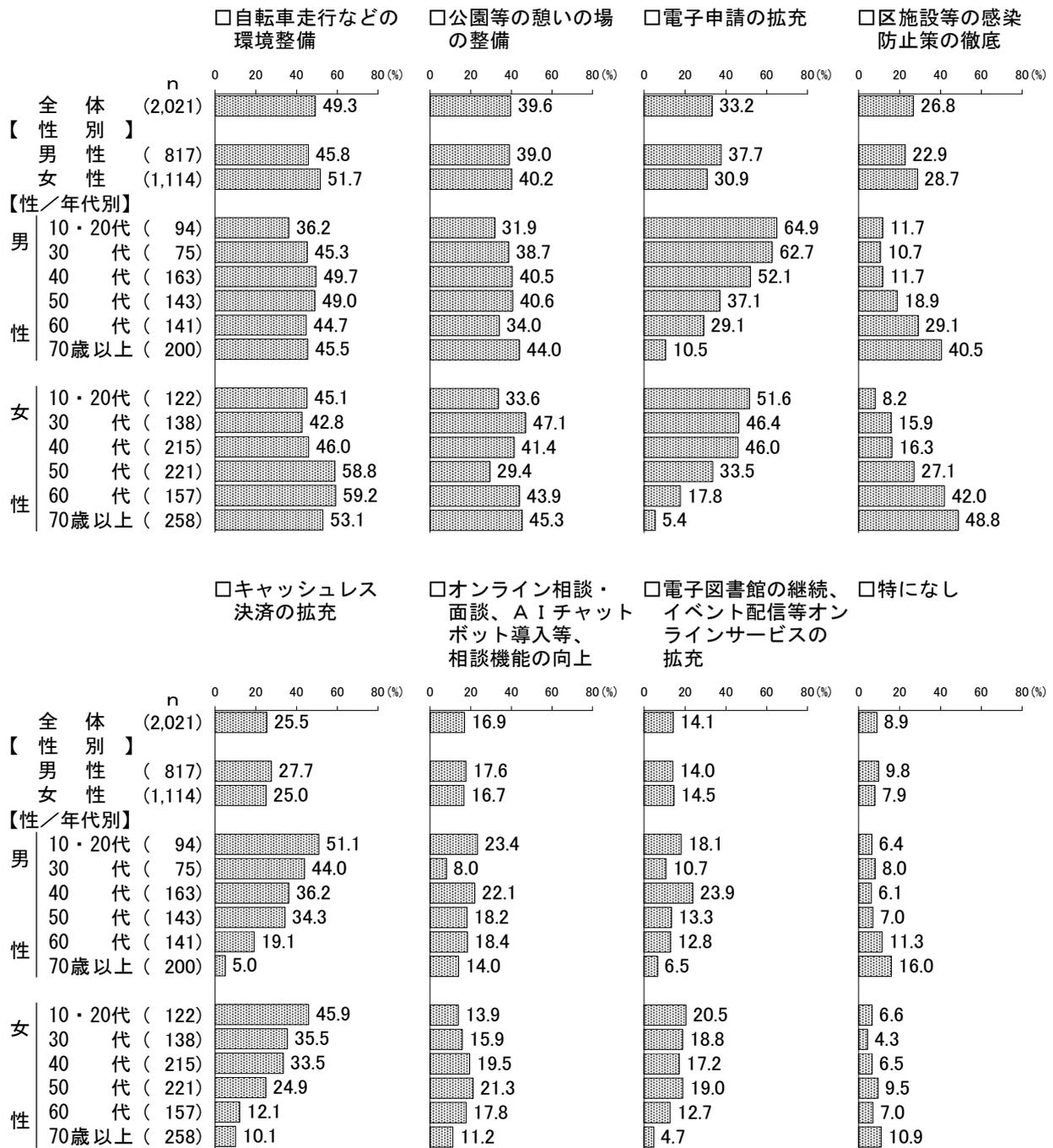
図3-1-1



「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいことを聞いたところ、「自転車走行などの環境整備」(49.3%)が約5割で最も高く、次いで「公園等の憩いの場の整備」(39.6%)、「電子申請の拡充」(33.2%)、「区施設等の感染防止策の徹底」(26.8%)などの順になっている。

(図3-1-1)

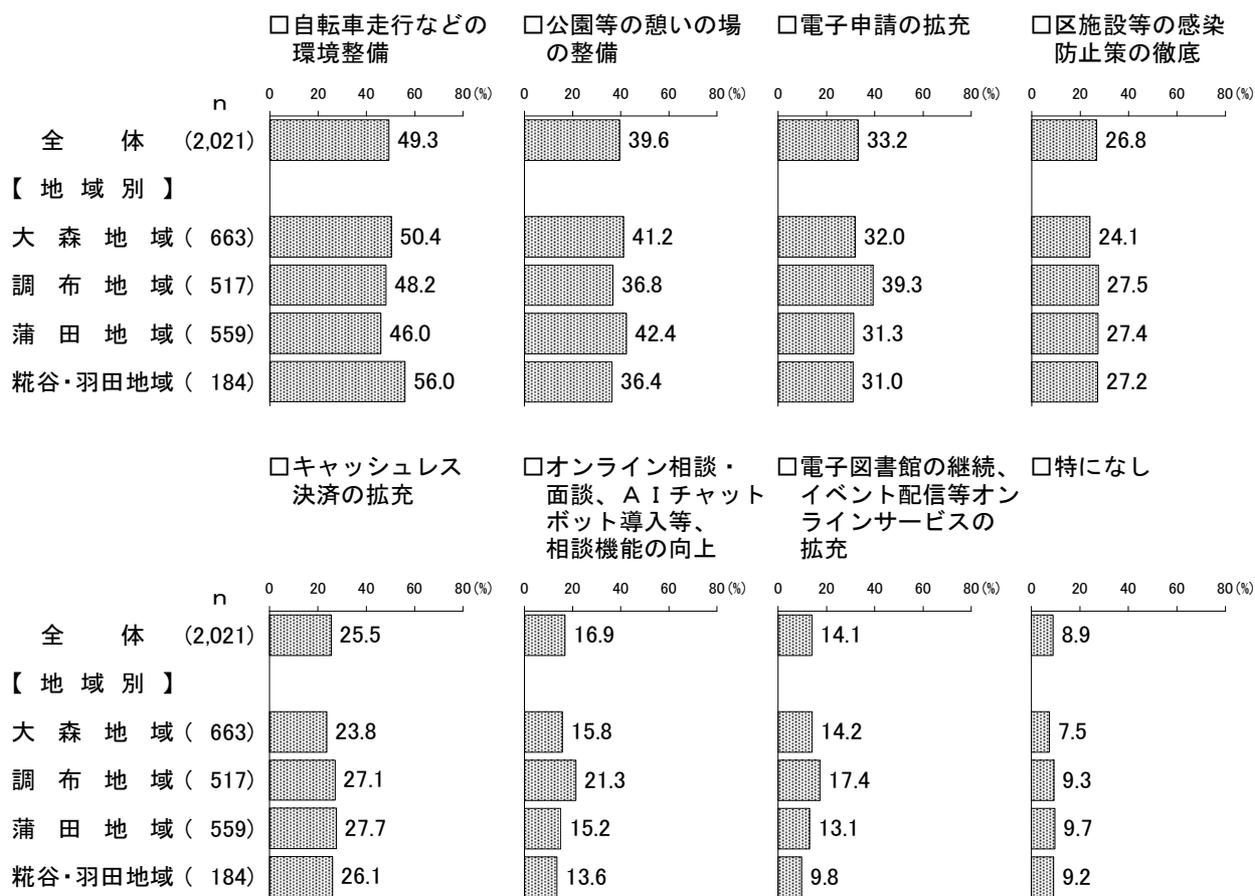
図3-1-2 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと－性／年代別



性別で見ると、「電子申請の拡充」は男性（37.7%）が女性（30.9%）より6.8ポイント高くなっている。一方、「自転車走行などの環境整備」は女性（51.7%）が男性（45.8%）より5.9ポイント、「区施設等の感染防止策の徹底」は女性（28.7%）が男性（22.9%）より5.8ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別で見ると、「自転車走行などの環境整備」は女性60代（59.2%）で約6割と高くなっている。「電子申請の拡充」は男女ともに年代が低くなるほど割合が高く、男性10・20代（64.9%）で6割半ばとなっている。「キャッシュレス決済の拡充」は男女ともに年代が低くなるほど割合が高く、男性10・20代（51.1%）で5割を超えている。（図3-1-2）

図3-1-3 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいことー地域別



地域別でみると、「自転車走行などの環境整備」は糞谷・羽田地域（56.0%）で5割半ばと高くなっている。「公園等の憩いの場の整備」は蒲田地域（42.4%）と大森地域（41.2%）で4割を超えて高くなっている。「電子申請の拡充」は調布地域（39.3%）で約4割と高くなっている。

(図3-1-3)

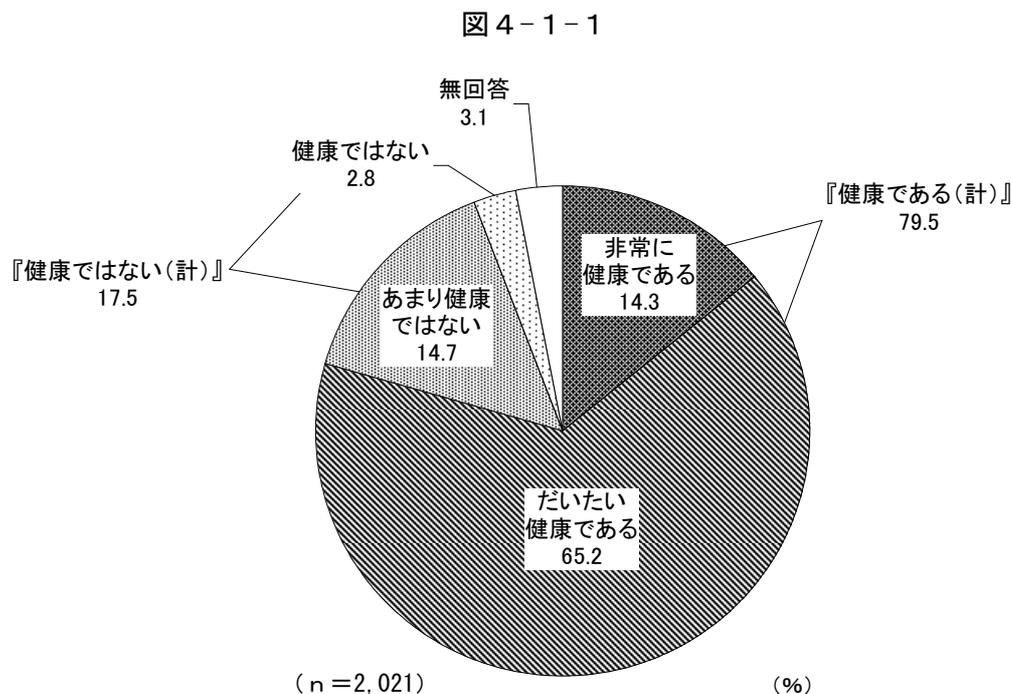
《基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

4. 健康に暮らせるまち

(1) 健康状態

◇「非常に健康である」と「だいたい健康である」を合わせた『健康である(計)』は8割

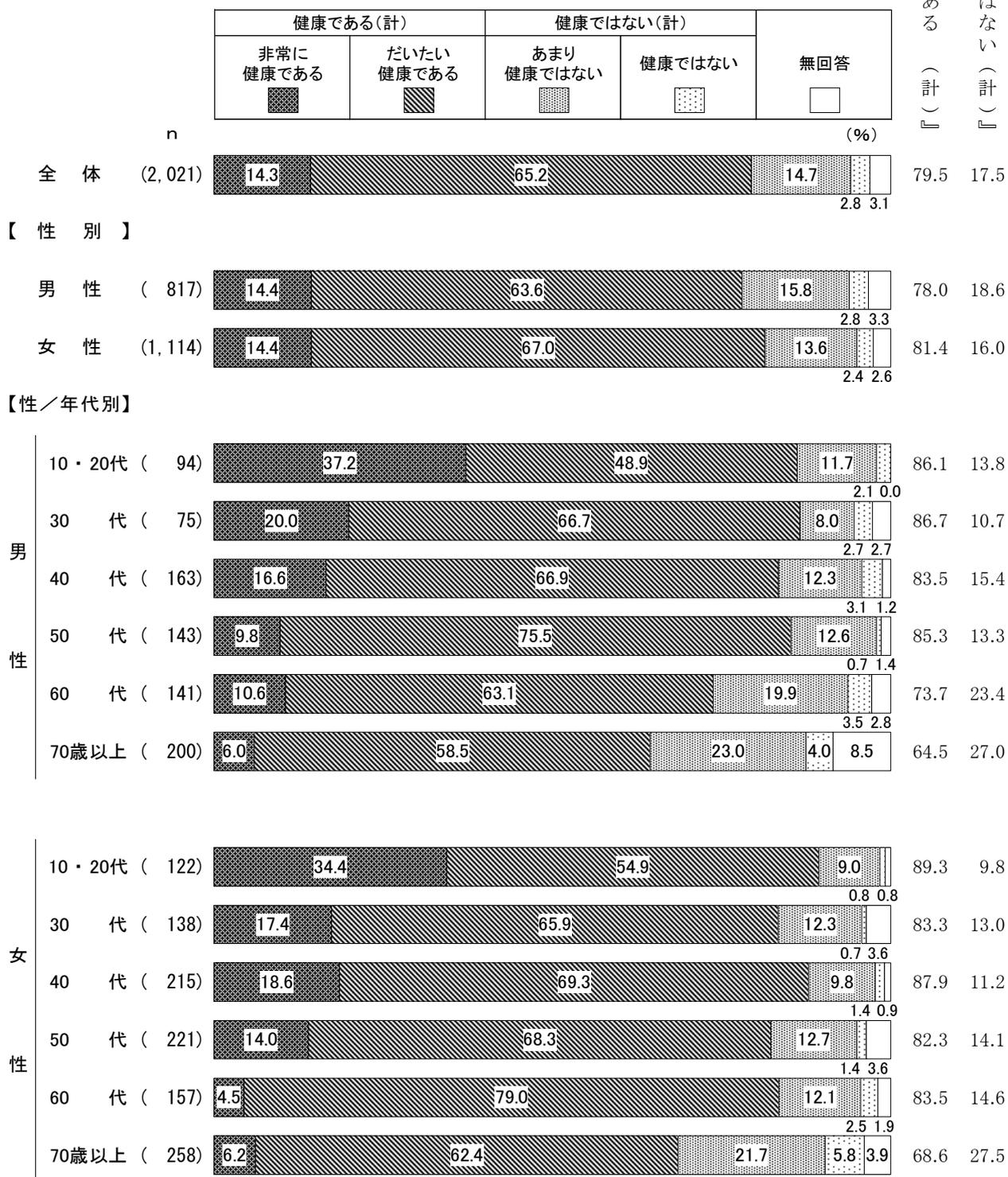
問8 あなたは、現在のご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つだけ)



健康状態をどのように感じているか聞いたところ、「だいたい健康である」(65.2%)が6割半ばで最も高く、これに「非常に健康である」(14.3%)を合わせた『健康である(計)』(79.5%)は8割となっている。一方、「あまり健康ではない」(14.7%)と「健康ではない」(2.8%)を合わせた『健康ではない(計)』(17.5%)は2割近くとなっている。(図4-1-1)

図 4-1-2 健康状態—性／年代別

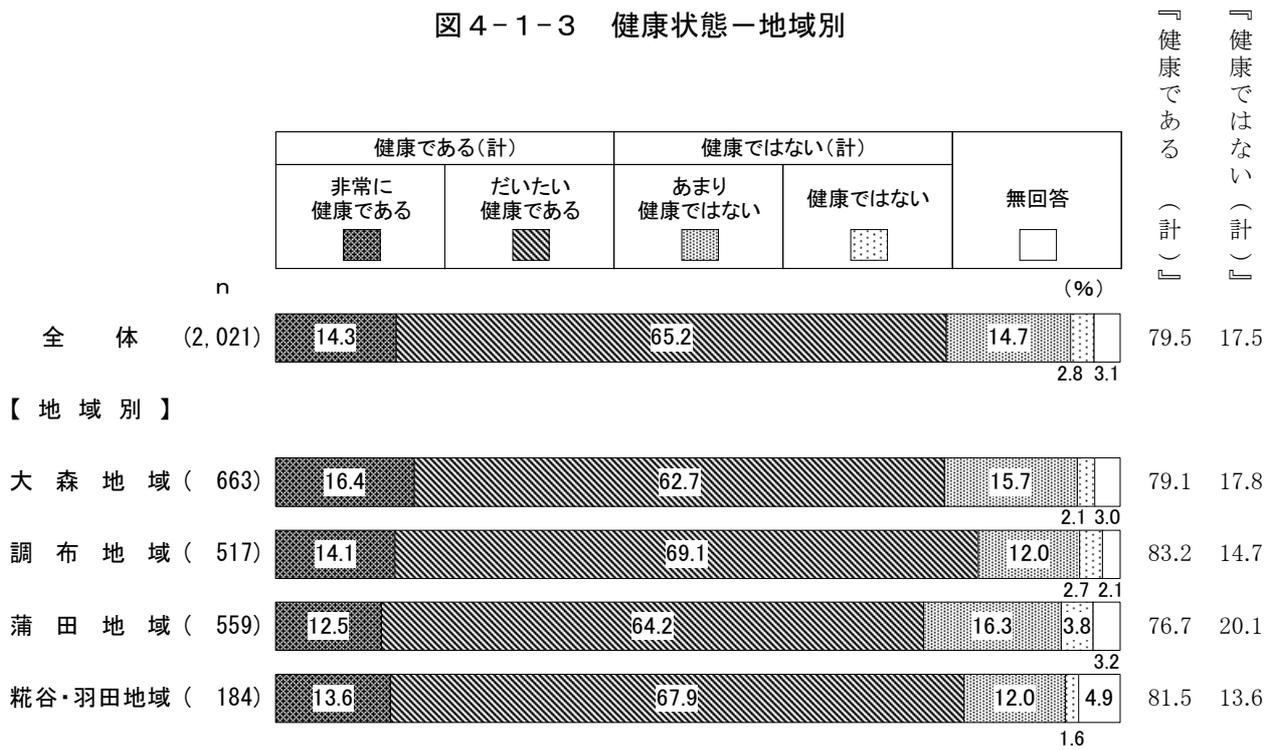
『健康である (計)』
『健康ではない (計)』



性別でみると、『健康である (計)』は女性 (81.4%) が男性 (78.0%) より3.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『健康である (計)』は女性10・20代 (89.3%) で約9割と高くなっている。一方、『健康ではない (計)』は女性70歳以上 (27.5%) と男性70歳以上 (27.0%) で3割近くと高くなっている。(図4-1-2)

図4-1-3 健康状態—地域別



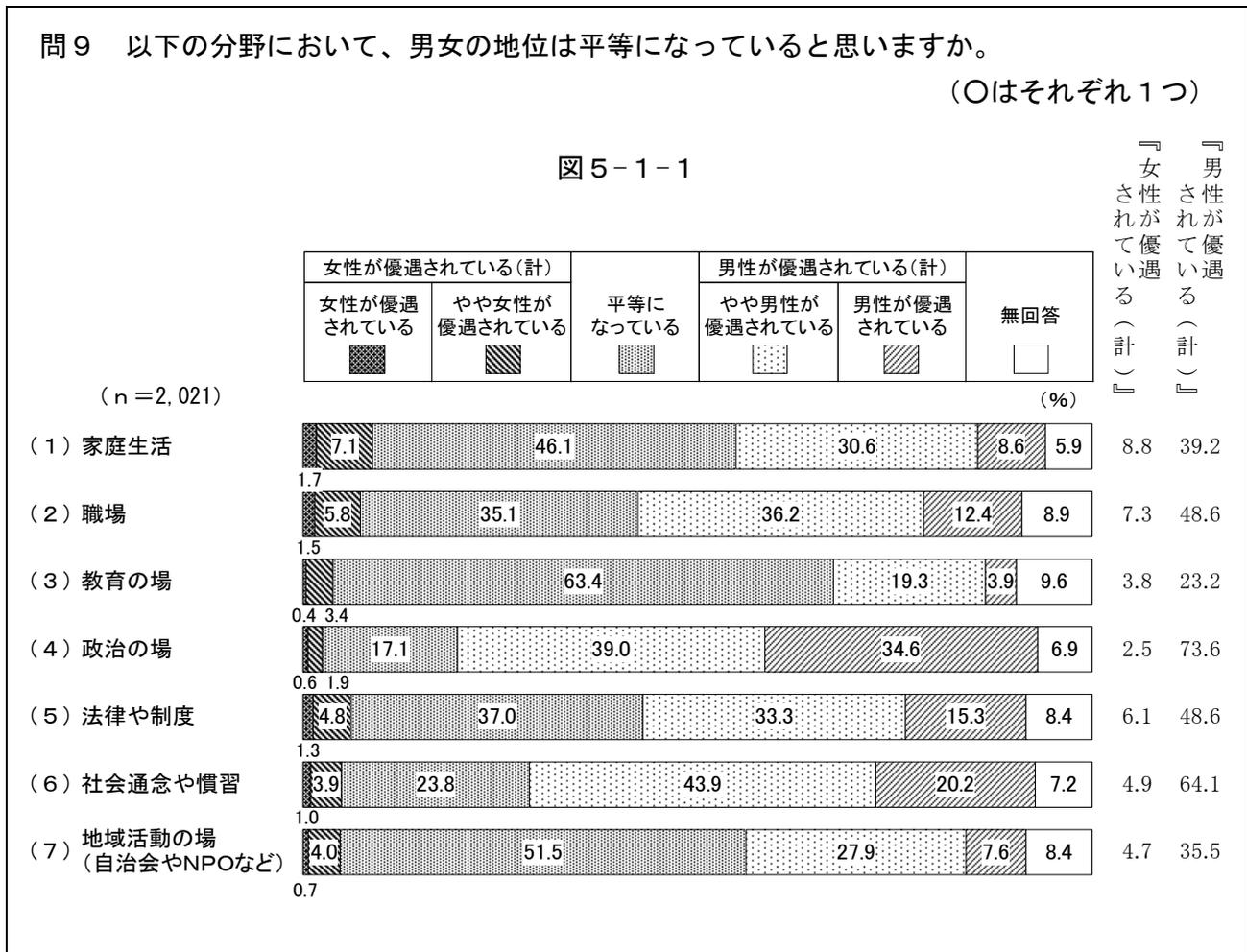
地域別でみると、『健康である(計)』は調布地域(83.2%)と糀谷・羽田地域(81.5%)で8割を超えて高くなっている。一方、『健康ではない(計)』は蒲田地域(20.1%)で2割と高くなっている。(図4-1-3)

5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち

(1) 男女の地位平等

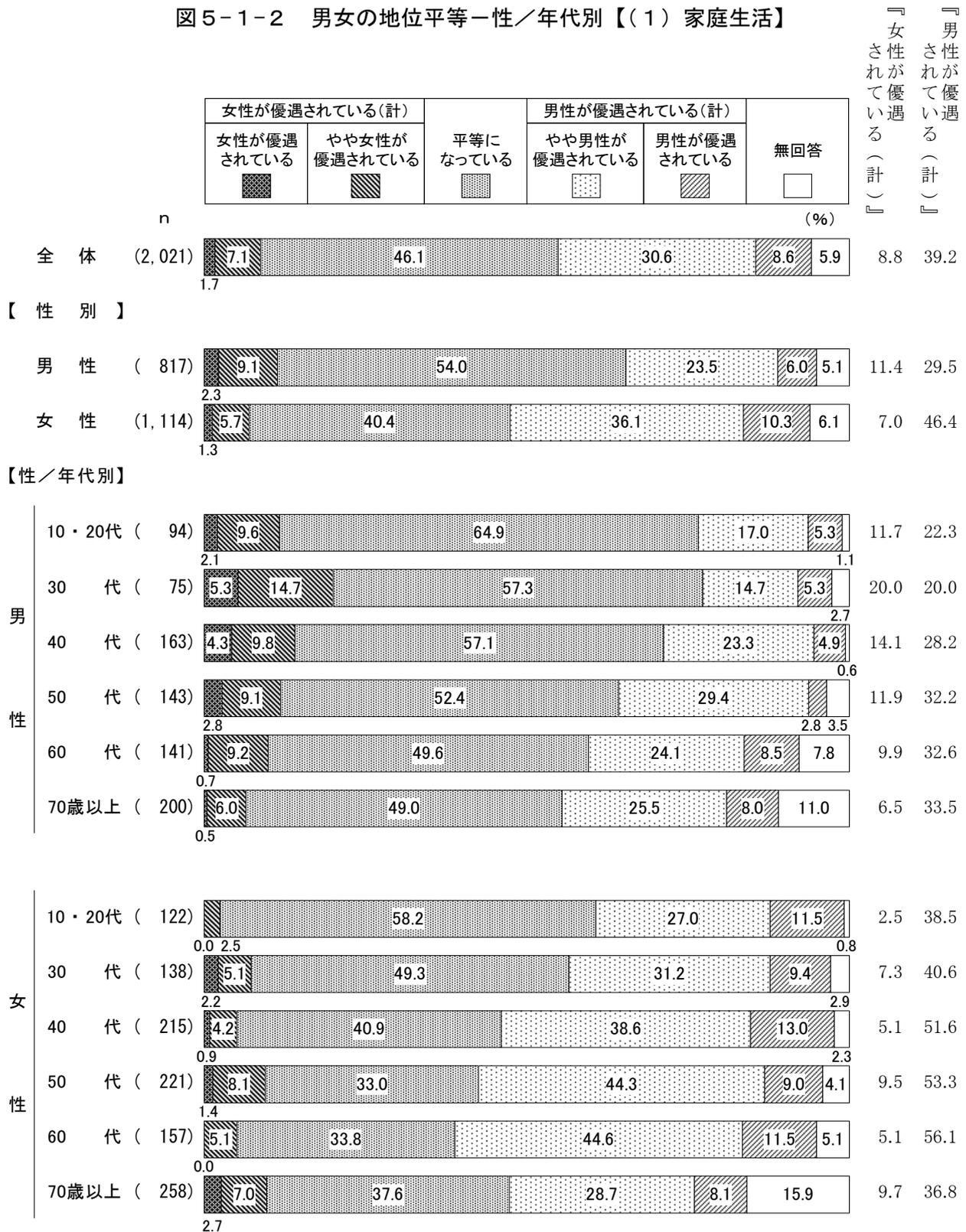
◇「平等になっている」は“教育の場”で6割を超える

『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”で7割を超える



男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている(計)』は全ての項目で1割未満となっている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”(73.6%)で7割を超え、“社会通念や慣習”(64.1%)で6割半ばと高くなっている。また、「平等になっている」は“教育の場”(63.4%)で6割を超え、“地域活動の場(自治会やNPOなど)”(51.5%)で5割を超えて高くなっている。(図5-1-1)

図5-1-2 男女の地位平等—性／年代別【(1) 家庭生活】

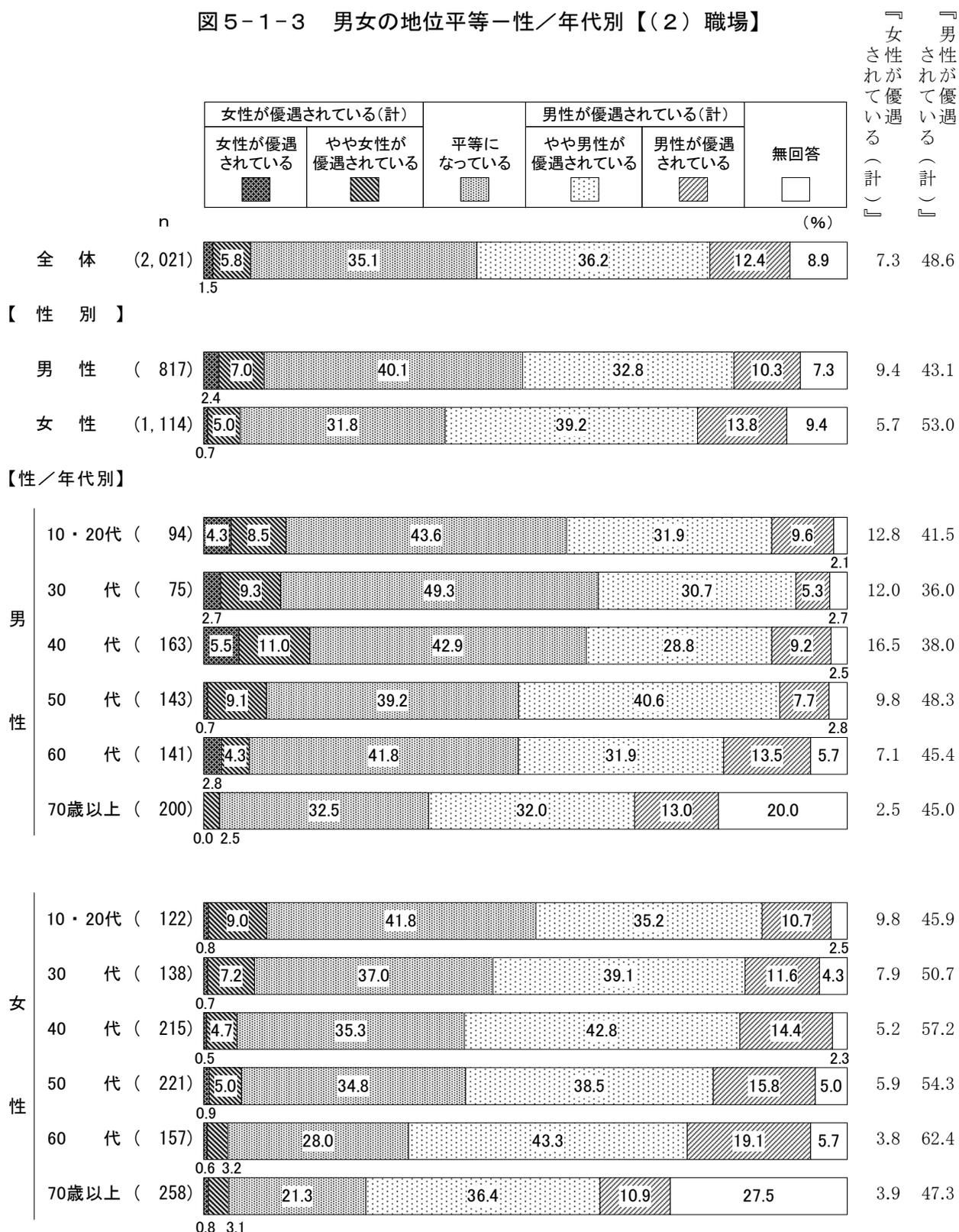


“家庭生活”を性別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性(46.4%)が男性(29.5%)より16.9ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(56.1%)で5割半ばと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(64.9%)で6割半ばと高くなっている。

(図5-1-2)

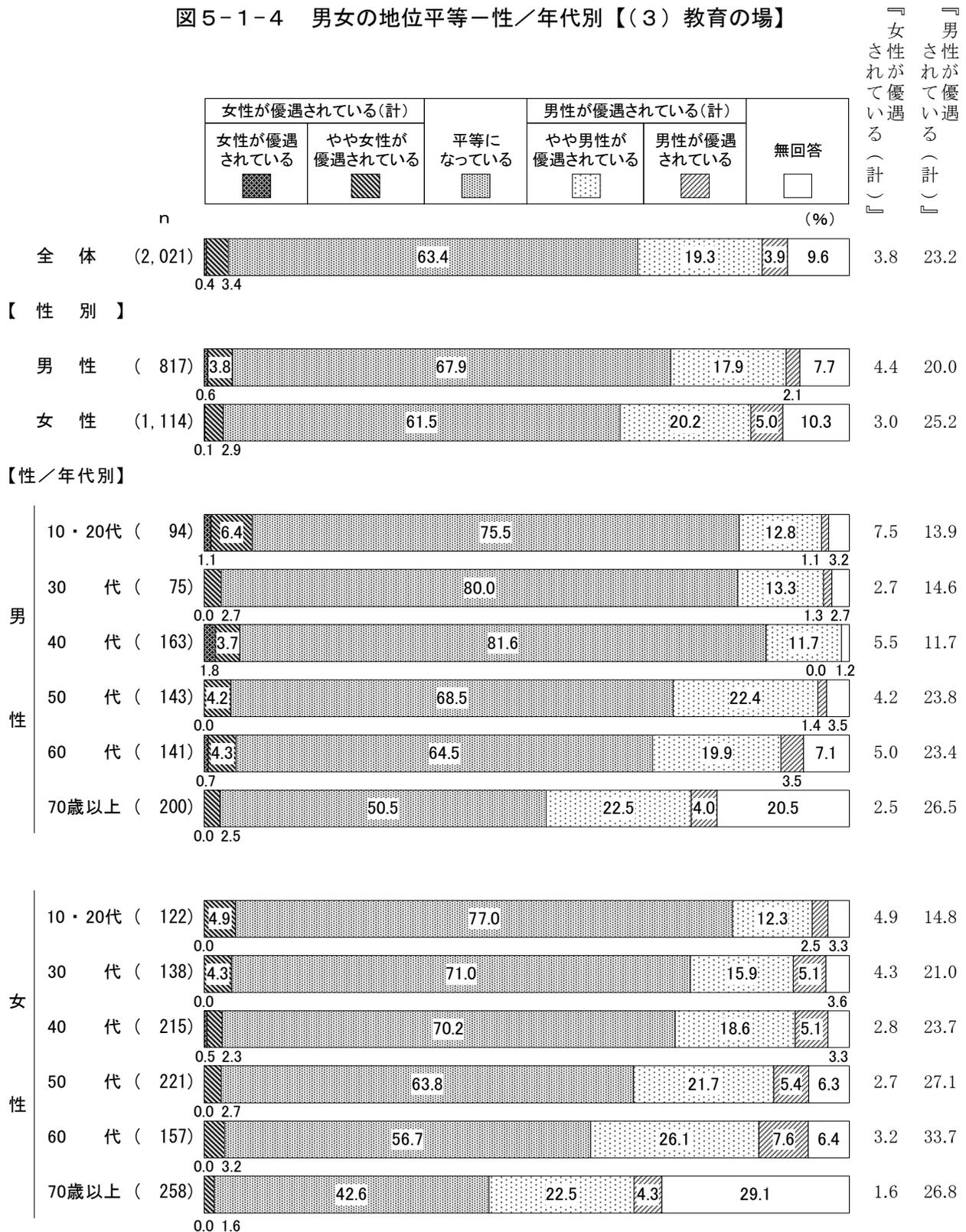
図5-1-3 男女の地位平等－性／年代別【(2) 職場】



“職場”を性別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性(53.0%)が男性(43.1%)より9.9ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(62.4%)で6割を超えて高くなっている。「平等になっている」は男性30代(49.3%)で約5割と高くなっている。(図5-1-3)

図5-1-4 男女の地位平等—性／年代別【(3) 教育の場】

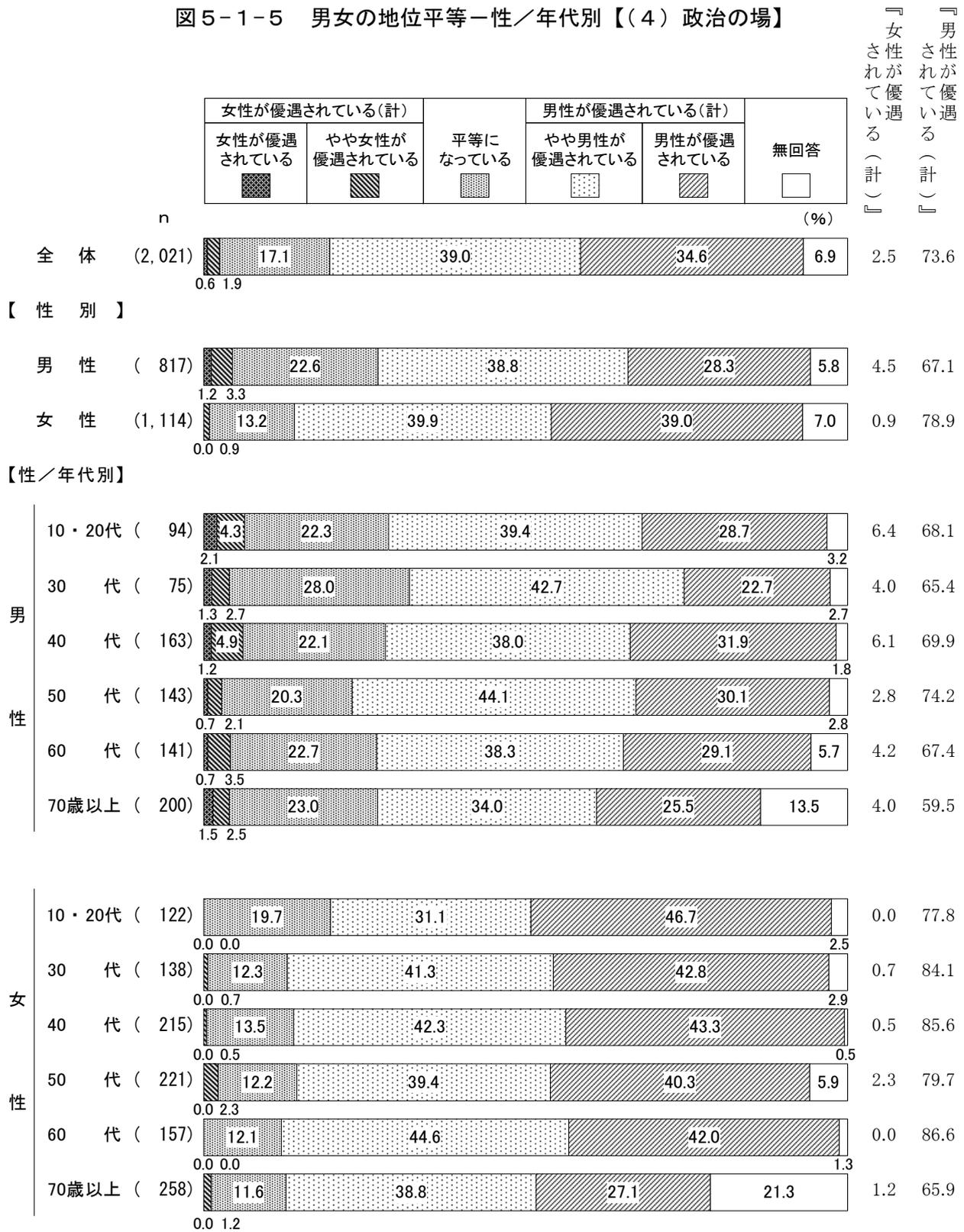


“教育の場”を性別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性(25.2%)が男性(20.0%)より5.2ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(33.7%)で3割を超えて高くなっている。「平等になっている」は男性40代(81.6%)で8割を超えて高くなっている。

(図5-1-4)

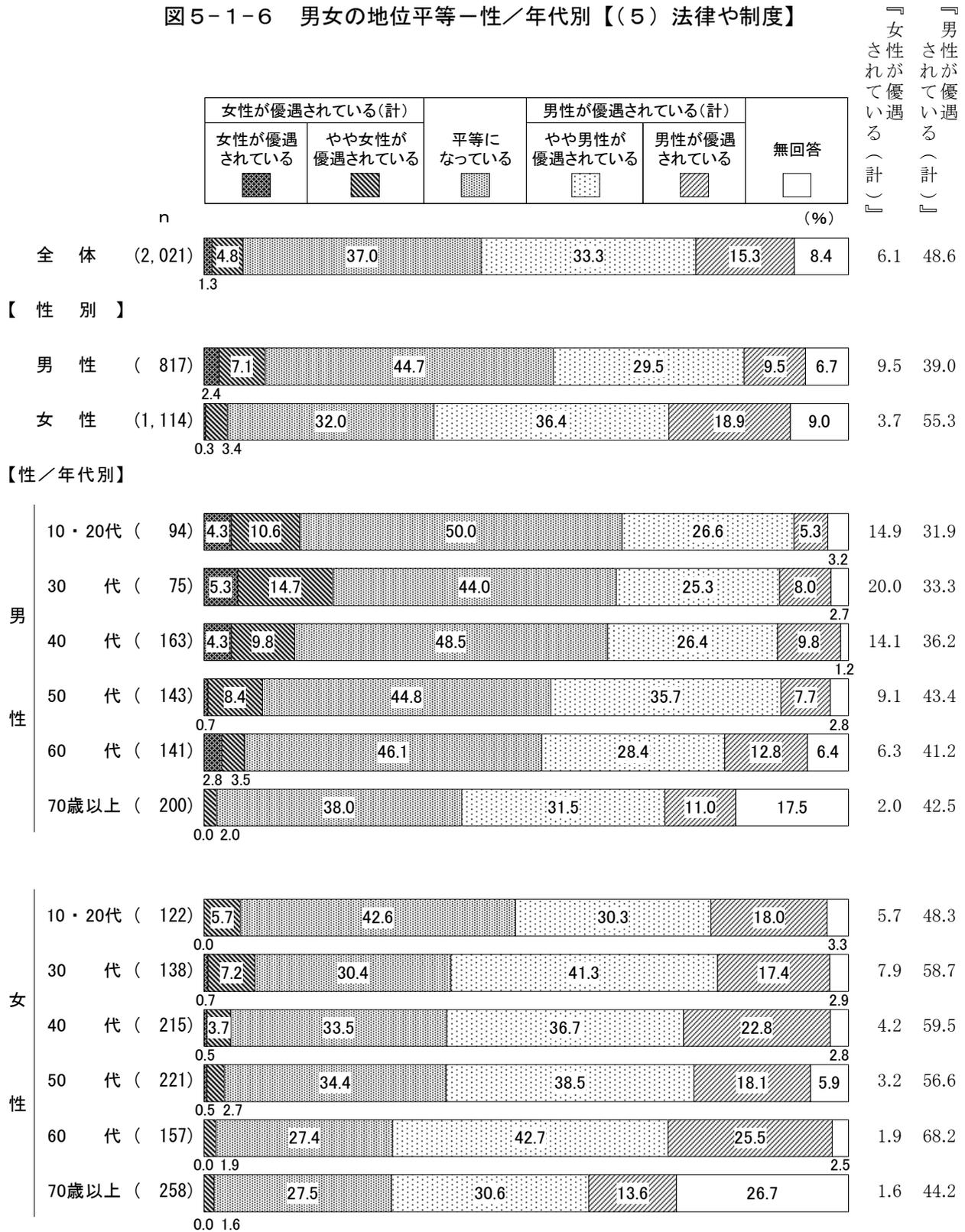
図5-1-5 男女の地位平等－性／年代別【(4) 政治の場】



“政治の場”を性別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性(78.9%)が男性(67.1%)より11.8ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(86.6%)で9割近くと高くなっている。「平等になっている」は男性30代(28.0%)で3割近くと高くなっている。(図5-1-5)

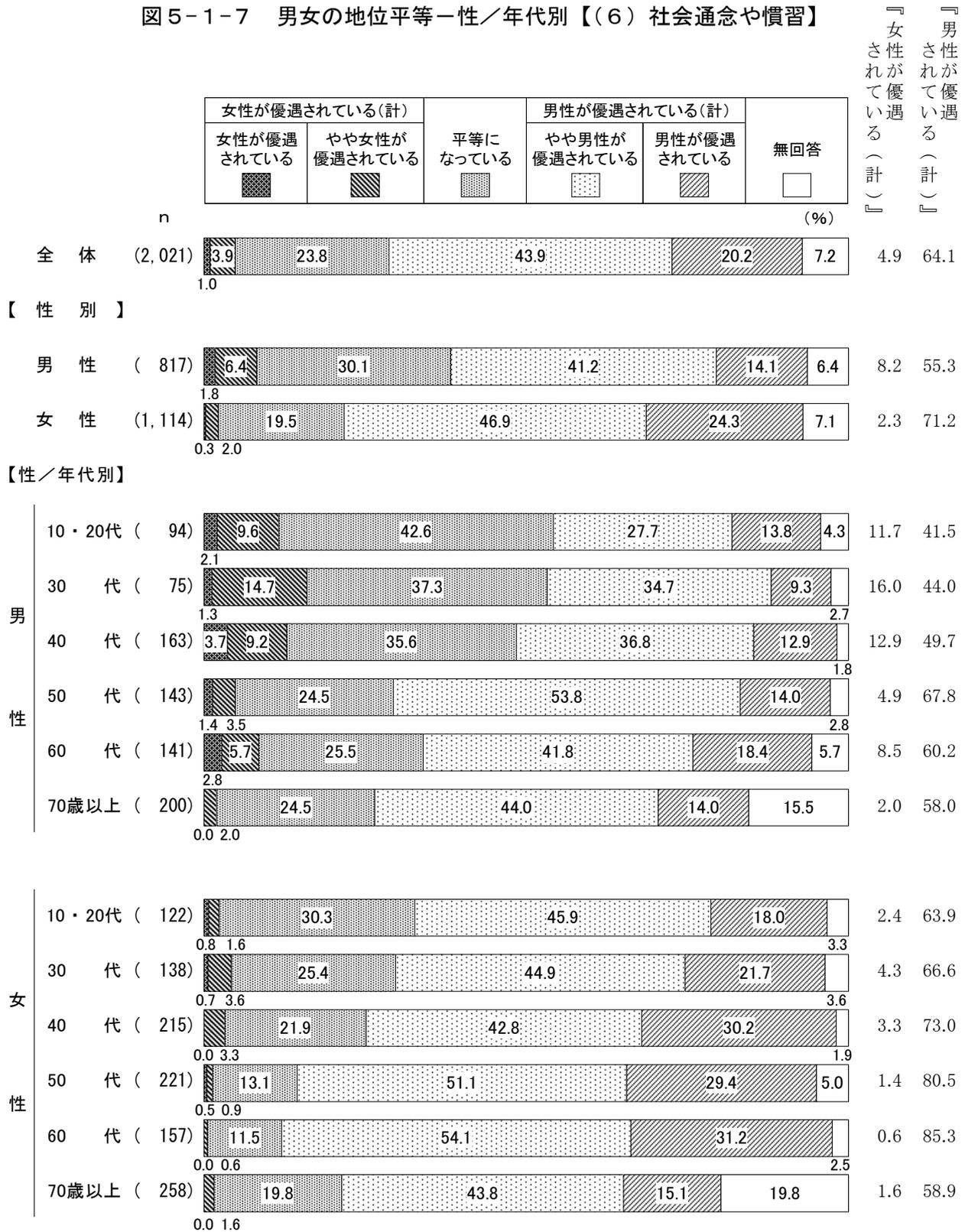
図5-1-6 男女の地位平等—性／年代別【(5) 法律や制度】



“法律や制度”を性別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性(55.3%)が男性(39.0%)より16.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(68.2%)で7割近くと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(50.0%)で5割と高くなっている。(図5-1-6)

図5-1-7 男女の地位平等—性／年代別【(6) 社会通念や慣習】

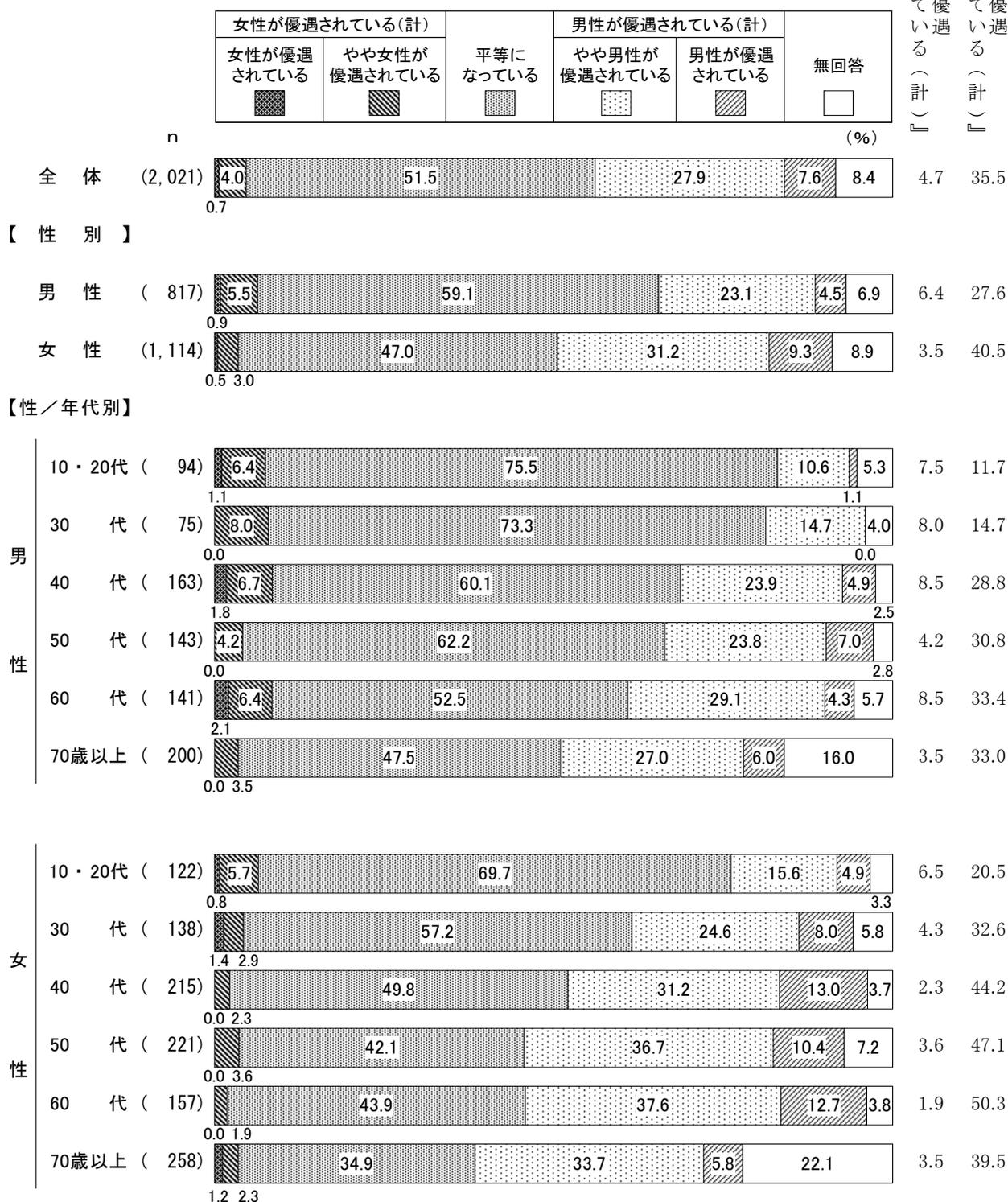


“社会通念や慣習”を性別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性(71.2%)が男性(55.3%)より15.9ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(85.3%)で8割半ばと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(42.6%)で4割を超えて高くなっている。

(図5-1-7)

図5-1-8 男女の地位平等—性／年代別【(7)地域活動の場(自治会やNPOなど)】 『女性』 『男性』
 『女性が優遇』 『男性が優遇』
 『されている(計)』 『されている(計)』



“地域活動の場(自治会やNPOなど)”を性別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性(40.5%)が男性(27.6%)より12.9ポイント高くなっている。

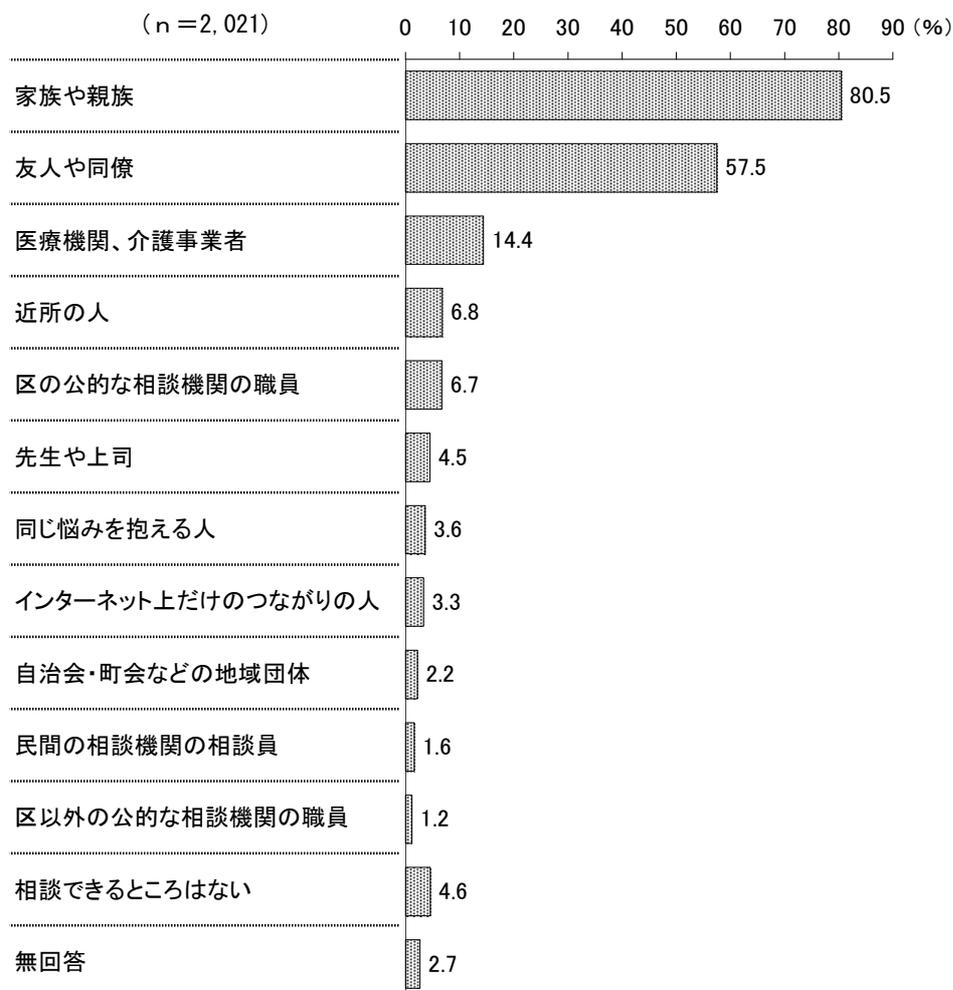
性／年代別で見ると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(50.3%)で5割と高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(75.5%)で7割半ばと高くなっている。(図5-1-8)

(2) 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先

◇「家族や親族」が約8割

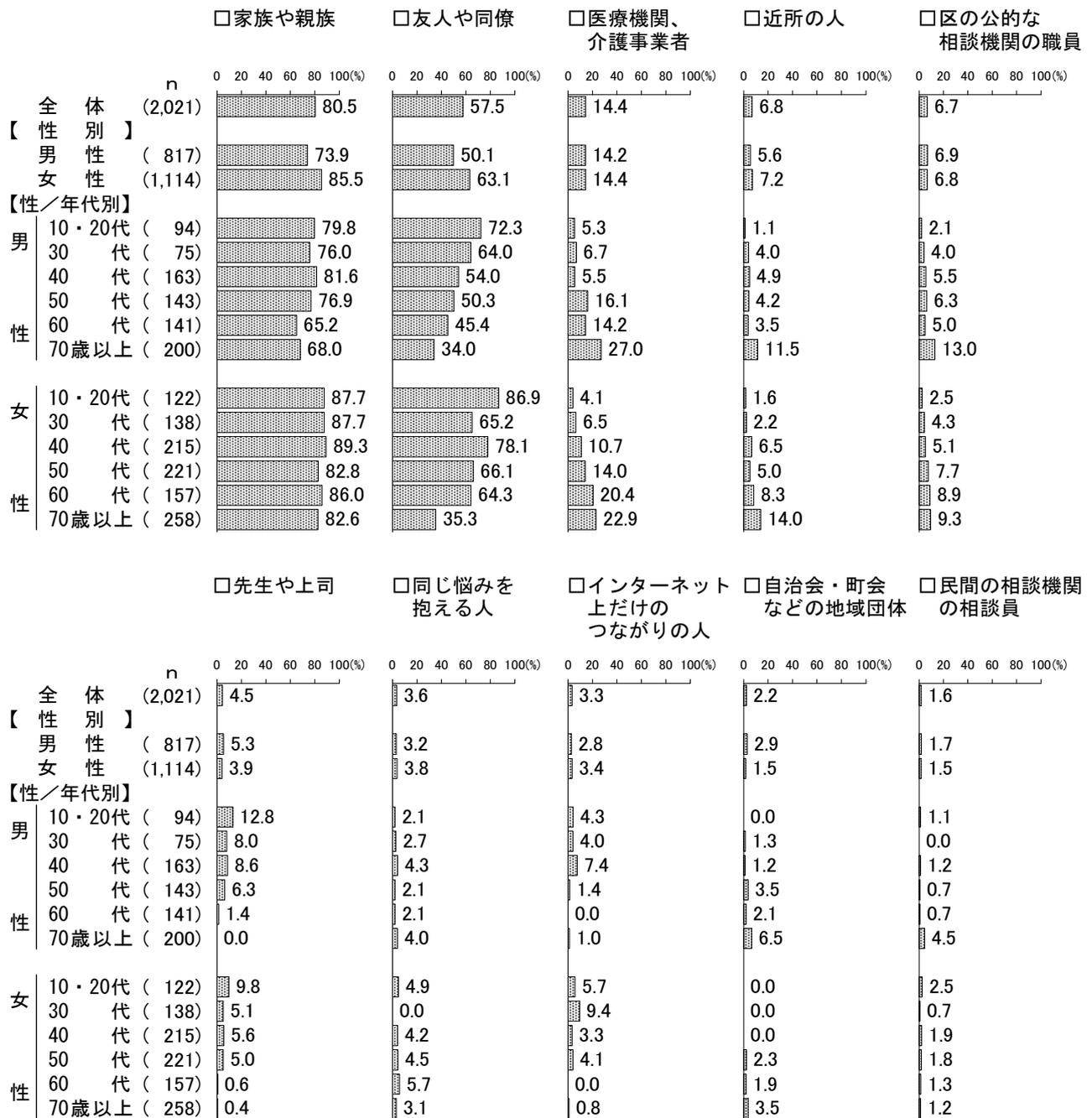
問10 あなたは、日々の暮らしで困りごとや心配ごとがあった場合、主に誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

図5-2-1



日々の暮らしで困りごとや心配ごとがあった場合、主に誰に相談しているか聞いたところ、「家族や親族」(80.5%)が約8割で最も高く、次いで「友人や同僚」(57.5%)、「医療機関、介護事業者」(14.4%)などの順になっている。(図5-2-1)

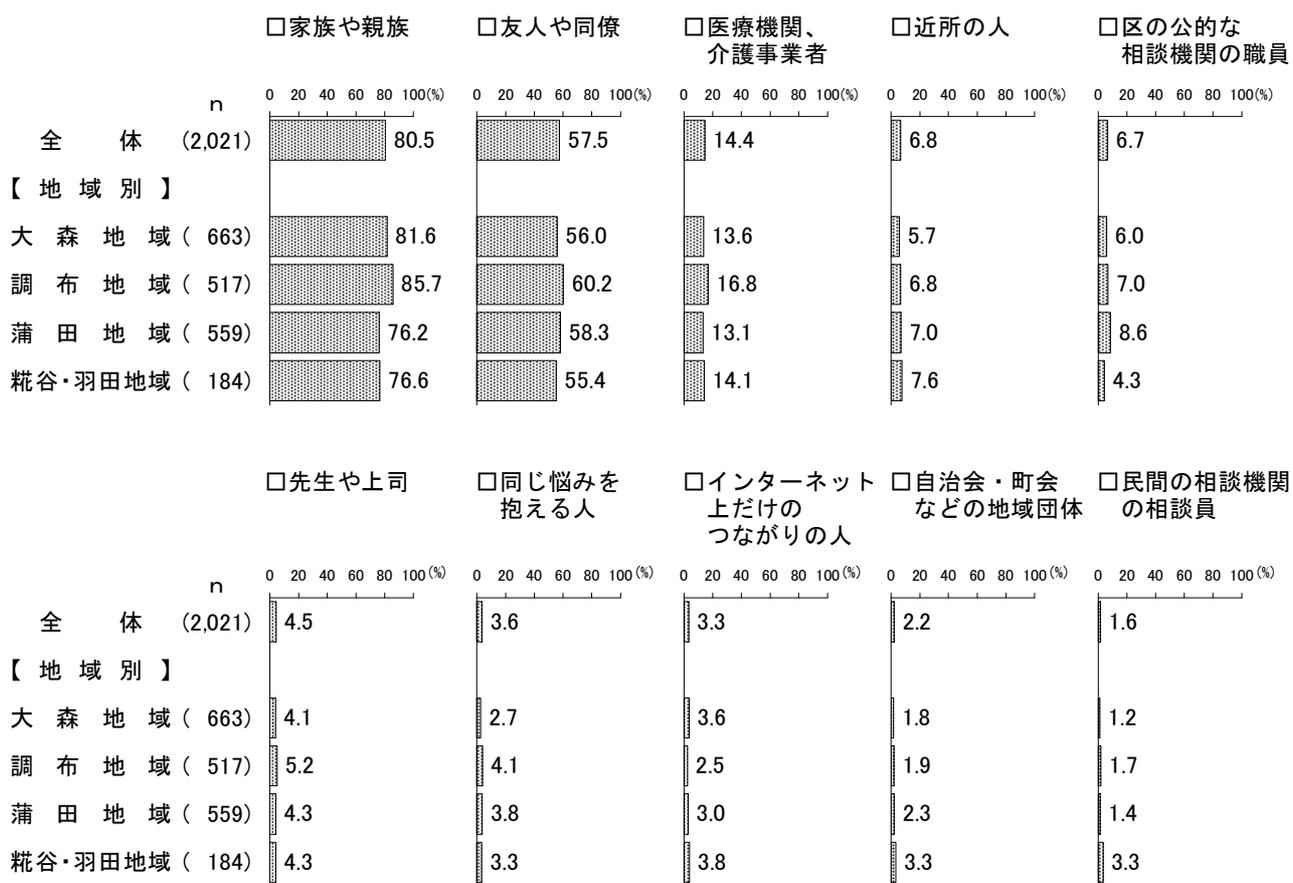
図5-2-2 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、「友人や同僚」は女性（63.1%）が男性（50.1%）より13.0ポイント、「家族や親族」は女性（85.5%）が男性（73.9%）より11.6ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別で見ると、「家族や親族」は女性40代（89.3%）で約9割と高くなっている。「友人や同僚」は女性10・20代（86.9%）で9割近くと高くなっている。「医療機関、介護事業者」は男性70歳以上（27.0%）で3割近くと高くなっている。（図5-2-2）

図5-2-3 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先—地域別（上位10項目）



上位10項目を地域別で見ると、「家族や親族」は調布地域（85.7%）で8割半ばと高くなっている。「友人や同僚」は調布地域（60.2%）で6割と高くなっている。（図5-2-3）

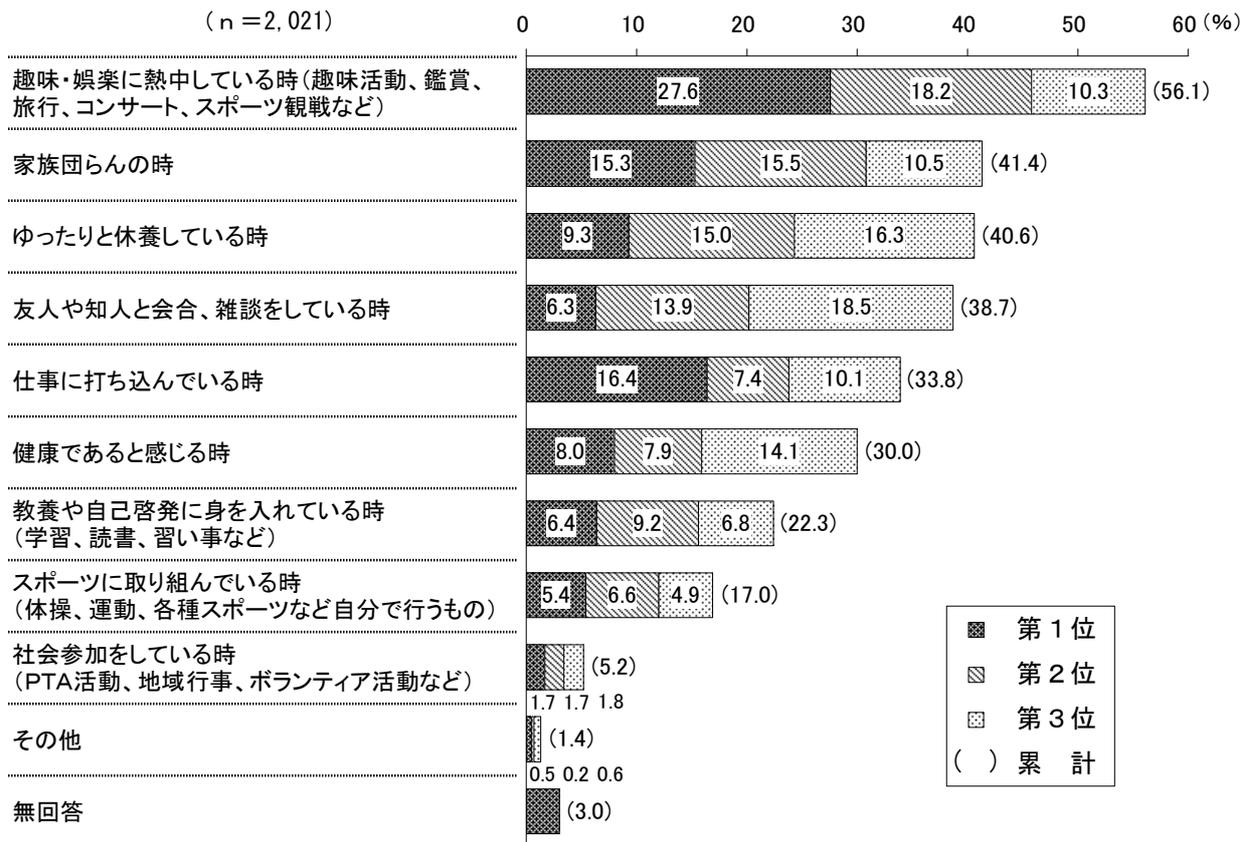
6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち

(1) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時

◇第1位から第3位までを合わせた《累計》では「趣味・娯楽に熱中している時」が5割半ば

問11 日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時ですか。
(1位から3位まで1つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください)

図6-1-1

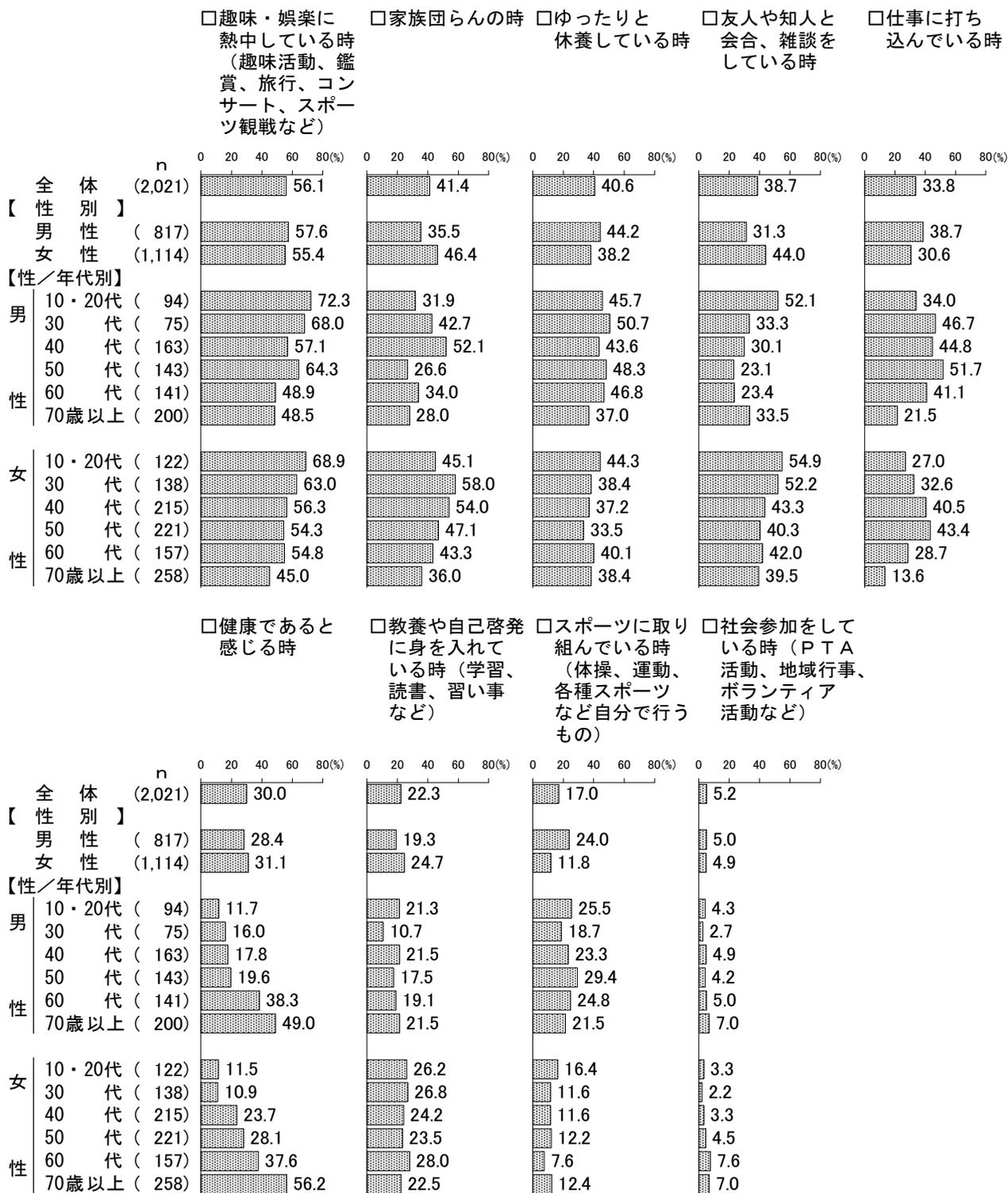


日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時か聞いたところ、第1位では「趣味・娯楽に熱中している時(趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など)」(27.6%)が3割近くで最も高く、次いで「仕事に打ち込んでいる時」(16.4%)、「家族団らんの時」(15.3%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》で見ると、「趣味・娯楽に熱中している時(趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など)」(56.1%)が5割半ばで最も高く、次いで「家族団らんの時」(41.4%)、「ゆったりと休養している時」(40.6%)、「友人や知人と会合、雑談をしている時」(38.7%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「家事をしている時」、「子育てをしている時」、「ペットと過ごしている時」などがあげられている。(図6-1-1)

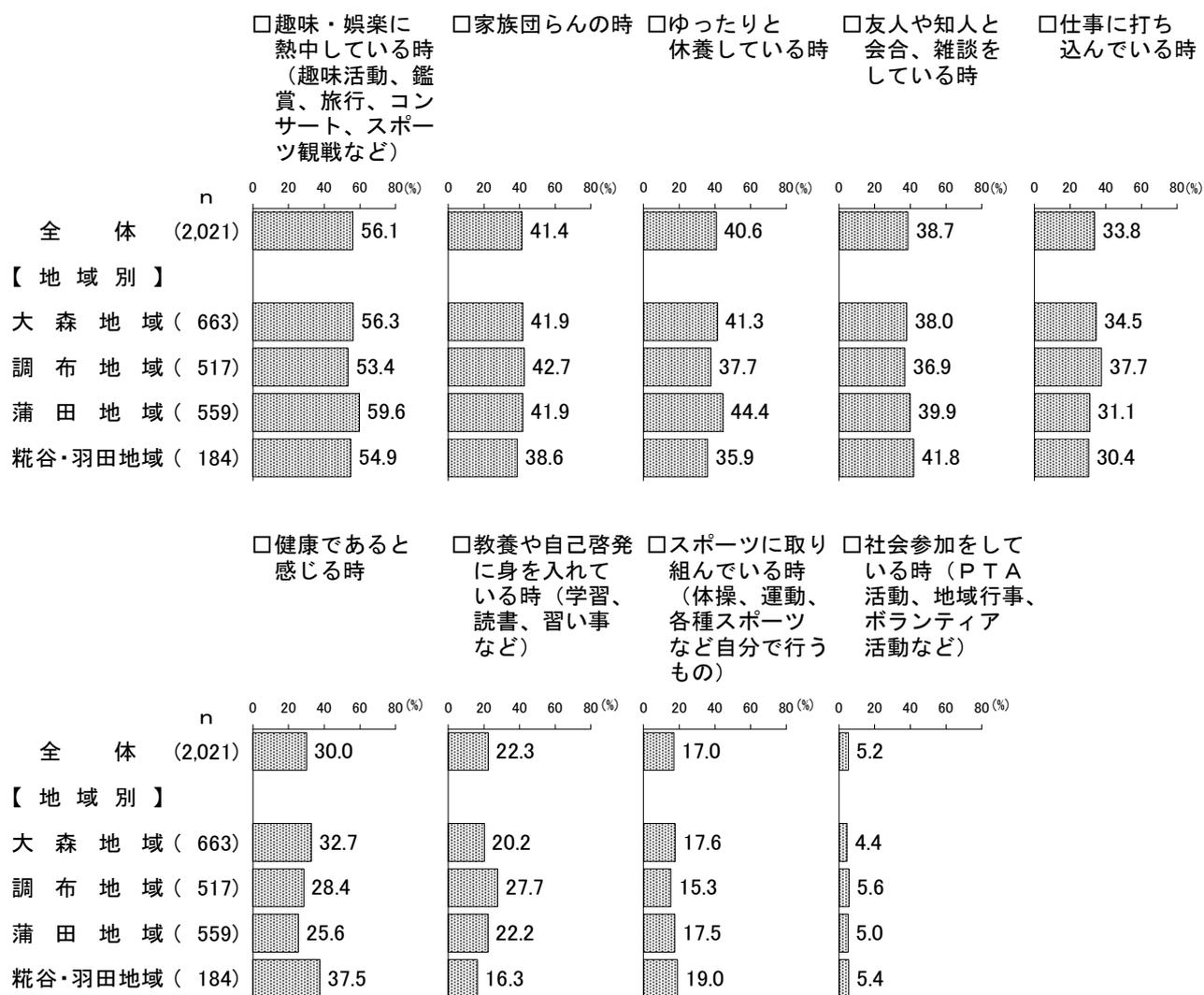
図6-1-2 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時—性／年代別（累計）



性別でみると、「友人や知人と会合、雑談をしている時」は女性（44.0%）が男性（31.3%）より12.7ポイント高くなっている。一方、「スポーツに取り組んでいる時」は男性（24.0%）が女性（11.8%）より12.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「趣味・娯楽に熱中している時」は男性10・20代（72.3%）で7割を超えて高くなっている。「家族団らんの時」は女性30代（58.0%）で6割近くと高くなっている。「健康であると感じる時」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（56.2%）で5割半ばとなっている。（図6-1-2）

図6-1-3 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時—地域別（累計）



地域別でみると、「趣味・娯楽に熱中している時」は蒲田地域（59.6%）で6割と高くなっている。「ゆったりと休養している時」は蒲田地域（44.4%）で4割半ばと高くなっている。「友人や知人と会合、雑談をしている時」は糞谷・羽田地域（41.8%）で4割を超えて高くなっている。

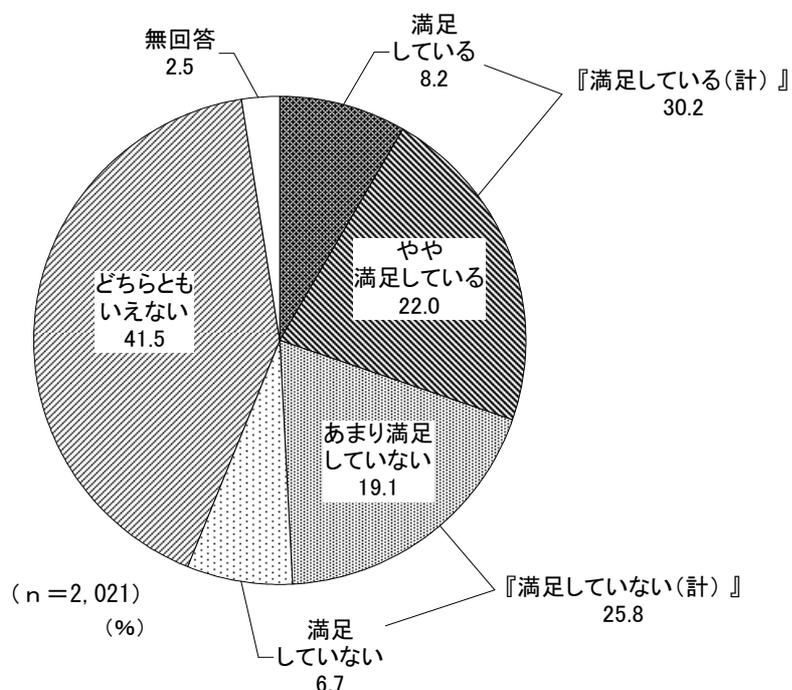
(図6-1-3)

(2) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度

◇「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している(計)』は3割

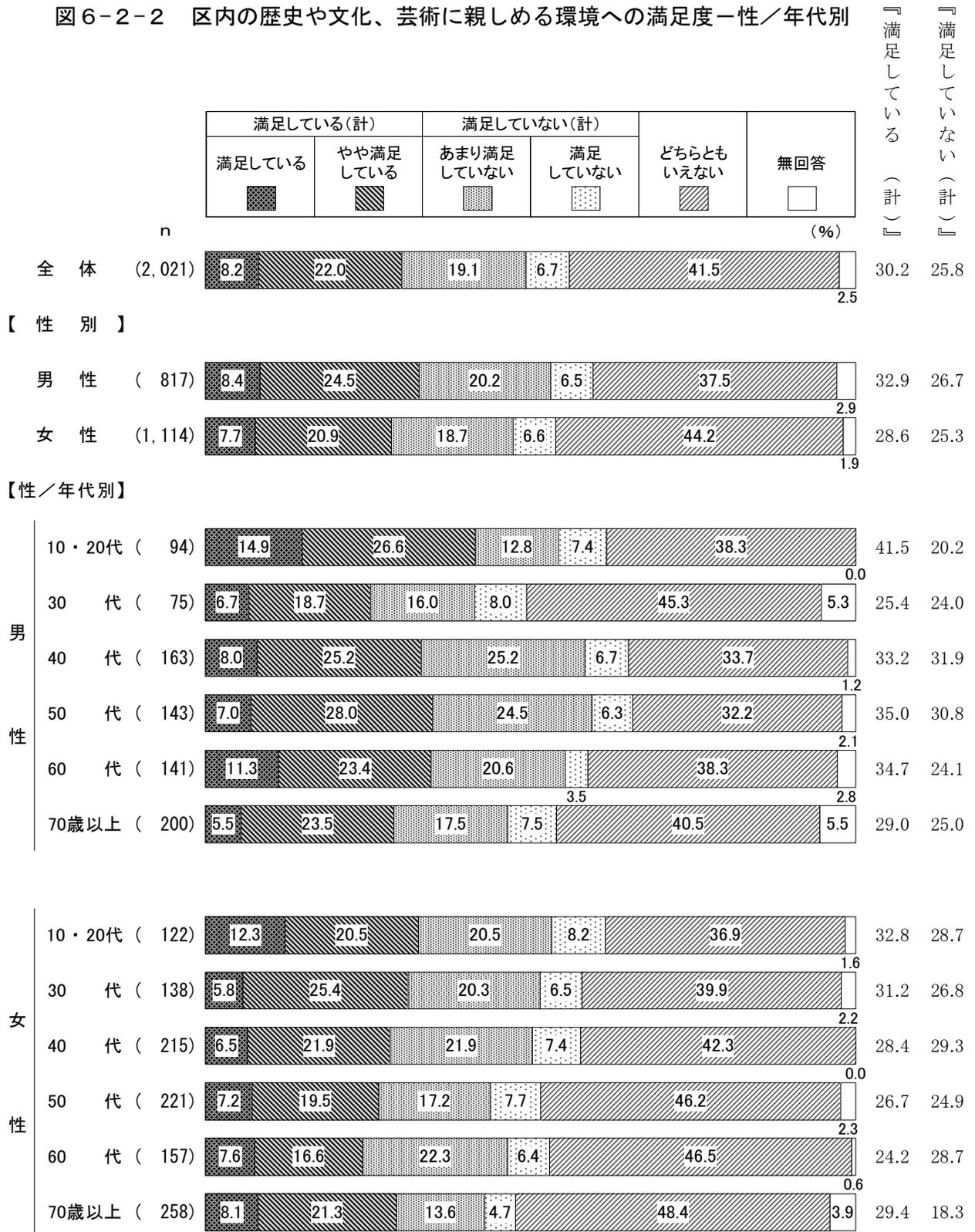
問12 あなたは、区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境に満足していますか。(○は1つだけ)

図6-2-1



区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度を聞いたところ、「満足している」(8.2%)と「やや満足している」(22.0%)を合わせた『満足している(計)』(30.2%)は3割となっている。一方、「あまり満足していない」(19.1%)と「満足していない」(6.7%)を合わせた『満足していない(計)』(25.8%)は2割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(41.5%)は4割を超えている。(図6-2-1)

図6-2-2 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度－性／年代別

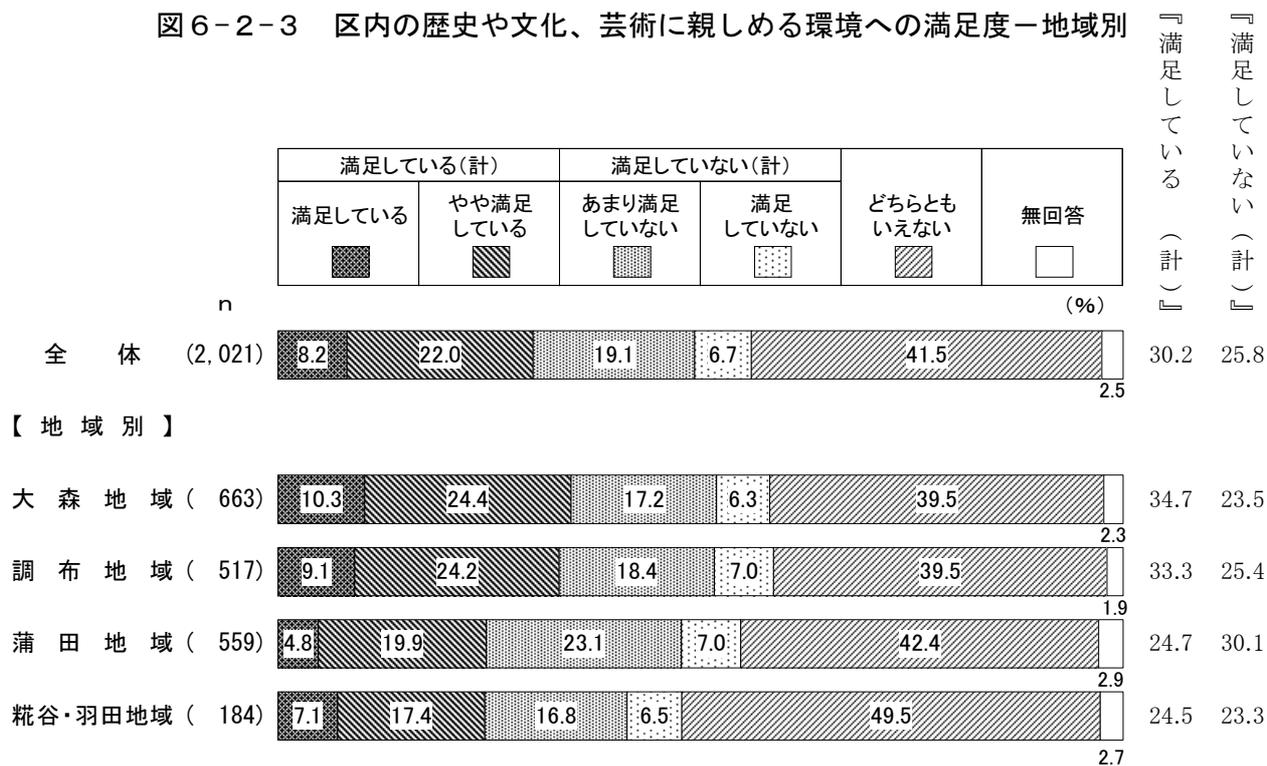


性別でみると、『満足している（計）』は男性（32.9%）が女性（28.6%）より4.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『満足している（計）』は男性10・20代（41.5%）で4割を超えて高くなっている。一方、『満足していない（計）』は男性40代（31.9%）で3割を超えて高くなっている。

（図6-2-2）

図6-2-3 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度—地域別



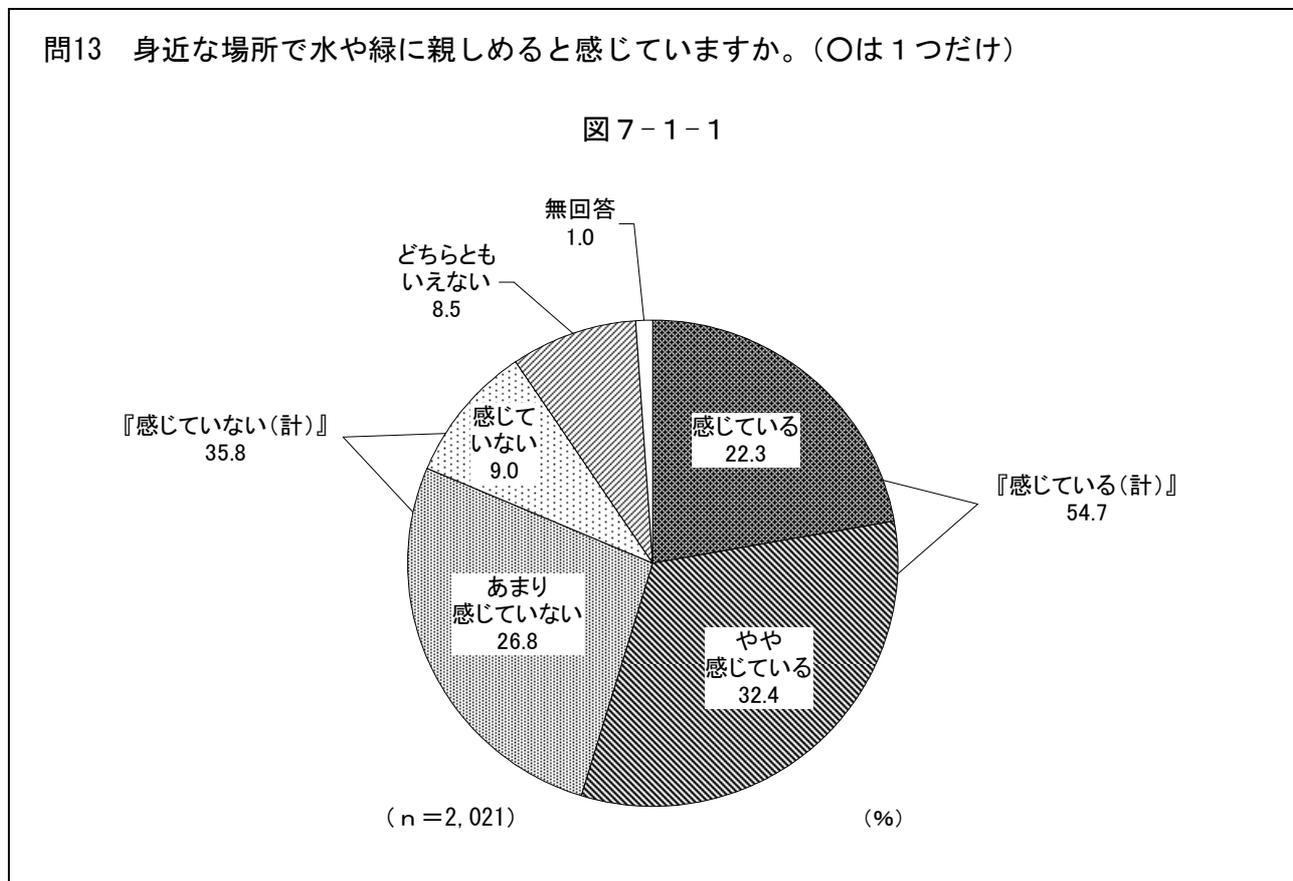
地域別でみると、『満足している (計)』は大森地域 (34.7%) で3割半ばと高くなっている。一方、『満足していない (計)』は蒲田地域 (30.1%) で3割と高くなっている。(図6-2-3)

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち

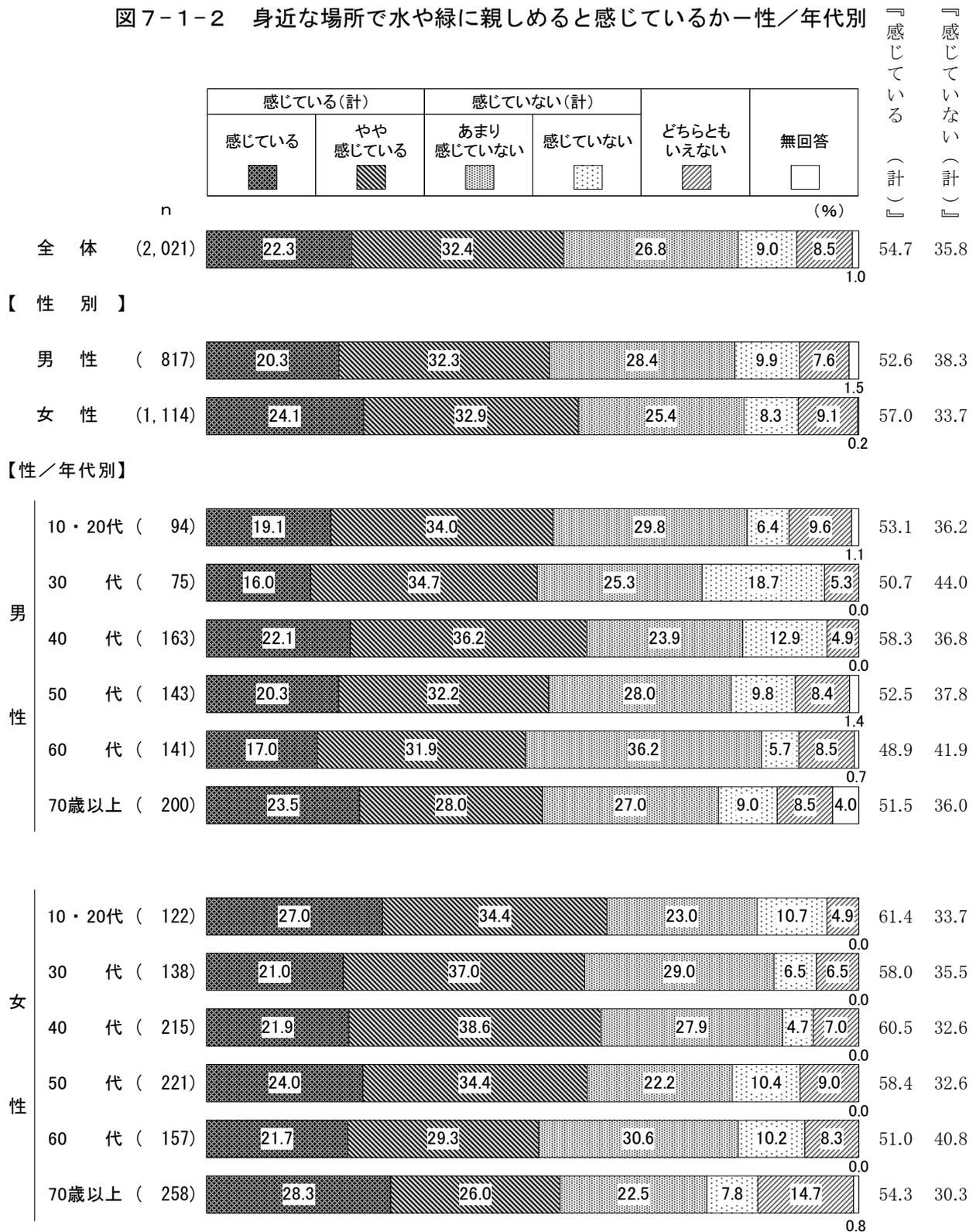
(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は5割半ば



身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(22.3%)と「やや感じている」(32.4%)を合わせた『感じている(計)』(54.7%)は5割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(26.8%)と「感じていない」(9.0%)を合わせた『感じていない(計)』(35.8%)は3割半ばとなっている。(図7-1-1)

図 7-1-2 身近な場所で水や緑に親しめると感じているかー性／年代別

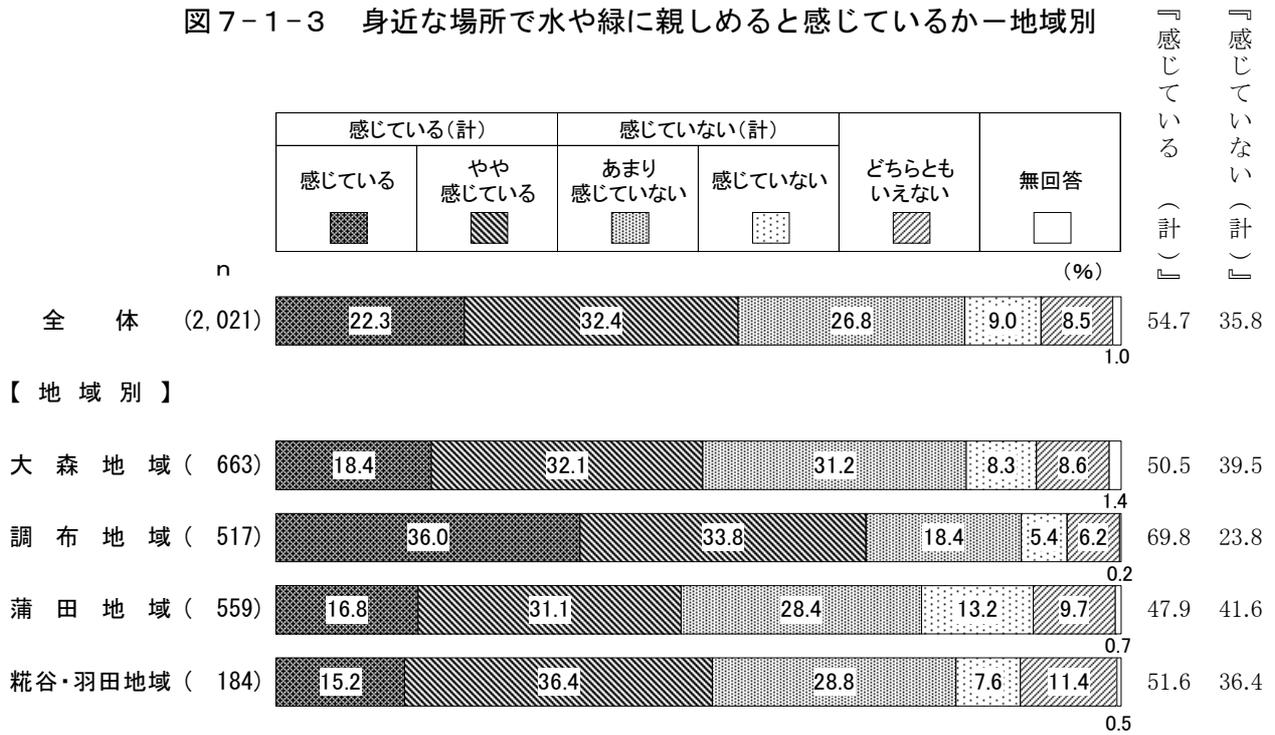


性別で見ると、『感じている (計)』は女性 (57.0%) が男性 (52.6%) より4.4ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『感じている (計)』は女性10・20代 (61.4%) で6割を超えて高くなっている。一方、『感じていない (計)』は男性30代 (44.0%) で4割半ばと高くなっている。

(図 7-1-2)

図 7-1-3 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか—地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(69.8%)で7割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は蒲田地域(41.6%)で4割を超えて高くなっている。(図7-1-3)

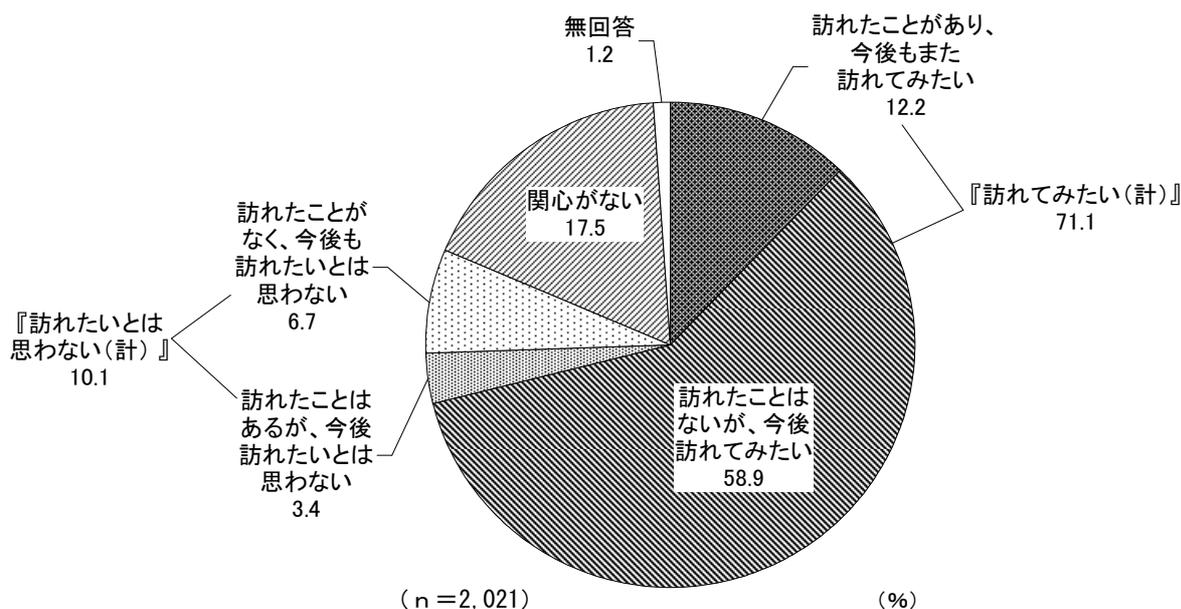
8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち

(1) 羽田空港跡地について、どう感じているか

◇「訪れたことがあり、今後もまた訪れてみたい」と「訪れたことはないが、今後訪れてみたい」を合わせた『訪れてみたい(計)』は7割を超える

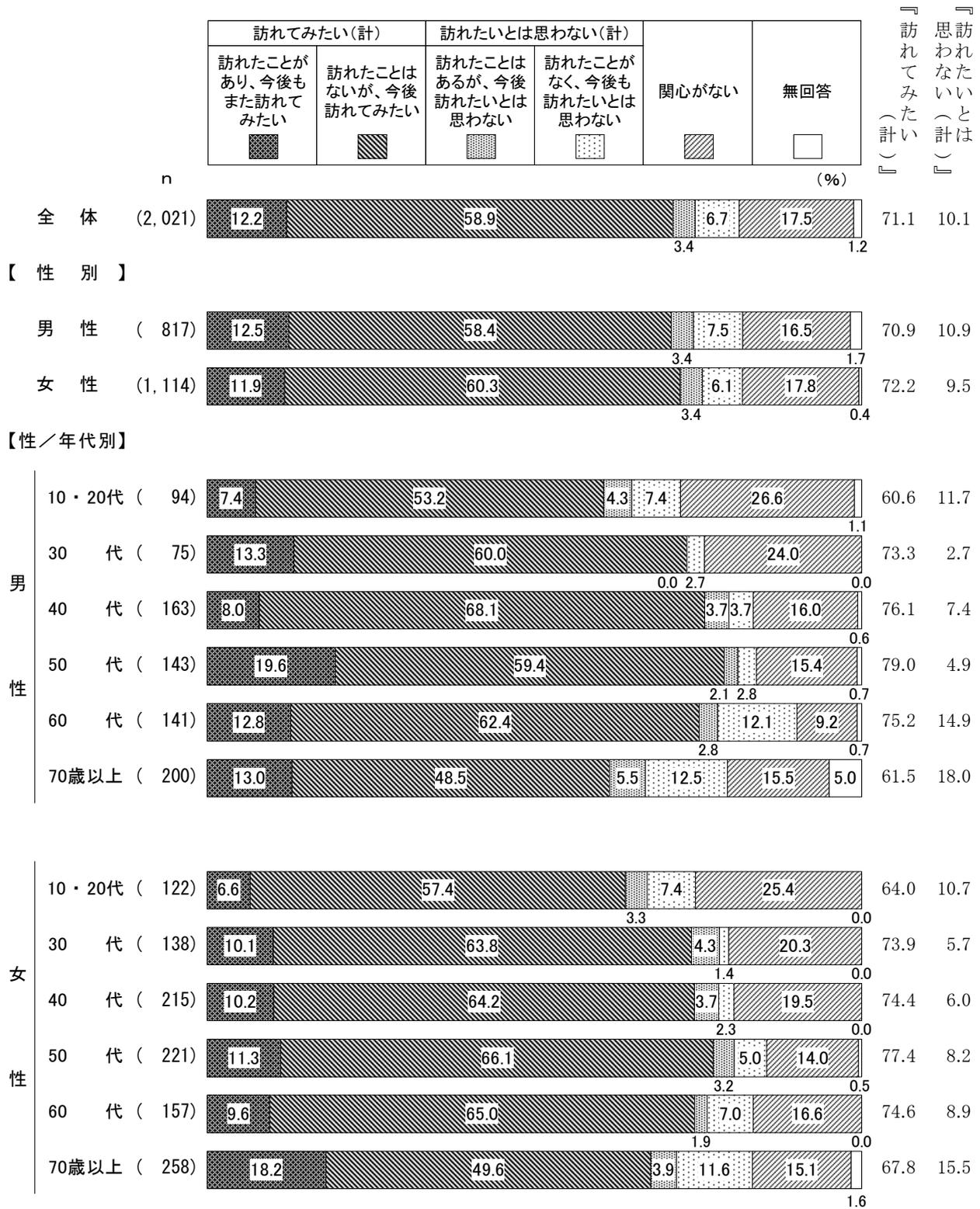
問14 本格的に稼働を始める羽田空港跡地 (HANEDA GLOBAL WINGS)について、どのように感じていますか。(〇は1つだけ)

図8-1-1



羽田空港跡地についてどのように感じているか聞いたところ、「訪れたことはないが、今後訪れてみたい」(58.9%)が6割近くで最も高く、これに「訪れたことがあり、今後もまた訪れてみたい」(12.2%)を合わせた『訪れてみたい(計)』(71.1%)は7割を超えている。一方、「訪れたことはあるが、今後訪れたいとは思わない」(3.4%)と「訪れたことがなく、今後も訪れたいとは思わない」(6.7%)を合わせた『訪れないとは思わない(計)』(10.1%)は1割となっている。また、「関心がない」(17.5%)は2割近くとなっている。(図8-1-1)

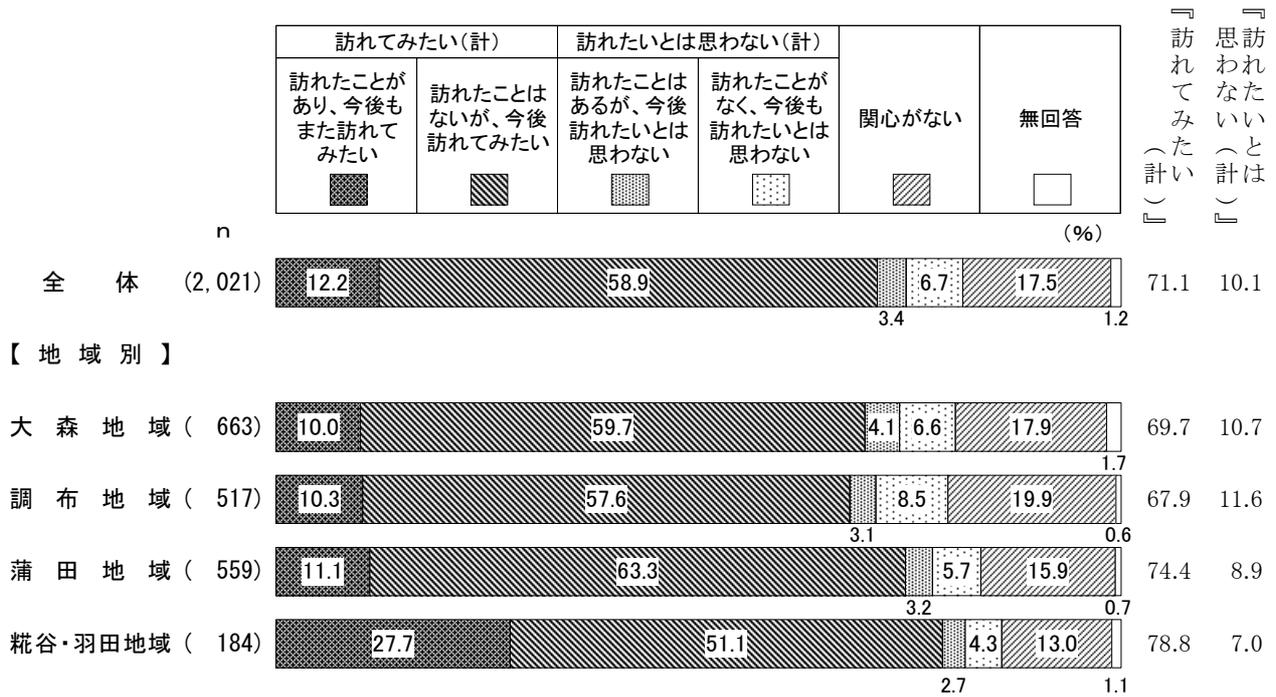
図8-1-2 羽田空港跡地について、どう感じているかー性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『訪れてみたい(計)』は男性50代(79.0%)で約8割と高くなっている。「関心がない」は男性10・20代(26.6%)で3割近くと高くなっている。(図8-1-2)

図8-1-3 羽田空港跡地について、どう感じているか—地域別



地域別でみると、『訪れてみたい (計)』は糞谷・羽田地域 (78.8%) で8割近くと高くなっている。「関心がない」は調布地域 (19.9%) で2割となっている。(図8-1-3)

9. 持続可能な国際交流・多文化共生

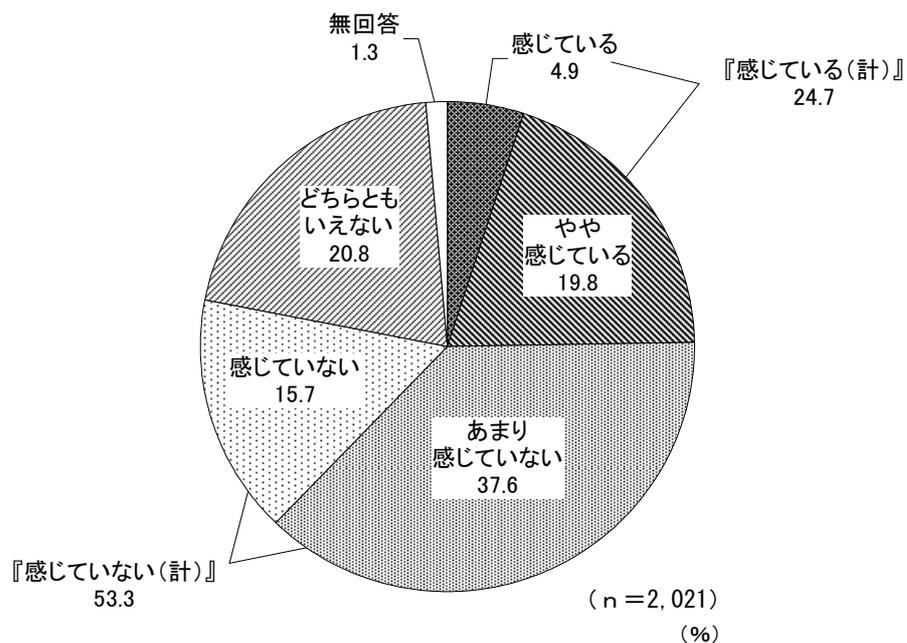
(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は2割半ば

問15 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(○は1つだけ)

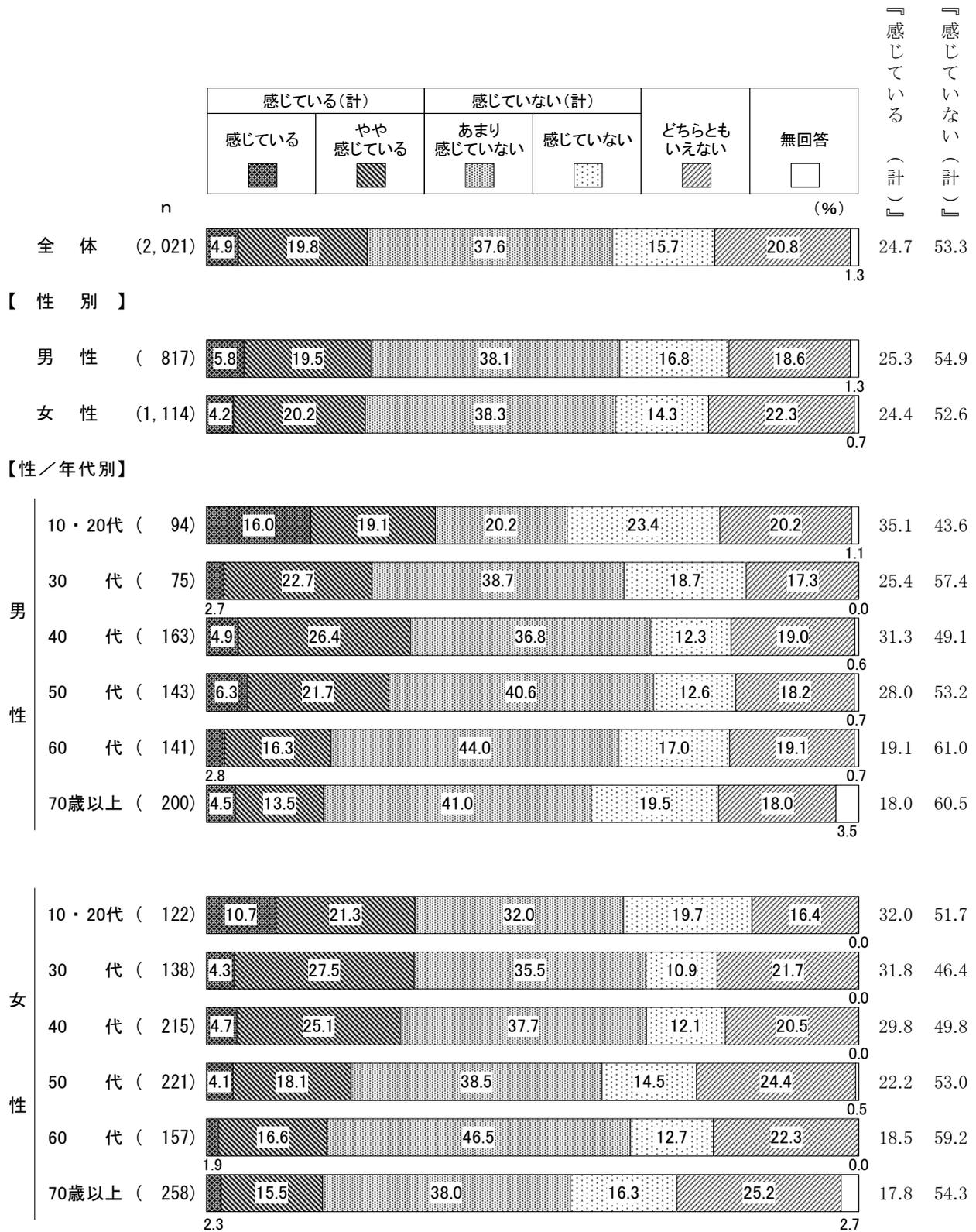
※多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

図9-1-1



大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(4.9%)と「やや感じている」(19.8%)を合わせた『感じている(計)』(24.7%)は2割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(37.6%)と「感じていない」(15.7%)を合わせた『感じていない(計)』(53.3%)は5割を超えている。(図9-1-1)

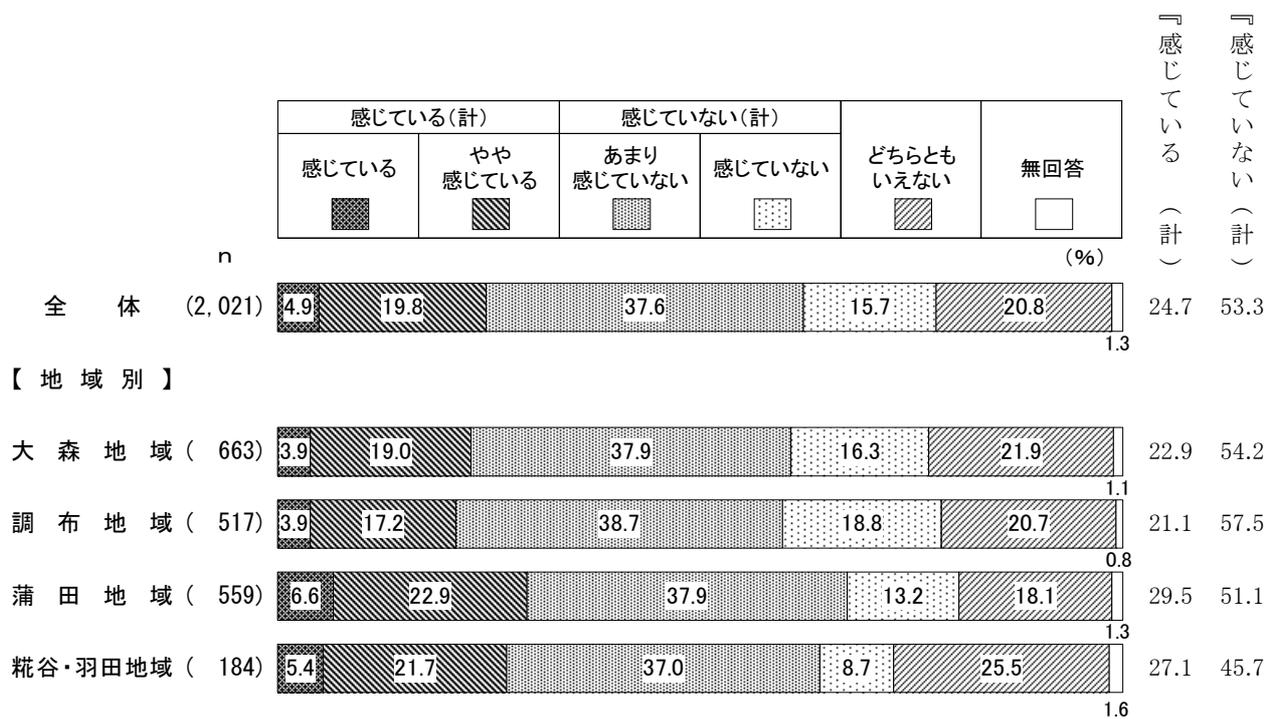
図9-1-2 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー性／年代別



性別でみると、「どちらともいえない」は女性（22.3%）が男性（18.6%）より3.7ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている（計）』は男性10・20代（35.1%）で3割半ばと高くなっている。一方、『感じていない（計）』は男性60代（61.0%）と男性70歳以上（60.5%）で6割台と高くなっている。（図9-1-2）

図9-1-3 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー地域別



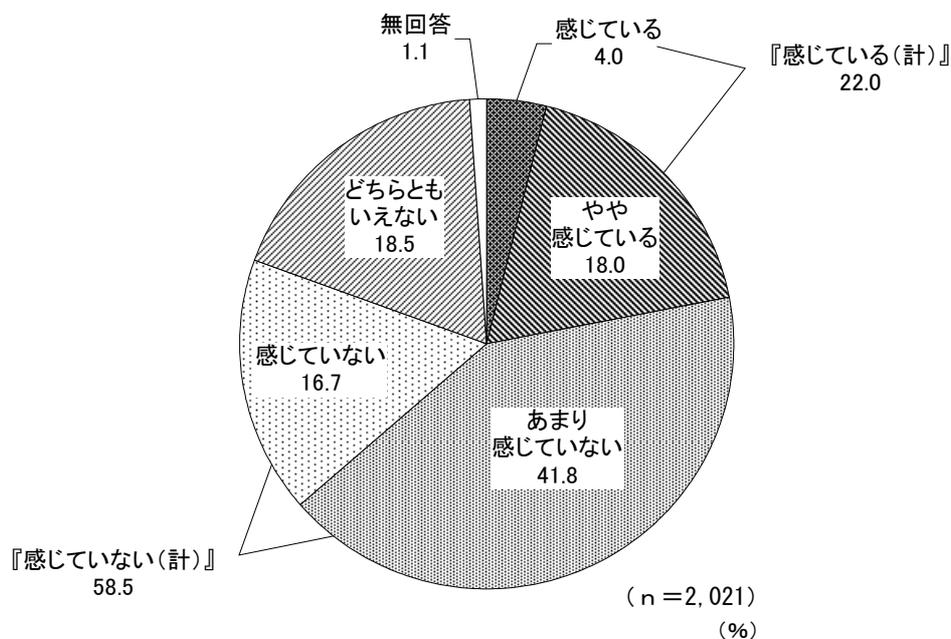
地域別でみると、『感じている(計)』は蒲田地域(29.5%)で3割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は調布地域(57.5%)で6割近くと高くなっている。(図9-1-3)

(2) 賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は2割を超える

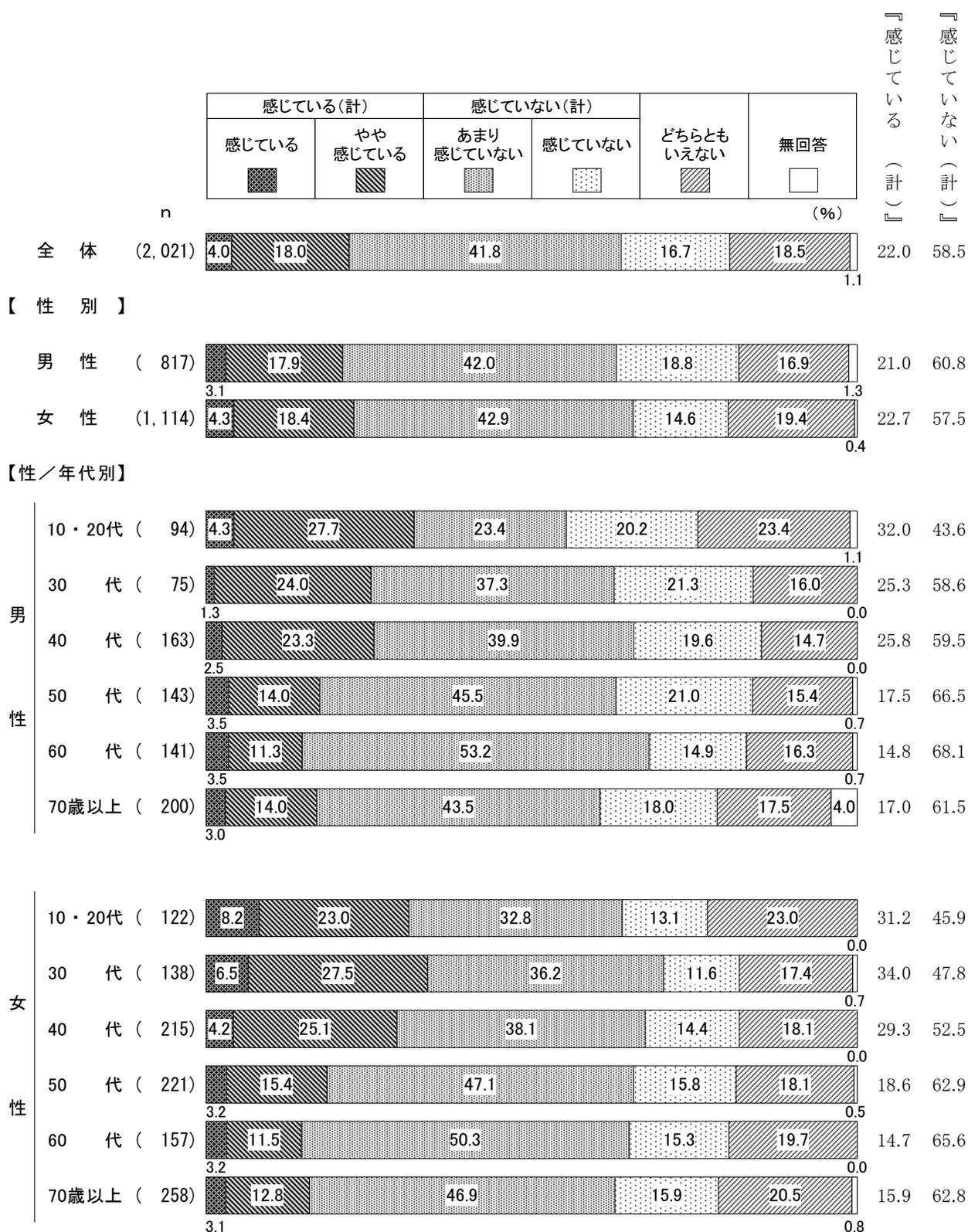
問16 あなたが住んでいるまちにおいて、地域特性に応じ、賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じていますか。(〇は1つだけ)

図9-2-1



住んでいるまちにおいて、賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているか聞いたところ、「感じている」(4.0%)と「やや感じている」(18.0%)を合わせた『感じている(計)』(22.0%)は2割を超えている。一方、「あまり感じていない」(41.8%)と「感じていない」(16.7%)を合わせた『感じていない(計)』(58.5%)は6割近くとなっている。(図9-2-1)

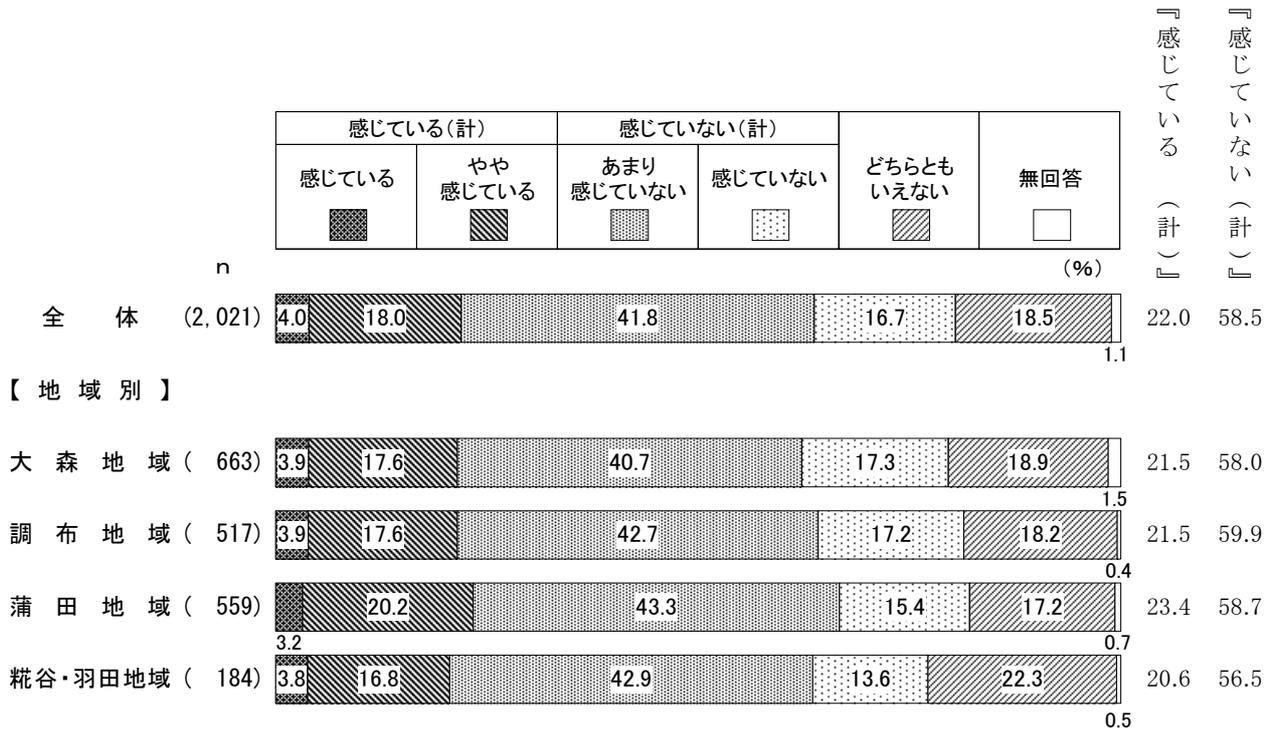
図9-2-2 賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているかー性／年代別



性別でみると、『感じていない(計)』は男性(60.8%)が女性(57.5%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は女性30代(34.0%)で3割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性50代(66.5%)と男性60代(68.1%)で7割近くと高くなっている。(図9-2-2)

図9-2-3 賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているか—地域別



地域別でみると、『感じていない(計)』は調布地域(59.9%)で6割と高くなっている。

(図9-2-3)

《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

10. 魅力的で住み続けたいまち

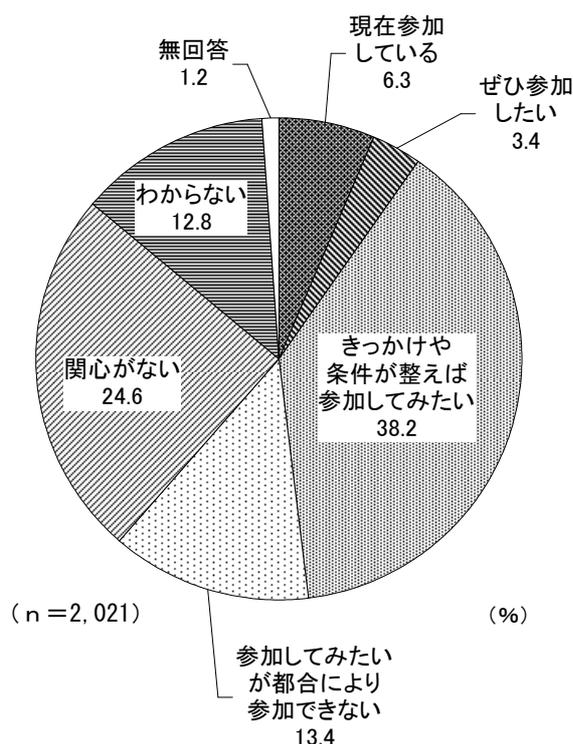
(1) 地域活動への参加意向

◇「きっかけや条件が整えば参加してみたい」が4割近く

問17 あなたは、現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思いますか。

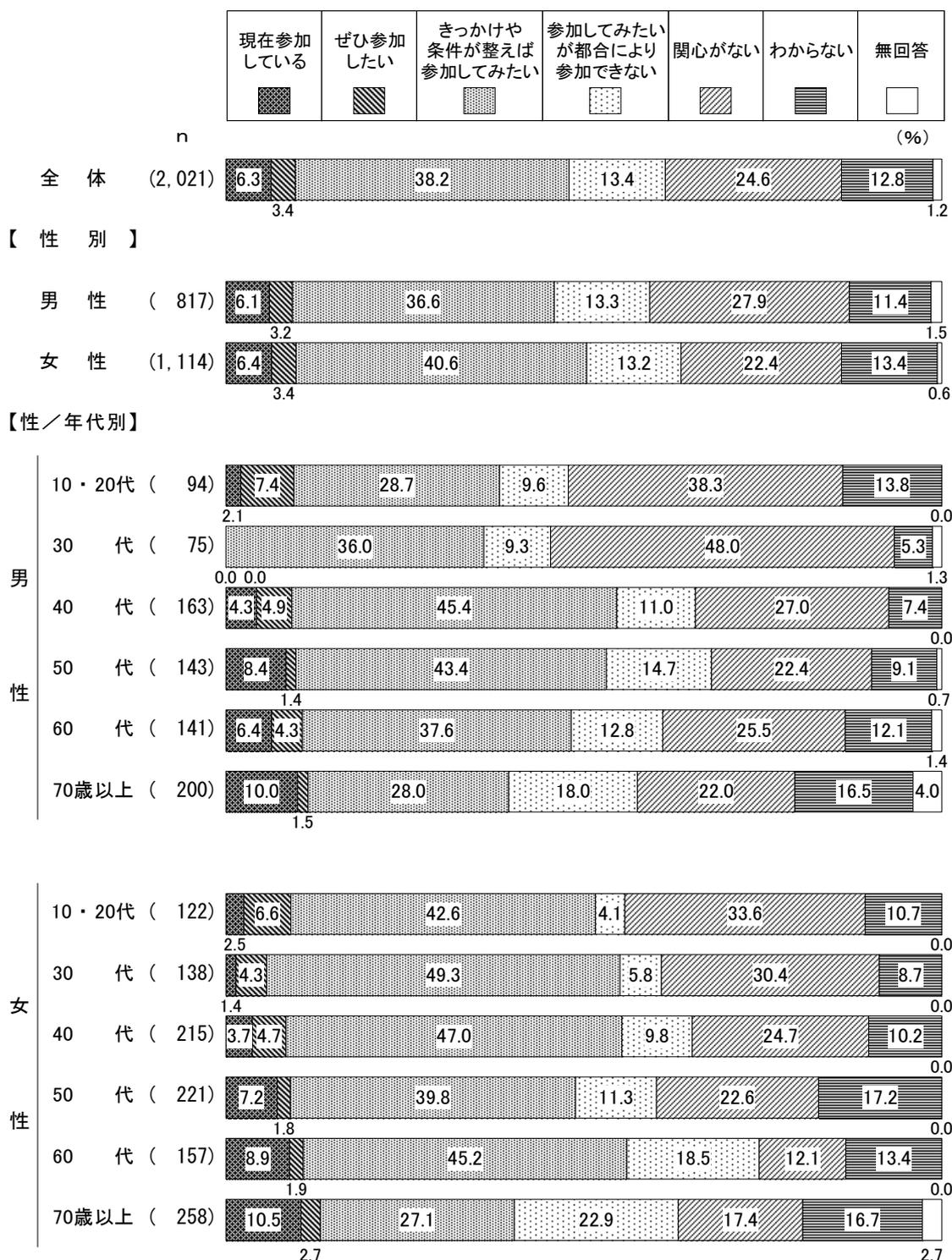
(○は1つだけ)

図10-1-1



現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思うか聞いたところ、「現在参加している」(6.3%)と「ぜひ参加したい」(3.4%)は1割未満、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」(38.2%)が4割近くとなっている。一方、「参加してみたいが都合により参加できない」(13.4%)は1割を超え、「関心がない」(24.6%)は2割半ばとなっている。(図10-1-1)

図10-1-2 地域活動への参加意向－性／年代別

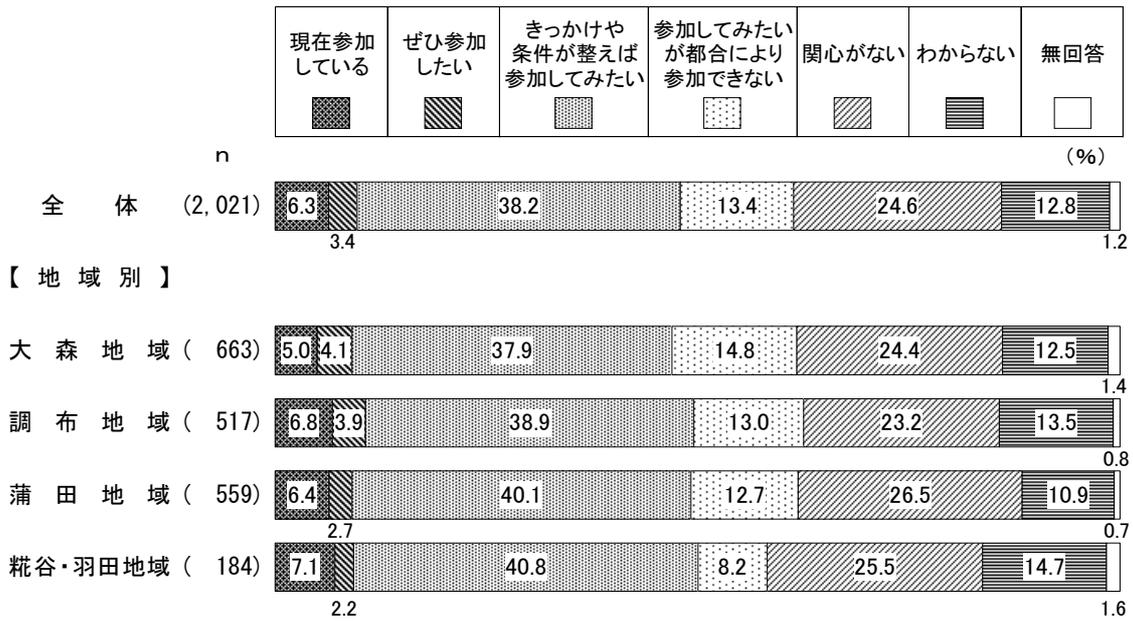


性別で見ると、「関心がない」は男性（27.9%）が女性（22.4%）より5.5ポイント高くなっている。一方、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は女性（40.6%）が男性（36.6%）より4.0ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は女性30代（49.3%）で約5割と高くなっている。「関心がない」は男性30代（48.0%）で5割近くと高くなっている。

(図10-1-2)

図10-1-3 地域活動への参加意向—地域別



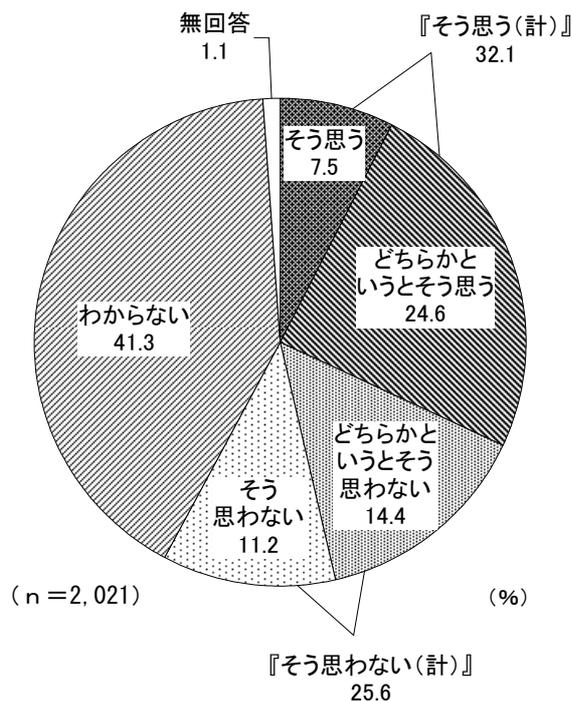
地域別でみると、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は糀谷・羽田地域（40.8%）と蒲田地域（40.1%）で約4割と高くなっている。「関心がない」は蒲田地域（26.5%）で3割近くと高くなっている。（図10-1-3）

(2) 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか

◇「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う(計)』は3割を超える

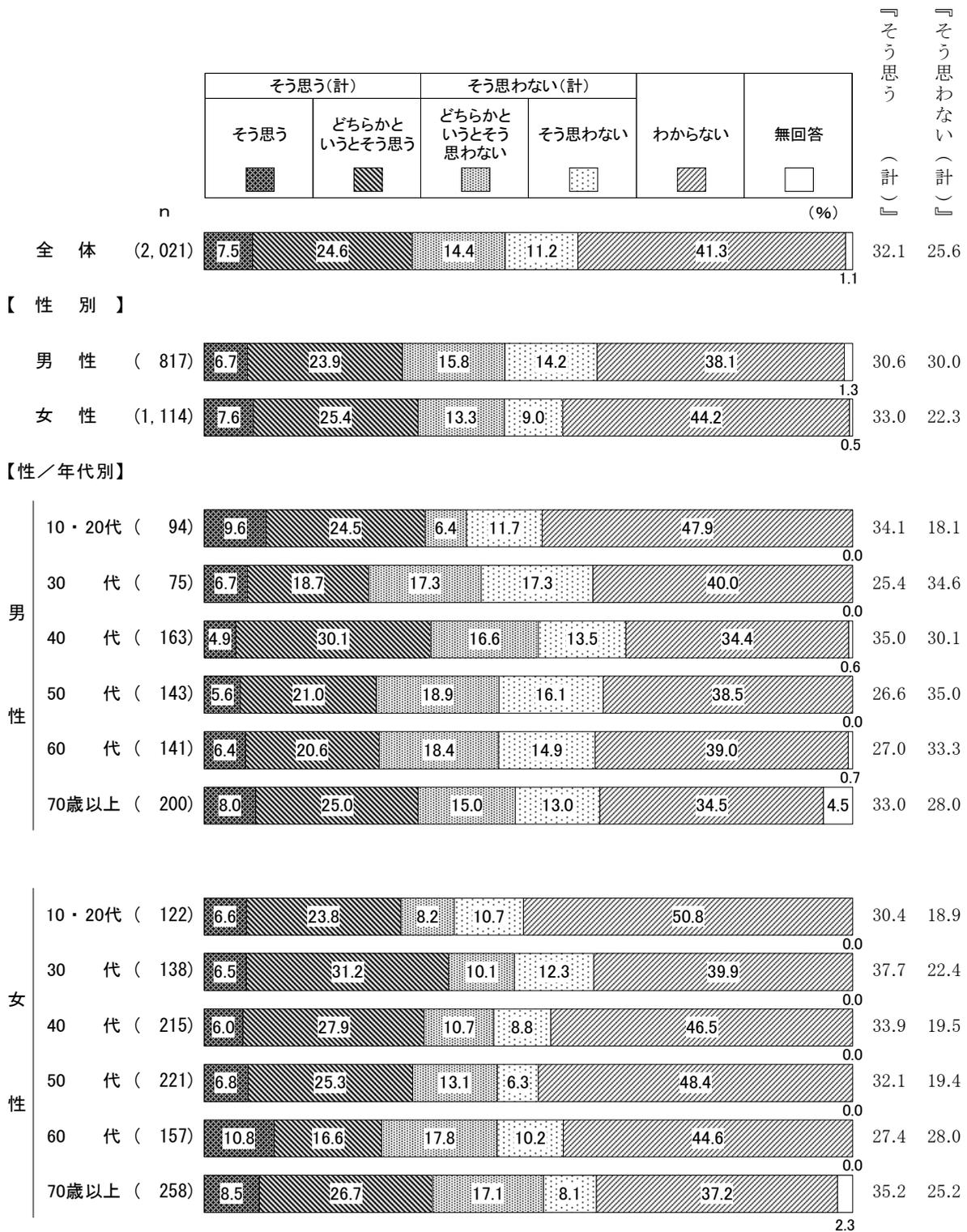
問18 あなたは、現在住んでいるまちで、区や区民、さまざまな団体（自治会・町会、ボランティアグループ、NPO、民間企業等）の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じていますか。（○は1つだけ）

図10-2-1



区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか聞いたところ、「そう思う」(7.5%)と「どちらかというと思う」(24.6%)を合わせた『そう思う(計)』(32.1%)は3割を超えている。一方、「どちらかというと思わない」(14.4%)と「そう思わない」(11.2%)を合わせた『そう思わない(計)』(25.6%)は2割半ばとなっている。(図10-2-1)

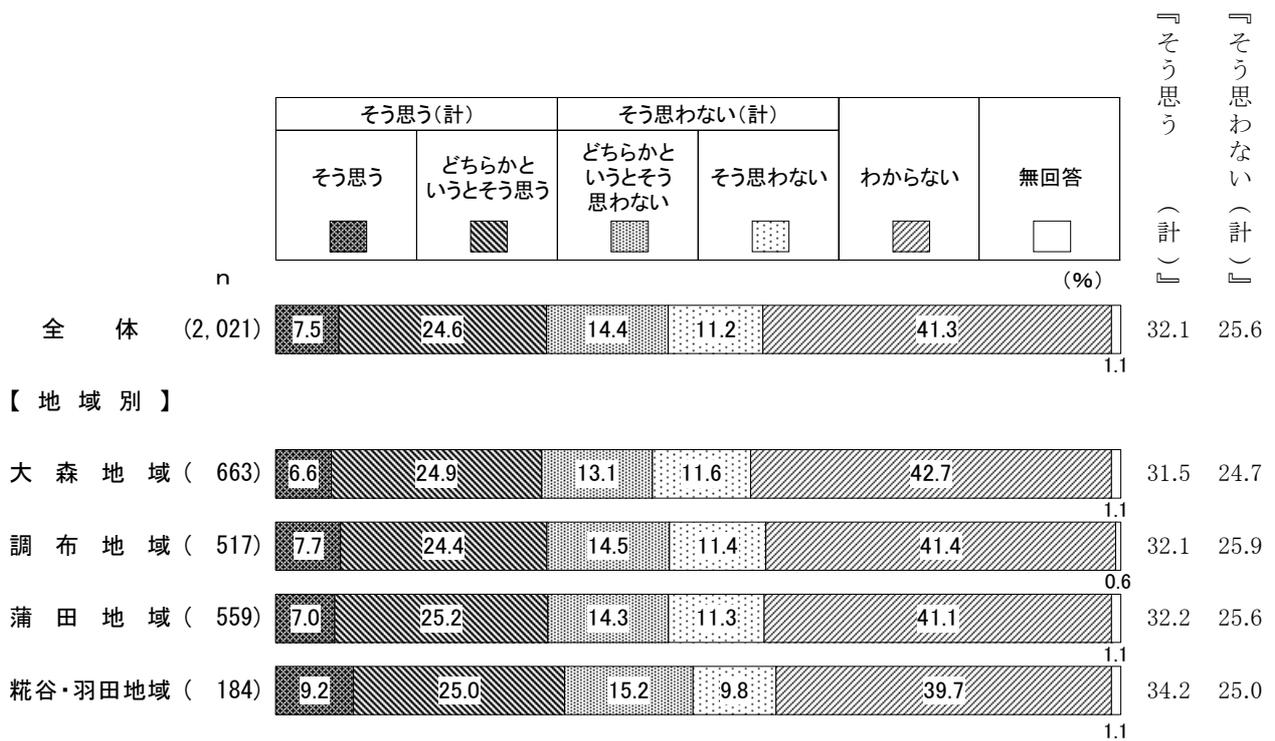
図10-2-2 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、
住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているかー性／年代別



性別で見ると、『そう思わない(計)』は男性(30.0%)が女性(22.3%)より7.7ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『そう思う(計)』は女性30代(37.7%)で4割近くと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性30代(34.6%)と男性50代(35.0%)で3割半ばと高くなっている。(図10-2-2)

図10-2-3 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、
住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているかー地域別



地域別でみると、『そう思う (計)』は糀谷・羽田地域 (34.2%) で3割半ばと高くなっている。
(図10-2-3)

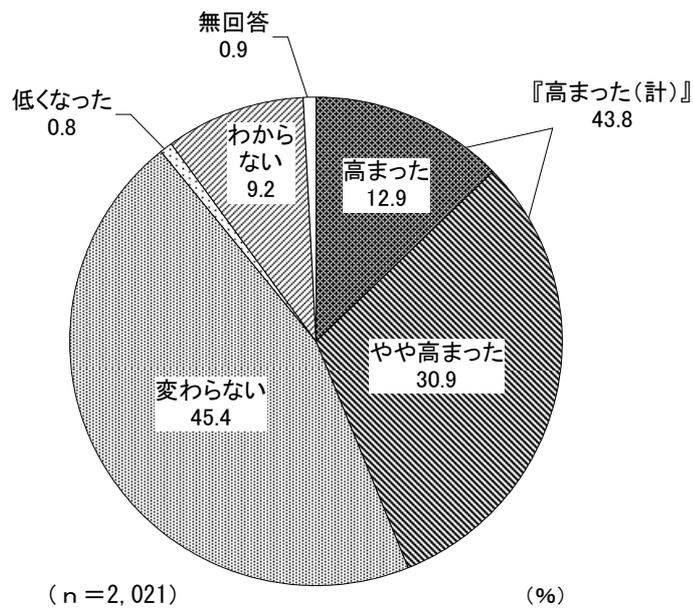
11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり

(1) 防災に対する意識

◇「高まった」と「やや高まった」を合わせた『高まった(計)』は4割を超える

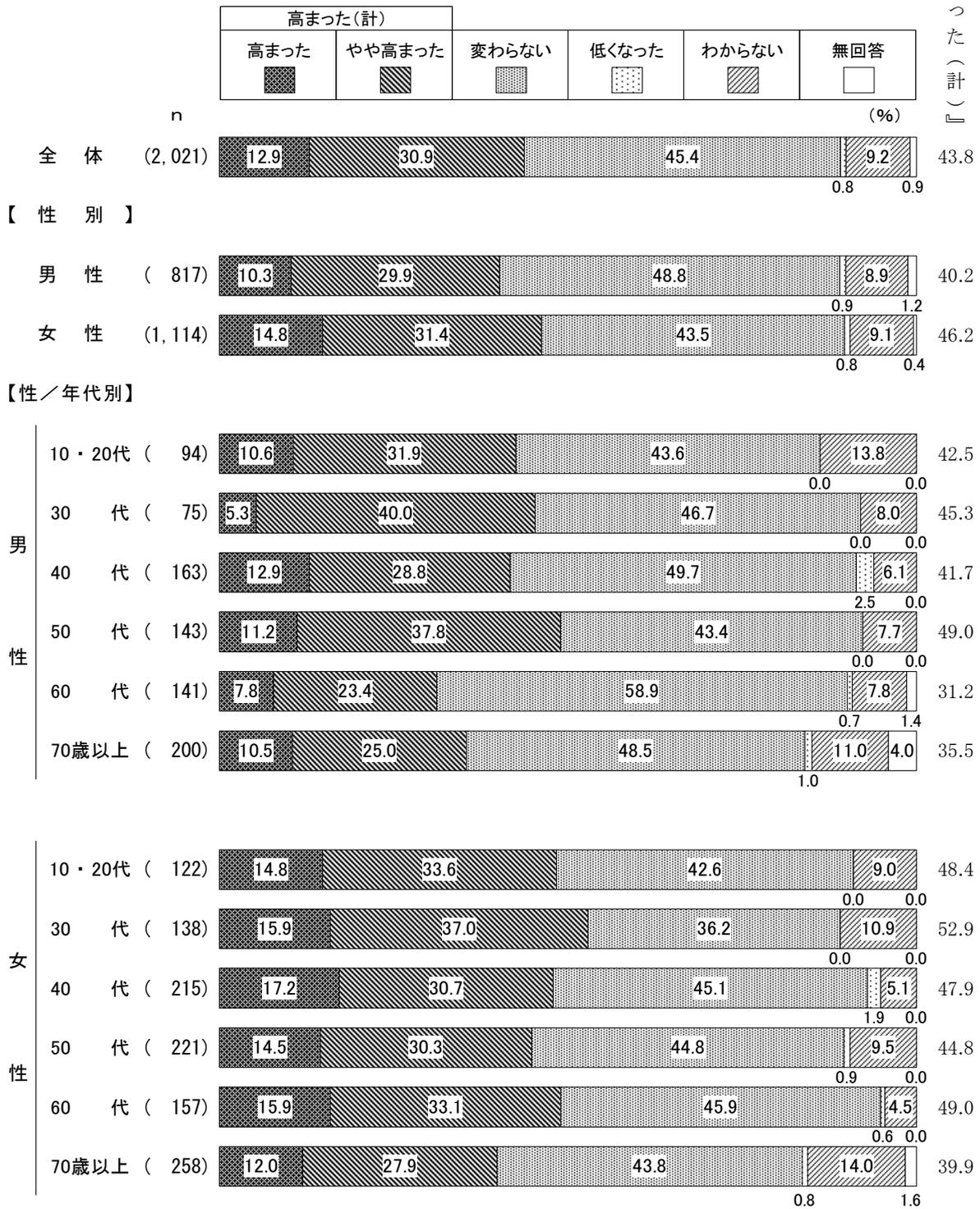
問19 あなたは、1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思いますか。(○は1つだけ)

図11-1-1



1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思うか聞いたところ、「高まった」(12.9%)と「やや高まった」(30.9%)を合わせた『高まった(計)』(43.8%)は4割を超えている。一方、「変わらない」(45.4%)は4割半ば、「低くなった」(0.8%)はわずかとなっている。(図11-1-1)

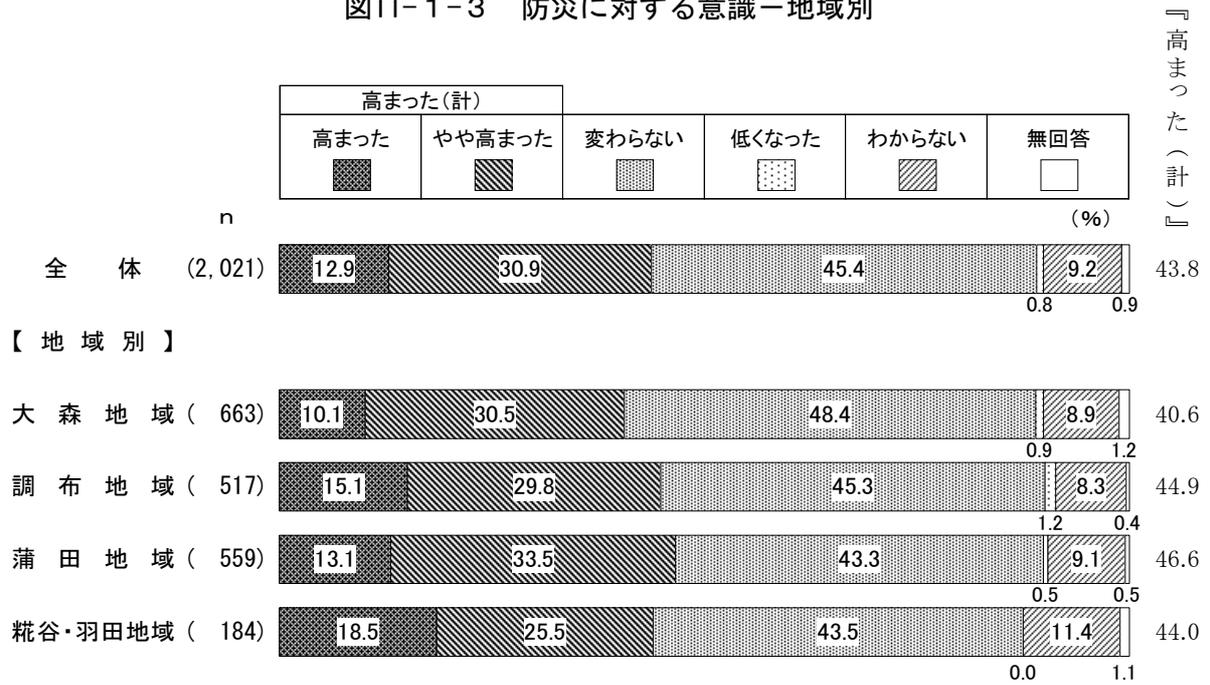
図11-1-2 防災に対する意識－性／年代別



性別でみると、『高まった(計)』は女性(46.2%)が男性(40.2%)より6.0ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『高まった(計)』は女性30代(52.9%)で5割を超えて高くなっている。「変わらない」は男性60代(58.9%)で6割近くと高くなっている。(図11-1-2)

図11-1-3 防災に対する意識—地域別



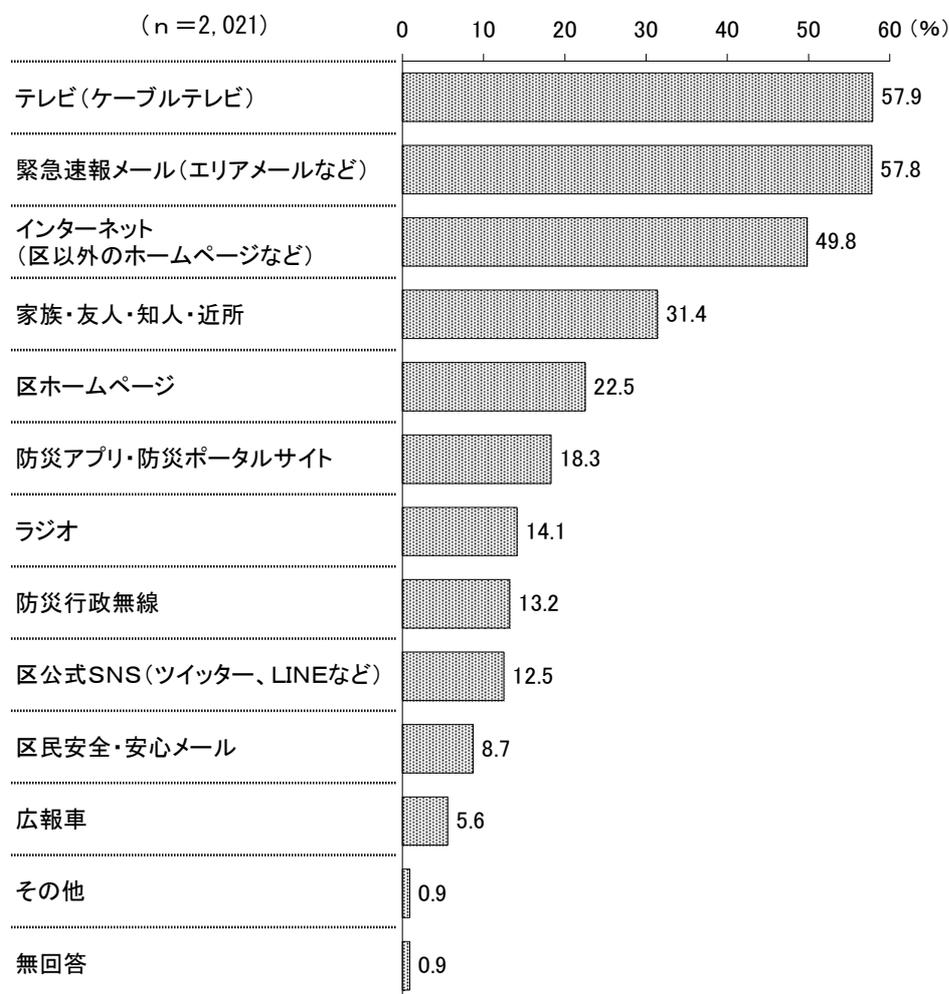
地域別でみると、『高まった(計)』は蒲田地域(46.6%)で5割近くと高くなっている。「変わらない」は大森地域(48.4%)で5割近くと高くなっている。(図11-1-3)

(2) 災害情報の入手手段

◇「テレビ（ケーブルテレビ）」と「緊急速報メール（エリアメールなど）」が6割近く

問20 あなたは、災害時における災害情報をどの手段で入手しますか。（〇はいくつでも）

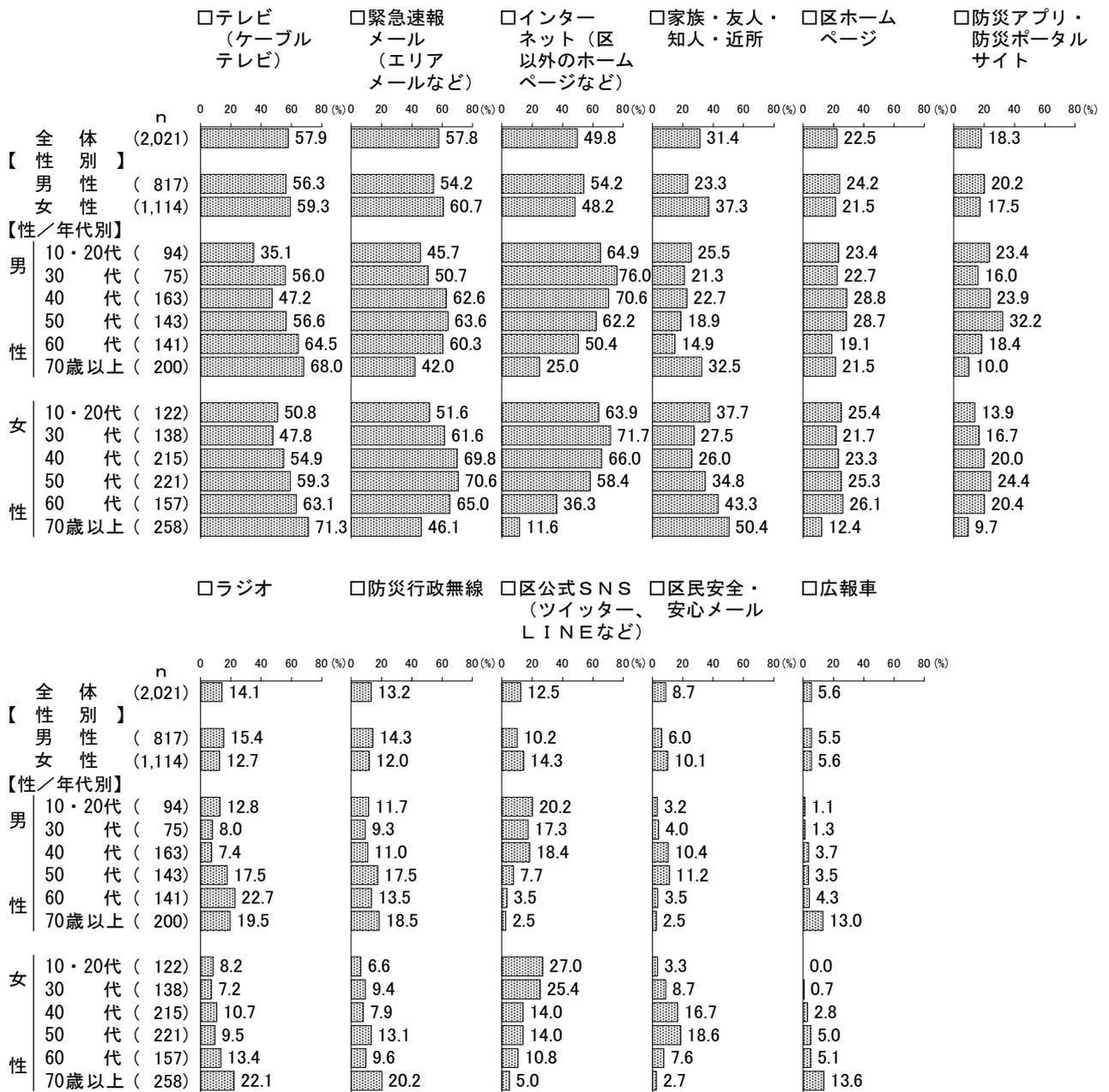
図11-2-1



災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（57.9%）と「緊急速報メール（エリアメールなど）」（57.8%）が6割近くで高く、次いで「インターネット（区以外のホームページなど）」（49.8%）、「家族・友人・知人・近所」（31.4%）などの順になっている。

「その他」への回答として、「ツイッター」、「SNS」などがあげられている。（図11-2-1）

図11-2-2 災害情報の入手手段－性／年代別



性別で見ると、「家族・友人・知人・近所」は女性（37.3%）が男性（23.3%）より14.0ポイント、「緊急速報メール（エリアメールなど）」は女性（60.7%）が男性（54.2%）より6.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「インターネット（区以外のホームページなど）」は男性（54.2%）が女性（48.2%）より6.0ポイント高くなっている。

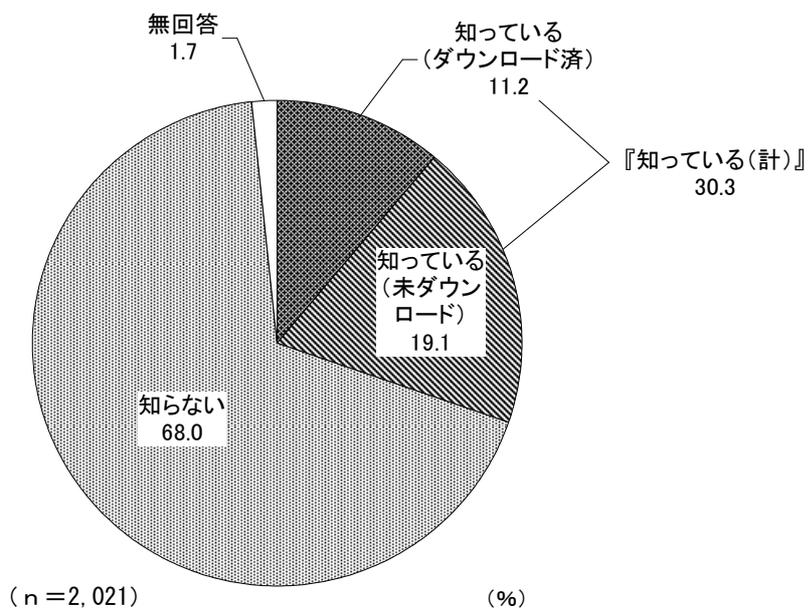
性／年代別で見ると、「テレビ（ケーブルテレビ）」は女性70歳以上（71.3%）で7割を超えて高くなっている。「緊急速報メール（エリアメールなど）」は女性40代（69.8%）と女性50代（70.6%）で約7割と高くなっている。「インターネット（区以外のホームページなど）」は男性30代（76.0%）で7割半ばと高くなっている。（図11-2-2）

(3) 大田区防災アプリの認知度

◇「知っている（ダウンロード済）」と「知っている（未ダウンロード）」を合わせた『知っている（計）』は3割

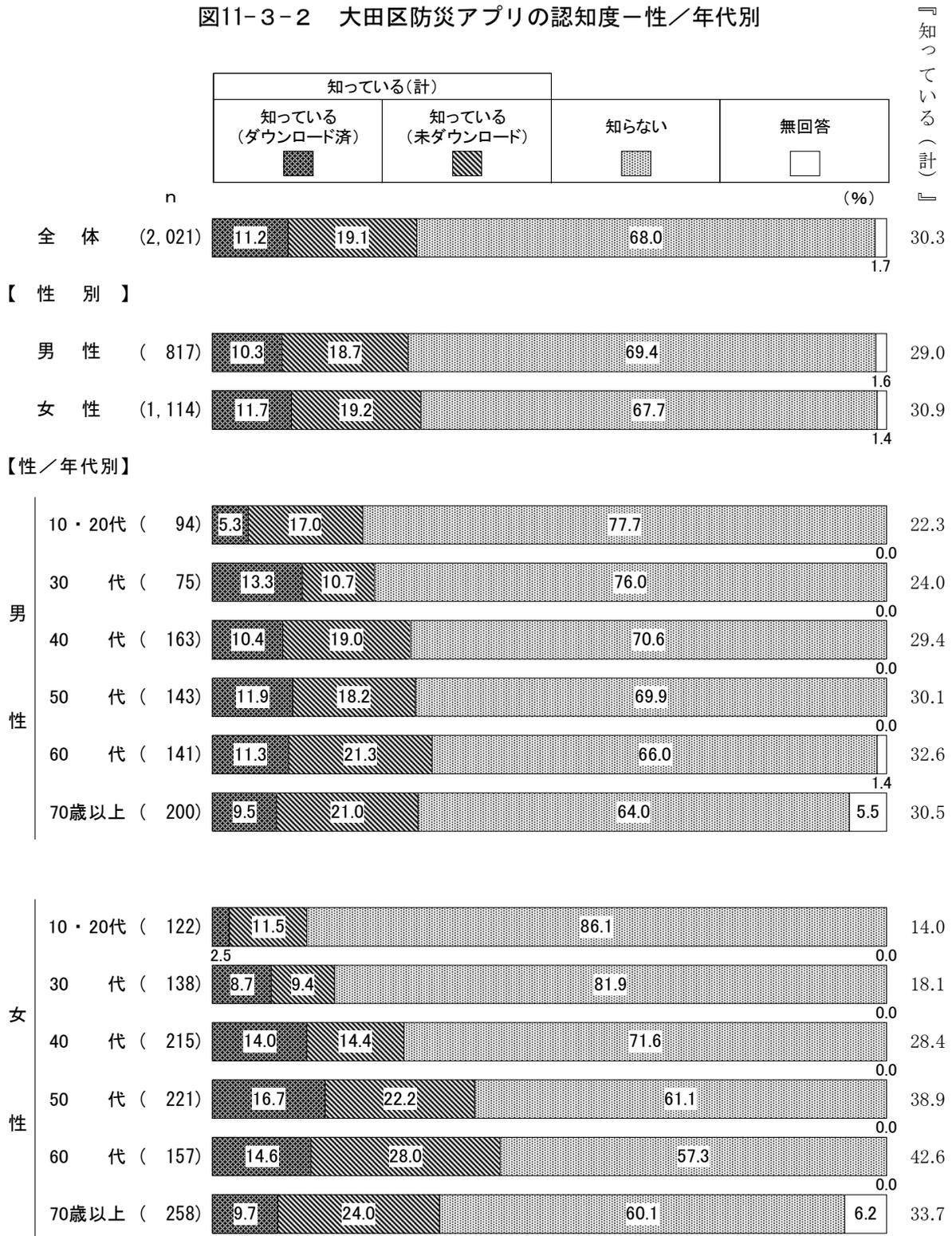
問21 あなたは、大田区防災アプリを知っていますか。（○は1つだけ）

図11-3-1



大田区防災アプリを知っているか聞いたところ、「知っている（ダウンロード済）」（11.2%）と「知っている（未ダウンロード）」（19.1%）を合わせた『知っている（計）』（30.3%）は3割となっている。一方、「知らない」（68.0%）は7割近くとなっている。（図11-3-1）

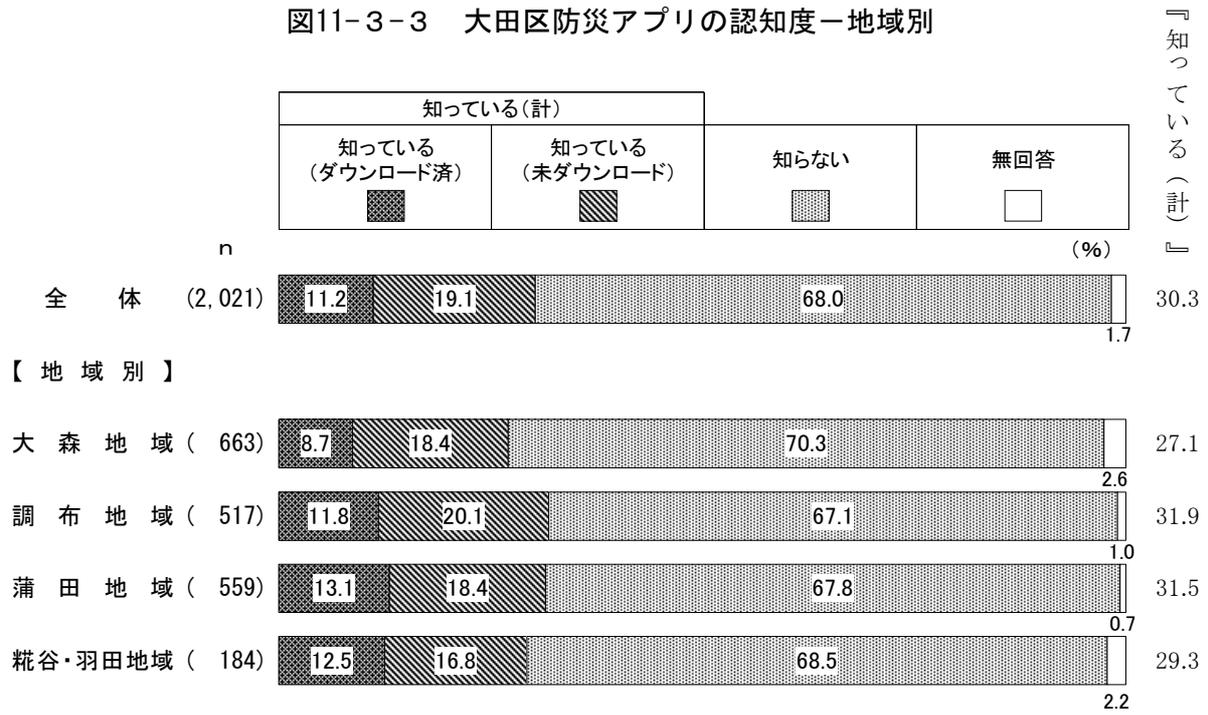
図11-3-2 大田区防災アプリの認知度－性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『知っている(計)』は女性60代(42.6%)で4割を超えて高くなっている。一方、「知らない」は女性10・20代(86.1%)で8割半ばと高くなっている。(図11-3-2)

図11-3-3 大田区防災アプリの認知度—地域別



地域別でみると、『知っている（計）』は調布地域（31.9%）と蒲田地域（31.5%）で3割を超えて高くなっている。一方、「知らない」は大森地域（70.3%）で7割と高くなっている。

(図11-3-3)

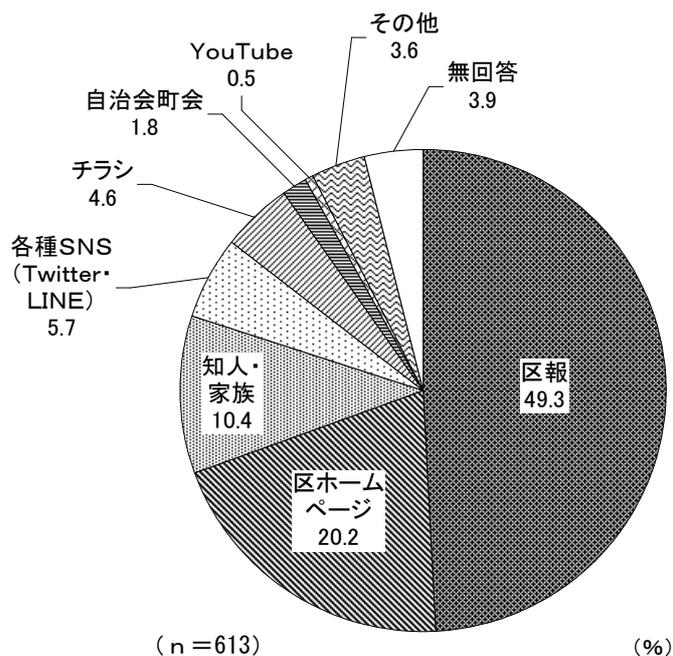
(4) 大田区防災アプリの認知方法

◇「区報」が約5割

(問21で、「知っている(ダウンロード済)」または「知っている(未ダウンロード)」と回答した方に)

問21-1 大田区防災アプリをどこで知りましたか。(〇は1つだけ)

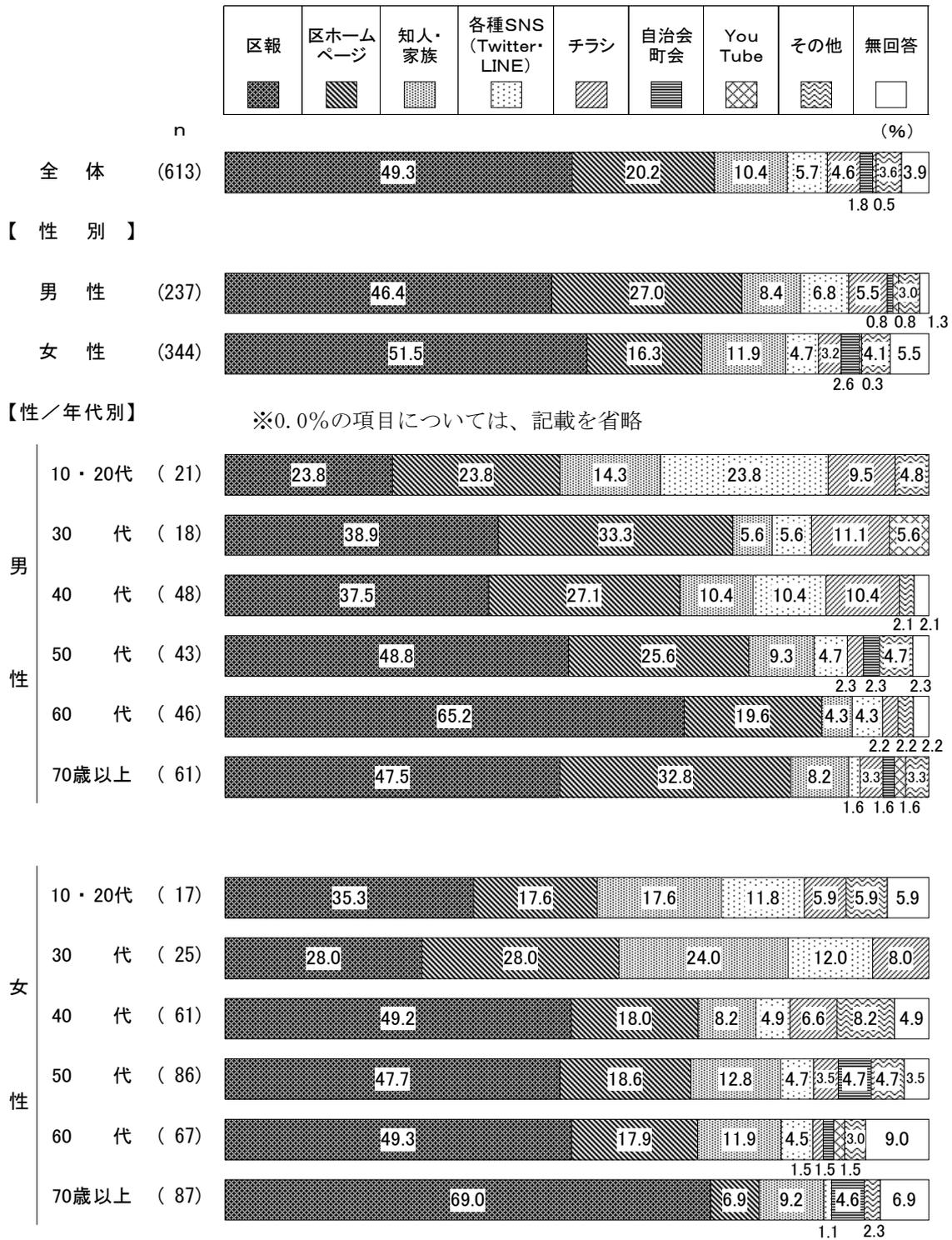
図11-4-1



大田区防災アプリを知っていると答えた人(613人)に、大田区防災アプリをどこで知ったか聞いたところ、「区報」(49.3%)が約5割で最も高く、次いで「区ホームページ」(20.2%)、「知人・家族」(10.4%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「子どもの学校」、「職場」などがあげられている。(図11-4-1)

図11-4-2 大田区防災アプリの認知方法－性／年代別



性別でみると、「区ホームページ」は男性（27.0%）が女性（16.3%）より10.7ポイント高くなっている。一方、「区報」は女性（51.5%）が男性（46.4%）より5.1ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「区報」は女性70歳以上（69.0%）で約7割と高くなっている。「区ホームページ」は男性30代（33.3%）と男性70歳以上（32.8%）で3割を超えて高くなっている。

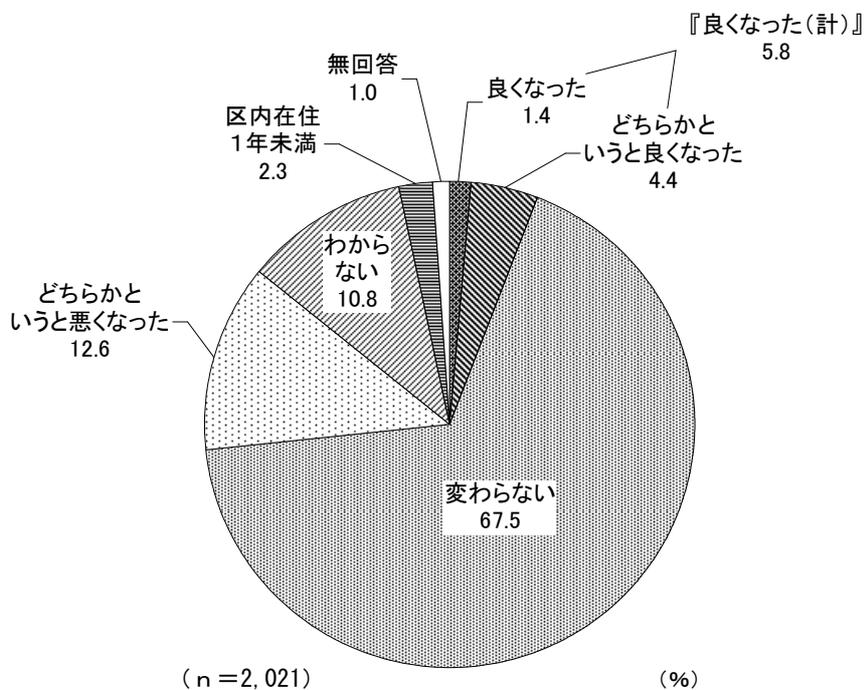
(図11-4-2)

(5) 住んでいるまちの治安の変化

◇「変わらない」が7割近く

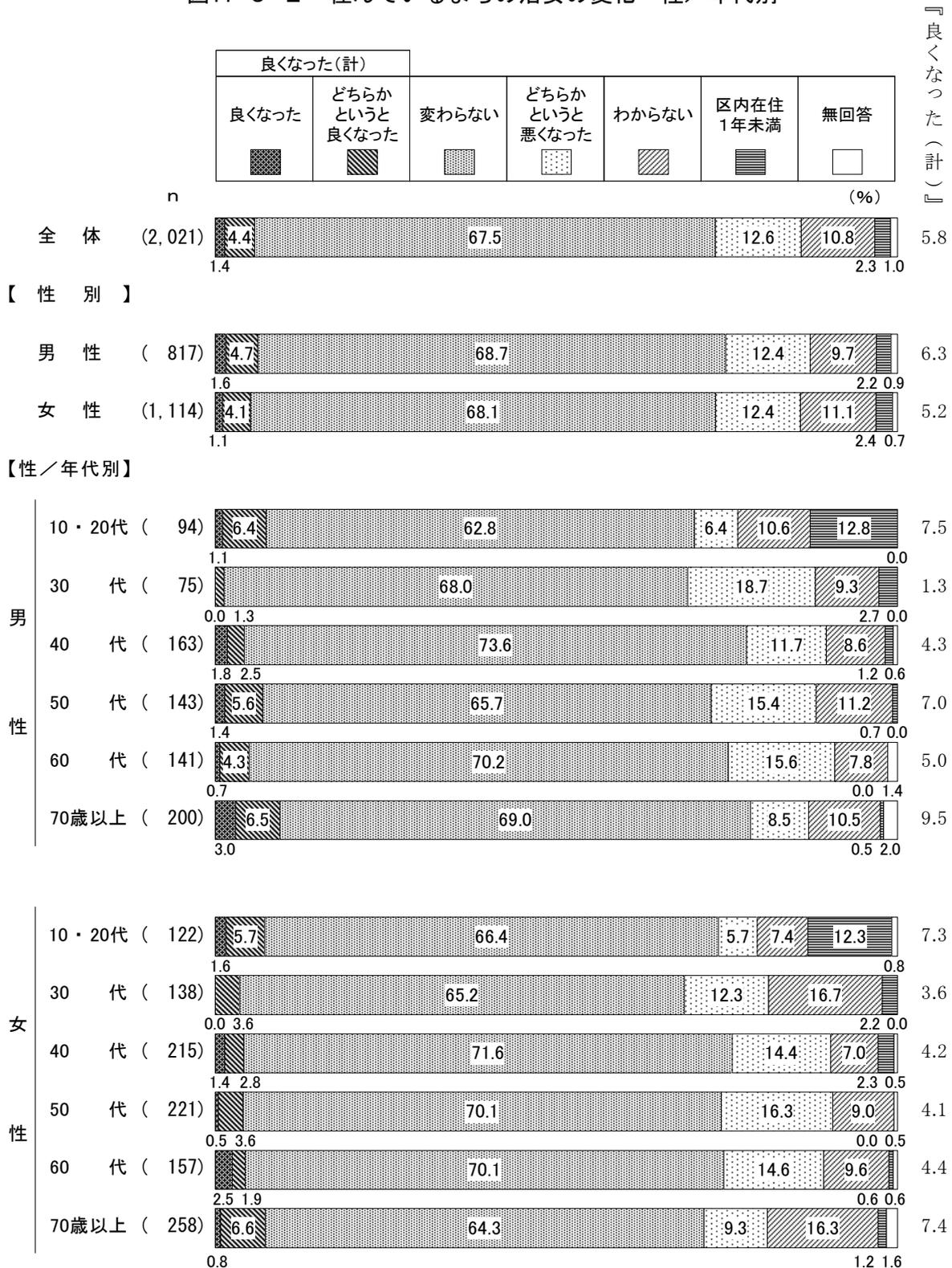
問22 あなたは、1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じていますか。(〇は1つだけ)

図11-5-1



1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じているか聞いたところ、「良くなった」(1.4%)と「どちらかという良くなった」(4.4%)を合わせた『良くなった(計)』(5.8%)は1割未満となっている。一方、「変わらない」(67.5%)は7割近く、「どちらかという悪くなった」(12.6%)は1割を超えている。(図11-5-1)

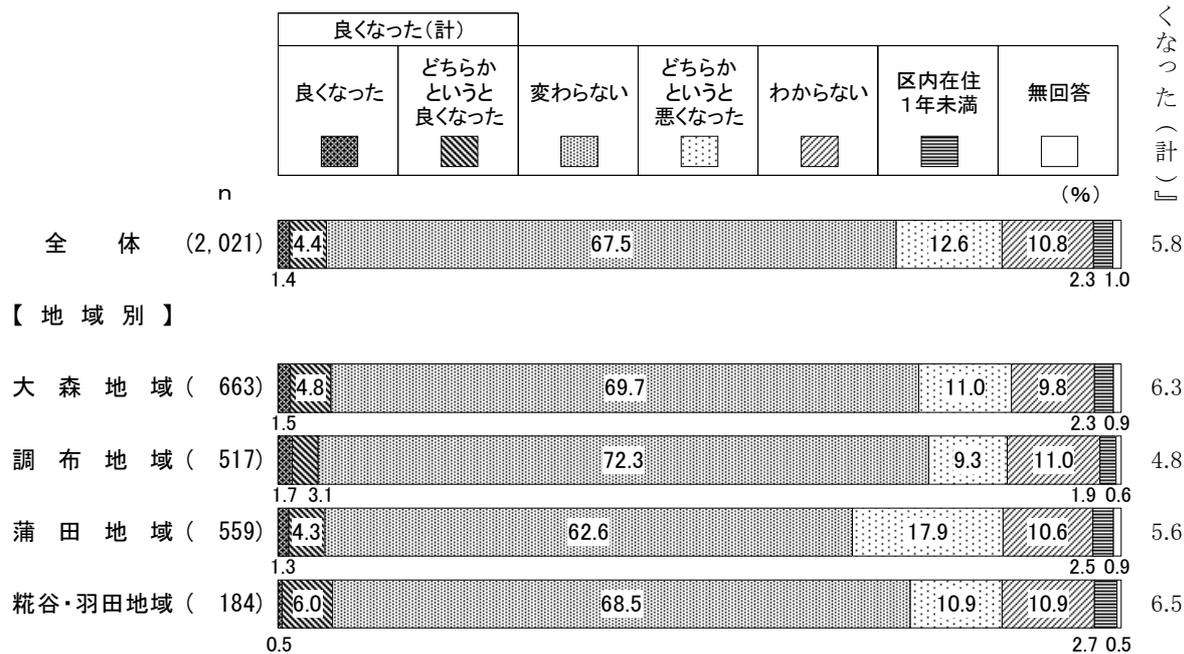
図11-5-2 住んでいるまちの治安の変化－性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『良くなった(計)』は男性70歳以上(9.5%)で1割となっている。「変わらない」は男性40代(73.6%)と女性40代(71.6%)で7割を超えて高くなっている。一方、「どちらかというが悪くなった」は男性30代(18.7%)で2割近くとなっている。(図11-5-2)

図11-5-3 住んでいるまちの治安の変化—地域別



地域別でみると、「変わらない」は調布地域（72.3%）で7割を超えて高くなっている。「どちらかという悪くなった」は蒲田地域（17.9%）で2割近くとなっている。（図11-5-3）

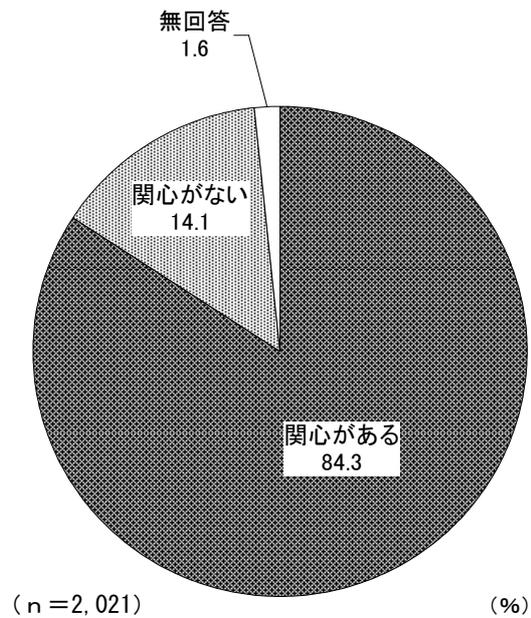
12. 持続可能な地球環境

(1) 地球温暖化防止への関心度

◇「関心がある」が8割半ば

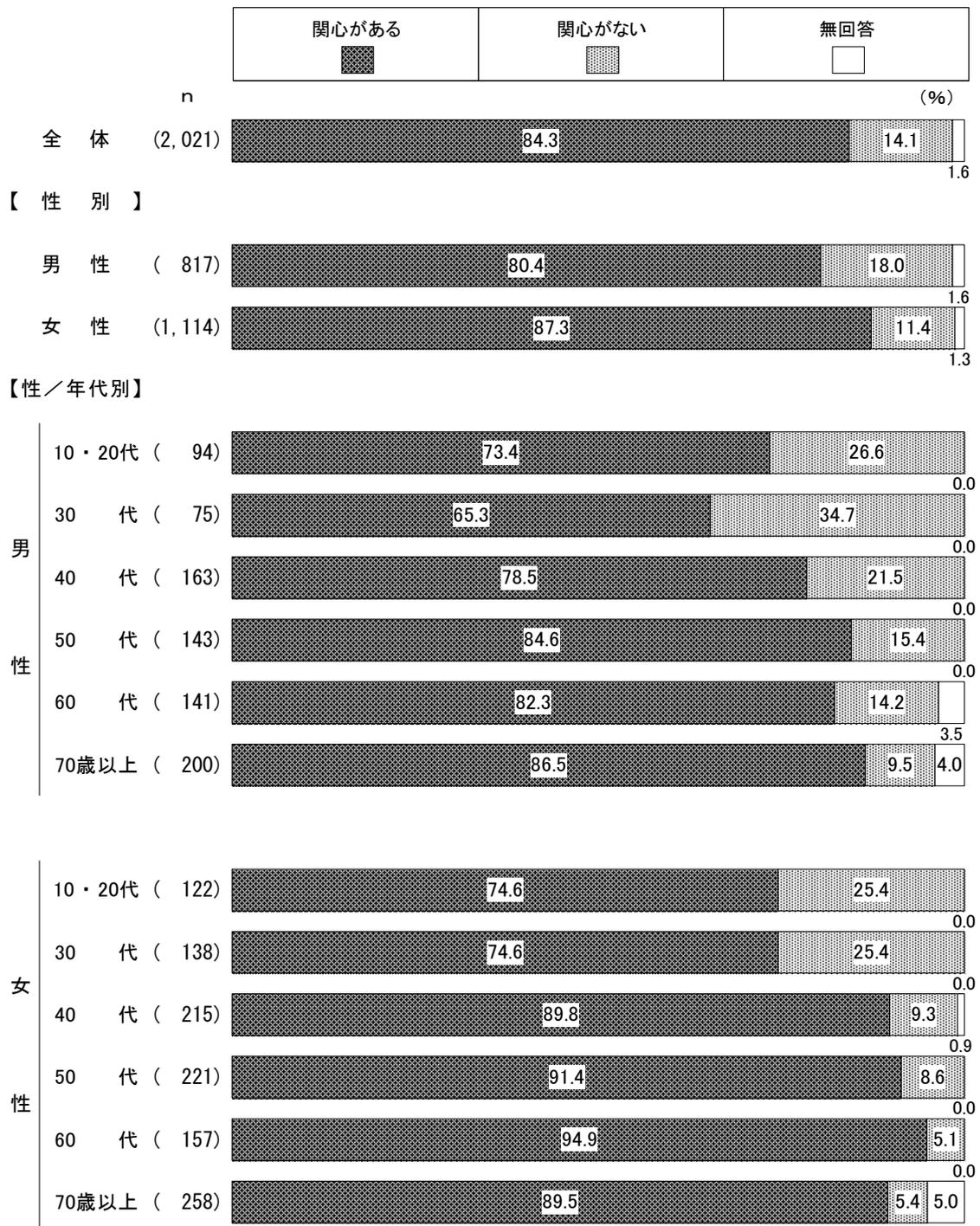
問23 あなたは、地球温暖化防止に関心がありますか。(○は1つだけ)

図12-1-1



地球温暖化防止に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(84.3%)が8割半ば、「関心がない」(14.1%)は1割半ばとなっている。(図12-1-1)

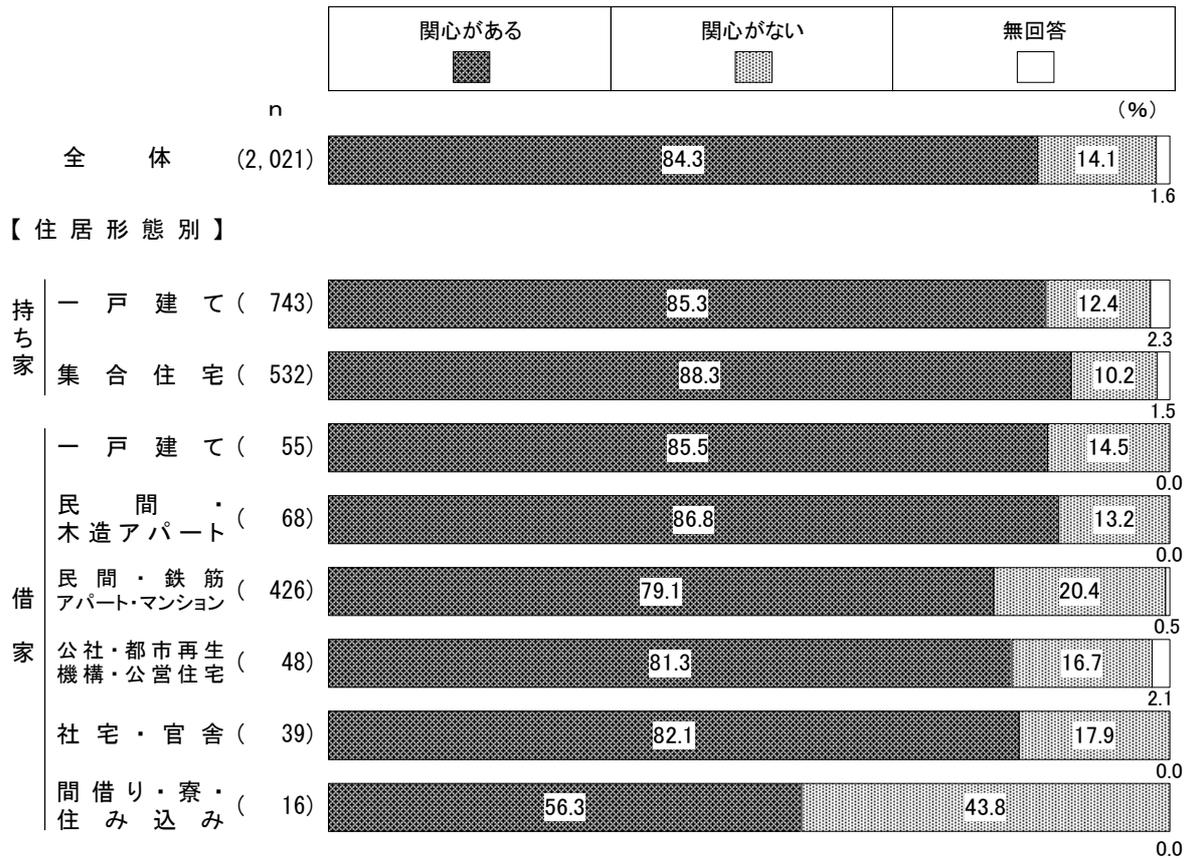
図12-1-2 地球温暖化防止への関心度－性／年代別



性別でみると、「関心がある」は女性（87.3%）が男性（80.4%）より6.9ポイント高くなっている。

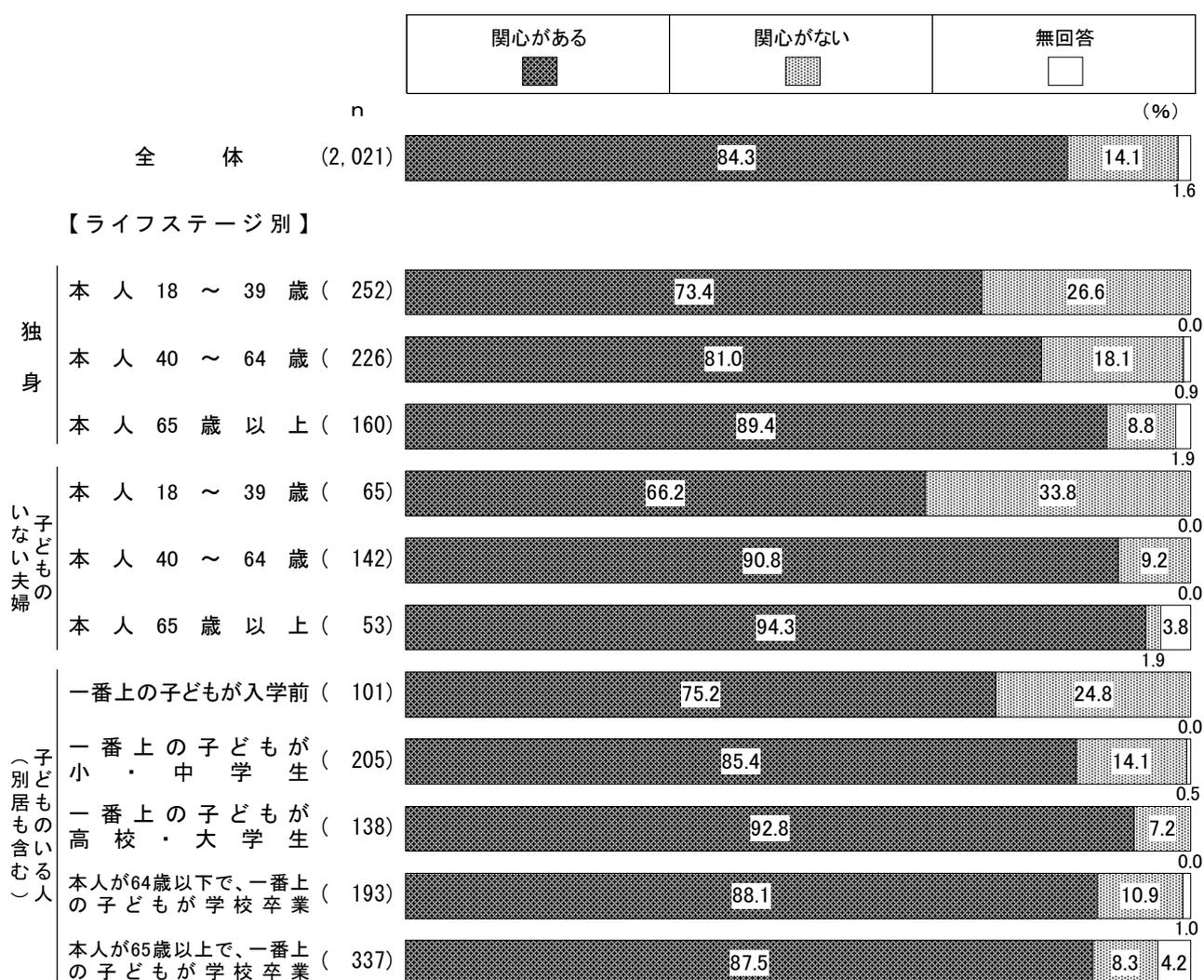
性／年代別でみると、「関心がある」は女性60代（94.9%）で9割半ばと高くなっている。一方、「関心がない」は男性30代（34.7%）で3割半ばと高くなっている。（図12-1-2）

図12-1-3 地球温暖化防止への関心度－住居形態別



住居形態別でみると、「関心がある」は“持ち家、集合住宅”（88.3%）と“借家、民間・木造アパート”（86.8%）で9割近くと高くなっている。（図12-1-3）

図12-1-4 地球温暖化防止への関心度－ライフステージ別



ライフステージ別で見ると、「興味がある」は“本人が65歳以上で、子どものいない夫婦”（94.3%）で9割半ばと高くなっている。一方、「興味がない」は“本人が18～39歳で、子どものいない夫婦”（33.8%）で3割を超えて高くなっている。（図12-1-4）

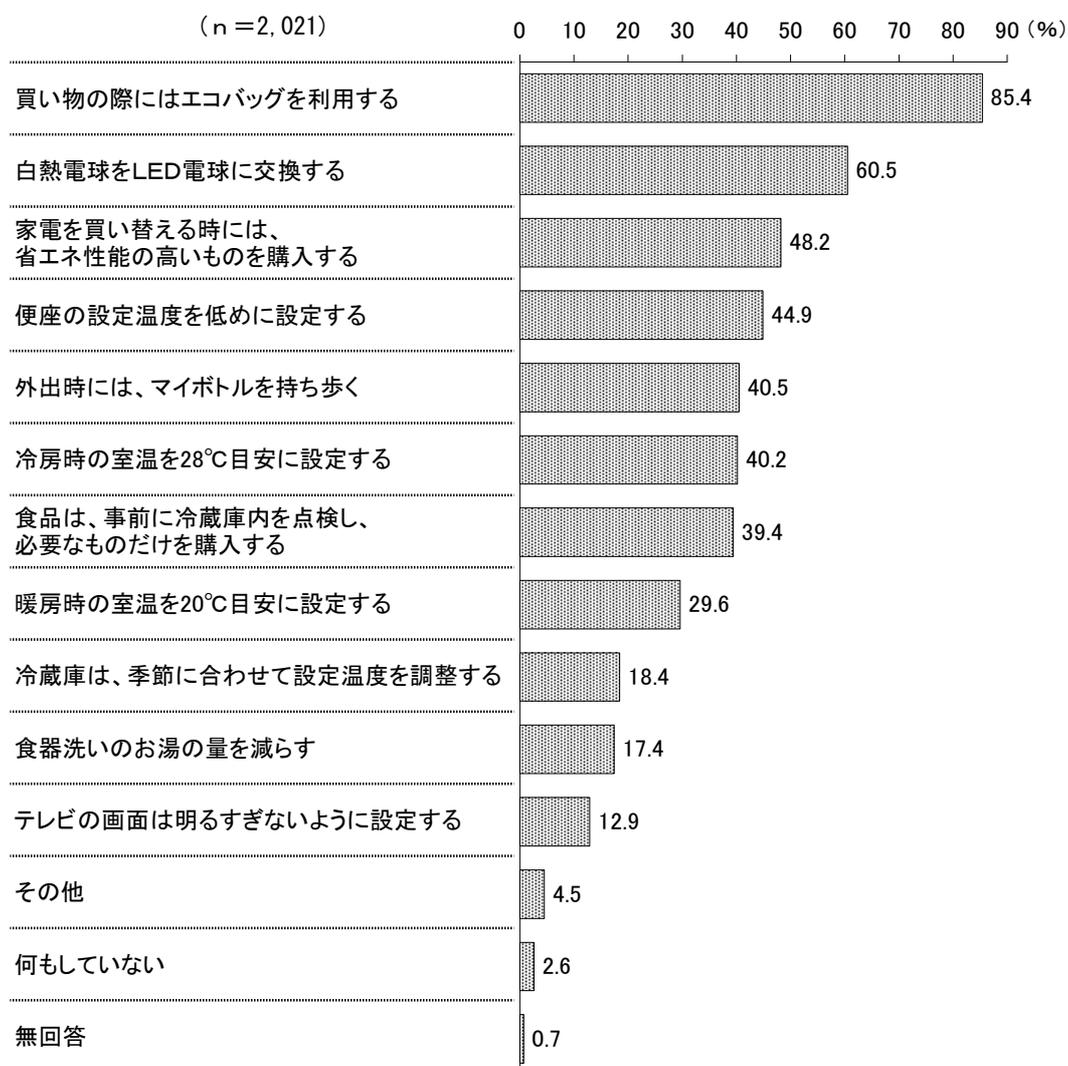
(2) 家庭で取り組んでいる省エネ行動

◇「買い物の際にはエコバッグを利用する」が8割半ば

問24 あなたのご家庭で実践している省エネ等の環境配慮行動を教えてください。

(○はいくつでも)

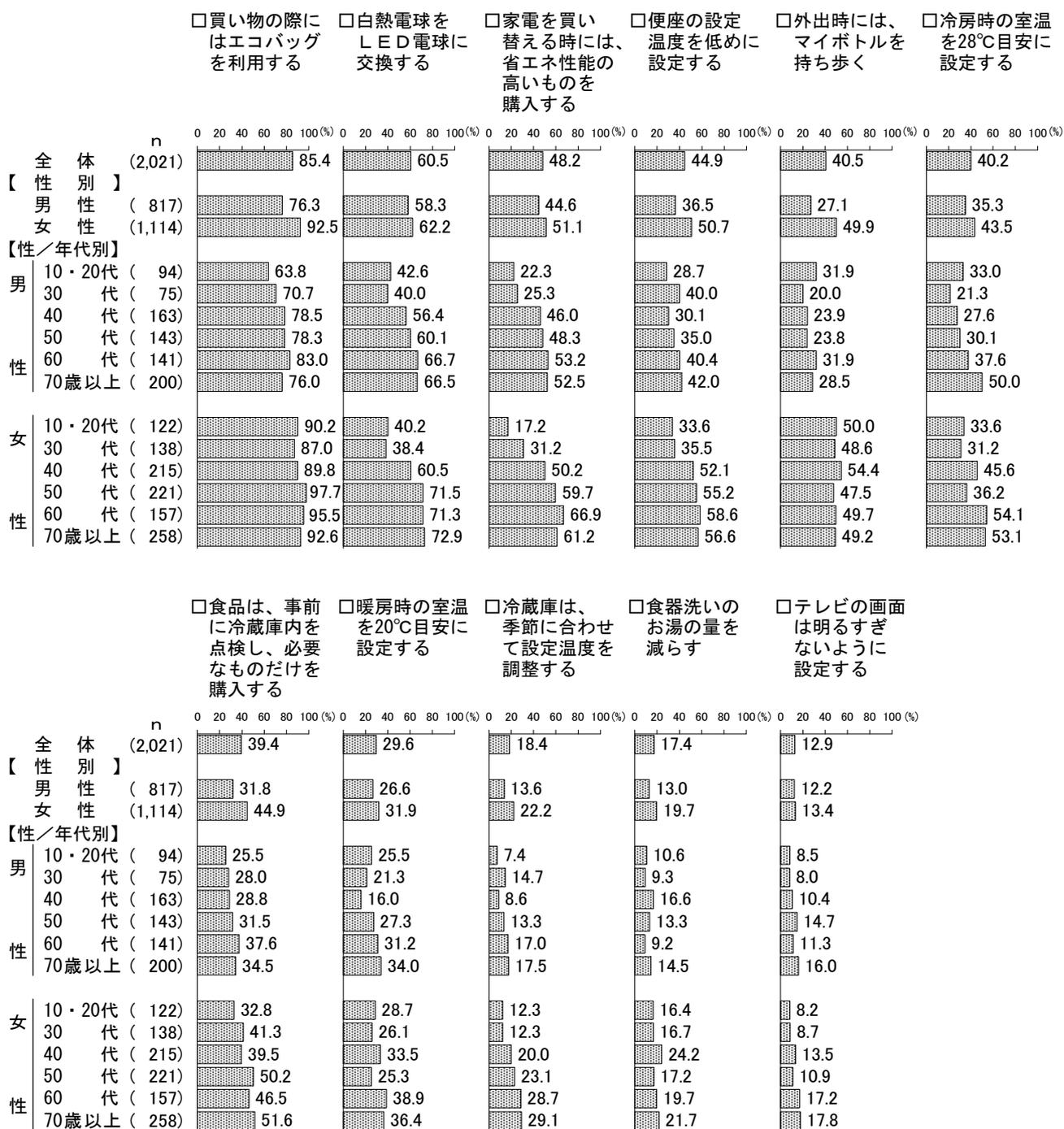
図12-2-1



家庭で取り組んでいる省エネ行動を聞いたところ、「買い物の際にはエコバッグを利用する」(85.4%)が8割半ばで最も高く、次いで「白熱電球をLED電球に交換する」(60.5%)、「家電を買い替える時には、省エネ性能の高いものを購入する」(48.2%)、「便座の設定温度を低めに設定する」(44.9%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「電気をこまめに消す」、「ごみを減らす」、「ごみの分別」、「エアコンをなるべく使用しない」などがあげられている。(図12-2-1)

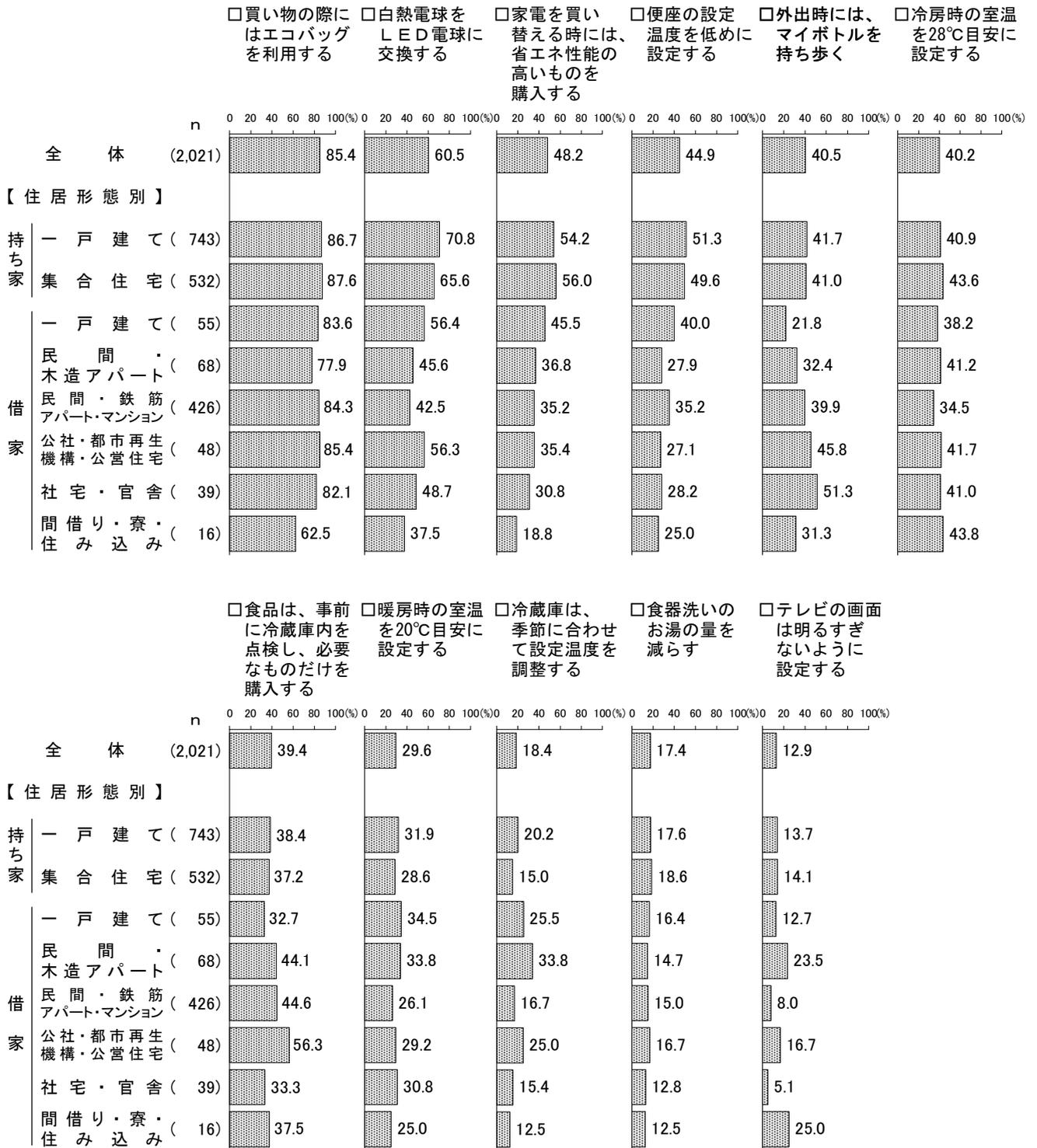
図12-2-2 家庭で取り組んでいる省エネ行動一性／年代別（上位11項目）



上位11項目を性別で見ると、全ての項目で女性が男性を上回っており、「外出時には、マイボトルを持ち歩く」は女性（49.9%）が男性（27.1%）より22.8ポイント、「買い物の際にはエコバッグを利用する」は女性（92.5%）が男性（76.3%）より16.2ポイント、それぞれ高くなっている。

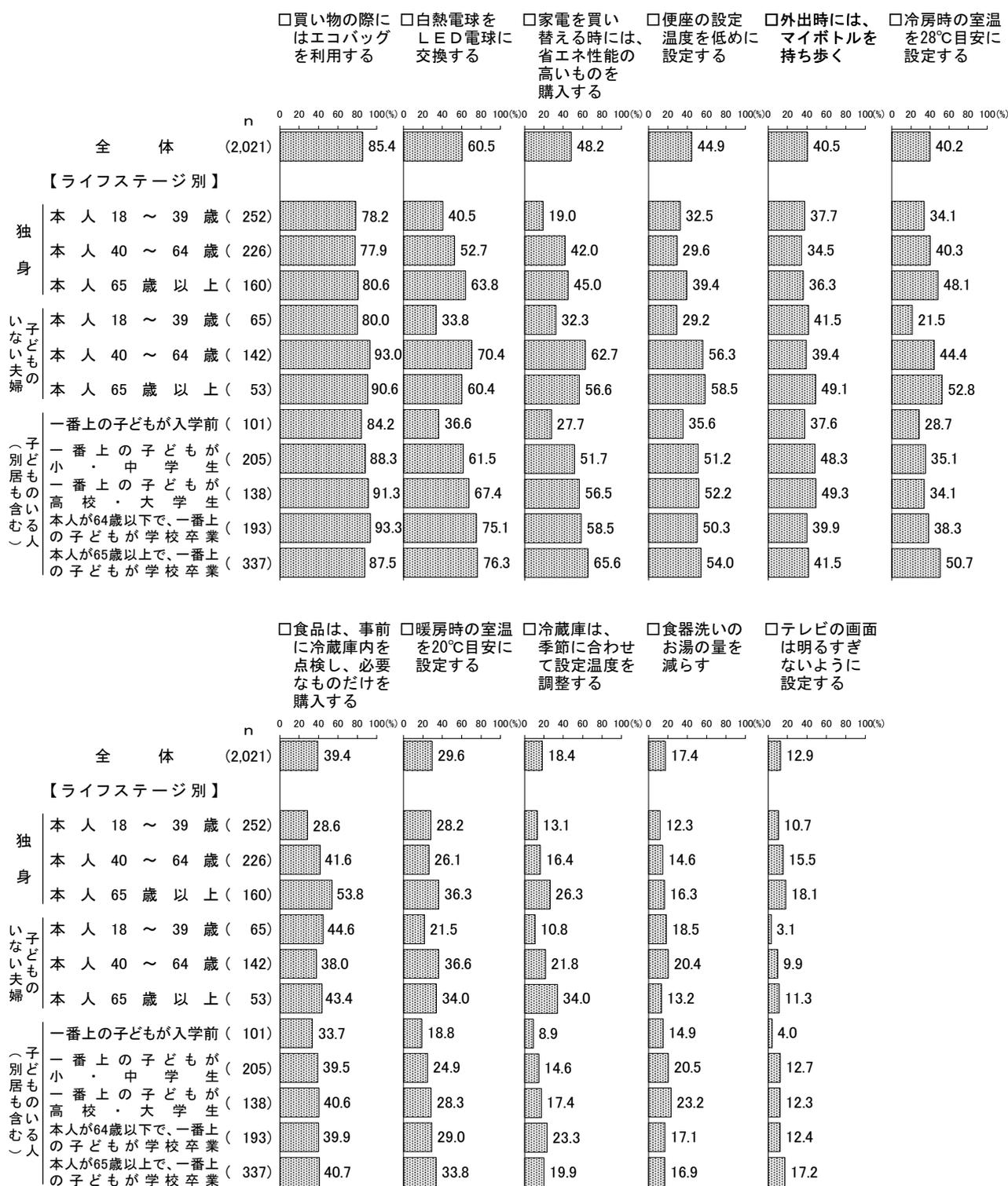
性／年代別で見ると、「買い物の際にはエコバッグを利用する」は女性50代（97.7%）で10割近くと高くなっている。「白熱電球をLED電球に交換する」は女性50代以上の年代で7割を超えて高くなっている。（図12-2-2）

図12-2-3 家庭で取り組んでいる省エネ行動－住居形態別（上位11項目）



上位11項目を住居形態別で見ると、「買い物の際にはエコバッグを利用する」は「持ち家、集合住宅」（87.6%）と「持ち家、一戸建て」（86.7%）で9割近くと高くなっている。「白熱電球をLED電球に交換する」は「持ち家、一戸建て」（70.8%）で約7割と高くなっている。「食品は、事前に冷蔵庫内を点検し、必要なものだけを購入する」は「借家、公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅」（56.3%）で5割半ばと高くなっている。（図12-2-3）

図12-2-4 家庭で取り組んでいる省エネ行動－ライフステージ別（上位11項目）



上位11項目をライフステージ別でみると、「白熱電球をLED電球に交換する」は「本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業」(76.3%)と「本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業」(75.1%)で7割半ばと高くなっている。「家電を買い替える時には、省エネ性能の高いものを購入する」は「本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業」(65.6%)で6割半ばと高くなっている。(図12-2-4)

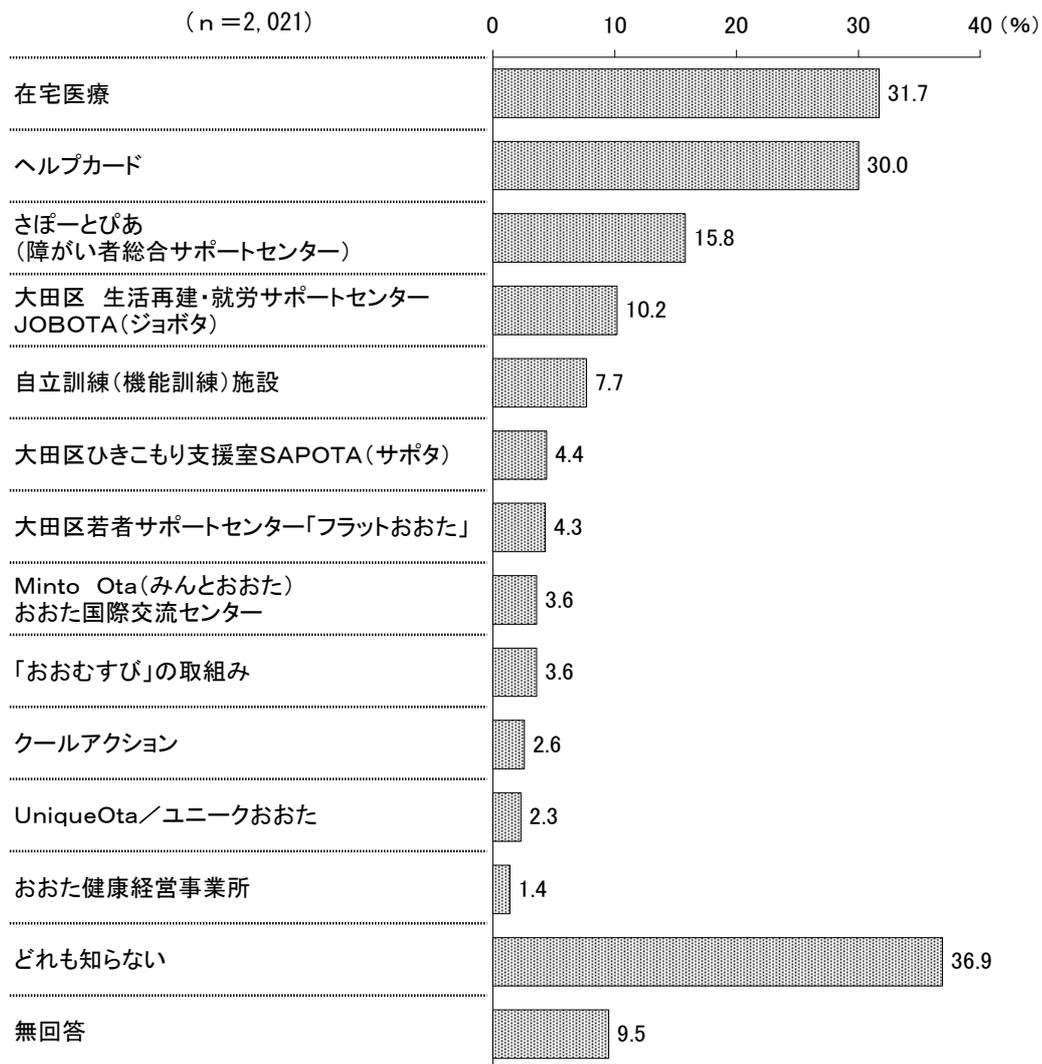
13. 区政への関心と要望

(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度

◇「在宅医療」が3割を超える

問25 以下の大田区等の制度、施策、施設のうち、あなたをご存知のものをすべて挙げてください。(〇はいくつでも)

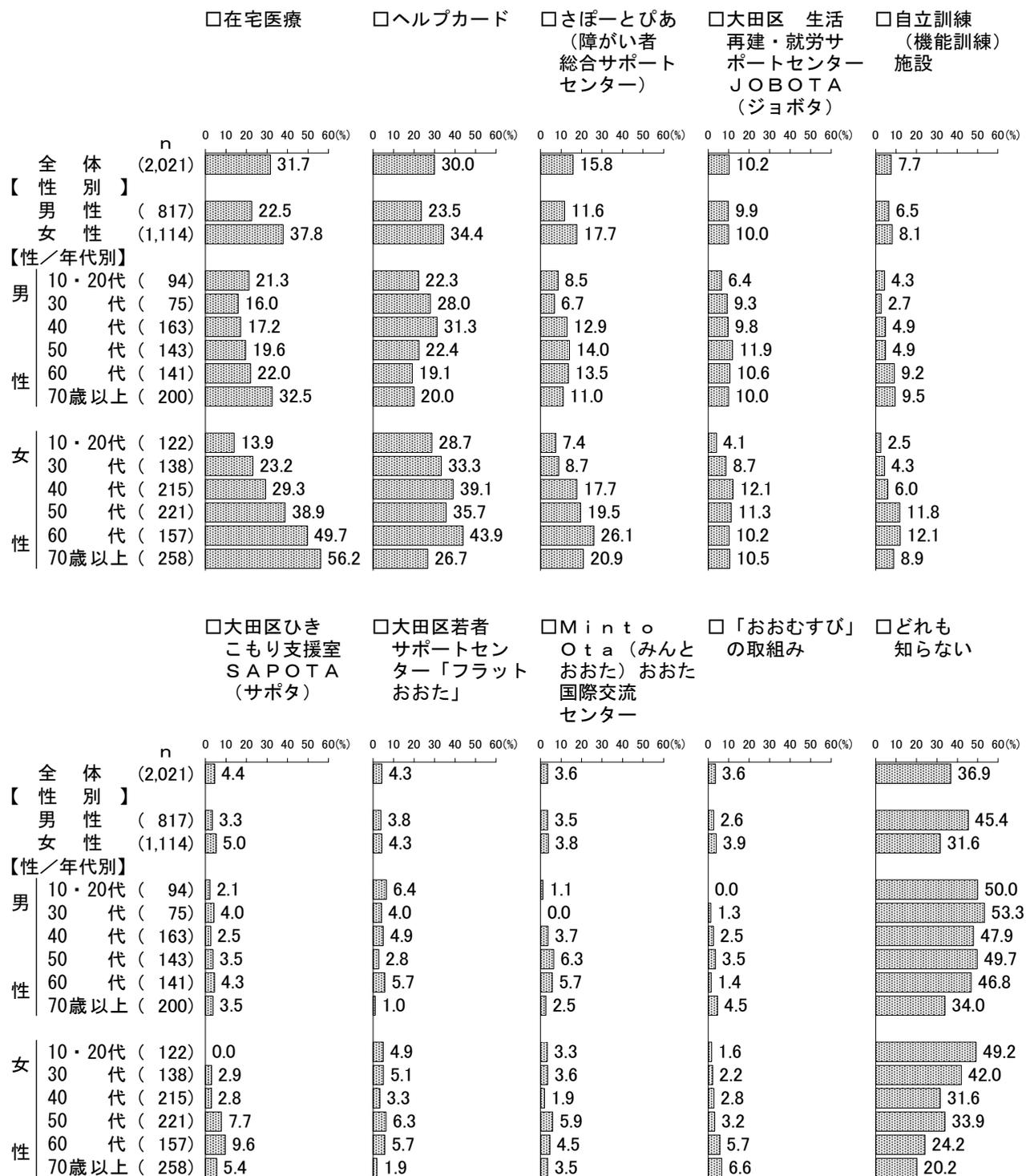
図13-1-1



区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「在宅医療」(31.7%)が3割を超えて最も高く、次いで「ヘルプカード」(30.0%)、「さぼーとびあ(障がい者総合サポートセンター)」(15.8%)、「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA(ジョボタ)」(10.2%)などの順になっている。一方、「どれも知らない」(36.9%)は4割近くとなっている。

(図13-1-1)

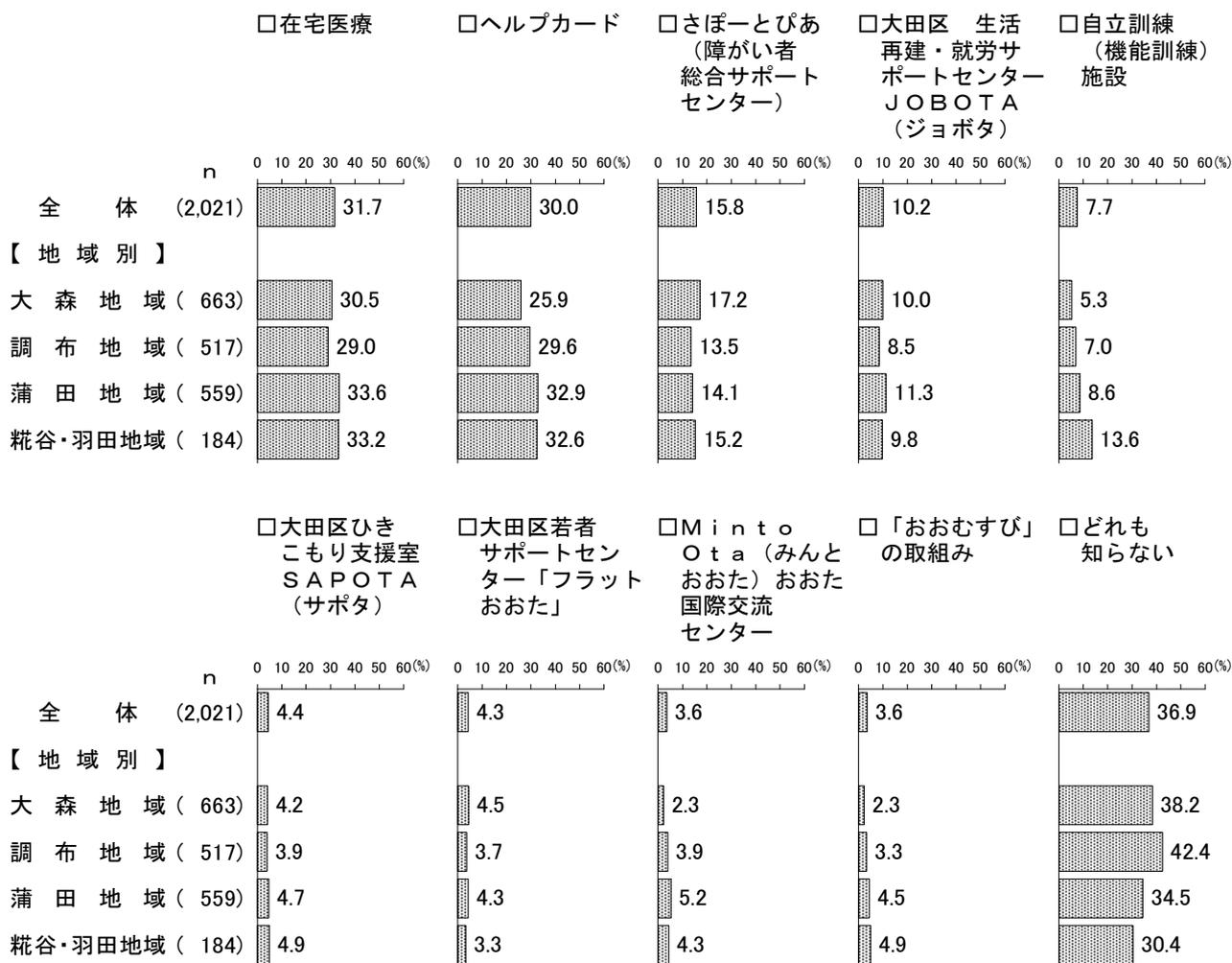
図13-1-2 大田区等の制度・施策・施設の認知度－性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、多くの項目で女性が男性を上回っており、「在宅医療」は女性（37.8%）が男性（22.5%）より15.3ポイント、「ヘルプカード」は女性（34.4%）が男性（23.5%）より10.9ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別で見ると、「在宅医療」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（56.2%）で5割半ばとなっている。「ヘルプカード」は女性60代（43.9%）で4割を超えて高くなっている。「さぽーとぴあ（障がい者総合サポートセンター）」は女性60代（26.1%）で2割半ばと高くなっている。（図13-1-2）

図13-1-3 大田区等の制度・施策・施設の認知度—地域別（上位10項目）



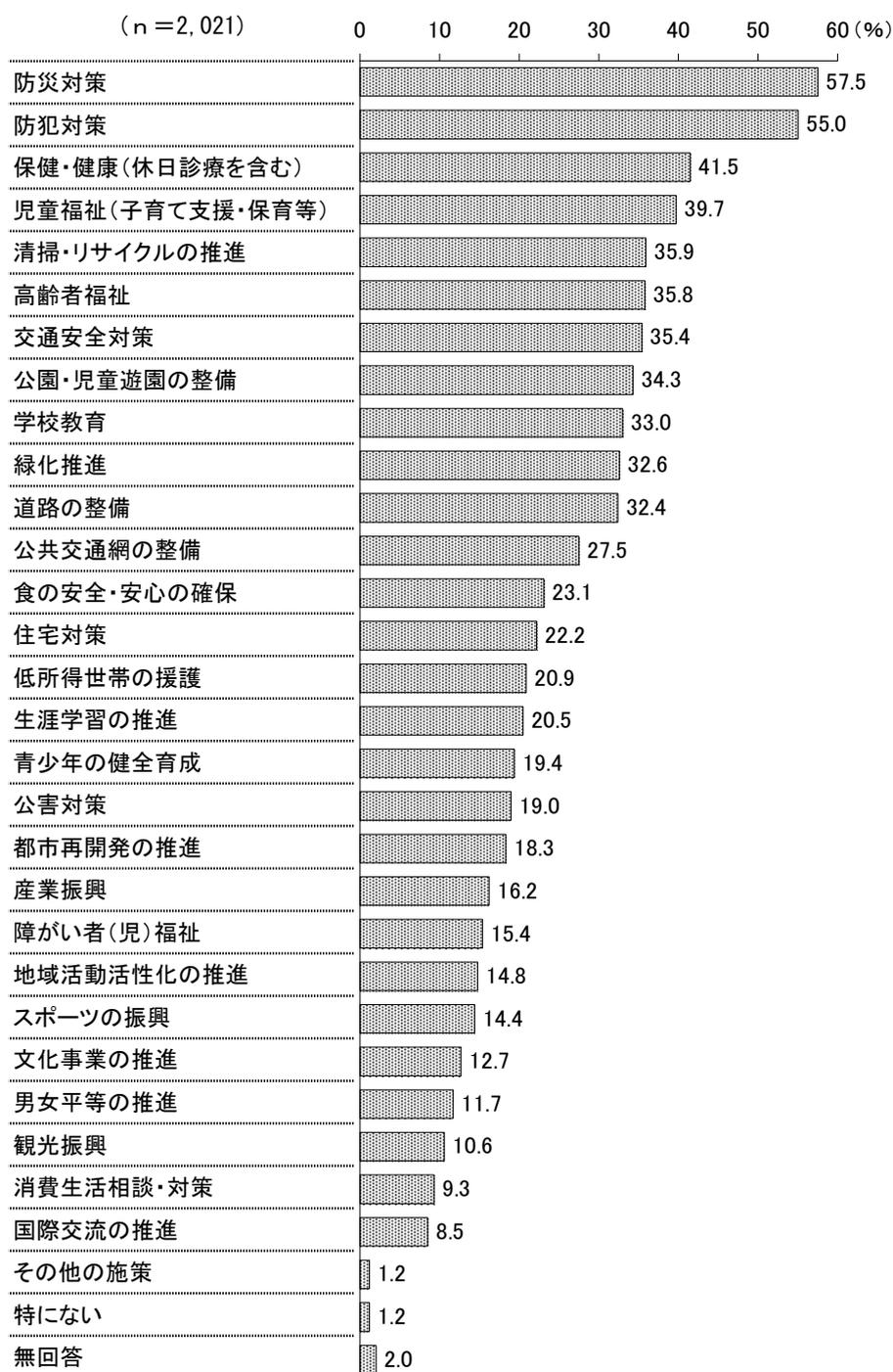
上位10項目を地域別で見ると、「在宅医療」は蒲田地域（33.6%）と糀谷・羽田地域（33.2%）で3割を超えて高くなっている。「ヘルプカード」は蒲田地域（32.9%）と糀谷・羽田地域（32.6%）で3割を超えて高くなっている。（図13-1-3）

(2) 施策要望

◇「防災対策」が6割近く

問26 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

図13-2-1

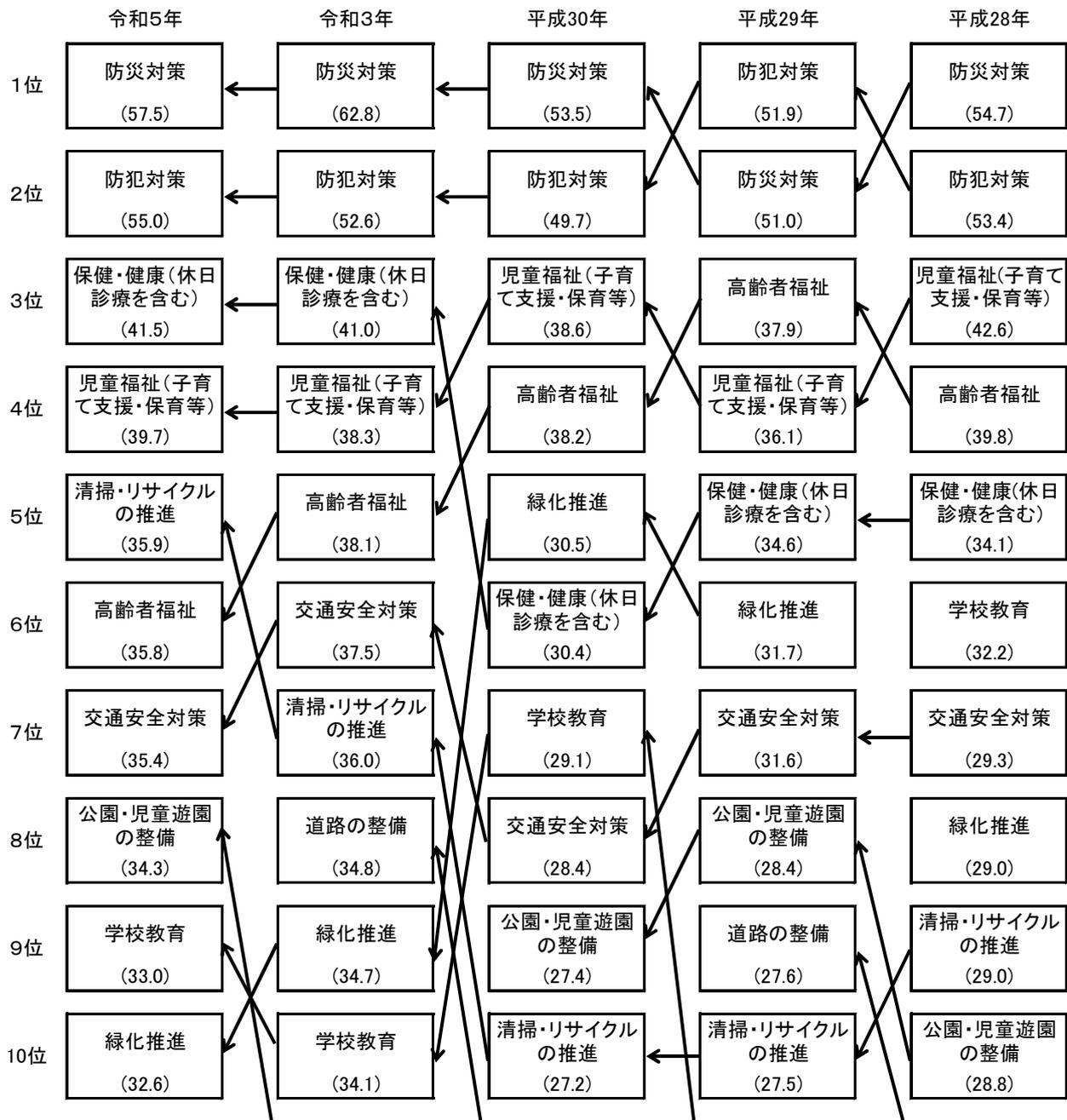


区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(57.5%)が6割近くで最も高く、次いで「防犯対策」(55.0%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(41.5%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(39.7%)などの順になっている。

「その他の施策」への回答として、「路上喫煙対策」、「駐輪場の増設」などがあげられている。

(図13-2-1)

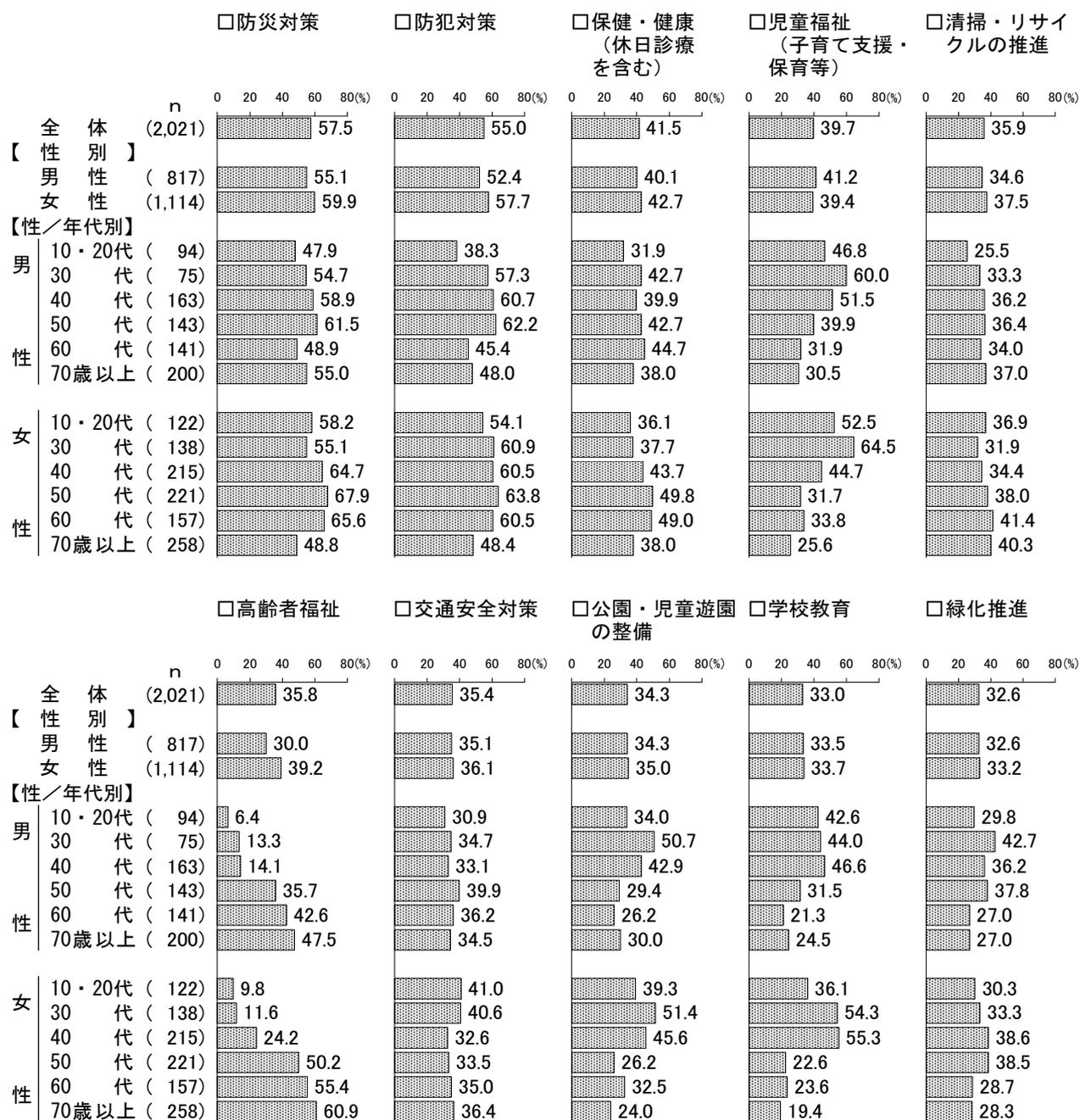
表13-2-1 施策要望—経年比較（上位10項目）



※同ポイントの項目は選択肢の順に記載している。

上位10項目の経年比較をみると、前回調査に引き続き「防災対策」は1位、「防犯対策」は2位、「保健・健康（休日診療を含む）」は3位、「児童福祉（子育て支援・保育等）」は4位となっている。また、「清掃・リサイクルの推進」は前回調査では7位であったが、今回調査では5位となっている。（表13-2-1）

図13-2-2 施策要望一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、多くの項目で女性が男性を上回っており、「高齢者福祉」は女性（39.2%）が男性（30.0%）より9.2ポイント、「防犯対策」は女性（57.7%）が男性（52.4%）より5.3ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別で見ると、「防災対策」は女性50代（67.9%）で7割近くと高くなっている。「児童福祉（子育て支援・保育等）」は女性30代（64.5%）で6割半ばと高くなっている。「高齢者福祉」は男女ともに年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（60.9%）で約6割となっている。

(図13-2-2)

表13-2-2 施策要望—地域別（上位5項目）

(%)

	n	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	2,021	防災対策 (57.5)	防犯対策 (55.0)	保健・健康(休日 診療を含む) (41.5)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (39.7)	清掃・リサイクル の推進 (35.9)
大 森 地 域	663	防災対策 (56.4)	防犯対策 (52.8)	保健・健康(休日 診療を含む) (40.1)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (39.4)	公園・児童遊園 の整備 (37.3)
調 布 地 域	517	防災対策 (56.1)	防犯対策 (55.1)	児童福祉(子育て支援・保育等) ／保健・健康(休日診療を含む) (41.0)		高齢者福祉 (38.1)
蒲 田 地 域	559	防災対策 (60.5)	防犯対策 (58.9)	保健・健康(休日 診療を含む) (42.4)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (39.4)	清掃・リサイクル の推進 (37.7)
糞谷・羽田地域	184	防災対策 (59.8)	防犯対策 (55.4)	児童福祉(子育て支援・保育等) ／保健・健康(休日診療を含む) (45.1)		清掃・リサイクル の推進 (40.2)

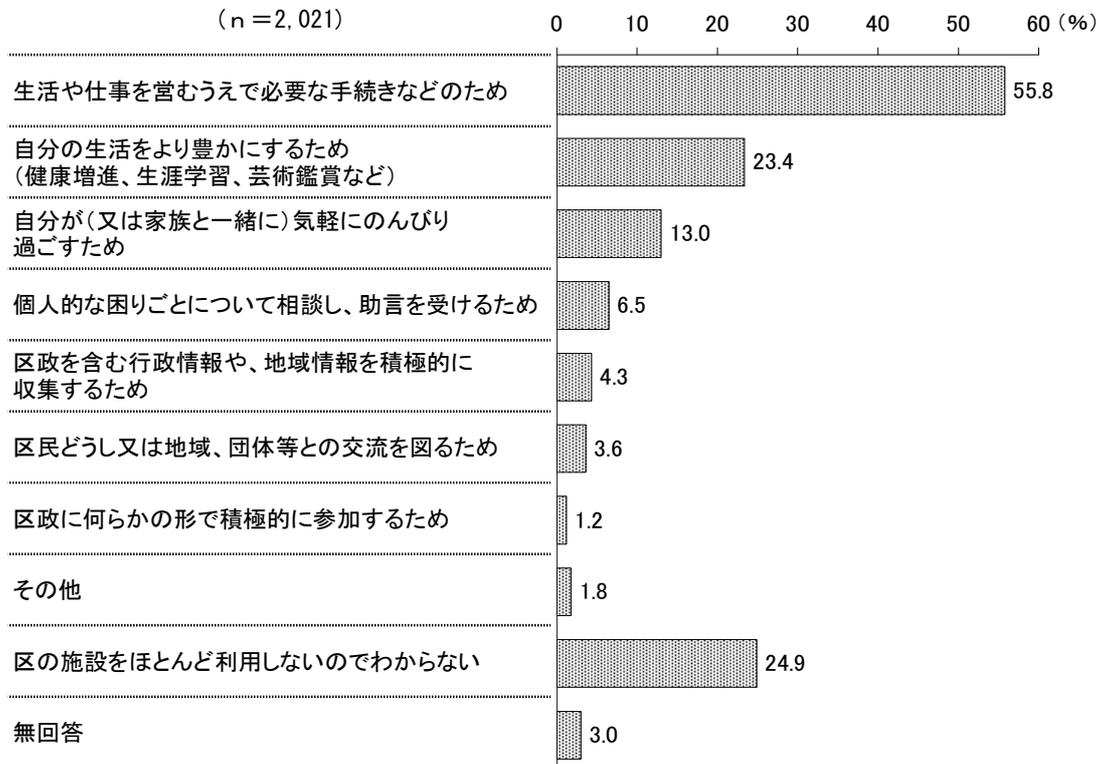
上位5項目を地域別で見ると、全ての地域で「防災対策」が1位、「防犯対策」が2位となっている。(表13-2-2)

(3) 区内施設の利用目的

◇「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」が5割半ば

問27 あなたは、どんな目的で大田区の施設を利用することが多いですか。(○は3つまで)

図13-3-1

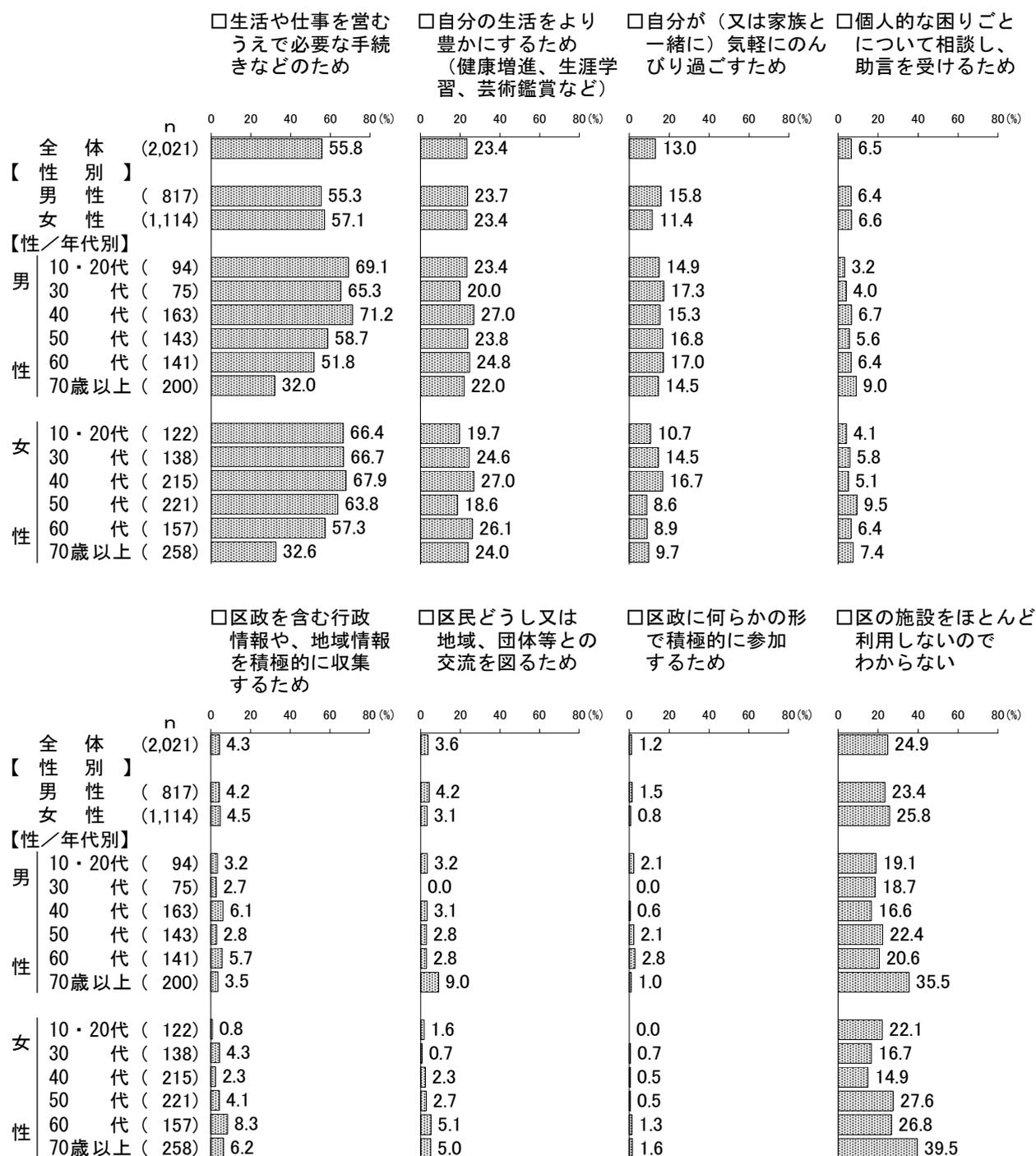


どんな目的で大田区の施設を利用することが多いか聞いたところ、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」(55.8%)が5割半ばで最も高く、次いで「自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)」(23.4%)、「自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため」(13.0%)などの順になっている。一方、「区の施設をほとんど利用しないのでわからない」(24.9%)は2割半ばとなっている。

「その他」への回答として、「図書館」、「プール」、「トイレ」などがあげられている。

(図13-3-1)

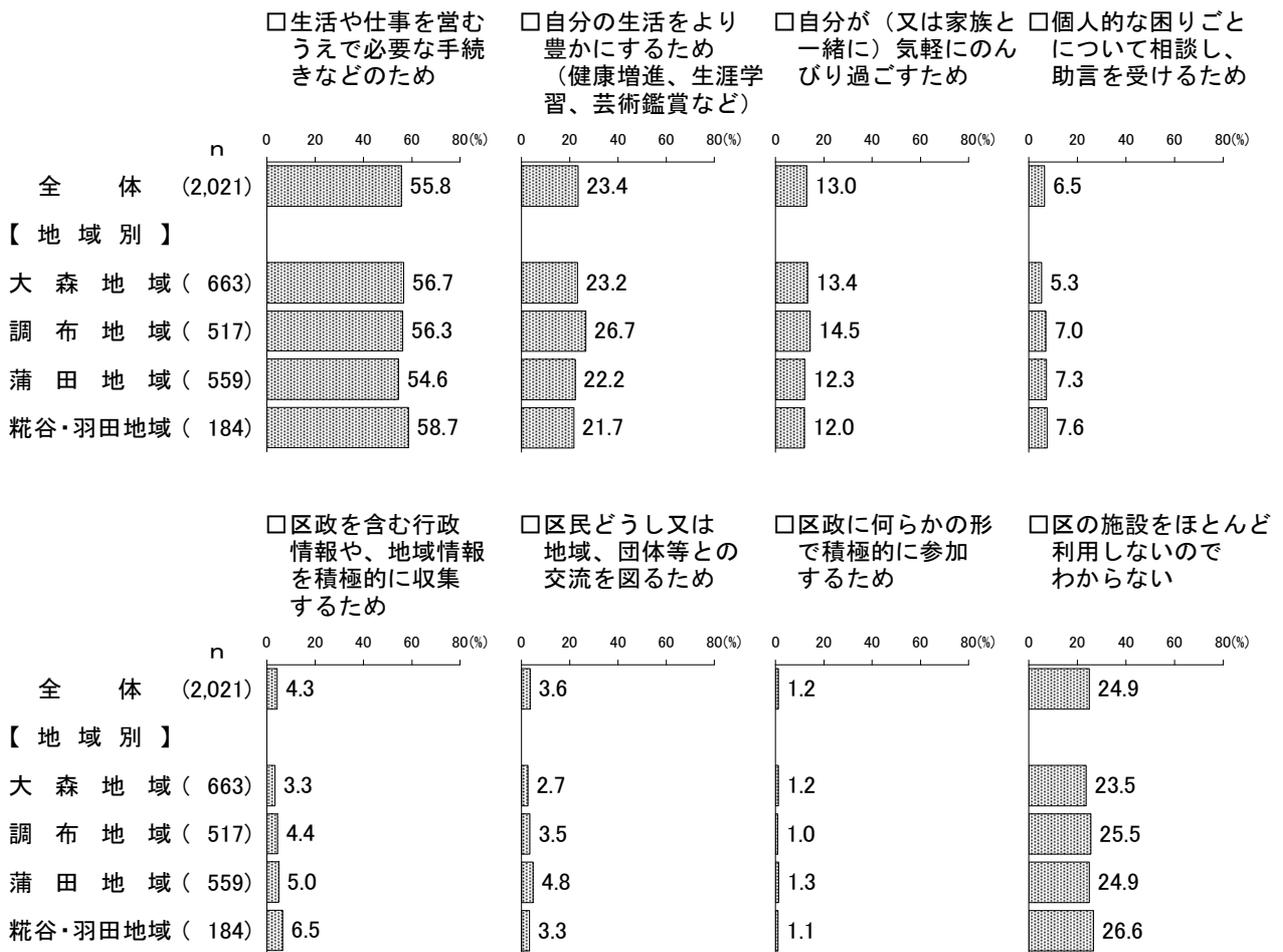
図13-3-2 区内施設の利用目的—性／年代別



性別でみると、「自分が (又は家族と一緒に) 気軽にのんびり過ごすため」は男性 (15.8%) が女性 (11.4%) より4.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」は男性40代 (71.2%) で7割を超えて高くなっている。「自分の生活をより豊かにするため」は男性40代 (27.0%) と女性40代 (27.0%) で3割近くと高くなっている。(図13-3-2)

図13-3-3 区内施設の利用目的—地域別



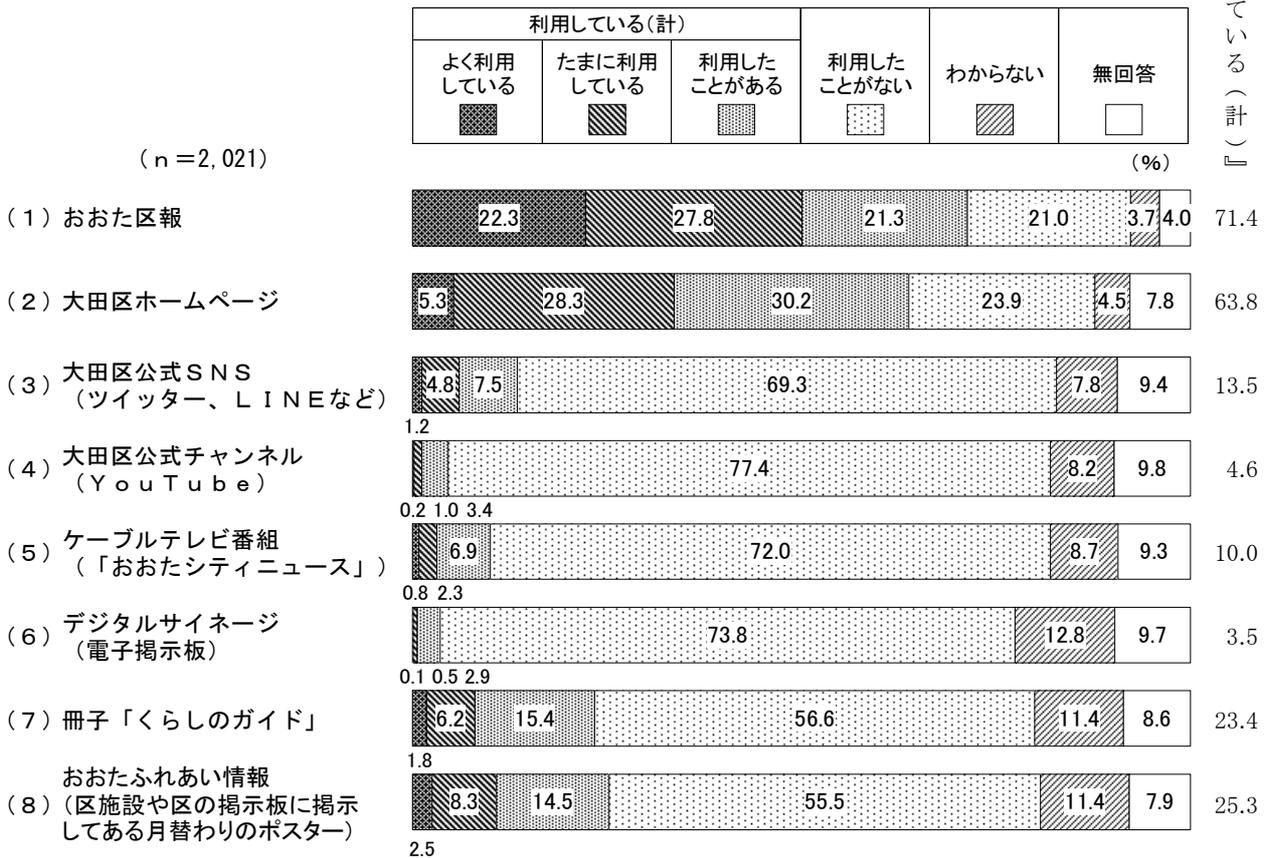
地域別でみると、「自分の生活をより豊かにするため」は調布地域 (26.7%) で3割近くと高くなっている。(図13-3-3)

(4) 区の媒体の利用頻度

◇「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している(計)』は“おおた区報”で7割を超える

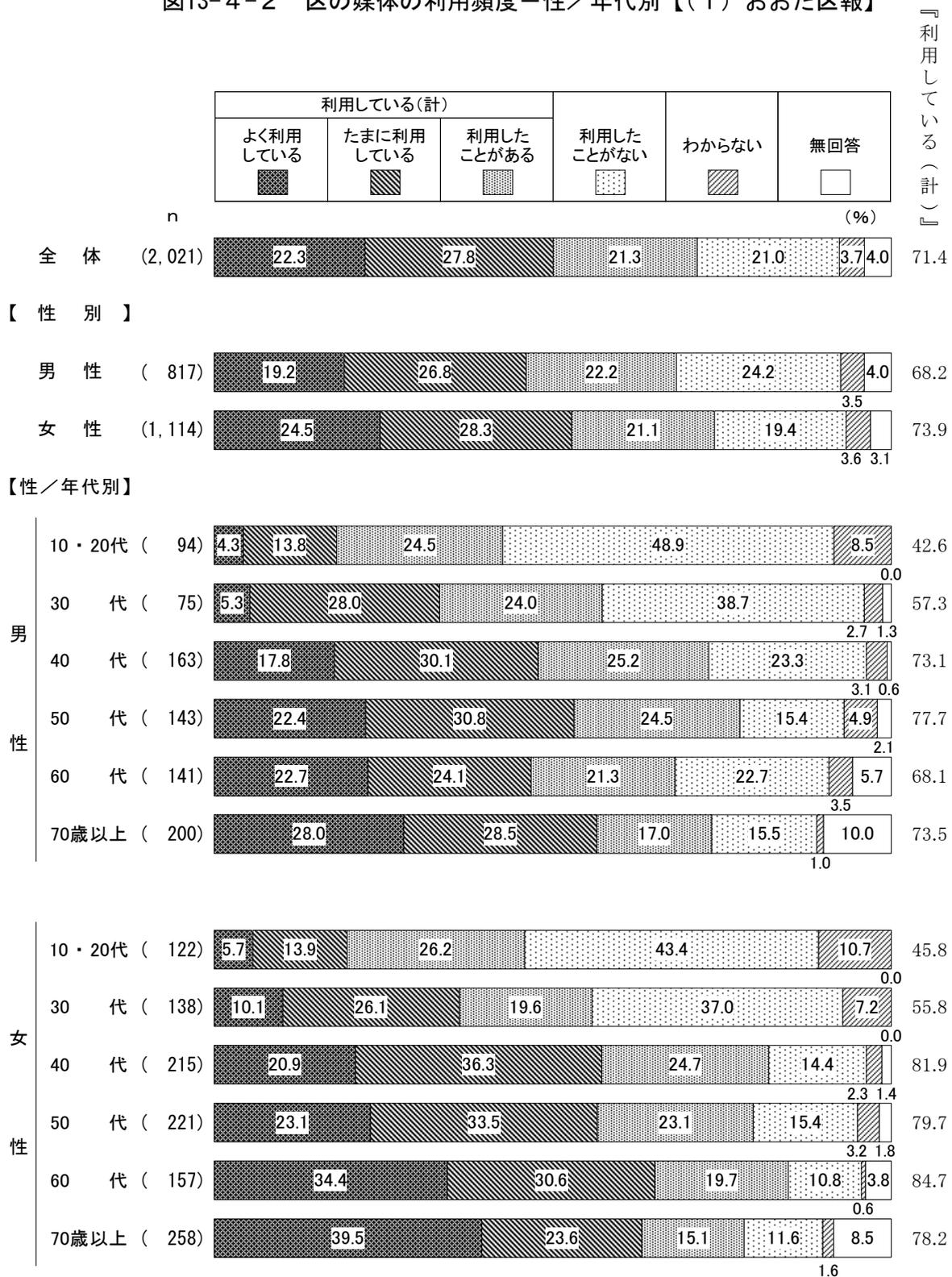
問28 あなたは区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用して(見て)いますか。(〇はそれぞれ1つ)

図13-4-1



区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用しているか聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している(計)』は“おおた区報”(71.4%)で7割を超え、“大田区ホームページ”(63.8%)で6割を超えて高くなっている。(図13-4-1)

図13-4-2 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(1) おおた区報】

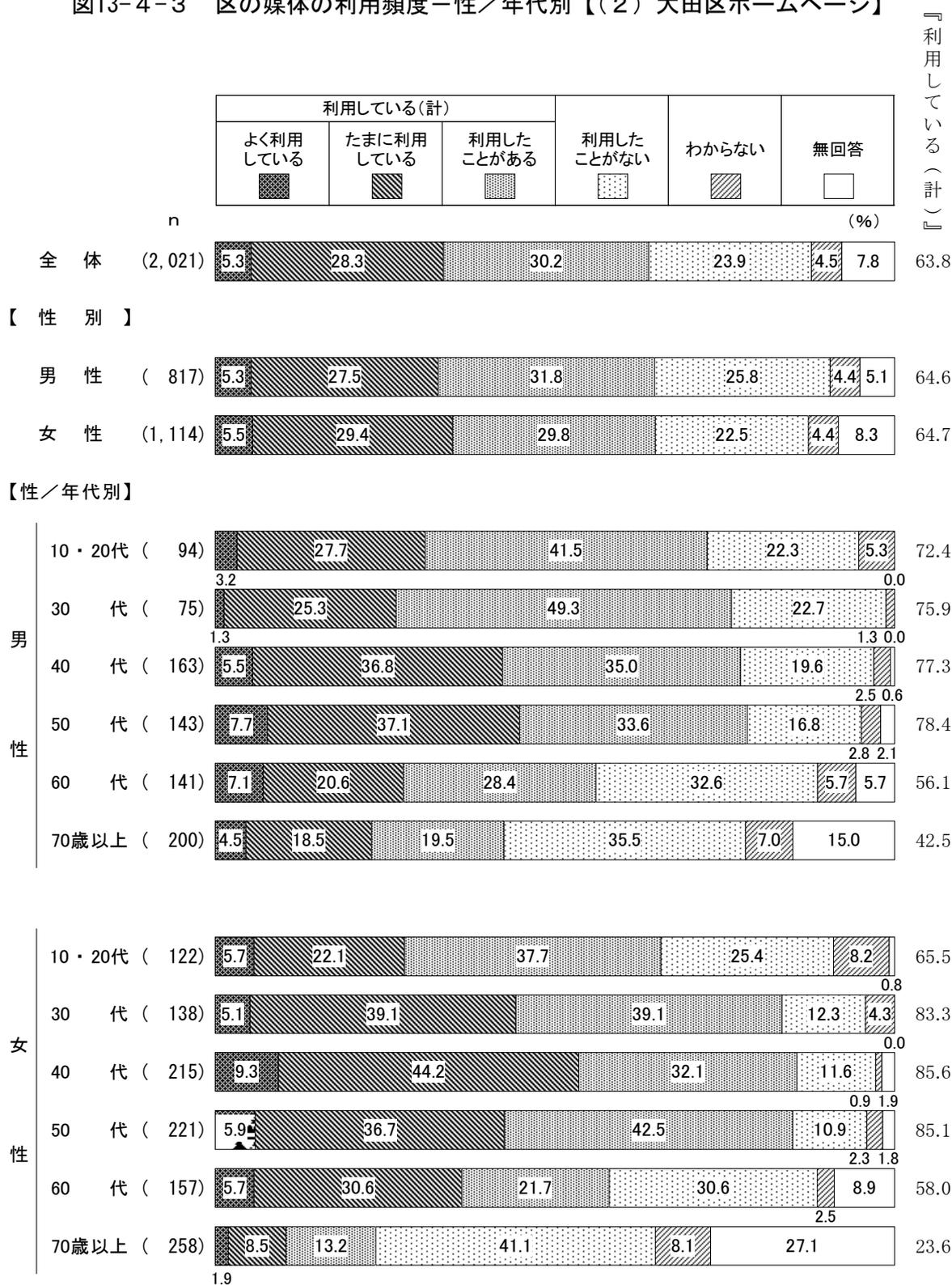


“おおた区報”を性別で見ると、『利用している(計)』は女性(73.9%)が男性(68.2%)より5.7ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『利用している(計)』は女性60代(84.7%)で8割半ばと高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性10・20代(48.9%)で5割近くと高くなっている。

(図13-4-2)

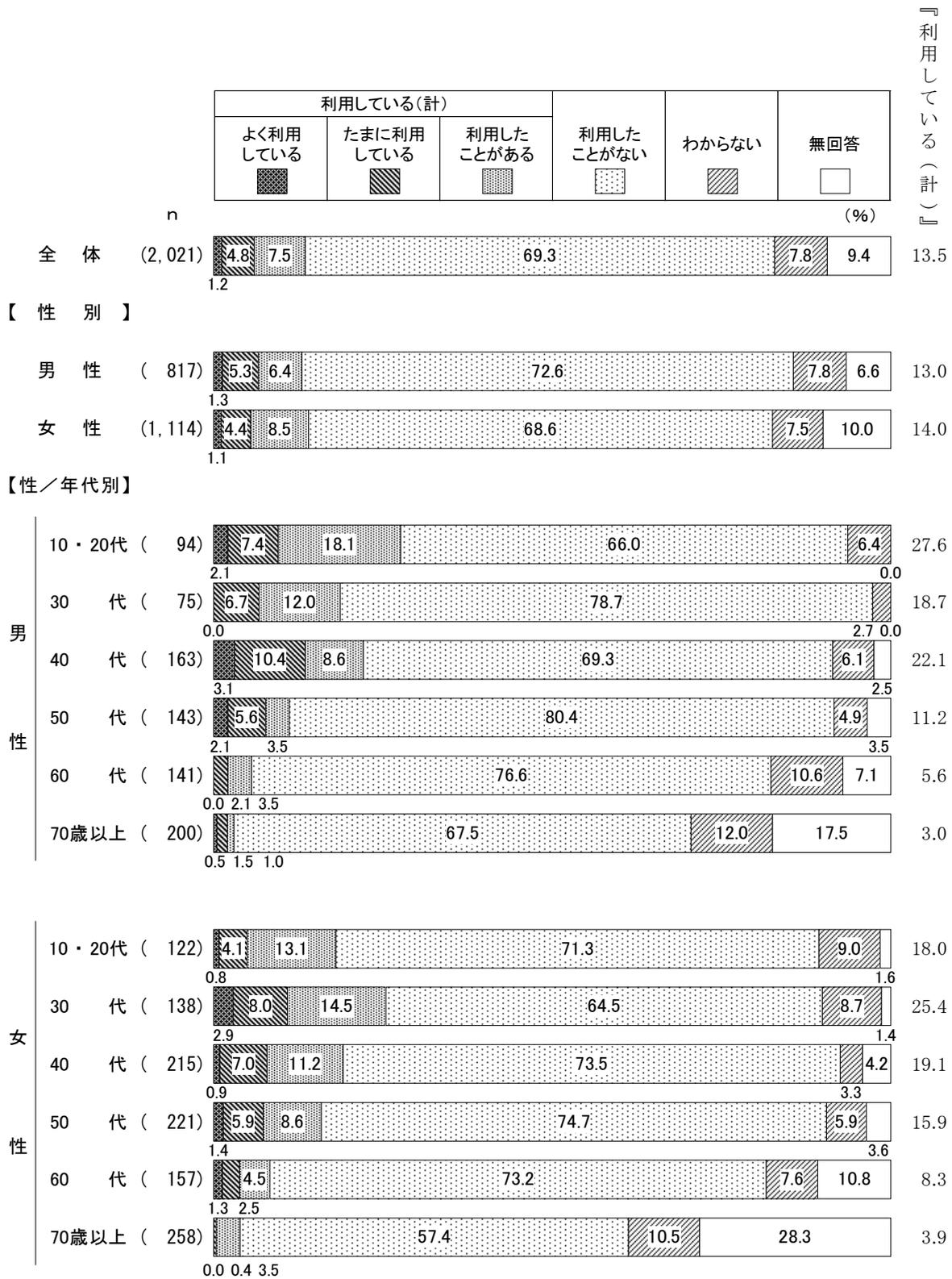
図13-4-3 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(2) 大田区ホームページ】



“大田区ホームページ”を性別で見ると、「利用したことがない」は男性(25.8%)が女性(22.5%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『利用している(計)』は女性40代(85.6%)と女性50代(85.1%)で8割半ばと高くなっている。一方、「利用したことがない」は女性70歳以上(41.1%)で4割を超えて高くなっている。(図13-4-3)

図13-4-4 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(3) 大田区公式SNS（ツイッター、LINEなど）】

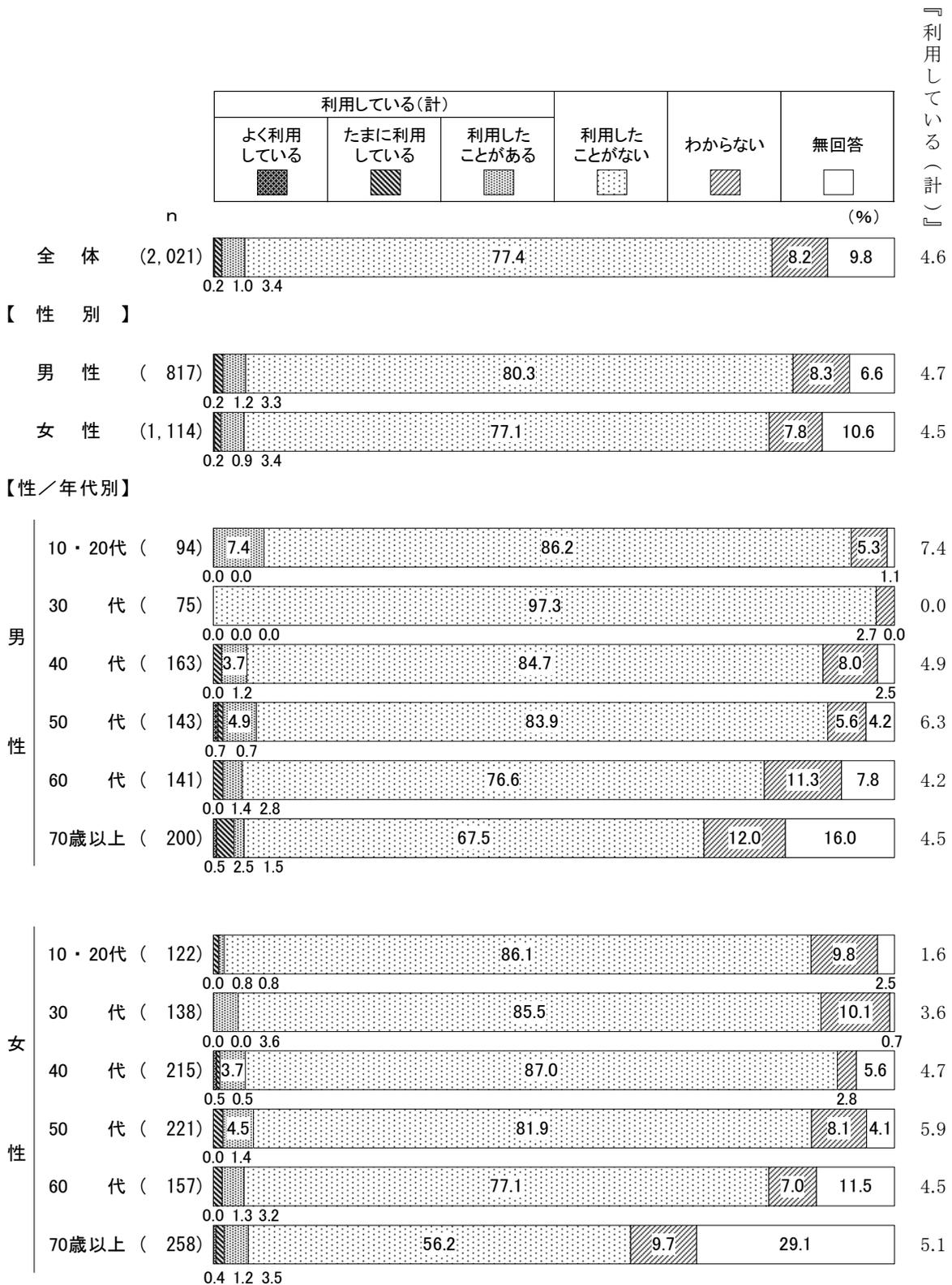


“大田区公式SNS（ツイッター、LINEなど）”を性別で見ると、「利用したことがない」は男性（72.6%）が女性（68.6%）より4.0ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『利用している（計）』は男性10・20代（27.6%）で3割近くと高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性50代（80.4%）で8割と高くなっている。

(図13-4-4)

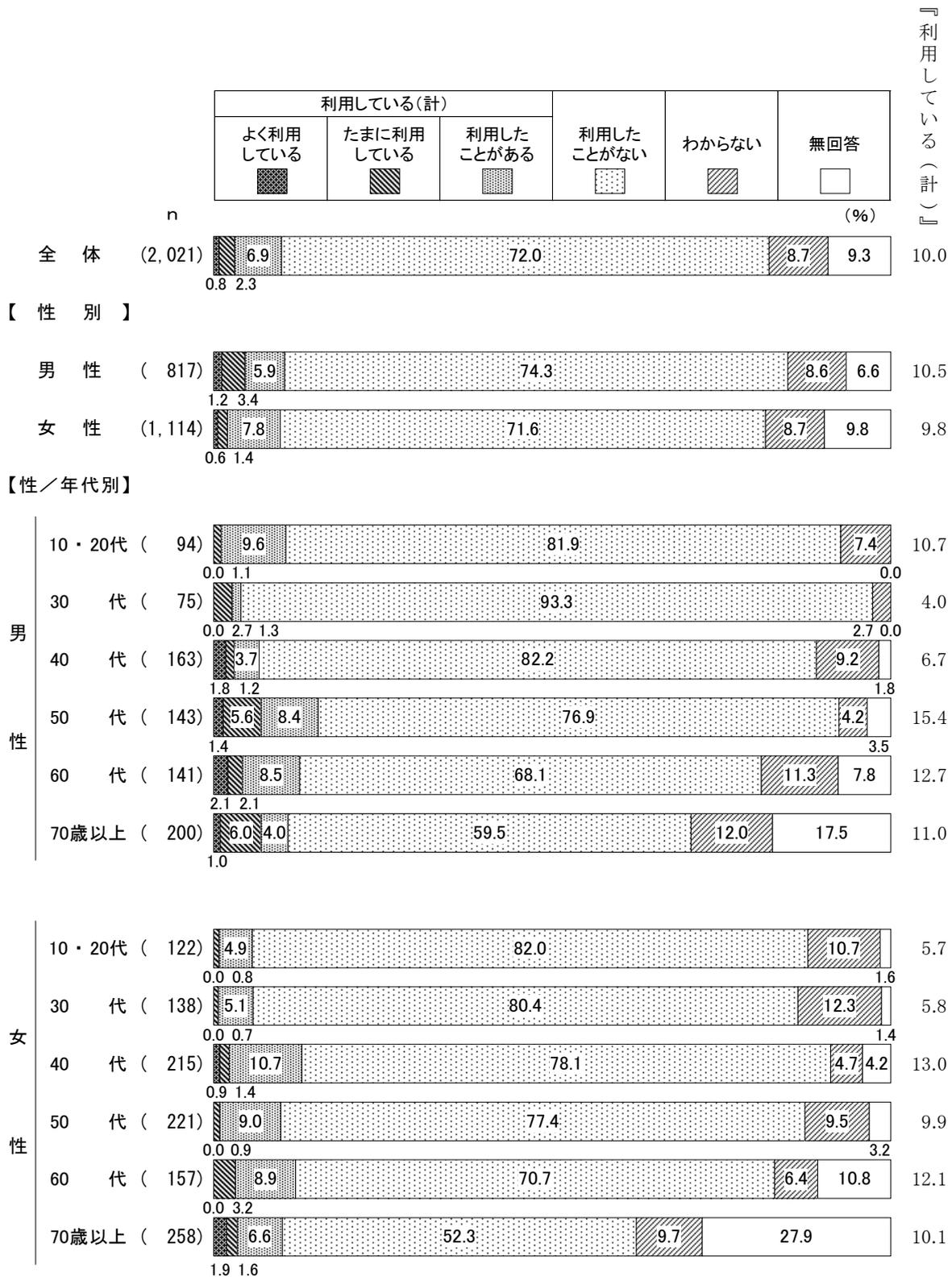
図13-4-5 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(4) 大田区公式チャンネル (YouTube)】



“大田区公式チャンネル (YouTube)” を性別で見ると、「利用したことがない」は男性 (80.3%) が女性 (77.1%) より3.2ポイント高くなっている。

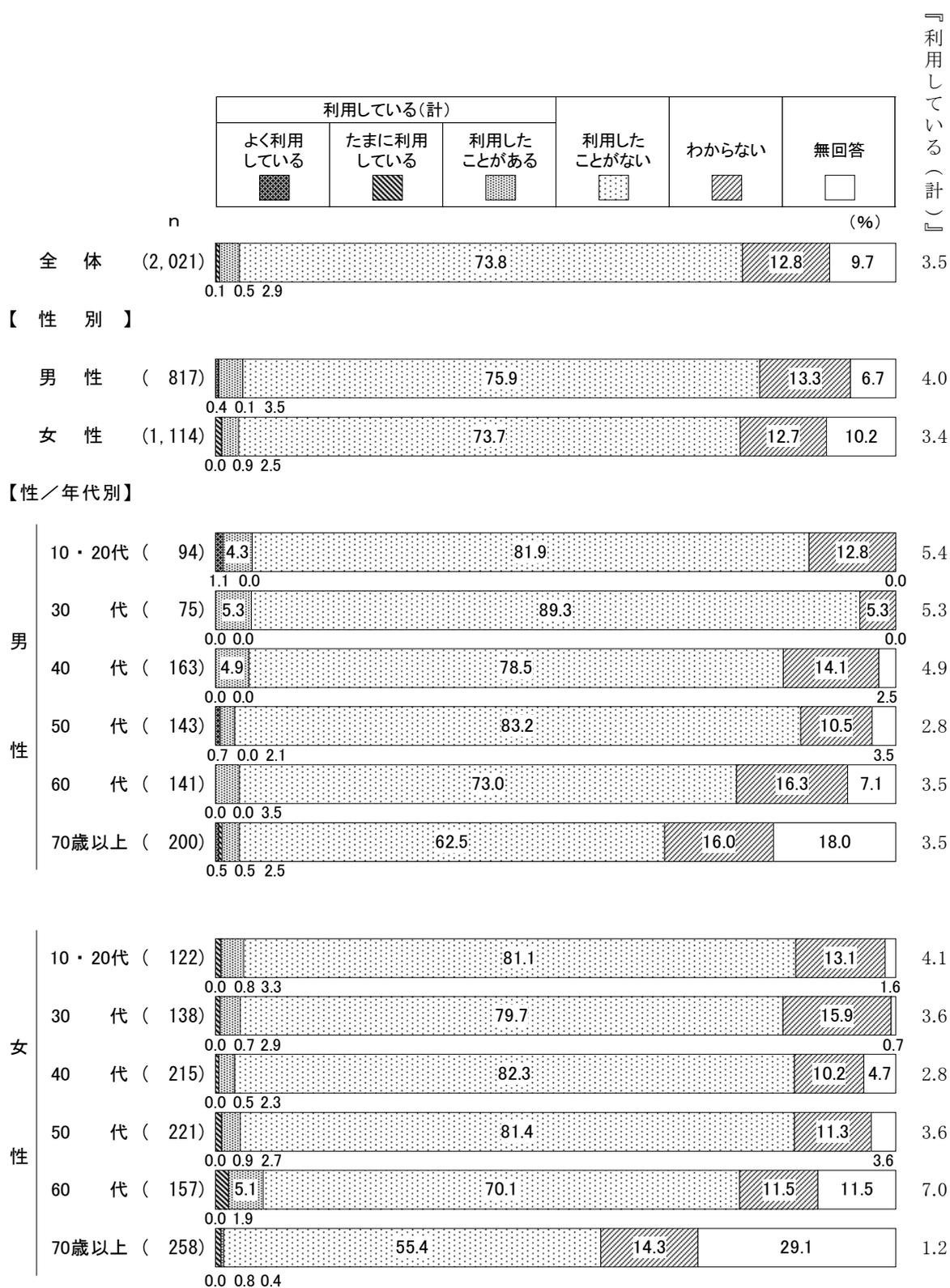
性／年代別で見ると、「利用したことがない」は男性30代 (97.3%) で10割近くと高くなっている。(図13-4-5)

図13-4-6 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(5) ケーブルテレビ番組(「おおたシティニュース」)】



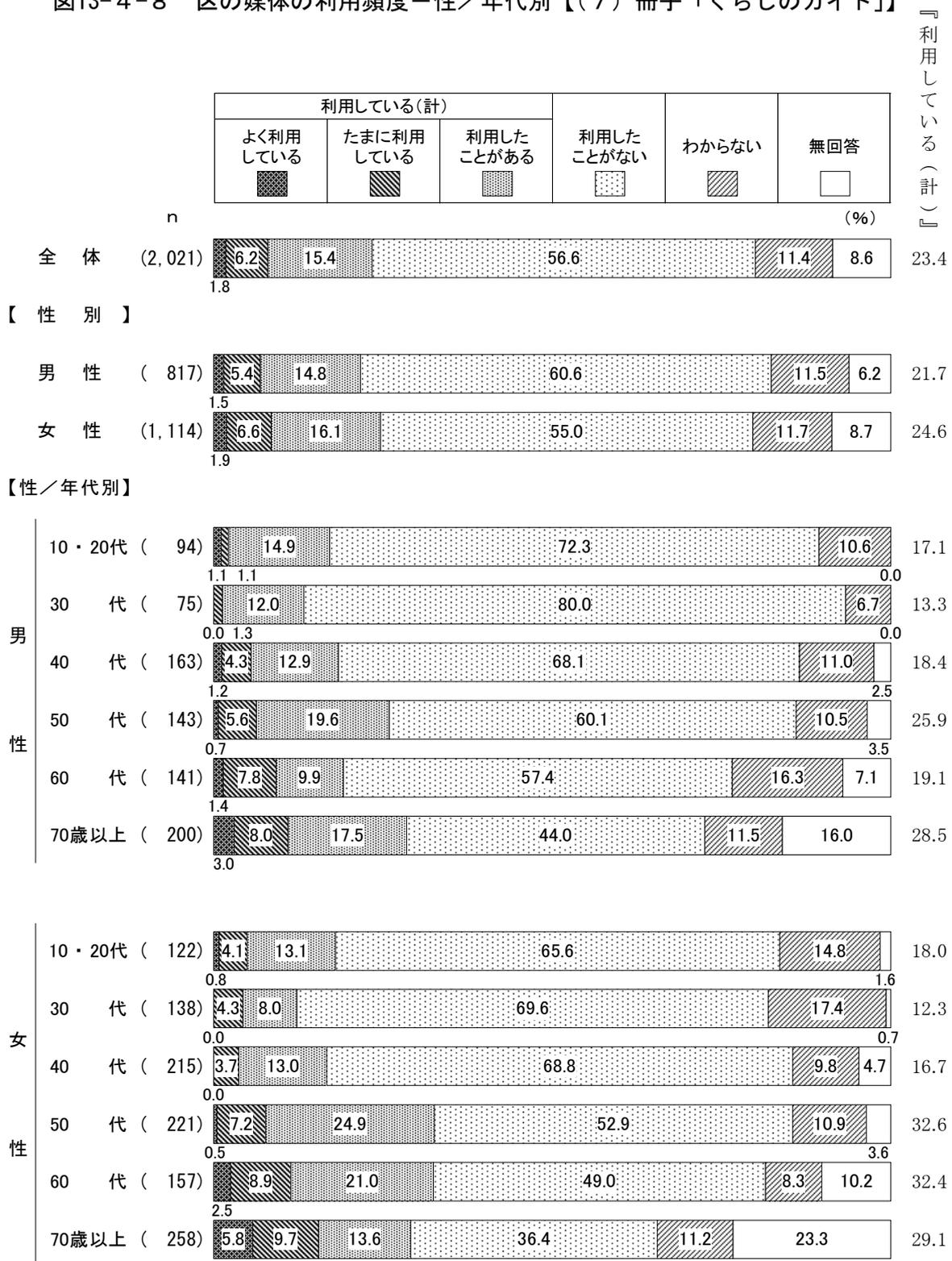
“ケーブルテレビ番組(「おおたシティニュース」)”を性別で見ると、大きな違いはみられない。性／年代別で見ると、「利用したことがない」は男性30代(93.3%)で9割を超えて高くなっている。(図13-4-6)

図13-4-7 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(6) デジタルサイネージ（電子掲示板）】



“デジタルサイネージ（電子掲示板）”を性別で見ると、大きな違いはみられない。
 性／年代別で見ると、「利用したことがない」は男性30代（89.3%）で約9割と高くなっている。
 （図13-4-7）

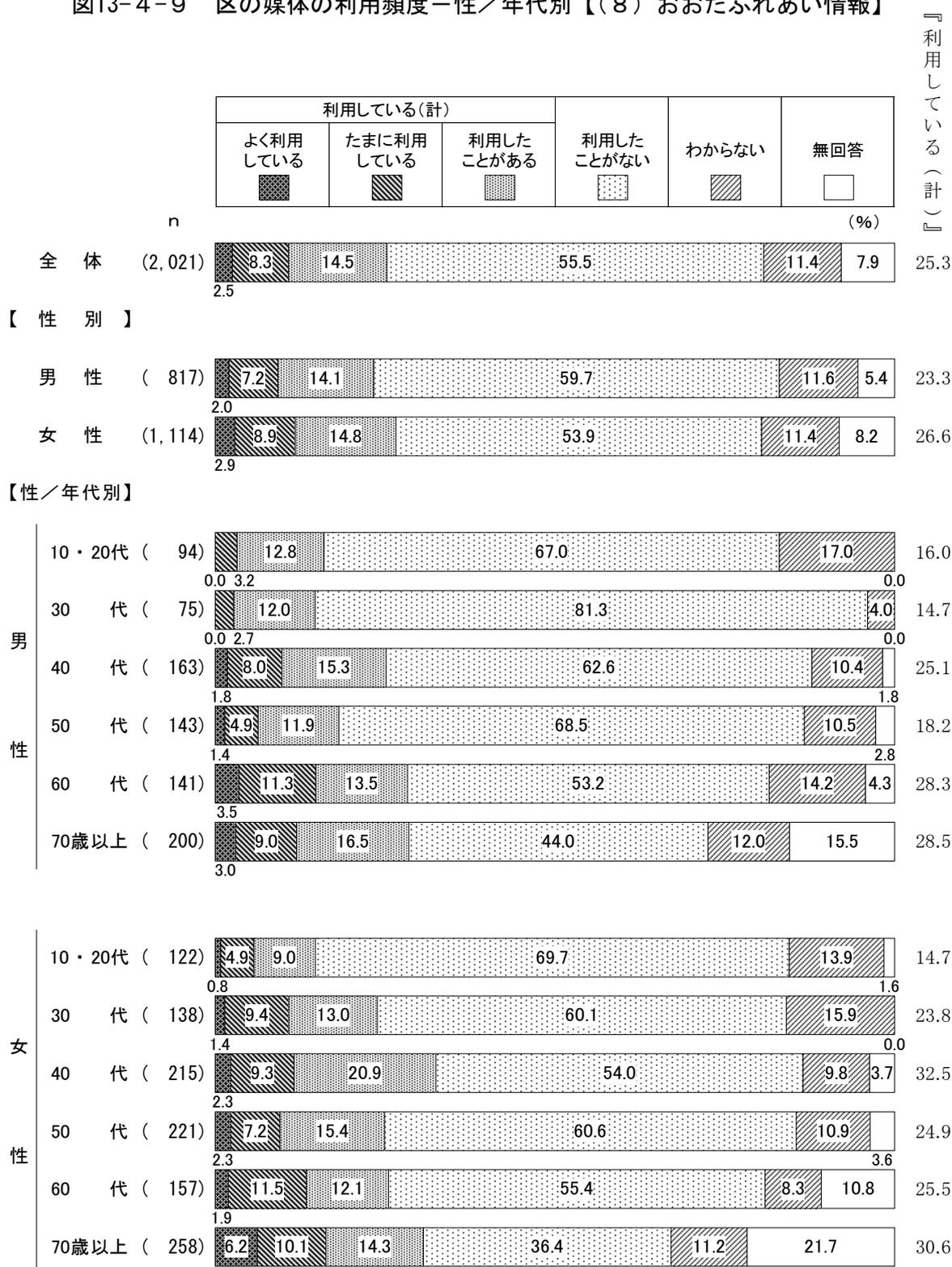
図13-4-8 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(7) 冊子「くらしのガイド」】



“冊子「くらしのガイド」”を性別で見ると、「利用したことがない」は男性（60.6%）が女性（55.0%）より5.6ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『利用している（計）』は女性50代（32.6%）と女性60代（32.4%）で3割を超えて高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性30代（80.0%）で8割と高くなっている。（図13-4-8）

図13-4-9 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(8) おおたふれあい情報】



“おおたふれあい情報”を性別で見ると、『利用している(計)』は女性(26.6%)が男性(23.3%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『利用している(計)』は女性40代(32.5%)で3割を超えて高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性30代(81.3%)で8割を超えて高くなっている。

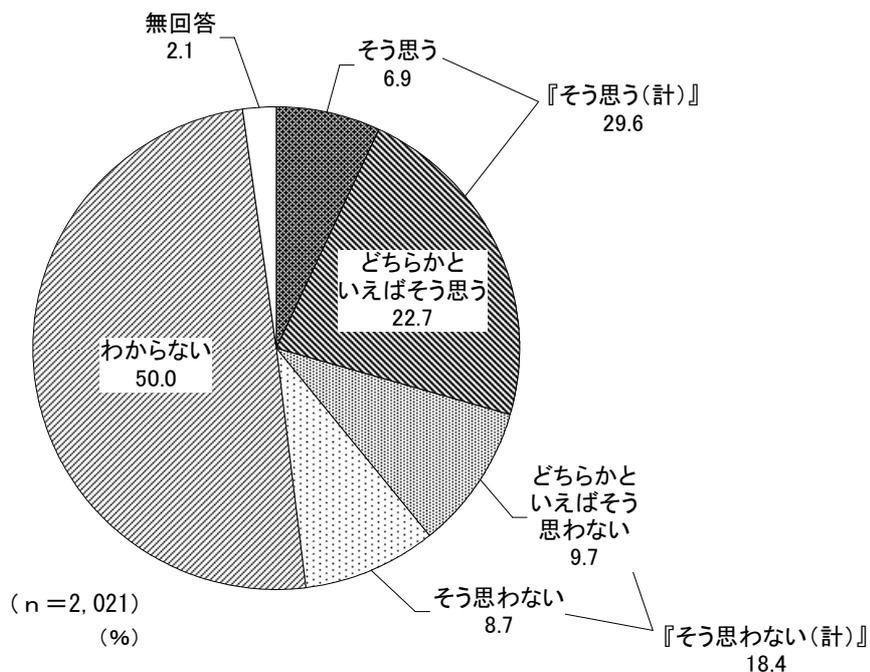
(図13-4-9)

(5) 区の行政サービスや窓口への印象

◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う(計)』は3割

問29 あなたは、大田区の行政サービスや窓口は以前に比べて使いやすくなった、便利になったと思いますか。(○は1つだけ)

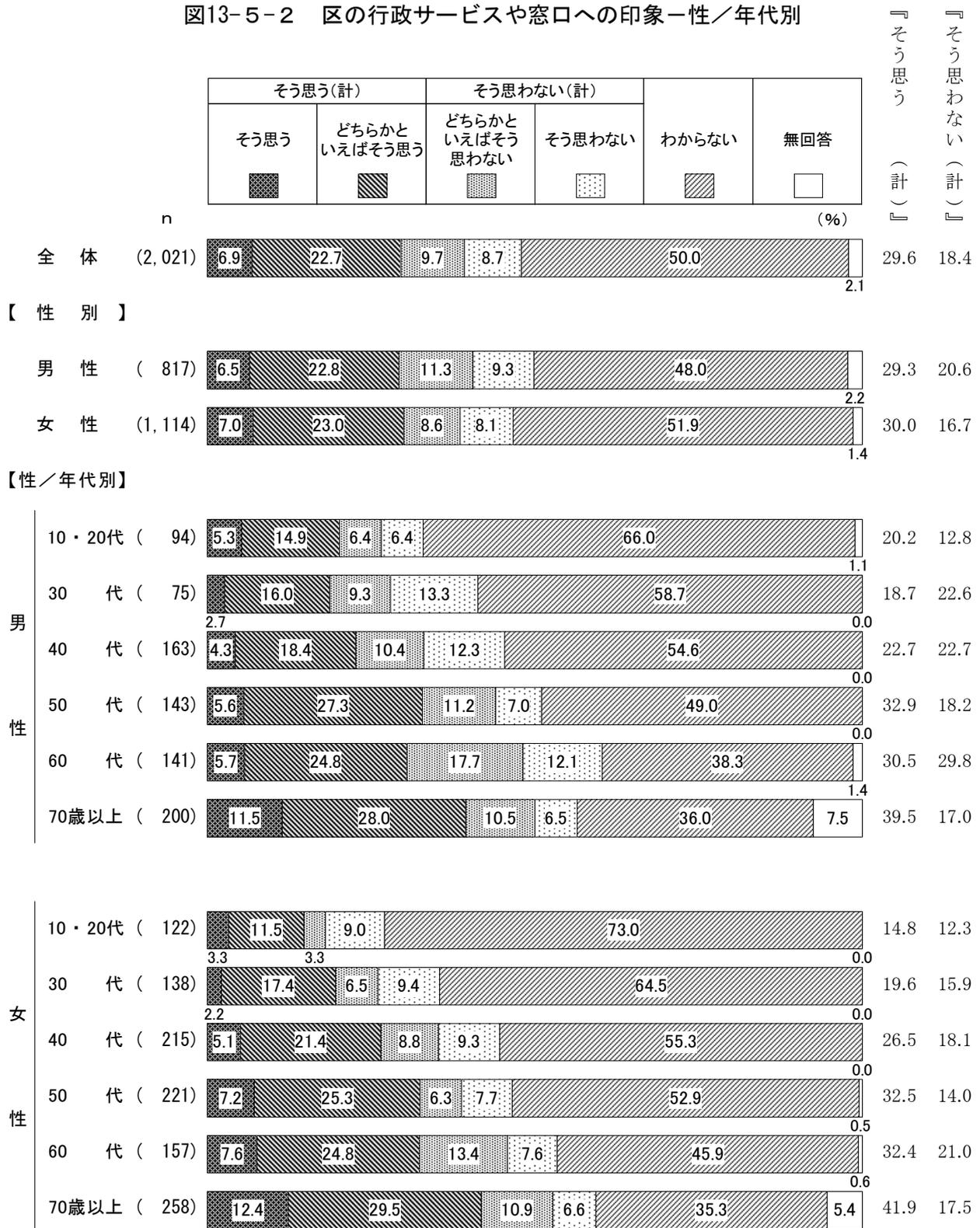
図13-5-1



大田区の行政サービスや窓口は以前に比べて使いやすくなった、便利になったと思うか聞いたところ、「そう思う」(6.9%)と「どちらかといえばそう思う」(22.7%)を合わせた『そう思う(計)』(29.6%)は3割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.7%)と「そう思わない」(8.7%)を合わせた『そう思わない(計)』(18.4%)は2割近くとなっている。

(図13-5-1)

図13-5-2 区の行政サービスや窓口への印象－性／年代別



性別でみると、『そう思わない(計)』は男性(20.6%)が女性(16.7%)より3.9ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『そう思う(計)』は女性70歳以上(41.9%)で4割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性60代(29.8%)で3割と高くなっている。(図13-5-2)

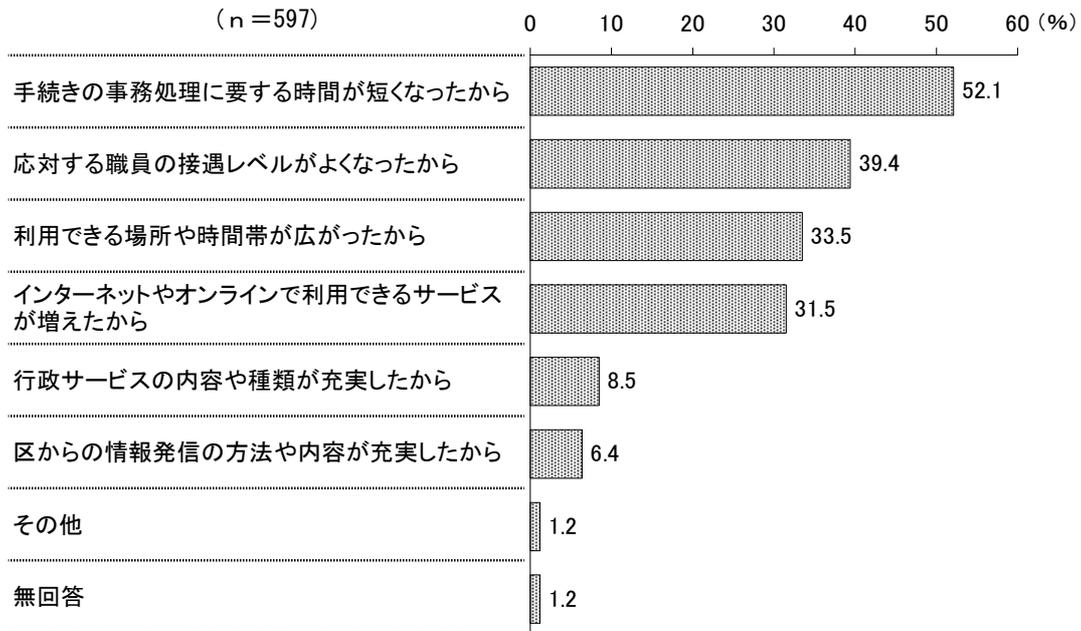
(6) 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由

◇「手続きの事務処理に要する時間が短くなったから」が5割を超える

(問29で、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した方に)

問29-1 そのように思った理由は何ですか。(〇はいくつでも)

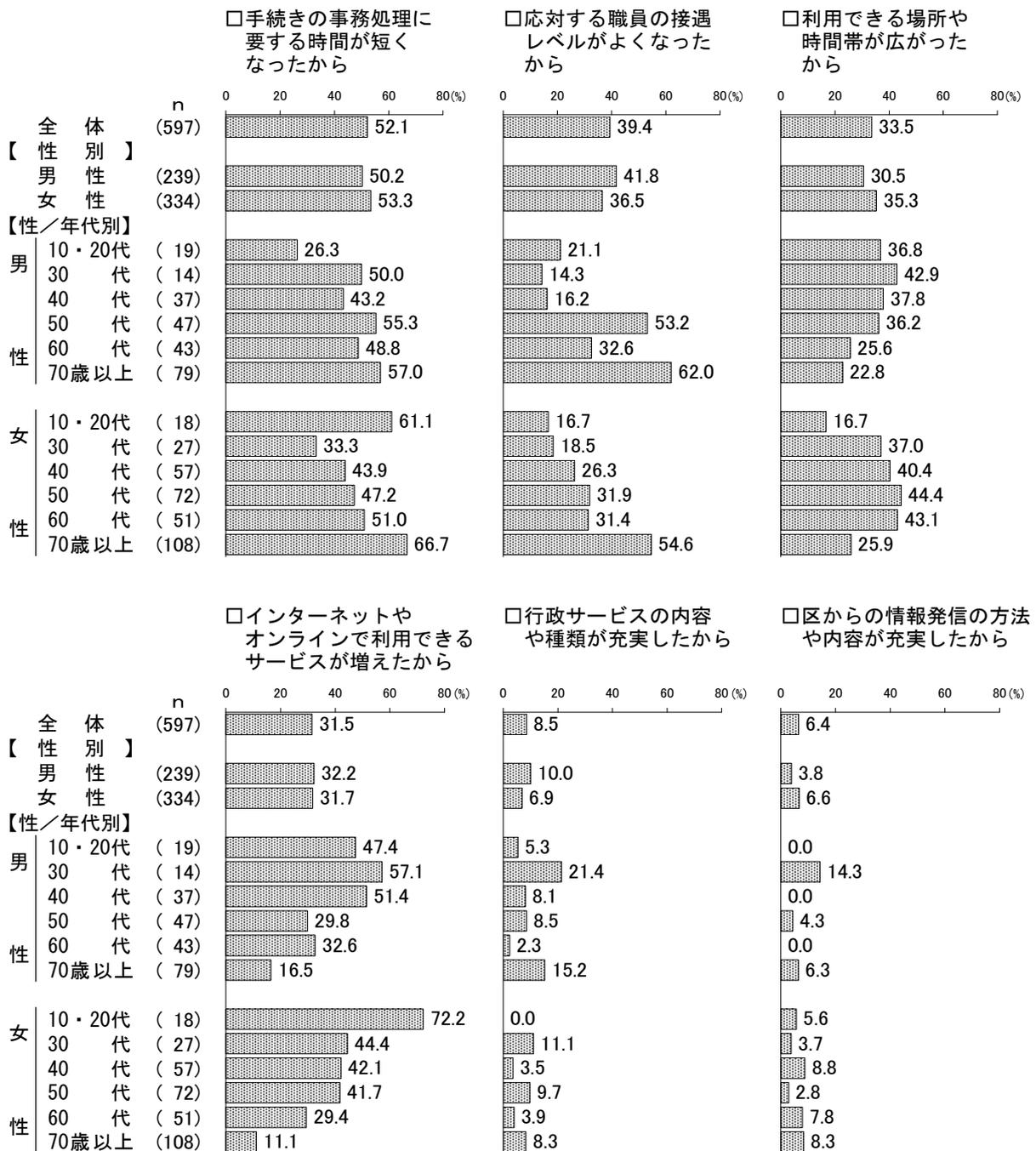
図13-6-1



区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思うと答えた人(597人)に、その理由を聞いたところ、「手続きの事務処理に要する時間が短くなったから」(52.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「応対する職員の接客レベルがよくなったから」(39.4%)、「利用できる場所や時間帯が広がったから」(33.5%)、「インターネットやオンラインで利用できるサービスが増えたから」(31.5%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「コンビニで書類が取得できるから」、「職員が親切」などがあげられている。(図13-6-1)

図13-6-2 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由—性／年代別



性別で見ると、「対応する職員の接遇レベルがよくなったから」は男性（41.8%）が女性（36.5%）より5.3ポイント高くなっている。一方、「利用できる場所や時間帯が広がったから」は女性（35.3%）が男性（30.5%）より4.8ポイント高くなっている。

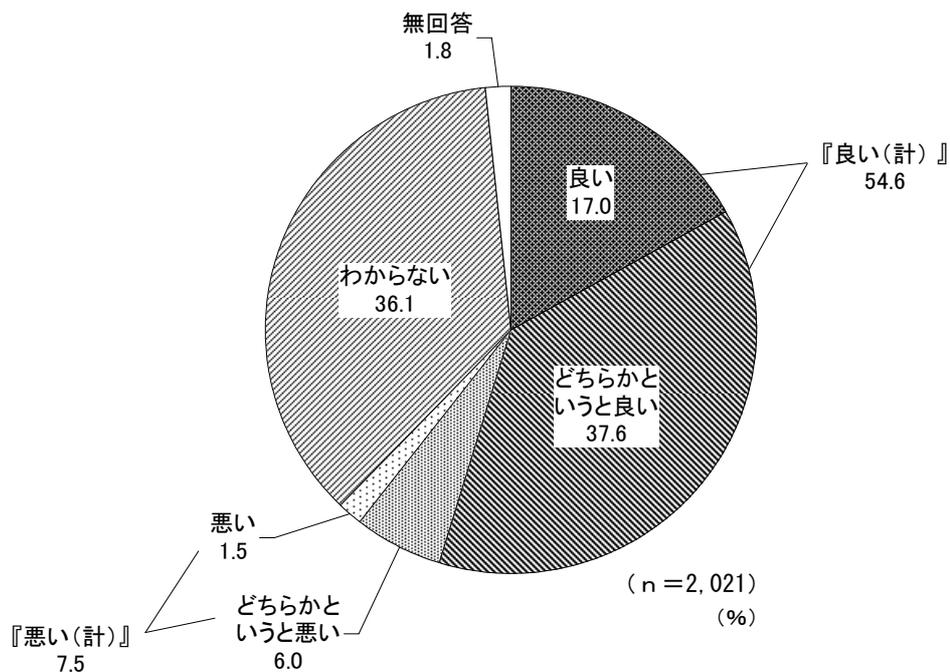
性／年代別で見ると、「手続きの事務処理に要する時間が短くなったから」は女性70歳以上（66.7%）で7割近くと高くなっている。「対応する職員の接遇レベルがよくなったから」は男性70歳以上（62.0%）で6割を超えて高くなっている。（図13-6-2）

(7) 区の職員の窓口や電話対応への印象

◇「良い」と「どちらかというが良い」を合わせた『良い(計)』は5割半ば

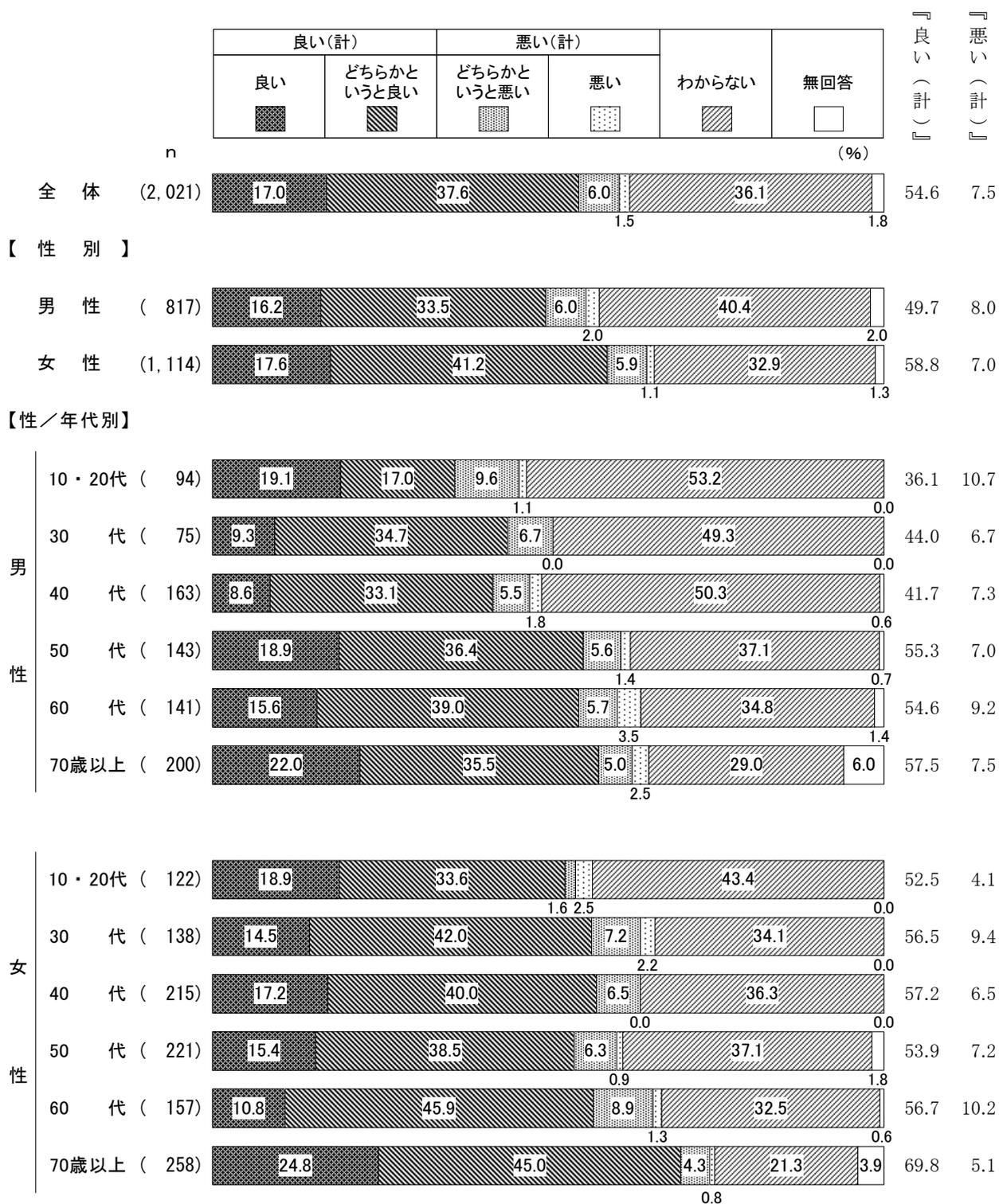
問30 あなたは、大田区の職員の窓口や電話での対応についてどのように感じていますか。
(○は1つだけ)

図13-7-1



区の職員の窓口や電話での対応について聞いたところ、「どちらかというが良い」(37.6%)が4割近くで最も高く、これに「良い」(17.0%)を合わせた『良い(計)』(54.6%)は5割半ばとなっている。一方、「どちらかというが悪い」(6.0%)と「悪い」(1.5%)を合わせた『悪い(計)』(7.5%)は1割未満となっている。(図13-7-1)

図13-7-2 区の職員の窓口や電話対応への印象—性／年代別



性別でみると、『良い(計)』は女性(58.8%)が男性(49.7%)より9.1ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『良い(計)』は女性70歳以上(69.8%)で7割と高くなっている。

(図13-7-2)

(8) 区政への参加意向

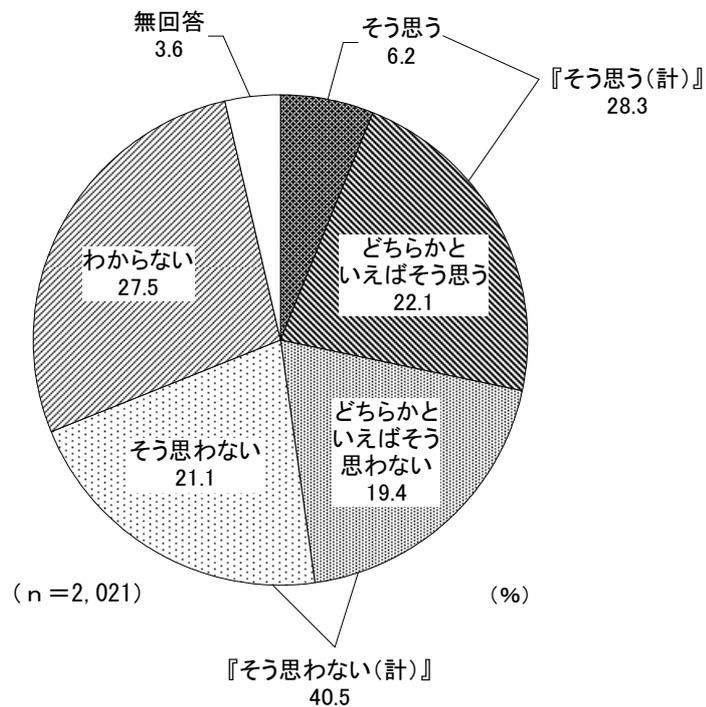
◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う(計)』は3割近く

問31 あなたは、何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思いますか。

(○は1つだけ)

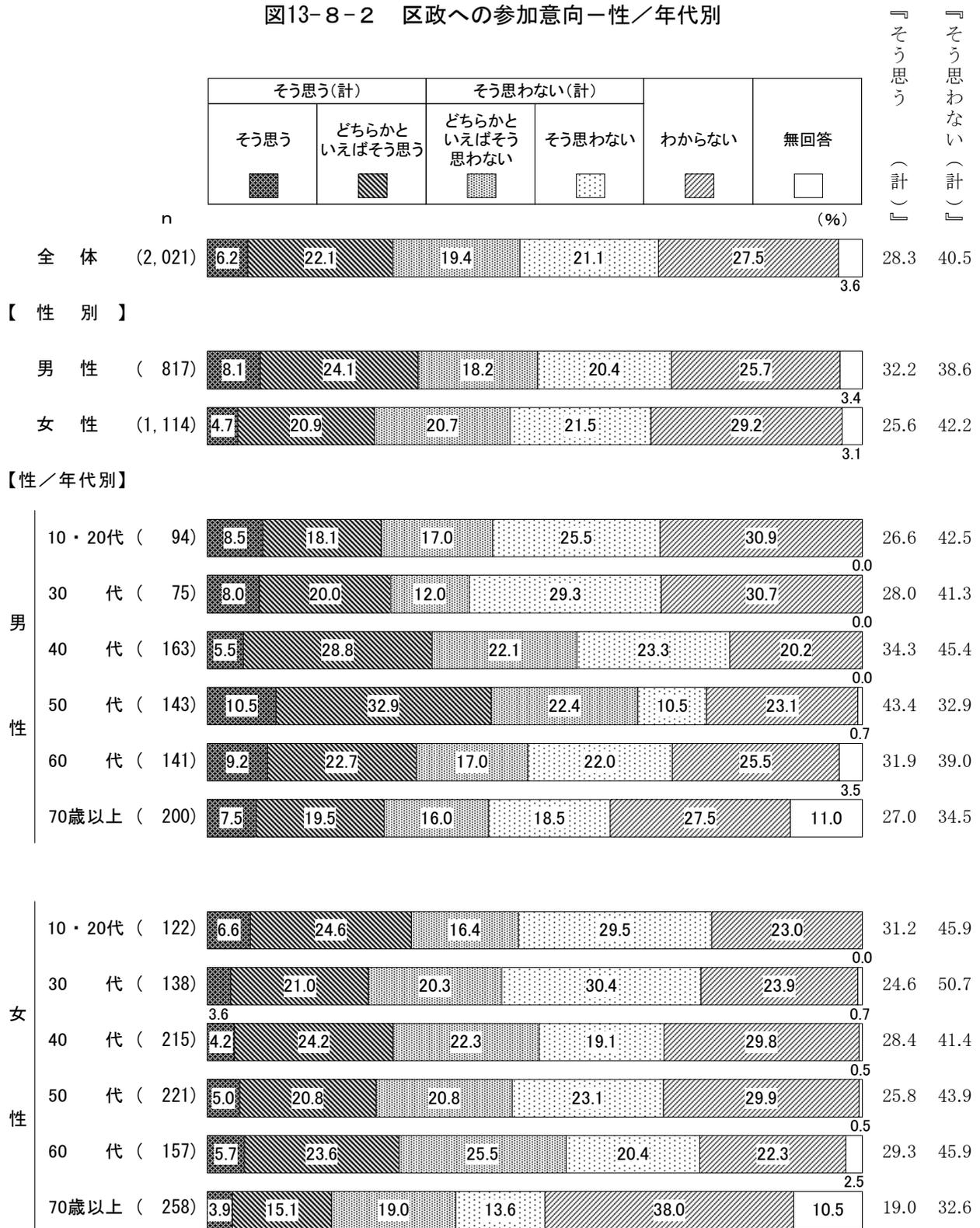
※ここでいう「区政への参加」とは、大田区が実施する区民向けのワークショップや委員会、審議会などの公募委員、区民意見公募手続き（パブリックコメント）への参加のほか、窓口・電話・メールなどを通じた区への意見・要望、住民説明会・意見交換会・シンポジウム・フォーラムへの参加、アンケートへの回答など、区が関係する幅広い機会・手段を指すものとします。

図13-8-1



何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(6.2%)と「どちらかといえばそう思う」(22.1%)を合わせた『そう思う(計)』(28.3%)は3割近くとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(19.4%)と「そう思わない」(21.1%)を合わせた『そう思わない(計)』(40.5%)は約4割となっている。(図13-8-1)

図13-8-2 区政への参加意向一性／年代別



性別でみると、『そう思う(計)』は男性(32.2%)が女性(25.6%)より6.6ポイント高くなっている。

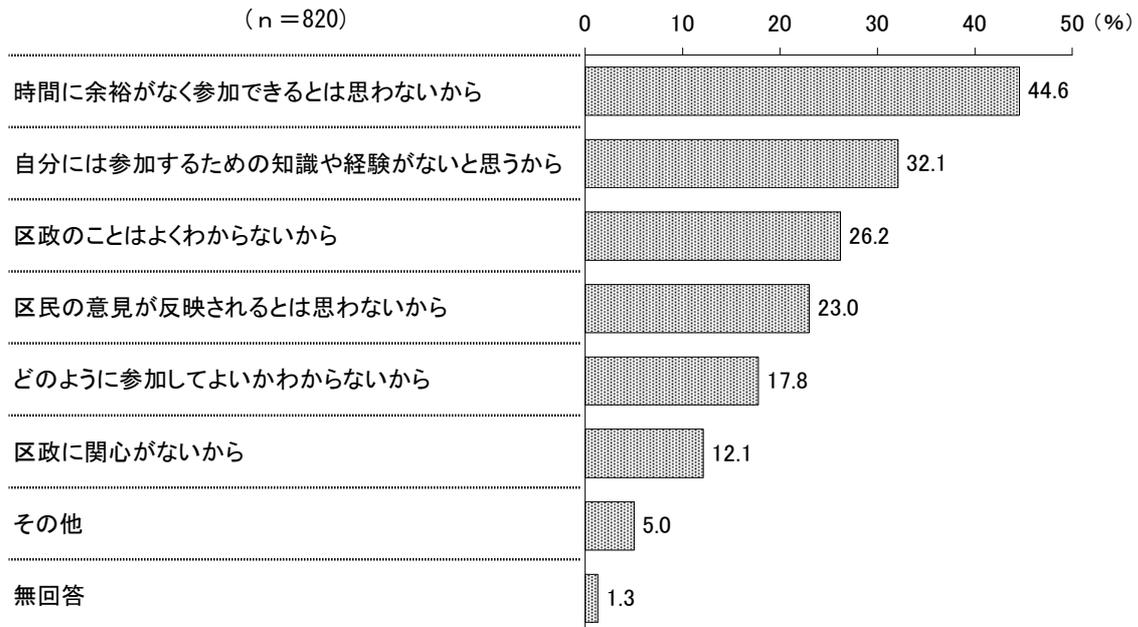
性／年代別でみると、『そう思う(計)』は男性50代(43.4%)で4割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は女性30代(50.7%)で約5割と高くなっている。(図13-8-2)

(9) 区政に参加したいと思わない理由

◇「時間に余裕がなく参加できると思わないから」が4割半ば

(問31で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答した方に)
問31-1 そのように思った理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図13-9-1

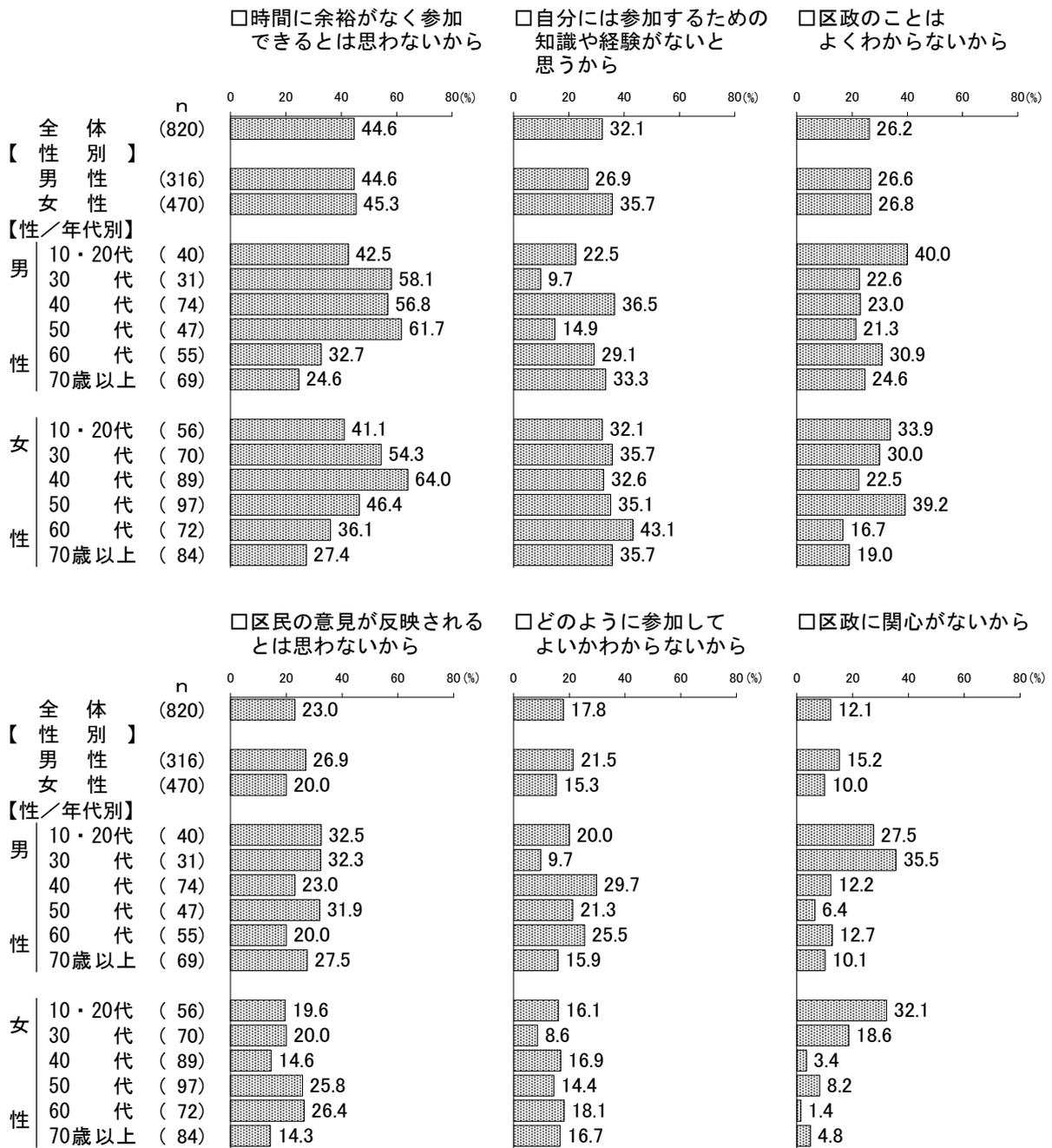


区政に参加したいと思わないと答えた人(820人)に、その理由を聞いたところ、「時間に余裕がなく参加できると思わないから」(44.6%)が4割半ばで最も高く、次いで「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」(32.1%)、「区政のことはよくわからないから」(26.2%)、「区民の意見が反映されるとは思わないから」(23.0%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「高齢のため」、「健康上の問題」などがあげられている。

(図13-9-1)

図13-9-2 区政に参加したいと思わない理由－性／年代別



性別でみると、「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」は女性（35.7%）が男性（26.9%）より8.8ポイント高くなっている。一方、「区民の意見が反映されるところと思わないから」は男性（26.9%）が女性（20.0%）より6.9ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「時間に余裕がなく参加できるとは思わないから」は女性40代（64.0%）で6割半ばと高くなっている。「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」は女性60代（43.1%）で4割を超えて高くなっている。「区政のことはよくわからないから」は男性10・20代（40.0%）と女性50代（39.2%）で約4割と高くなっている。（図13-9-2）

14. 自由意見

大田区政についてのご意見・ご要望を自由記述形式で聞いたところ551人の方から741件のご意見・ご要望をいただきました。「新おおた重点プログラム」の基本目標別に分類し、内容を抜粋したものは以下のとおりである。

なお、掲載している自由意見の中には、大田区以外の団体等が担当しているものもあるが、そのまま掲載している。

<基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち>

1. 子育て支援

- ・ 今回の給食費無料（中学生まで）はとてもよい政策で助かりました。低所得にならないように必死で仕事をする、何の恩恵も受けられず、日々ギリギリの生活です。中高生への支援を手厚くして下さい！
- ・ 国でも対策しているとはいえ、区としても子育て支援をさらにすべきと思う。今、具体的なイメージはないですが、子育てはもっとがつつり支援した方がいい。
- ・ 区の福祉を充実させ、せめて大田区では子ども食堂に頼るようなことはやめて欲しい。
- ・ 今までの大田区政が子育て世帯に対して、改革する気がなく、箱物ばかり建てているんだなあと感じていました。今回、こういったアンケートが来て嬉しく思います。期待しています。
- ・ 子育て支援が少ない。電動自転車の助成をしてほしい。
- ・ 一つの世代に偏ることなく高齢者、成人、子ども、どの世代にも寄り添った大らかな区政であって欲しい。これからの大田区を支えていくのは、今の子ども達であると思うので、まずは家庭、そして地域、区で健全な子育てを目指して欲しい！
- ・ 未来の宝である子ども達を支援してあげてください…。収入が低い家庭の子の為にも機会の平等の整備をお願いします。
- ・ 最近子どもたちが成長した時にどんな世の中になっているのか、不安で仕方ありません。どのような家庭の子どもであれ、等しく教育を受けさせてあげて欲しいといつも願っています。新しい区長の下で、よろしくをお願いします。
- ・ 高齢者に優しい世情になっていると思いますが、小さい子どもや家族にはあまり優しくないと感じています。出生率も下がっていますし、援助をもう一段階頑張ってもらいたいです。
- ・ 問6について“子育てしやすいまち”（少子化対策も含め）を考えると、他の項目のほとんどが繋がると感じます。大事なのは区民の日常の不安をとりのぞくシステム、それは少子化対策を軸にすることで少しずつ実を結ぶと思います。これは国には出来ないことだと思うのです。
- ・ 子育て支援に関する所得制限撤廃を、ぜひ検討して欲しい。国の基本的な考え方に則るのではなく、すべての子どもが平等な権利であることを考えて欲しい。大田区から国へ提言するくらい真剣に考えて欲しい。
- ・ 子育て給付金など今後も続けて行ってほしいです。もっと色々な所に出かけたり、楽しい事を経験させてあげたり、家族で楽しい時間を共有したくても節約優先になってしまっています。子育て給付金などがあると本当にすごく助かります。宜しくお願い致します。
- ・ 子育て支援策の拡充を。学童他放課後の子どもの過ごし方の充実、そのための施設の拡大を。
- ・ 一人親なので一人親に対する行政の施策をして欲しいなと思います。
- ・ 子どもたちが安心して遊べる施設が少なくなっている。大田区は支援が他区より遅く感じる。
- ・ 他区で進んでいる子育て支援（給食費の無償化、補助金について等）が大田区ではいつも後手後手になっていること、現在も実現していないことなどについて、進めてほしい。

- ・働くママへの支援をもっと充実させてほしい。お金だけのサポートではなく、例えば夕方、お弁当の提供サービス（1食250円くらいでおふくろの味弁当）の販売があれば助かると思います。家族4人分で1,000円くらい。
- ・多子家庭に向けたサービス（支援）があるのは知っていますが、利用するまでに何度も施設へ出向く必要があるため、実際にサポートを受けられず苦労しました。大田区に住む全てのママが1日でも多く笑顔で育児できますように、願っております。
- ・子育てに力を入れて頂けると、今後子どもを考える家庭として嬉しいです。（同様意見あり）
- ・子どもや子育て世帯だけでなく、すべての人を大切にしたい。その中で特に恵まれない子どもへの支援の充実させて欲しい。
- ・実子が4歳と手がかかります。区には育児をしやすい環境作りや施策をお願いしたいです。
- ・子どもが児童発達支援を利用しています。無償で受けられ、福祉の充実に感謝しています。
- ・未来への投資として子ども（保育、教育）に期待しています。
- ・子ども（0から18歳未満）の子育てと教育のために、予算を取って未来に投資して欲しい。
- ・大田区は長期間お住まいのご家族（高齢）が多いと感じます。若い層に支えてもらうためには子育て世代への支援拡充が必要かと。子育て支援関連の動きが他の区に比べ遅いです。
- ・子どもと家族が安全に遊べる場所が増えたらいいなと思います。
- ・乳幼児の一時預かり施設がいつも混んでいて予約を取れたことが一度もない。預ける子の人数が多いと予約が難しいと感じているので、多子世帯に厳しいと感じ、子育てしにくい。本当に困っている人への支援を本気で取り組んでほしいです。
- ・大田区の産業を発展させて企業にもたくさんきてもらって子育ての補助金を低所得以外でもほしい。
- ・障がいのある子どもも安心して周りに気をつかうことなく育てられる環境を作ってほしいと思います。
- ・地域の少子化対策、所得制限なしの児童手当。

2. 保育サービス

- ・保育園につきまして、現在子どもが大田区立の保育園でお世話になっています。どの先生方も優しく、熱心に保育をしてくださり、大変満足しています。これからも優秀な保育士の先生方を大切にしながら、若い人材の確保にも努めていただければ、子育て世代としてはとても心強く、大田区がより住みやすい街になる一つの要因となりうるのではと思っています。
- ・子育てがしやすい、及び子どもがのびのび遊べる環境・仕組みをさらにつくって欲しい。働きながらも、子どもを預けられる場所の拡充とサポート人材の育成。
- ・保育園申請の手続きなどをもっとわかりやすく、オンライン申請対応も希望。
- ・35年間保育に携わっている友人がいます。現在は他区の保育園の園長をしています。大田区の保育の仕方、システムは他区にくらべて10年遅れていると感じ、驚き、つらかったと言っていました。
- ・保育施設等の管理・運営内容の細かい検査を望む（一人一人の個性がのびのび育つ様に、充実した保育内容ができているかのチェックと指導をしっかりとしてほしい。継続して見ていくことで人的、物的にも良い環境がつけられていく様に思う）。
- ・保育園の手続きが蒲田の区役所でしかできなくなったのがとても不便でした。また再就職後、3ヵ月以上働いていないとフルで点数がつけられないと窓口で言われました。そんな事どこにも記載がなく、電話で確認した際は保育の点数をフルでもらえると言われたのに、区役所に責任があるのにとても不快でした。
- ・一時保育など利用できるものが無い。あるけど蒲田・大森方面に集中していて利用できなかった。利用のハードルが高い。
- ・保育園に入りづらいのを改善して欲しいです。

- ・ 第二子の保育園の助成なども助かります。
- ・ 公的な夜間保育。
- ・ 保育園の質を監視してほしい。TVで紹介されるのは氷山の一角であると感じます。質の向上には、保育士さんの心の余裕が必要と感じます。質の良いパートさんの増員など子たちに豊かな時間を提供したい。
- ・ コロナ禍でも、保育所を利用できるように登園の基準を厳しくし過ぎなかった点は、働く親としてとても有り難かった。
- ・ 少子化の昨今、こどもの保育、教育、遊び場確保について急務であると考えます。単なる受け入れ建物を用意するだけでは無く、多様な子どもや親へのケア、そしてそこに携わる保育士や各先生、そして民間の支援員の人員確保や心のケアも必要であると感じる。
- ・ 保育園の預かり時間は働いている間に限定しないで欲しいです。仕事がない時でも幼児がいるとできないこともあると思います。預かってもらう時間はそれぞれの家庭の希望に合わせてもらえるとありがたいです。
- ・ 国によって保育士の家賃補助の値段がちがう。毎月1万はでかいので、本当にどうにかしてほしい（上限82,000なのに、72,000にされている）会社に言ってほしい。切実です。

3. 学校教育

- ・ 学校給食無償化とニュースを見て良かったと思いましたが、期間限定と聞いてがっかりした。またキッズケータイも他区では小学校の入学時に配布されている点でも大きな差を感じています。防犯の観点からも導入を考えたほうが良いと思います。
- ・ 大田区に引越をしてまだ半年も経っていないですが、ここに住んで良かったと思えることが増えるといいなと思っています。学校給食は助かりました。
- ・ 給食費無償化等、すぐに形にしてください。現子育て世代も大田区政に興味、期待をもつことができている。引き続き、未来ばかりでなく今の区民に反映する政策を期待しています！
- ・ 公立小学校において、活発な取り組み（英語やスポーツまた何か特色ある取り組み）を希望します。教育レベルが上がり、子どもたちが希望多い未来を目指せる環境になればうれしいです。
- ・ 小学校の施設が古いところがある。
- ・ 小学校の土曜授業をなくす。家族の時間がつくりづらいので是非なくしてほしい。
- ・ 小中学校で、30人学級を実現させてほしい。年度初めから、教員欠員にならぬよう、配置してほしい。小学生の区議会本会議の社会科見学があっても良いと思います。
- ・ 古い小学校の建て替えを考えてほしい（自分が通ってた時と変わらなくてびっくりした）。
- ・ 学童（民営）の申し込みが早まっている中で、小学校入学に向けたアナウンスが遅く、予定が立てられない。民間企業の動きも考慮したスケジュールを組んでいただきたい。小・中では、学校ごとにPTA運営も異なっているので、区立は統一してほしい。小さいことですが、子どものタブレットの軽量化を検討いただきたい。
- ・ 小中学校のタブレット利用について、校内でも安全に使用できているとは思えないことがある。制限が適切にされているか、先生が子どものタブレット活用をうまく指導できているか等についてもっとフォローして欲しいです。育休代替などの先生の確保について、区独自でもっと対応いただきたいです。先生達が数年前よりさらに辛そうに、かつドライになっていると感じます。
- ・ 悲しいニュースが多い中、家族愛、兄弟愛が希薄でとても憂いを感じております。もう1つは日本の伝統工芸、伝統芸能の継承も危惧しております。小学校教育に取り入れてほしいと思います。
- ・ 子ども（小学生）が学校でタブレットを使う時、机が小さいので、タブレットと教科書を同時に開くと操作性が悪くなるそうです。うまく集中できないので、せっかくタブレットがあるなら教科書の内容をデジタル化してほしい、とのこと。

- ・ 学区域の見直し。近くに小学校があるが学区域が遠い学校になっていて、越境も人数の問題で出来ず…。学区域はかなり昔から見直しされていないと聞きました。今の時代にあうように、再検討を希望します。給食費の無償化についてありがとうございます。
- ・ 区立の小中学校の温水プールをもっと一般公開してほしい（大森地域に）。そこで区民のための水泳教室も開いてほしい。他区から転入したが、近所にプールがなく唯一不便を感じる。
- ・ 校長先生をはじめ先生方が親のクレームに対応し、授業が遅れたり残業が増加している。小学校・中学校に弁護士を配置し、モンスターペアレンツの対応を任せ、又、警備員を配置し粗暴な人が入れないようにしてほしい（先生方の負担軽減として）。
- ・ 定期的な学区域の見直しを希望します。近隣に5つ小学校があるのに、1番遠い学校が指定校なのは、見直しをしてこなかった結果以外の何物でもありません。
- ・ 小学校の学区越境入学制度の見直しをお願いしたい。越境基準を満たし、入学できる権利は有しているのに、学区児童優先で人数制限により学区外児童が入学できないのは不公平。基準を満たせば、学区の児童と平等に扱い入学させるべき。家庭の教育方針に合う教育を実施する学校を選択できるなど先進的な取り組みをお願いしたい。
- ・ 発達障がいの子どもが小学校で適応できず、不登校になるケースが増えています。大森東小に情緒級ができますが、指導者、人数ともに足りないし、取り組みが遅いのではないのでしょうか。早急な取り組みをお願いいたします。
- ・ 地域防災の観点や、未来を担う子どもたちのためにも、学校施設の改築やメンテナンスにもっと多くの予算をつけて欲しい。地域の避難場所になる学校体育館や施設が雨漏りしている現状を見ると至急対応してもらいたいと思っています。
- ・ 新しい試み、学校やPTAのIT化、ベンチャー企業の作る教育版のデジタルアプリを試験導入など、子育てに関する新しい試みをたくさんやってほしい。
- ・ 学校教育に力を入れてほしい。
- ・ 区立中学の部活動の質の向上と充実。長男は入りたい部活動に入ることができず、居場所がない。他にも同様の子が多い。区立中学の災害時の集団下校について学校側から詳細な想定等の説明がなく、プリントが配られ多くの保護者が集団下校を選択している状況。

4. 健康づくり

- ・ 自分に合った病院がある。
- ・ 健康ウォークアプリの取り組みはとても良いと思います。
- ・ はねぴょん健康ポイントの仕組みはとても良いと思うが、景品を取りに行くのが区役所の平日の17時までというのは、平日働いている人間にとってはなかなか難しい。例えば、近くの特別出張所にとりに行くことができるなど、仕組みがあってもよいと思う。
- ・ 健康診断について、毎年期間内に受診していますが、毎年、受診を促す葉書をうけとります。翌年の3月31日が期限なので、例えば1月31日時点で受診していない人だけに葉書を送るなど、工夫した方が時間、労力、経費の無駄が省けると思います。
- ・ 羽田平和島方面でのスポーツやイベントが多く、通にくいので、池上周辺にも旧校舎など利用した健康促進活動を増やしてほしい。子ども向けのもはその地域でやらないと自分で通えないし、行かせられないので。
- ・ 先進的な他都市では導入されている带状疱疹のワクチン費用の助成を始めてください。
- ・ 昨年実施していた、ふるはまヨガのような健康促進イベントをしてほしい。

5. 衛生

- ・ 歩きタバコ・飲酒、何とかして欲しいです。
- ・ 蒲田陸橋にいつもごみが散乱している。行政で何とかして欲しい。区民として恥ずかしい。
- ・ 夜中の若者の飲み散らかし（蒲田）。
- ・ 路上喫煙について、もっと厳しく取り締まって頂きたいです。歩きタバコ、自転車に乗りながらのタバコ、終わったらそのまま路上にポイ捨て…子どもやペットの誤飲や火災にもつながります。こんなに汚い区はない。
- ・ 犬の飼い主は散歩で犬の糞を拾わない方がいる。
- ・ 蒲田駅周辺を、キレイにして欲しい。
- ・ 歩きタバコ、タバコのポイ捨てを無くして下さい。
- ・ 歩きタバコ、もっとひどいのは自転車タバコが多過ぎる。大田区には、「喫煙マナー等に関する条例」という立派な条例がある様だが、区としてこれを守らせる方策を何も実施していない。やる気がないならこの様な条例は撤回すべき。
- ・ 蒲田駅周辺のパチンコ、タバコのポイ捨てや治安の悪さが目立つ。そこは蒲田の良くないところ。
- ・ 街が汚い。
- ・ 蒲田駅前の喫煙所（西口も東口も）とても煙いので、何とかして下さい。東口は信号待ち中に辛いです。ご近所の方々も話しています。
- ・ 犬のフンの放置に対策を。
- ・ 桜並木の歩道に犬や小動物の尿やフンの残物が多く落ちており、散歩がしにくい。最近特に多くなって来た。
- ・ 歩きタバコの規制をもっとアピールしてください。平気で歩きタバコしてます。アナウンスが足りないと思います。火事になってからでは遅すぎる。
- ・ 私的に、道路際に喫煙所を設けている所がある。道路上に喫煙者がたむろしたり、その喫煙所に向けて歩行喫煙を助長することになっている箇所が区内にある。やめてほしい。
- ・ 罰則強化など、路上喫煙を何とかして欲しい。
- ・ 大森西3丁目のマルエツの前の通りの排水溝からよく悪臭がしてます。どうにかして欲しいです。
- ・ 路上喫煙を全面禁止にしてください。出来ないのであればせめて駅前と学校付近を禁煙化してください。特に喘息持ち、妊婦、子どもには悪影響です。
- ・ 他地域から引っ越して最も驚いた点は「歩き煙草が多い」点です。とても住みやすい地域と思いますが、歩き煙草の多さには目を疑いました。これほど歩き煙草に出会う地域はありませんでした。改善ご検討いただければ幸いです。

6. 障がい者福祉

- ・ 障害者手帳の再交付に、なぜあれだけの日数を要するのが理解できない。
- ・ 私はヘルプマーク保有者です。電車などもう少し分かりやすく（大きく）マークを貼ってほしいのと、認知度を増やしていただけるとありがたいです。
- ・ 障がいに対する交通費補助として、東急とJR、京急を含めてほしい。
- ・ 自身は下肢に障がいがあります。身体の不自由な方は、それぞれ、困難な動作があると思うので、繊細に考えて頂ければ助かります。
- ・ 知的障がい者専用の福祉施設をつくってほしい。グループホームよりもそちらの施設の方がありがたいです。インクルーシブ、特に3障がいに分けてほしいので、インクルーシブには反対です。精神が知的にいじわるするケースが多いので、分けてほしいです。
- ・ マイナンバーカードの申請に行けない！歩行器を使用している身体です！残り少ない人生を手助けしてほしい！

7. スポーツ

- ・ 大田区総合体育館でイベントをやるのは良いが、会場周辺の道路の混雑や、コンビニのたむろが嫌です。会場使用団体への注意喚起を徹底してほしいです。
- ・ 他の区に比して、スポーツ振興に対する熱量が低い、スポーツ施設が少ない。改装後の使用範囲が小さくなり、地域スポーツの振興が途絶えた。
- ・ 大田区のイベントやスポーツ施設が蒲田方面に集中している為、利用・参加する機会がほとんどありません。もっと近場にあれば、と思います。
- ・ テニスコートを利用するが、料金が安い。
- ・ 小学校でスポーツ開放をしていただけるが、どこの小学校でも卓球、ミニテニス、バドミントンなど、同じような競技に限定的。バスケットなど対象外のスポーツをするとすると、数百円など安く使える施設もない。せっかく開放するのであれば、幅広いスポーツを楽しめるような計画を立てるなどし、区内のスポーツ活性化につなげてもらいたい。

8. 図書館

- ・ 大田区の図書館のスタッフがむやみに急いであるように感じます、そこまでスピードを求める理由はないと思います。予約時の電話連絡も無くしていいと思います（図書館の本の予約）。
- ・ 図書館の自習スペースの席数を増やして欲しいです。また、きれいにして欲しいです。社会人で勉強ができる場所があまりなくて困っています。きれいじゃなかったり、空気がこもっていたり、席が少なかったり…。
- ・ オシャレな図書館（駅前）があると、より一層いい町だと思う。
- ・ 図書館施設が古いところが多い。
- ・ 区立図書館がたくさんあり、良いサービスだと感じています。
- ・ “図書館”、“子どもと高齢者との交流” 大田区の図書館には新書、絵本などが少なく、この時代、絵本も高く購入するにも大変です。親の意識の差もあります。そこに高齢者でも読み聞かせの上手な方々がたくさんいると思います。図書館だけではなく、いろいろな場所でできればステキだと思っています。

9. 生涯学習

- ・ 文化センターでの“おけいこ事”について、行って感じたことは、事務の方が役に立たない。もう少しやってみたいので聞きに行くわけですので…。習い事がすぐできるようにしてほしい。
- ・ 私は後期高齢者（妻も同じ）です。夫婦で2人暮らしです。現在はパソコンが頼りですが、もっとパソコン教室（高齢者向き）を地域ごとに開催してほしいと思います。「おおた区報」で地域別に教室（有料でも良い）を開催してほしい。
- ・ 生涯学習を拡大するために、半年か1年単位で学べる機会を作って欲しい（他市では、実施しています）。これにより、皆さんとのコミュニケーションを図れてよいと思います。是非検討して下さい。
- ・ 今はスマホの使い方がわからないため利用することがわからないことばかり。区でも利用するやり方など教えてくれる場を作って欲しい。私はパソコンなど使うのが苦手な家でありません。機会があれば教わりたいと思っています。

10. 生活保護・支援

- ・子育てや障がい者など、福祉に力を入れて下さっていると思います。しかし支援が本当に必要な家庭に行われていないように思います。自立をサポートすることも、システムの中に入れることも考えて下さると、もっと予算も別のところに使えるかもしれません！
- ・他区に比べて大田区民への特別な給付金や特典が少ない。
- ・ぎりぎり低所得世帯にあてはまらない世帯にも援護してほしい。
- ・応急小口資金をもっと身近に、誰でも借りられる様に。
- ・何でもいいので所得制限は設けないでほしい。所得制限はあってもいいので、世帯主の年収ではなく、世帯収入を見て制限を設けてほしい。不公平がありすぎる。
- ・高齢者や子育て世帯への施策はあるが、単身で所得の低い世帯への施策が無い。年間収入 200 万～300 万円では高い家賃と物価高騰の中生活は苦しく、健康を害した場合にはさらに医療費の負担と、若い世代には厳しく、夢も希望も持てない現実がある。
- ・生活保護を受けている人が知り合いにいますが、もっと働けばいいのと思う。78 歳で家賃を払って、国民年金で生活して一生懸命働いている人もいます。もっと良く調べたほうがいいと思います。
- ・精神病や身体の病のために、コロナ後無職で過ごし、不安に思っています。病でも就職できる職場をなかなか見つけられません。年も取ってゆくし、将来一人になると思って心配です。私のような人が増えてきているかもしれないので、区政の対策を考えていただければと思っております。
- ・私は病気が多くて働けなく、区からは大変助けていただき、生活保護でなんとか生きる事が出来ています。心から感謝しかありません。
- ・生活保護について、必要ではない人々が受けている。きちんと内情を把握してほしい。生活保護が小遣いになっている。
- ・自分は今現在も失業中の為、低所得世帯にあてはまるのですが、年に何回も必ず援助制度を設けて頂きたいです。お願いします。
- ・低所得者優遇の話があるが、理由によって分けして対応してほしい。
- ・生活保護費のピンハネが酷いと聞いています。貧困ビジネスの温床になっている住人には、行政で聞き取りして、希望者には複雑な事情のある人でも、まともなアパートの斡旋と就職支援含め、きめ細やかな対応をお願いします。ケースワーカーでは抱えきれない業務ですので、行政全体の問題として対策に当たると良いかと思われます。
- ・少子化のせいか、子どものいる家庭ばかり支援や手当がありますが、働いても働いても逼迫して、老後預金も出来ない家庭もあります。親子で働いているから、ゆとりがあるとは限りません。税金の滞納をしていない家庭への補助や、何かしらの優遇があると本当にありがたい。
- ・中産階級の人間が一番援助もなく経済的に苦しんでいます。何らかの還元をお願いします。
- ・社会は子どものいる女性や家庭には優しいが、独身の女性たちは何も優遇や社会的支援がなく、生きにくい世の中と常を感じる。単身者にも何か社会的支援があっても良いのではないかとと思う。
- ・現在自分は 78 歳になります。まだ仕事があり収入がありますが、仕事はいずれ無くなり収入は無くなります。年金だけでは生活が苦しくなります。自分達にも区からの支援があっても良いと思う。考えてほしいです。

11. 高齢者福祉

- ・大田区シルバー人材センターの様な高齢者の生活応援・就業支援は大変良い制度だと思います。
- ・定年後働いてなく、貯金もなく質素な生活を送っている。テレビ等での娯楽しかなく将来不安である。現在 70 歳となった今、大田区シルバー人材センターの利用を考えているが、入会申込書を記入していると全く書く所がなく、自信が（入会、働く意欲）持てなく、迷っている。

- ・ 高齢者なので、福祉・医療には関心があり、手厚くお願いしたい。
- ・ 介護等の福祉行政についてはほぼ満足しています。老々介護生活なので行政の助けが必要です。
- ・ 定年世代だが、幸せな高齢者ステージを送れるか常に不安。
- ・ 高齢者宅の見守りサービスをしてほしい（介護サービスを受けていなくても）。
- ・ 親の介護をしている人たちと意見交換や情報交換がしてみたいです。
- ・ ほぼ満足です。老人ホームに入所しやすくなればと思います（特養）。
- ・ 我が家にはパソコンがありません。あったとしても使えません。何でもネットと言う世の中で、高齢者は暮らしにくくなっています。スマホも満足に出来ないような年です。長生きしたくないと思ってしまう。高齢者が安心して住めるようにしていただきたい。
- ・ 高齢者の生きがい就労に関する活動を、活発化していただきたい。
- ・ 要支援、要介護の認定を受けるまでの日にちの短縮化望みます。
- ・ 高齢者の福祉の充実がほしいです。高齢者にもっと目を向けたやさしい区であってほしいと思っております。大田区は長く住んでいて好きな区ですから、どうしても、そう願ってしまいます。よろしくお願い致します。
- ・ 他県から義母を引き取り、大田区の老人ホームに入ることになったため、いろいろな準備を行ったが、必要な手続きなどをもっとわかりやすく説明している資料や情報をホームページに掲載したり、冊子として準備して欲しい。初心者にはわかりづらい説明が多い。
- ・ 高齢者介護福祉の充実。
- ・ 今回特に要望します、65歳定年退職により介護保険の請求が多すぎて非常に困りました。それまでは月2,500円位が、いきなり120,000円とか、年金生活者はやっていけないでしょう。まとめて4万以上請求（3ヵ月分）定年過ぎると自治体請求とは、全然知りませんでした。

<基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市>

1. まちづくり

- ・ 蒲田駅周辺が、きれいになってきて良い。
- ・ 緑の多い町づくり。
- ・ 子ども達が活気にあふれて増えてゆく街であってほしい。また、高齢者達が静かに安心して消えてゆける街であってほしい。
- ・ アンケートを参考に良い町づくりを期待しています。
- ・ 住みやすく、安全な街づくり。誰もが幸せになれる街に！
- ・ 雪ヶ谷大塚駅の整備。となりのコンビニとかに改札口から行ける様に、商店街のアーケードを作るとか、始発駅なのに不便。池上駅みたいに整備してほしいです。駅前の商店街も郵便局通りとオオゼキ通りでもっと連携して、お祭りとかイベント計画するとか（仲よくやってほしい）。
- ・ 大田区はエリア毎に差を感じ、どこも同等に文化的で清潔（今、そうでないところを徹底的に改善、例えば平和島駅周辺）にするよう働きかけて欲しい。
- ・ 音量の大きいパチンコ店等、駅前の景観を損ねるのもう少し規制すべき。初めての世論調査。非常に素晴らしいこと。区民の声を反映してくれることを願い、期待しています。
- ・ 蒲田の東口駅前商店街は風俗店が目立つため、景観が悪いので改善してほしい。一方で、東急の観覧車が見えるのはとてもやさされるので、是非残してほしい。
- ・ 公平、平等で住みやすいまちづくりの努力を続けていただきたいと思います。
- ・ 駅周辺（特に東口）の客引きを一掃して下さい。
- ・ 外出する時、買い物に行った時など、安全な町であってほしいと思います。現在も安全ですが、今後もより安全で、高齢者にやさしい町づくりをお願いします。

- ・日本の玄関羽田空港を活かした街づくりをしていけばもっと発展すると思う。乗り換え客を利用した滞在型施設の充実。
- ・駅をはさんでの西口、東口に行き来しづらい。道が不規則なので思ってもいなかった所に出てしまう。
- ・町に腰かける所、タバコの吸える所を作って欲しい。
- ・区庁内の皆様のお陰様で、他の区と比べても劣る事もなく、有難く思っております。感謝しております。私的に気になっている事ですが、蒲田西口駅前の広場を一工夫頂ければと何時も思っています。例えばクリスマスのイベントなど。普段は緑が少なく感じます。
- ・景観を意識した街づくりをして欲しい。そうすれば、大田区の価値が上がり、魅力が増すと思います。
- ・住んでいる駅のまわりを開発して欲しい。魅力ある街が大田区にあると良いと思う。二子玉川、自由が丘など、子どもも大人も高齢者も遊びに行きたい住みたい所があれば良いと思う。
- ・高齢者に対して親切だとは思えない。散歩して歩いて疲れても、腰かけるところもない。お茶を飲む店もない。食事をする店もない。特に平和島はお酒を飲む店しかない。
- ・地元が高齢者が目立ち、若い人が少ない。もっと若い人へのアピールが出来る町になって欲しい。
- ・蒲田周辺にバイク駐輪場を増やして欲しいです。
- ・多摩川は身近な自然なので、キレイにおしゃれに整備されると「環境」「景観」の面で若者にも魅力的な街になると思います。子育てでも、老後でもない20~30代にとって、不便もないけど魅力もないと感じます。羽田空港が近いこともあり、訪日外国人に喜ばれるような街であつたらいいなど。景観が洗練された、落ち着きと暖かさがあるものだといいなと個人的に思います。
- ・小さな公園が沢山あるようですが、皆さんが気持ち良く過ごせる場所を作ることが出来るように知恵を絞ってほしい。
- ・羽田空港が区内にある利点を活かした産業振興と、複数路線の乗り入れがある足回りの良さを活かし、ターゲットを絞った「住みやすい街」づくりを行い、大田区の活力を上げて行って欲しい。
- ・大森駅の東口と西口をフラットに往来できるように改善してほしい。
- ・羽田空港がある区であることを生かして、魅力ある街にして欲しい。
- ・蒲田、調布、羽田の各地域は、地域特性に見合った開発・整備が進んでいるが、大森地区だけは未整備。山や坂があり、平地もあるので、地形を活用した整備が出来れば活力ある街になると思うが。
- ・大田区は、河川敷や埋め立て地を除くと、緑が少ないです。観光地やお勧めの名産も、特にありません。ものづくりでも他市に、製造品出荷額等で大差をつけられています。70万都市として寂しい限りです。
- ・仮に蒲蒲線の開業がなされる場合、空港・京急沿線民がJR・東急蒲田駅に訪れることになると思うのですが、蒲田駅を単なる通過点ではなく訪れる目的となれるような街づくりになれるよう、現在行われている駅前の再開発の他にも企業誘致などを積極的に行なって頂けると良いと感じます。
- ・蒲田駅周辺（特に東口）の再開発はどうしても必要です。蒲蒲線にかかわらず、駅ビルに一局集中させずに何とか街全体を活性化する施策が望まれます。
- ・私は長年中馬込に住んでいますが、40年前に比べたらかなり便利になりました。しかし高齢者にとっては、坂道が多く大変な場所です。もっと住みやすくするにはどうしたら良いか考えて欲しい。
- ・今年の3月に引っ越してきました。思っていたより住みやすく、良い街で安心しています。特に、子育てひろばやおたっこひろば、公園をよく利用しています。交通の便が最高なので、蒲田駅前の雰囲気（特に夜）もっと良くなったら、子育て世帯がたくさん住みにくるだろうなと思います。
- ・羽田ばかり開発している。
- ・天空橋方面の空いてる土地にコストコや大きなショッピングモールを誘致してほしい（ラゾーナみたいな）。
- ・アートやデザインにもう少し注力してほしいです。大田区はあまりオシャレな感じがしないので。再開発の際には、文化的で洗練された印象を持てる事を期待しています。

- ・ 蒲蒲線に投資する前にインフラや防災に力を入れるべきと思います。蒲蒲線の利便性はごくわずかです。インフラ・防災を充実させ、区民が安心して活動できるようにすべきです。
- ・ 路地裏の密集した家々の中には通り抜けの出来ない所が多く、災害時に逃げ道の確保ができるよう、整備していけると良いと思います。

2. 交通網

- ・ 馬込～蒲田方面へのアクセスが便利になると良い。バスも直結はない。他区にあるような区のバスがあると良い。
- ・ 「大森駅北口」の改修。国際化をめざし“外国人の来訪”をかかっているが、大森駅北口“ララ”改札口外に出る駅を早く整備して欲しい。
- ・ 都心部への交通の便が良く、かつ緑が豊かなのが最大のメリットだと思います。最近では平和島駅に京急線特急が日中にも停車するようになり、更に便利になりました。
- ・ 蒲田駅から京急蒲田へのアクセスが良くなるとうい。
- ・ 23区東部への連絡手段が少ない。
- ・ JRが京浜東北線だけだと、遅延すると移動が大変。大森→大森海岸が通勤しにくい。
- ・ 蒲々線の実現を願っております。(同様意見あり)
- ・ 蒲蒲線は必要ない。(同様意見あり)
- ・ 蒲蒲線に多額の費用を使うメリットがない。軌道の幅の違う鉄道を接続する事が困難な事を理解して欲しい。在住者は不便を感じていない。もっと他に予算の使い方があるのではないか。
- ・ 都心への便は良いのに、大田区内・東急バスと京急バスのエリアでの相互移動や、京浜東北線の線路をはさむと便が悪いなど、大田区内の公共施設どうしのバス便や、踏切の解消(道路の立体)など進めて欲しい。
- ・ 区内、旧大森区、旧蒲田区それぞれの地域の意識の差を強く感じる。蒲々線計画についても、当方居住地域は(東急沿線)あればとても便利。住んでいる地域で同じ区内でも考えは違う事を、京急沿線の方々にもご理解願いたい。蒲々線早期実現を！
- ・ 西馬込から川崎(日吉)までの線路延長は？
- ・ 現行案での蒲々線建設に反対します。乗り換えが不便になる(特に池上線)。他線からの乗り入れ電車が最寄り駅を素通りする。踏切が渡れない時間が増える。建設費が高すぎる。
- ・ JRを区切りに東急バスと京急バスに分かれています。環七などで両方を通るバスが欲しいです。例えば馬込駅の方から環七で平和島を通り羽田方面など…高齢者は、大森駅でする乗り換え移動が大変です。
- ・ 港区のちいバスや文京区コミュニティバスのように、都のシルバーパスで小廻りがきく乗り物がないと不便です。年齢が高くなると目が良く見えず、自転車に乗らなくなったらこれから大変と覚悟しています。どこの鉄道にも不便な地区でも病院・買物ができるように、小型バス運行が実現したらいいなと思います。
- ・ 新空港線(蒲蒲線)は、大鳥居での対面乗り換えにした方が良くと思う。
- ・ 50年以上前から大田区に住んでいた友人から、蒲蒲線の話聞いていました。私も当時賛成でした。ぜひ、通してほしいです。
- ・ 京急バスの本数が極端に少ないので、コミュニティバスを走らせて欲しい(おつかい病院へ行くのに不便です)。大森東五丁目行のバスです。
- ・ 京急空港線沿線に家があるが、始発は遅く、終電は早いので、使いたいときに使えず不便である。空港線を使うのは空港利用者だけではないので改善してほしい。
- ・ 蒲蒲線は乗りかえが便利(長く歩かない)でなければ意味がない。

- ・ 交通の要となる整備、ＪＲ線を境に分断している路線を融合させる（バスターミナルの統合、乗り継ぎ割引の拡充）。
- ・ 蒲蒲線は反対。長い目で見たらいい結果になるのかもしれないが、多額の区税を投入するのはどうかと…。区民の生活の方に向けた政策を考えて欲しい。
- ・ 蒲蒲線について、既存の交通手段（タクシーやバス等）を最大限活用して、交通環境の充実を図ってほしいです。
- ・ 蒲蒲線が良くわからない。900億円以上かかるとか。便利になるのは良い事だけれど、反対している人もいるようだし、有効な政策なのか、他に使い道を考えて今から変更した方がいいのか、情報がないのでよくわからない。
- ・ 京急が羽田重視ばかりで住民には使いづらくなる一方。
- ・ 路線バスで家から蒲田まで行けたら便利です。自宅は下丸子駅から15分程で、子どもを抱っこしてはきついと感じます。たまちゃんバスもありがたいですが、蒲田へ乗り継ぎなしで行けると区役所への用等、足しやすいです。
- ・ 北糎谷2丁目に住んでいますがＪＲ蒲田駅に行くのが不便で、近くをバスが通ってくれたらすごく便利になります。歩ける年齢ですが、年をとって歩けなくなったら、ＪＲ蒲田と京急蒲田の間が遠くて大変になりそうです。バスを利用できるようにしてほしい。
- ・ 交通の便は悪くない。
- ・ 沼部駅の駅名を変更して欲しい。桜坂が有名だから、桜坂駅とかにするといいと思う。
- ・ 蒲蒲線は少しメリットがある程度で、今一つ盛り上がりには欠けている。
- ・ 蒲蒲線計画が大田区、東京都及び国が1/3ずつ負担して建設している（計画中）と、区議会議員（候補）を通じて知りました。これらの情報（進捗状況）について詳しく発信してもらいたい。
- ・ ＪＲ蒲田駅と京急を接続させる蒲蒲線は建設費が多額であり、費用対効果から反対します！
- ・ バスなどの交通を充実させて欲しい（駅が遠く、蒲田へ行きにくい）。
- ・ 駅にタクシーが少ない。
- ・ 税金の無駄遣いと言う方もいますが、蒲蒲線の開設を願います。蒲田西←→東への混雑、道路も下るか上るかの道のみ。行き交いがもう少し楽になればという願いがあります。
- ・ 蒲々線を推進して欲しい。海外への出入窓口として重要で、国際交流・文化振興にも役立つと思う。
- ・ 空港線は不要と考えます。線路がつながっても大田区民のメリットが薄い。どちらかという隣接区の方がメリットが大きそうに思うので、それに対する費用負担が大きすぎる。線路を作るくらいならＪＲ・東急から京急までを遊歩道などで歩きやすく整備した方が大田区にお金が落ちるのでは？
- ・ 蒲蒲線に反対です。停車せず飛ばされる駅では、そのまま素通りし廃れていく一方だと思います。蒲田駅周辺にとっても貴重な観光地（下町、居酒屋）があるのにも関わらず下車する機会が奪われてインバウンド効果は望めません。
- ・ 蒲蒲線の是非を住民投票して欲しい。
- ・ 蒲々線の建設については費用対効果を数値で示し、住民投票によって決すべきと考えます。前区政の継承ではなく、ゼロベースで再考して頂きたい。
- ・ 蒲蒲線は要らないです。作るにより大田区民は不便になり、通過されるだけです。便利になるのは大田区以外の人です。
- ・ 羽田空港へのアクセス鉄道について、蒲蒲線よりＪＲ線の方が早く開業予定です。巨額の投資が無駄になりませんか。特に線路幅、線路容量の点で京急線乗り入れは困難です。別線建設は時間と費用の点で難しいと思われます。
- ・ このアンケートで蒲蒲線の賛否を聞いて欲しかった。

- ・ 羽田空港と蒲田駅を結ぶ蒲蒲線は是非実現してほしいです。我が家は糎谷・羽田地域にあり、妻の実家が池上にあることから、行き来する機会が多いのですが、公共交通機関の路線バスだけでは不便だと感じる人が多いからです。蒲蒲線反対の方々も一緒に活性化の方法を考えられるといいと感じています。
- ・ 蒲蒲線の整備によって、区民に負担がかかるようなことはないようにしてほしい。
- ・ 大田区を通過する人のための新空港線より、区民のための蒲蒲線を望みます。多摩川線沿線や、糎谷駅周辺住民を無視した計画には反対です。蒲田駅周辺は遮断時間の長い踏切が多いです。中学校の通学路でもあり、蒲蒲線をつくるなら、池上線も地下化して踏切を無くしてほしいです。
- ・ 蒲蒲線について、徒歩 15 分程度の距離をつなぐ路線は不要と思う。全国的に少子化、人口減少に転じる時代に、維持コストの高い構造物への投資は適切でない。
- ・ 京急蒲田駅と J R 蒲田駅を繋ぐ蒲蒲線という路線は作らない方が良くと思う。理由は、2つの駅を行き交う人々が居なくなれば、間にある商店街や飲食店は繁盛しなくなってしまうからである。蒲田を良くしようと考えているのなら、蒲田に住み暮らす飲食店や雑貨店の人々の生活を優先して考えるべきだと思う。
- ・ いい加減、大田区自体に何も有益な事が無い新空港線（蒲蒲線）の事業計画は廃止して下さい。
- ・ 蒲田駅から直通で羽田空港まで行けると大変便利だと思う。
- ・ 羽田空港へ出るのに J R 蒲田から京急蒲田まで地下通路を作り、動く歩道を設置してほしい。

3. 道路

- ・ 大田区に住んでみて、緑も多く多摩川もあり、とても住みやすい街だと思います。河川敷も整備されていてよいですが、丸子橋から世田谷方面のサイクリングコースをきれいに整備していただけると、ありがたいです。自転車で安全に通れるようになるといいなと思いました。
- ・ 歩行者ガードレールの設置が優先され、車両のすれ違いが困難な場所が多すぎる（渋滞が発生している）。一方通行に変更する等、対策を講じて欲しい。大田区山王閘坂等多数あると思われる。
- ・ 不要な道路工事とかを減らして欲しい。
- ・ 自転車優先道路の確保。
- ・ 雨が降ると水たまりができる歩道（国道一号馬込橋近く）があるので直してほしい！
- ・ 電柱の撤去、道路整備。
- ・ 細い道路は、ある程度強い指導で 4 m 道路にしてほしい。
- ・ 大きな道路、産業道路や第一京浜の近くに住んでいますが、整備（緑化も含め）を進めてもらえると助かります。高架下のごみも多いなと感じます。子どもも安全に暮らせる町になってほしいなと思います。
- ・ 多摩川河川のウォーキングを楽しんでいます。手入れも行き届き、気持ちの良いウォーキングコースです。鶉の木～ガス橋の間が桜並木もステキで他区在住の友人を誘い花見をします。今後も宜しくお願いします。
- ・ 道路が全体的に狭い。普通の片側一車線道路なのに、電柱などが道路側に寄っていて、お互い止まらないとすれ違えない。スムーズに走行できないのは大変不便。
- ・ 通勤や散歩で他区に出入りしますが、道幅が広く、車道・歩道・自転車専用レーンが確保されており、大田区との差を感じます。
- ・ 歩道について、日影の部分を幅広く設けてほしいです。日光を遮る部分が少なく感じるからです。
- ・ 道路設備が悪い所があっても、そのまま放置している。
- ・ 多摩堤通りのバスを利用したいと思ったけど、ベビーカーでは難しい。歩道がなく、急な坂で車道に出たり、階段ではベビーカーを持ち上げないといけない。スロープなどが欲しい。
- ・ 下丸子のガス橋の幅を拡げて頂きたいです。

- ・ 私は西蒲田～池上居住で、大森～多摩川まで自転車行動範囲です。池上などは高齢の方の観光される場所、小さい子（ベビーカー）の居る場所なので、道路をバリアフリーにしてほしいです。
- ・ 道路工事は夜にするべき。
- ・ ガス、電気等の整備で道路を掘った後の舗装レベルが業者によりマチマチ。一定の舗装に戻っている事を確認して欲しい。
- ・ 歩道のレンガがデコボコしていて、つまずきやすい。介護用のカートが引きにくい。
- ・ 道路の舗装、下水道補修につきまして、日頃より適宜行っていただきありがとうございます。大森西の大田区区民活動支援施設（こらぼ大森）の近くの道路については、最近道路状態がかえって悪くなったと感じています。工事を担う会社を選定する際には、予算と合わせて工事の質も考慮していただければ幸いです。
- ・ 電柱の地中化を早く進めてほしい。
- ・ 電線の地中化が進むと嬉しいです。いくら風景が良くても電線がぶら下がっていると興醒めです(桜坂がよい例です)。
- ・ 第二京浜の歩道が狭く、自転車と歩行者が接触することが頻発している。歩道を広くする検討をして欲しい。
- ・ 国道1号線等の道路の車線の幅を広げてほしい。電柱を減らしてほしい。狭い道で同じ場所の両脇に電柱を立てないでほしい。
- ・ 道路の白線、横断歩道、停止線等、蒲田駅周辺で消えかかってわからないところが多い。結果、車の運転手が気が付かず止まってくれない。
- ・ 狭い道が多いことは災害時に大きな障壁になると思います。こちらは改善が難しいとは思いますが、首都直下地震に備えた整備をさらに進める必要があると思います。
- ・ 土手のサイクリングロードが危険。けが人が多発しているので早急に対策してほしい。
- ・ 電線の地底化。電柱を撤去し、道幅を拓げて欲しいです。
- ・ 東邦医大のバス通り…大森西付近の歩道は、いつになったら整備されるのですか？私はあの付近を通勤で平日毎日歩いているのですが、デコボコした歩道を我が物顔に猛スピードで駆け抜けていく自転車が多過ぎて、困ります。
- ・ 雑色駅前広場でよく見かけるのですが、3～4人の酒を飲んでいるグループがいます。なんとかしてほしい。
- ・ 多摩川河川敷のジャリ道を整備してほしいです。
- ・ 町中のミラー（歩道で車が左右から来てるか見るための）が少ない（左右どちらもつけてほしい）。
- ・ 道路のスケートボード、キックボード、球技を禁止して欲しい。騒がしくさせない。マナーの充実。
- ・ 駅前の道路では、車やバスや走行者などたくさんの方がいますが、あまり整備されていないように思います。家族連れも多いと思うので、事故などが心配です。
- ・ 交通量が多いが、見通しが悪い道路へ標識やガードミラーを設置してほしい。
- ・ 歩道がない、または狭いバス通りがあるので改善してほしい。
- ・ 商店街の歩行者用白線内に商店の品物が飛び出して、通行や交通の妨げになっている所が多く、事故につながりかねないので行政指導を強化してほしい。
- ・ 道路問題。田園調布小学校近くの六間通りの信号を無視する人が多い。たぶん見落す為。

4. 公園

- ・ 子ども達がボールを自由に使える公園の整備。
- ・ 小さな公園に高齢者が使ったりできる用具をとり入れてほしい。だれでも公園で運動ができるように小さな公園であるのにもったいない。
- ・ 洗足池の公園内にカフェがほしいです！

- ・ 公園の砂場の安全、清潔を保ってほしい。
- ・ 放課後子ども達が集まって、気軽にボール遊びができる公園を増やしてほしい（大きな公園ではなく地元にある小さな公園）。そもそも禁止であるのに遊んでいる子どもも悪いが、ボール遊びができる公園を整備していない大人達も悪いと思います。
- ・ 公園の遊具や備品の不備の修理・改善のお願いの電話をしても1回では対応してくれず、必ず2回以上電話しないと改善されない。対応が遅い。役所の仕事は迅速にしてほしい。
- ・ 近隣の区と比較し、特徴のある大きな公園が少ない。
- ・ 児童遊園の遊具やベンチが古くなり、子どもも怖いようで寄りつかない。
- ・ ボール遊びできる公園が少ない。やわらかいボールを幼稚園児がキャッチボールしているだけで公園横に住んでいる方に注意され、できない。
- ・ ボール使用可能な公園を増やしてほしい。
- ・ ボール遊びができない公園とは意味不明です。ボールで遊べない公園は公園と言えるのでしょうか。どこで遊んだら良いのでしょうか。また、公園は1つ1つ小さすぎる。数をしばっても広く作ってほしい。
- ・ 子ども達の遊べる大きな公園がほしい（今の公園は遊具がとても少ない）。
- ・ 公園でサッカーが毎日の様に行なわれている。のんびりベンチに座る事も出来ず、小さい子ども達が遊んでいてもサッカー少年達が来れば危ないので立ち去らなくてはなりません。公園はサッカー少年だけのものではありません。
- ・ 住宅街にポツンと現れる、せまい公園のようなもの（特に子どもが遊ぶ遊具もない）は不要かと思います。
- ・ 子どもが野球をしています、ボールを使う遊びができる公園が少ないと感じています。もう少しボール遊び可の公園があると嬉しいです。
- ・ 田園調布1丁目に住んでいますが、ここ数年せせらぎ公園の工事が進み、家族の方達で過ごす場所などが増えました。特にお子達さんとお母さん、独身の人もたくさんいます。家族を対象にした場所だけでなく、シングルの方の過ごしやすい場所も考えて頂けたらと。
- ・ （平和島公園のBBQエリア:炭の廃棄場所設置希望)新しくなった平和島のBBQエリアですが、炭が持ち帰りになっています。炭の持ち帰りは危険で、万が一しっかり消火できていなかったら再発火の可能性も有ります。安全性の面からも、灰捨て場を設置してほしいです。
- ・ 公園に運動器具を設置して欲しい。
- ・ 広々とした公園がなく、犬の散歩もコンクリートの道ばかりです。精神的に潤いのある町になればよいなと思います。
- ・ 子どもがボール遊びできる場所を増やしてほしい！花火（手持ち花火だけでも）ができる場所も作ってほしい。
- ・ 公園が汚い、小さすぎます。緑も少ないです。
- ・ 子どもが遊べる様な公園もない。
- ・ 公園で禁煙の看板があっても吸っている人が多いです。
- ・ 区政なのかわかりませんが「公園はだれのもの？」と一度考えてみて下さい。ボール遊び禁止、花火禁止、声を出さないで！など、？と思う事があります。子どもがのびのび、仲間とワイワイ遊ぶのは禁止して、高齢者が集まりワイワイしているのはOKとは不思議でなりません。
- ・ 犬を飼っているため、近場にドッグランがあるといいなと思います（以前使用していた本門寺のランが閉鎖してしまったため）。本門寺のドッグラン復活させていただきたいです。
- ・ ボール遊びができる公園を増やしてほしいです。
- ・ 大田区の公園は綺麗になっていないため、他区の公園に行く事が多いです。
- ・ より子育てしやすくなるために、住宅地にももう少し広めで設備が充実した公園があるとありがたいです。他区にはそういった公園があるので時々利用しています。

- ・ 子どもが思いきりボール遊びや走り回れる公園、施設がほとんどありません。ボール遊びのできる安全な公園をぜひ作っていただきたいです。
- ・ 最近子どもがボールを使って遊べるところがなくて困っています。家の前で遊んでるとうるさいと注意され、公園に行くとボール禁止の看板。ネットがある公園は数が少なく人気でなかなか利用できません。子どもが思いきりスポーツできる公園を希望します。
- ・ 公園などの整備の中でボールやバットが使える場所を増やして欲しい。
- ・ 大森駅付近は、公園が多く、子どもの遊び場を確保しやすい点が居住地として魅力的だと思う。
- ・ 蒲田一丁目公園に接している家に住んでいます。夏になると夜中の12時を過ぎてもベンチに座り、話したりさわいでたり、公衆トイレがあるにもかかわらず、うちに向かって立ちションをします。夜寝れません。何とかしていただけると助かります。
- ・ 公園のそばに住んでいますが、公園も道も暗いです。防犯上良くないと思います。以前、夜中にうろうろと周りの家とか駐車している車を覗きながら歩く人がいました。公園と道が明るければ、その様な事は減るのでは。

5. 自転車対策

- ・ 大森駅近くの自転車置場はどこが運営（管理）しているのかわかりませんが、近頃電動のチャリが多くなり、場所をとるので大変入れづらく、おまけに高い所へは利用しづらく、困っています、高い所があいていても女性で高齢では持ち上げられず困っています。
- ・ 自転車の駐輪場の設置（蒲田駅）。
- ・ 蒲蒲線より駐輪場を作ってください。
- ・ 蒲田駅の自転車駐輪場が少なすぎます早く増やしてほしい。
- ・ 大田区は綺麗でとても暮らしやすい町だと思います。ですが、私の住んでいる場所の最寄り駅周辺では、自転車の放置が目立ち、いつもは広く感じる歩道も自転車が多く停められている日は道幅も狭く通りづらく感じます。特に提案はないですが、可能であれば改善していただきたいと思います。
- ・ 駅周辺の駐輪場が不足していることです。大森駅の駐輪場の山王側は抽選で空き待ちもできない。他の駐輪場も空きなし。目の前の不満・不便の解消をお願いします。
- ・ 駐輪場を増やして欲しいです。現在違法駐輪が多いのは、大田区に駐輪場の数が不足しているからだだと思います。特に駅付近に駐輪場を増やしていただけると、買い物がしやすくなりますし、通行の妨げにもならないのではないのでしょうか。
- ・ 蒲田地区の人はみんな自転車に乗っています。駅周辺など、自転車を停められない店には行けません。大田区の自転車文化を誇りとして、どこでも自転車で行ける環境を整備してください。高齢者やママに電動自転車の購入補助を。

6. 住宅

- ・ 現在困ってる事は住宅の問題です。60歳近い年齢ですが民間の家賃が高く、今2人暮らしなのでこの先収入に見合った住宅を区でもっと増やして欲しいです。都営だと高収入だと入れない。かと言って区営や区民など探しても住みたい地区に値する物件が無いし、以外と高い。これから収入も減っていく中で今一番の不安です。
- ・ 大田区といっても、下町工場地帯、中間、高級住宅地など三種の地域があり、各々の対策が難しいと思うが、最近広い地域が、小ワケされ小住宅が建っているので、何とかならないのかと思います。新区長さんに期待します。

- ・ 住宅に困っている高齢者が公営住宅（区営住宅、シルバーピア等）に入居できるようにして欲しい。約 20 年間都営住宅に申し込んでいますが、いまだに毎回落選でとても困っています。たとえば申込 3 年以上の人は優先的に入居出来るようになるとありがたいです。
- ・ 大田区は都営住宅・区営住宅が多すぎる。税金の無駄使いなので、早く取り壊して、空地は公園にしてほしい。
- ・ 賃貸住宅を借りやすくしてもらいたい。
- ・ 都営・区営住宅の入居を納税者優先にして欲しい。
- ・ 区営住宅が少ないと思います。住が安定したら不安がなくなるので、建ててほしいです。
- ・ 住宅（賃貸）を高齢になっても住めるように整備、供給して欲しいです。大田区は大好きで長く住んできましたが、住宅の問題で離れざるを得ないのがとても残念です。
- ・ 近隣の住宅地のやや広い宅地が細分化されて、建築基準をみたしているかどうか分からない境界線で、密集して家が建てられている。大田区は本当に申請事項をチェックしているかどうか疑問を感じている。
- ・ 都営住宅などで空きのある建物を、高齢者と奨学金返済世帯などに低家賃で貸し、条件で毎月 2 回程、高齢者のサポートなどをしていく大田区独自の新しい型の区営住宅などあったらいいと思いました。
- ・ これからも長く大田区に住み続けられるよう、65 歳以上の高齢者が安心して住める公営賃貸住宅を増やしてほしい。
- ・ 所々の家々の樹木が茂りに茂っても放置されている。対策を！空き家が汚い。対策を！
- ・ 空き家、廃墟問題に前向きに対応してもらいたい。

7. 交通安全

- ・ 自転車のマナー等良くなるよう、頑張ってください。
- ・ 自転車走行マナーが悪い。
- ・ 自転車の逆走が多く、ぶつかりそうになります。危ないので改善されるといいです。
- ・ 自転車に乗る人のマナー指導。
- ・ 歩道を走る自転車の速度が車並みで危険なので制限をかけるか通行区分を分けて欲しい。
- ・ 交通安全対策として、自転車専用道を作ってください。特に第 2 国道浅草線、西馬込終点から先は、自転車の利用者は数を増しています。慣れている人が多い為か歩道を猛スピードでの走行が多く、高齢者や子どもは日々、身の危険を感じて居ります。安全な、自転車専用道を作ってください。
- ・ 車の運転と自転車の運転の両方をする身として、車道を自転車が走るのとはとても怖いです。道路を整えて欲しいです。
- ・ 他区から越して参りました。以前はほぼ毎日自転車を利用して買い物に行っていましたが、今は道幅が狭く事故に巻き込まれそうで恐くて利用できません。又、商店街では細い道を縫う様に自転車を走らせる方が多く、ベビーカーや車椅子、杖を利用している方もいるので道路整備と交通マナーの徹底をお願いします。
- ・ 自転車専用ロードを作してほしい。
- ・ 大森駅の北口、ジャーマン通りと池上通りがつながっている、山王タワー前の所の歩行者用信号を、赤と青がどのくらいで変わるかわかる信号に直してほしいです。
- ・ 自転車の利用マナーが良くないので、取締りを強化してほしい（主に走行中、車と人に危ない走行方法、駐輪マナー）。
- ・ 数年前に比べると治安は良くなった気がするが、自転車の利用者マナーや、安全面で危険なシーンを見かけることが増えた。

- ・ 道路に自転車走行用のマークがあっても、車が走行するだけの幅しか無く、逆に交通事故等で危ないです。近所にお子さんがたくさんいて、子ども2人乗りの自転車が多いですし、マナーが悪い方が多いです。親御さんの駐車等、歩道の真ん中で話して、自転車のせいで通れない。
- ・ SDGsの取り組みでもっと自転車が走りやすい道路にしてほしい。環八などの大きい道は自転車走行ゾーンがあるが、ほぼ車道で車がかなりのスピードで横を通る為、子どもを乗せている時は特に怖くて走れない。
- ・ 自転車の数が多くマナー違反が多い。すごいスピードで歩行者専用の道に向かって来られたり、急に角を曲がって来たりするので怖い。
- ・ 大人の自転車マナーが悪すぎる。警察と連携して安全教育をしていただきたく思います。
- ・ 危険な自転車走行に対する対策（これは区は関係ないですか？警察ですか？）。自転車走行レーンがあるにもかかわらず、歩道を走行する自転車が多く、危険を感じる（オーケー矢口店前の歩道）。自転車で歩道を通行する際には、自転車を降りて、通行するマナーを指導する必要あり。
- ・ 自転車の逆走、自動車の長時間路駐は困っています。
- ・ 自転車の交通ルールを守る。
- ・ 小さな交通違反。四つ角際に駐車、高齢者の横断歩道赤信号無視、自転車の斜め横断がここ1、2年急増しています。
- ・ 自転車利用者が特に多いように感じるので、交通ルール周知の場を目立つような形で定期的に設けてほしい。
- ・ 増やして欲しいこと：自転車専用道路。
- ・ 自転車レーンについてです。路上駐車があたりそもそも狭い道に無理やり引かれていることによって自転車、歩行者、自動車の全てに危険な道が多く存在しています。路上駐車を避ける自転車が後方確認をしなかったりするのは意識の問題と道の設計の問題であると考えます。
- ・ 外国の方が増え、交通ルールやマナーなどが守られていないことが多いと感じる。特に大人。子どもは、学校での教育の機会があるのでよいが。区で生活する外国の方へきちんとした教育機会をもうけて欲しい。
- ・ 自転車のヘルメット着用は今後強制しないでほしい。
- ・ 自転車ヘルメット着用義務化にしないでほしいです。

8. 空港臨海部

- ・ 中央防波堤埋立地の領土を50%奪還して欲しい。
- ・ 空港跡地にホテルなどもできているが、ショッピングモールがあると楽しい。大鳥居や羽田は楽しめる施設がない。他の場所へ出かけなくても区の魅力と区民が楽しめる施設を有効に考えて頂けたら良いと思います。又、同時に大田のものづくり品物を販売するのも1つの考えだと思います。

9. 国際交流・多文化共生

- ・ 羽田空港のお膝元のため、率先した国際化が求められるが、それに伴い治安の対応も両輪で行っていく必要がある。
- ・ 外国人観光客、居住者が増えた原因で、治安が悪くなったと感じる。コンビニもトイレを貸さない店舗が多い、ごみ出しのルールを守らないため歩道がいつもごみで汚れている。外国人ばかりではなく日本人もルールを守らない人が多くなった。国際化、多文化共生などとキレイ事の前に地域の実情を調査するべきだと思う。

10. 産業

- ・ 商店街を守って欲しい。
- ・ 水門通り商店街の発展（おしゃれなカフェなど）。
- ・ 商店街を元気にして欲しい（何か施策を）。
- ・ 大田区に商業施設がなく、買い物も大田区でもっと消費できる所があると良いと思う。
- ・ 大田区は東京都23区中3位の人口なのに、大田区のショッピングモール e t c がとても少なく、とても不便を感じる。子どももそれなりに多い区なのに充実していなくて、満足して遊んだり出掛けたりできない。
- ・ 移動スーパーを招致してほしい。スーパーが不便。
- ・ 子どもや高齢者には、大田区は良い場所だと思います。只、スーパーなどが近くに無いから困る（歩いて行ける距離！）。ATMも遠い。
- ・ 多摩川で犬と散歩するのが、とても気持ちいいです。犬と暮らす場所として最高で離れがたいと思います。ただ田園調布5丁目～多摩川駅まではスーパーもほぼなく買い物に不便を感じます。
- ・ 久が原の商店街は衰退していると感じている。
- ・ 治安も良く、道路も清潔、路上に自転車の放置もなく、住み易い所だと思いますが、西馬込近辺にはカフェやレストランが少なく、スーパーくらいしか活気のある場所がありません。靴の修理のできる店もなく不便です。
- ・ 地域経済の活性化、成長につながる景気対策、経済政策に、より一層力を入れて、大田区民をもっと富ませて、豊かにして欲しい。
- ・ 化石燃料に頼らないグリーン水素エネルギーの活用を川崎市と共同で推進し、今後は再エネ100%工場を臨海部へ誘致してください。
- ・ 最近では、新しく大田区に入ってきて新たなビジネスを始める人達もいる。そうした事業者に対して区として何らかの公的な支援をするのであればきちんと公平に支援すべきである。

11. 観光

- ・ 呑川を目黒川のように観光資源とできる様に活用して下さい。

<基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち>

1. 地域社会・文化

- ・ 地域のつながりが弱くなっているのので、自治会や町会に行政が積極的に介入すると良いと思う（避難訓練、防災訓練等）。
- ・ 現在30歳で小学生の頃に夏祭りが洗足池のまわりで行われていましたが、高校の頃くらいにはもう無くなってしまって、楽しい思い出があったため、今の小さい子たちのためにも開催して頂けたら嬉しいなと思っています。
- ・ 高層マンションで環境破壊になるような開発よりも、町内会などの結びつきをもっと大事にしたい。
- ・ 区報を見てもスポーツ振興ばかりでつまらないと感じる。健康対策も大切であるが、文化振興にも力を入れてほしい。
- ・ 広いせいか、地域間の連携が薄い気がする。
- ・ 地域に参加したいと思っても機会や方法がよくわかりません。自治会やボランティアの参加も同様。子どももいないのでそういう方面に疎いのかもれません。区役所にいけば方法があるのでしょうか。

- ・ 近年、ご近所との関わりがうすくなってきている。アパートが増え、転居者が多く、転居して来ている人との関わりもなく、どんな人間が住んでいるのかとても不安である。ごみの放置も目立ち、あいさつ等もできないことがほとんどである。
- ・ 自治会の役員をしています。近年、個人宅、工場がなくなり、マンションが増えました。自治会への参加を呼びかけますが、なかなか良い回答が受けられず、かといってお祭りなどにはたくさんの子ども達が参加します。もう少し自治会への協力をあたりまえとするやり方はないのでしょうか。
- ・ 町内会の回覧物をまわすのが昔に比較してむずかしくなった。不在が多く（仕事等で）、専業主婦が減少している為か？特に募金や町会費の収集は、別手段を取っても良いかも。
- ・ 年齢問わず、様々な背景の人が気軽に参加できるコミュニティの場を求めます。ボランティアでもスポーツでも、あるいはゲームアニメイベントでも良いので、若者が集い、交流を深め、孤独から解放される場をできるだけ多く、用意してほしいです。
- ・ 大田区は、交通も治安も良く住みやすい街ですが、良くも悪くも特色がこれと言ってなく、無難に過ごせる街…といった印象です。これから自分が高齢者になると考えた時に、もっと地域とのつながりや日頃からの交流があると安心して暮らしていけそうです。
- ・ 単身賃貸で暮らす区民にも、他地域住民とつながり、新しい地域活動、産業振興に取り組める提案受付窓口がほしい。子どもたちの育成支援などにも興味あります。
- ・ 現在、別の自治体で専門職（社会福祉士・公認心理士）として障がい福祉の相談員をしています。今年定年退職となりますが、体力的にも余力があり、これまで培った専門的知識を活かし、地元（大田区）で社会貢献したいと思っていますが、そういった情報を得られる機会が無いと感じています。
- ・ ごみの当番もお金を払うからやりたくない。
- ・ まだ5ヶ月のひ孫は、行政のお力により4月から保育園に入所し、孫は働きながら生活。いずれは2人で生活の予定ですが、住宅に教育、仕事…等生活が心配です。大田区の行政サービスの窓口「大田区若者サービスセンター『フラットおおた』」を知りました。みんなも知るようになるといいと思います。
- ・ 近所で1人暮らしの高齢者が話し相手がなく淋しがっている。何とかならないかなと思います。町会の班長をこの1年やりますが、なるべく集会に伺った時に長話をするように心がけています。
- ・ 区民が安い費用で文化に接することができるよう、文化事業の推進をお願いします。
- ・ 上池台地区に文化施設が欲しい。
- ・ 文化財保護に関する窓口があると良い。
- ・ アプリコや記念館などの文化施設で魅力的な企画をしてほしい。
- ・ 地域の文化、史跡に触れられる機会をもっと設けてほしいです。関西から移ってきましたが、池上本門寺や多摩川の豊かな自然と、大田区は自然、文化ともに多様な魅力を持つエリアだと思います。

2. 区民施設

- ・ 自習室を増やしてほしい。
- ・ 不便な所が多い（利用する場所が…）。駅から近いのがベスト！
- ・ 調布地域の特別出張所は不便。もっと公共交通機関の近くに移転してもらいたい。
- ・ シースルーキャプションズを窓口にとり入れる。
- ・ 調布地域在住の為、文化・スポーツ施設が大森・蒲田地域に多く、不便を感じる。
- ・ マイナカードが普及しますが、働く人達のために土・日窓口が必要だと思う。また、最上階近くにレストランを作り、区役所に行きやすくする。
- ・ 大田区保養所にドッグランを作してほしい。又、犬も一緒に泊まれるようにしてほしい。区内の空き地など利用してドッグランを増やしてほしい。そうすれば、飼い主どうしの交流の場となると思う（カフェも併設してはどうか？）。

- ・ 図書館、スポーツ施設の充実。現在、千束エリアに住んでいるが、区境ということもあるせいか、大田区の施設が無いか、有っても大変遠い（歩いて20分とか）。小規模な図書館でも良いし、小学校中学校の施設でも良いので周辺に気軽に利用できるサービスを設置して欲しい。
- ・ 学校や公園等のトイレの整備。
- ・ 休養村とうぶをよく使わせていただいています。今後も保養所を増やして欲しいと思っています。親子三世代の交流ができる為とても助かっています。
- ・ 日曜日の行政事務や施設利用、民間の施設利用要件の緩和。
- ・ うぐいすネットの予約から施設利用までのフローに予約者の負担が多く、無駄な人件費が払われていると思う。

3. 防災

- ・ 天災の対策よろしく。
- ・ 災害時の避難場所の充実。
- ・ 災害時の避難所について。足の手術をした家族（高齢者）がいて長い距離が歩けないと思う。そのような場合の対処法を公表してほしい。
- ・ 2019年の大型台風の際、初めて避難所を利用しました。職員の方たちの奮闘が心強く、大変ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。
- ・ 災害は必ずやってきます。個人でも準備はするが、それを想定して（区民への働きかけ）区での対策を強化してほしい。災害に強い街になってほしい。
- ・ 現在住んでいる所の避難先が呑川向こうの学校で、橋が壊れたり呑川増水のことを考えて指定しているのか謎です。
- ・ 何か災害等があった時に、即対応出来るルーティングを明記出来る様をお願い致します。
- ・ 数年前、大型台風が来た時の事です。この辺りでも洪水のおそれがあり、大田区のホームページで近況を確認し、避難するべきか心配になった記憶があります。
- ・ 東六郷地域ですが、水害の際に蒲田方面まで避難するのは遠く、数年前の台風で多摩川が増水した際はあせりました。
- ・ 防災無線が聞こえない。何を言ってるのか空に響いてわからない（同様意見あり）。家の中につけて文字やタッチでわかる様にしてほしい。
- ・ 多摩川が近いので、防災政策にも力を入れて頂きたいです。
- ・ 首都直下型地震に備える必要を感じる。大田区に限らず、日本の行政が適正に機能していないように感じる。人の問題が大きいと思う。結果として、このまま住み続けることに、やや危惧を感じている。
- ・ 防災面が心配なので、予防の観点から対策をして欲しいです。
- ・ 防災に力を入れ、住むのに適していない地域（海抜が低い、川の増水被害が多い等）については公園にするなどして、区の所有に移行する方が望ましい。
- ・ 安全（防災、防犯）に期待しています。
- ・ 大田区防災アプリや大田区のSNSがあることを知りませんでした。これを機に登録してみたいと思います。出張所等に防災アプリやSNS等があることを貼り紙などしたら良いのかなと思います。

4. 防犯

- ・ 大田区の地域活性化とともに治安対策にも力を入れてもらいたい。
- ・ 大田区が今より住みやすく治安の良い区になってほしいと願っています。
- ・ 蒲田駅周辺の治安をもう少しよくして欲しい。
- ・ 巡回パトロールをもっと回って欲しいです。夜、バイクの音がうるさい時があるため。大田区が今以上に人気のあるエリアになる工夫をして欲しいです。
- ・ 詐欺の疑い電話がかかってくることもあり、警察へ連絡を取ったことがある。治安面での施策を強化してほしい。
- ・ 治安対策に力を入れて頂けると幸いです。
- ・ 治安の向上は、警視庁との連携が重要。
- ・ 夜遅い時間に外でたばこを吸っている人がいたり、家のまわりをきょろきょろ探っている人がいるので不安に感じるが増えました。防犯対策を自分自身でも考えないといけないのですが、行政でも防犯について、より一層力を入れていただけたらもっと住みたい街になると思う。
- ・ 蒲田地区は駅ビルのリニューアル等でかなり便利になったが、相変わらず治安の悪い街というイメージを持つ人が多く、実際事件も起きていますので更なる治安改善を望みます。
- ・ 近年不審者が多く、被害にも遭っている。防犯カメラの設置強化実施希望。
- ・ 朝5時頃呑川ほとりを散歩しているが、時々ヘンな声を出して寄って来る人がいる。自転車で結構なので警備を増加させて欲しい。
- ・ クリーニング屋で夕方16時に強盗がありました。治安を良くしてほしい。
- ・ 最近、治安の悪化を感じます。特に夜は若者や外国人の方が騒いでいることもあり、不安になります。
- ・ 外国人の犯罪抑制に十分留意して頂きたいと思います。
- ・ 駅前の宗教勧誘を取り締まって欲しい。

5. 環境・地球温暖化対策

- ・ 多摩川の土手を工事し、前よりキレイになりましたが、もう少し緑があり整備されると良いと思います。
- ・ 呑川の悪臭をどうにかして下さい。
- ・ 呑川の水質をきれいにしてほしい。
- ・ 緑化運動はいいと思うのですが、葉が落ちてごみになる、枝がおちて危険というので、やたらに枝がさられている木が多くてかわいそうです。もうすこし大きい目でみてもらいたいです。
- ・ 呑川のユスリカの発生をどうにかして欲しい。
- ・ 呑川の悪臭をなくして欲しい。
- ・ 久が原にはカラスが多い、結構うるさいです。久が原には、夏から秋まで蚊が多い。
- ・ 飛行機がうるさい。
- ・ 呑川の東蒲中学校附近、あやめ橋上下は、渇水期の悪臭が特に酷く、外国人には恥ずかしい思いです。
- ・ 緑化と言いつつ、伐採しすぎ。必要以上の整備は要らない。
- ・ 家の前が区の緑地帯になっています。年一回だけ、9月にきれいにしてくださいますが、春から夏にかけて、雑草とつる性植物がからまり、ひどい状態です。景観が悪いので何とかして欲しいと思っています。緑が多い＝手入れが必要なので、人件費がかかり、難しい問題だと感じます。
- ・ 住民サービスや福祉など、政策としてかかげ努力されているのかもしれないが、自治体として住みやすさ、安全について現実的な対応ができていないのが区民として悲しい。
- ・ 緑化について…街路樹、公園などとても整備されてると思いますが、昔にくらべて各民家の庭も減り、全体的には緑が減ってると思います。自身の家は少し庭がありますが、植木屋さんの費用や手入れは大変なものです。個人にも、緑化の助成があると良いなと思います。

- ・ 街路樹で緑を増やす。公園に木を植えるなど木を増やして欲しい。
- ・ 緑が非常に少ないと感じる。子どもたちの教育の場や町の景観場所に緑を増やすべきであると思う。
- ・ 呑川がきれいになってほしいです。
- ・ 銀杏の木を植えて頂けているのは、緑がありとても良いと思うのですが、葉が落ちた時の掃除がとても大変です。去年は早目に枝をカットして頂けたので助かりましたが毎年、とても大変です。シルバーの方や、木々のくわしい方などに助けてもらえると、お互いに良いのかなとも思いました。
- ・ 緑が少なく、川も臭いがあるので残念です。緑と水がキレイな街にしてほしい。
- ・ 緑化・景観の改善。例えば、鶉の木地区であれば、マンション建築により伐採された樹木の保存。また、下丸子の光明寺のトタンの塀等の改善はできないのか？
- ・ 真夜中の飛行機の騒音を何とかして欲しい。
- ・ 都の推進する住宅のソーラーパネルについて、災害時の落下や感電、火災などが心配なので区の防災対策でも考慮して欲しいです。

6. ごみ・リサイクル

- ・ ごみ捨て場が汚い、区画外で捨てる人が多くしっかりルールを徹底させた方が良い。
- ・ 近辺のごみ集積所がいつも汚いことに驚いております。自分が捨てる場所は積極的に関わってきて、この10年で良くなりましたが、ご近所全てに関わることはできません。ごみに関心のない人の後始末をいつも決まった人の好意だけに頼らないでいただきたい！
- ・ 可燃ごみのカラス対策、資源ごみの持ち去り（毎週持ち去られています）について、なんとかしてほしいです。
- ・ 羽田地域に住んでいますが、最近ワンルームマンションが多くなり、ごみの収集が煩雑になっています。決められた場所に捨てて欲しいのと、分別を守ってほしいと思いますが、入居する時に管理会社の方がきちんと案内していただければと思います。
- ・ 最近特に街中のカラスが増えました。ごみ集積所をいつもあさり、散らかし、電線からのフンも汚いです。しっかりと予算を組み、対策班を設けて、削減に取り組んで欲しい。でないと増々増えて大変な事になると思う。
- ・ 外国籍の方が多く住まわれるようになってきました。文化や習慣の違いからごみの捨て方などご存知ないようです。生活がしやすいように、またトラブルがおきないように、様々な言語での案内、掲示を準備してほしいです。
- ・ 日々暮らしていますが特に区政とかかわりなく、強いてあげればごみ等でお世話になっております。
- ・ ごみ収集の方はどうしてごみを取ってくれないのかを教えてください。
- ・ 以前、自動車や自転車による資源ごみの持ち去りが目立ち、ナンバープレートの番号を、時期を空けて三回お知らせしたことがありました。そのたびに、“今、取り組んでいます”という同じ返事を頂きました。しかし、改善がみられなかった。区として、何らかの対策をしているのでしょうか？
- ・ ごみ収集車・交通・マナー改善と収集時間変更依頼。児童の登校時の安全を確保する為には、ごみ収集車の詰所出発はせめて8:30以降が妥当ではないでしょうか？一意見ですがご検討宜しくお願い致します。
- ・ ごみについて・ごみの出し方がわからない人がいてごみ残り、街の景観を悪くしています。大田区の「資源とごみの分け方・出し方」の冊子を毎年各世帯ごとに配布してください。住人の意識も高まると思います。町内会で配布する「大田区報」と一緒に世帯分を配布してもいいのではないかと思います。
- ・ ごみ置き場にカラスがよく来るので、全体にネットで囲えるように配ってくれるとありがたいです。

- ・ ゴミ置き場（道路にゴミ収集日に置いてあるところ）が朝、ものすごく散らかっていて汚い箇所を何度もみます。カラスが汚くしているのかもしれないですけど、ネットを被せる等対策をした方が良くと思うゴミ置き場があり気になっている。ネットを支給する等はないのかと思いました。
- ・ プラスチックごみのリサイクルや古着リサイクルの導入の検討をお願いします。
- ・ カラス対策をしてほしいです。蒲田駅周辺に住んでいますがカラスが多くて朝からうるさくて窓もあけられません。ゴミもちらかすので、対策に本腰をいれてほしい。
- ・ ゴミ収集、特に資源ごみの収集方法について考えてほしいと思います。ビンや缶、ペットボトルや新聞など同じ日に収集などゴチャゴチャゴチャです。同じ日なのは仕方のないことだとは思いますが、せめてビンと缶の収集ボックスを置くなどすればいいと思います。
- ・ ゴミ出しと街の美化について。今年できた新興マンションのゴミ出しマナーが悪く、ゴミ収集の日に道路にゴミが散乱しています。マナーの悪いマンション管理業者にはゴミボックスを課すなど厳しく区から指導できないものではないでしょうか。
- ・ 一部地域でプラごみの分別回収を行っていますが、その結果どんな効果が出ているのか、また分別の仕方などに問題がないか、協力している地域に対してタイムリーなフィードバックがあればいいと思います。
- ・ ゴミ収集を夜間にしてほしい。カラス対策にもなるし、ゴミ収集車による交通の妨げもなくなるので。
- ・ 他区から引越してきましたが、缶を集める人達（ホームレス）が多い。

7. 広報

- ・ 問 25 の制度や施設については、もっと区民へのアピールをした方がいいと思う。知らない、関心がない人が多いと思います。
- ・ アンケートの声の集計を区報にのせて欲しい。
- ・ 区長がどんどんメディアに出て大田区をアピールしてほしい。
- ・ 今回のアンケートで区に様々なサービスがあることを知りました。必要な時に適切な窓口を見つけることが出来るよう案内の充実をお願いします。
- ・ 大田区発信の情報が届いておらず、大田区のホームページを見ても情報が探しづらいため、区民活動やイベント等に参加したくてもできない。情報へのアクセスを改善してほしいです。
- ・ ホームページを見やすくしてほしいと思います。
- ・ 大田区は他区と比べて「ここが違う！（良い所、政策等）」をもっとアピールした方が良い。
- ・ 区報を充実してわかりやすく、できるだけ詳しくしてほしいです。
- ・ 大部分の人は区政の情報入手は「おおた区報」と思いますのでより充実した内容にして頂きたい（内容は決して興味がわくものではありません）。
- ・ 大田区の行政サービスは、アピール力を向上させて欲しい。
- ・ おおた区報、いつも楽しんで読んでいます。若者向けのイベントが少ないのがちょっと寂しい。20～30代社会人向けのイベントを掲載して欲しいです。
- ・ おおた区報が手に入らない（新聞購読していないため）。管轄する出張所という記載がF 7であるが、上池台がどこに入るかわからない。管轄する出張所という概念があるのを知らない（周知不足）。
- ・ 区報をよく読みます。楽しく読んでいますが、わかりづらい内容のものも多く、町工場の多い区として高齢化する下町をどう考えているか、役人としての考えを区報に載せてほしい。
- ・ 区政の情報等、動画で分かりやすく伝えてほしいです。
- ・ 身近に感じたことがなく、興味のない人が興味を持つような情報に触れる機会がないのが、よくないと考える。

- ・ 毎月の区報にはいろいろな方々に見合うテーマがあり、日常生活に役立っていると思う。今後もよろしくお願い致します。
- ・ 若者向けの情報発信が充実していない、または当人に行きついていない。大田区民側が積極的にならないと情報がまわってこない。
- ・ 大田区は他の区よりかなり地域性が違うので（広いので）、区としてどの部分に焦点を当てるのかを知りたいです。
- ・ 区民のアンテナにひっかかる情報発信。良い取り組みがたくさんあるのに、自ら動いていかなないとなかなか情報にたどりつけない。LINEなどやってもらっているが…。
- ・ 会社員だと大田区の情報に疎くなりがちで、欲しい情報が入りづらい。東急線の各駅などにPRしてくれれば見逃しなどもなくなると思う。SNSは利用者が多いので皆が登録するように、ギフトをつけるなどもっとPRしてほしい。
- ・ 色々なサービスを利用するための手続きなどがわかりにくい。予防接種や子育て支援、リフォームや高齢者支援。
- ・ おおた区報が自治会に入会していないと配られない地域に住んでいるが、自治会の入会有無に関わらず全戸配布してほしい。
- ・ このアンケートによって初めて知る大田区等の制度、施策、施設等があった。もっと区政に関心を持ちたい。また、デジタル化は高齢者には苦手意識を持つ方も多く、難しい事も多いので、取り残される事のないように今後も配慮をお願いしたい。
- ・ 大田区の広報が弱いという点です。今回の世論調査で挙げられていた施設やサービスはほとんど知りませんでしたし、区として力を入れている施策も思い浮かばないのです。公式LINEやTwitterも知っていますが、直感的にわかりにくい情報発信が行われています。媒体に応じた発信方法をわけてもらいたいです。
- ・ 大田区報を新聞紙のような紙質にしてほしいです。読み終えた後、掃除などに活用する際、使い勝手が良くなるのでは？コストが余計にかかるならいりません。
- ・ 程よく必要な情報がプル型でなくプッシュ型でもらえると良いかと思う。

8. 広聴

- ・ 区民に親しみのある区政を考えて欲しい。高齢者だけでなく、もっと若い人達の気持ちも聞き入れてあげて欲しい。
- ・ 定年退社後、大田区政に参加したいが、どのように参加してよいかわからない。
- ・ 本調査の質問の主旨が不明なものが多い。
- ・ このようなアンケートもIT化できないか。文字数、質問数も多く、非常に手間を取る。
- ・ 住みやすい大田区になるように、区民の意見を聞いていく機会を増やして欲しいと思います。
- ・ 大田区に住む人、働く人、学んでいる人、また幅広い年齢の人に話を聞くということをしてほしいと思います。そして、どんな意見があったかを大田区報やHPにしっかり載せて、それに対する対応策もお示してほしいです。
- ・ 調査票用の返信封筒が小さい。
- ・ 80歳の高齢者には無理（本調査）な仕事です。
- ・ この調査票は厚みがあるのに、返送するのに三ツ折りしなければいけないのは、ちょっと…。折りにくいです。
- ・ 問31でわからないと回答したが、区民の意見が反映されるのですか？
- ・ 私の様な高齢者ではなくもっと若い人達の意見を聞くべき。
- ・ このアンケートにペットに関する項目がないのでペットに関しても要望をきいてほしい。
- ・ 封筒に調査票を折っても入れづらい…。封筒をどうしてこの大きさにしたのか…残念です。

- ・産後すぐにこのようなアンケートが届き、催促の文書もその後届き、無作為での選抜と承知していますが、なかなか厳しいと感じました。妊娠や出産の予定は区へ提出しているため、そういった方への送付は控えるなど、ご検討いただけたらと思います。
- ・調査票はマークシートにした方が良かったと思います。
- ・子育て世代若者の意見が聞ける場も作ってほしい。
- ・この調査の結果をどのように区政に反映していただけるか期待しております。
- ・区政について、定期・非定期どちらでも良いが、このような意見を継続的に聞くことは良いと思います。パブリックコメントを求めるより傾向がわかり、ぜひ続けてほしい。
- ・地域の実情に即さない事業は実施前にきちんと住民から意見を聞くべきだと思う。
- ・世論調査を見ていろいろな制度や施設などがある事を改めて知る事が出来たが、その様な立場や状況にならないと無関心な自分がいて、困ったり悩んだりした時にいろいろな事を覚えていられるのか？と思った。今でも色々な形で情報は発信されていると思うが、せめて防災アプリくらいはダウンロードしました。
- ・区民の苦情などの相談に迅速に対応できる窓口がほしい。
- ・元気高齢者を区政でもっと活用してほしい。区政参加への場を作り、増やしてほしい。

9. 職員

- ・職員を大胆に異動して、若い職員や新しい発想を持った意欲のある職員が失敗を恐れず新しい取り組みにチャレンジできるようにしてほしい。
- ・区職員の積極性のある姿勢を望みます。
- ・わからない事を聞きに行くのに、大変失礼な職員の方がいらっしやると、みなさんがそんな職員なのかと思うと利用したくなくなりますね。
- ・区職員は決められた範囲しか対応しない。例外に対応する判断や柔軟性が乏しい。
- ・区の本庁舎の職員の方が、区の施設等を訪れた時「あいさつ」が出来ていないということ、区の窓口（本庁舎）へ行った時に、対応があまり良くないという話をよく聞きます。電話での対応や、特別出張所での対応は良いのに残念です。本庁舎の職員の方々の「接遇」訓練をされたほうが良いのでは、と思います。
- ・区長は住民のため命を賭して働いて頂きたい。また区の職員は住民の声を聞き真剣に仕事をして欲しい。
- ・区の職員が多すぎる。1階など他の階も。
- ・もう少し親切に対応してくれたらいいと思います。
- ・区役所庁舎内で働いている人の多さに驚かされます。人々の生活を見えていますか？
- ・職員お一人お一人が頑張っていて感謝しております。これからも区政が新しい時代に沿うものになるよう変えるべきものは変え、良きものは残していただきたいです。頑張ってください！
- ・以前に他区に在住していたので、対応の悪さにおどろきました。区役所、図書館、二度と行きたくありません。
- ・大田区の職員の方の電話対応はよい方だと思いますが、窓口での（特に出張所）対応はあまり良くない事が多いです。説明がわかりにくかったり人によって対応が違ったりする事があります。区民の立場に立って対応して欲しいです。
- ・最近出張所を訪れて思った事。なんとなく簡素化していて空間に人の暖かみを感じられない。事務的。もっと暖かみのある応対をと思います。
- ・窓口の対応等とても親切だと思います。明るい未来ある大田区をめざして税金を上手く使って下さい。

- ・ 窓口対応は相変わらず悪い。あいさつが少ない。「少々お待ち下さい」「おまたせしました」の一声が明るい態度で出せると感じが良いのだが…。
- ・ 高齢化に伴って手続きに時間を要したり、IT機器への導入に未知の経験だったりする事例が増えてくることが考えられます。窓口の増員だったり、事前の周知だったり、高齢者、女性、障がい者等にやさしい街づくりを希望したい。
- ・ 職員の対応は向上していると思いました。
- ・ 以前から窓口や奥で作業している人たちの対応をあまり良く感じてないので。すべての窓口ではありません、親切に対応してくださる方もいるので。たまに夕方5:00前に机の上を片づけて、ただ何もせず座ってる人がいたりとか、良い印象が少ないです。
- ・ 昔にくらべ職員の人々が親切に教えてくれるようになり、うれしいです。
- ・ 区役所にムダな人が多すぎる。ブラブラしてるだけの職員や、腕組みをして窓口にいる職員を見ると、こんなに数が必要なのか疑問に思う。
- ・ 大田区役所に、たまに両親の保険のことで行きますが、お茶を飲んで仕事をしていない職員の方をよく見かけます。職員が多いような気がします。
- ・ 大田区の区政は手際よく動き、親切です。見てて明るい声で気持ち良く、待てること出来る。
- ・ 大田区議会議員削減及び、職員の電子作業による職員削減（特に年配職員の電子作業不可による能率の悪さと高給の問題：民間企業では、年配でも電子作業は常識）。
- ・ 大田区に関連する社団法人や一般財団法人のあり方を検討してほしい。職員の怠慢が目立ちます。
- ・ マイナンバーカードを使っての申請について（やり方ではなく対応の有無について）、電話で問い合わせをした際、自分は紙書類を受理するだけだからわからないと言われた。勉強不足なのはもちろんのこと、対応の仕方（言い方）に多大な問題を感じた。
- ・ もっと区民の為に区職員は真面目に取り組んで頂ける事を望みます。

10. 税金

- ・ 住民税の低減化。
- ・ 大田区の住民税が高い。
- ・ 住民税を安くして欲しい。
- ・ 区民に対して減税を推進して欲しい。
- ・ 働く独身世帯への現金給付支援が欲しい。シングルマザーや子育て家庭への支援ばかりではなく、働く独身も低所得でギリギリの生活をしている人がたくさんいるので、区民税を下げるとかいろいろな支援が欲しい。

11. 議会

- ・ 私の知っている区議会議員の方は相談するとすぐに行動してくれて、とてもすがすがしく思っています。そういう議員の方がもっと増えて大田区をよりよい区にしたいと思っています。
- ・ 選挙の時だけ選挙カーで回ってくるイメージしかありません。実際のところ何に取り組み解決しているのか見えません。オンラインで質疑応答をする等、一方的なものでないことを望みます。
- ・ 区の会議でいぬわりをしている議員がいると噂になっています。あつてはならないと思います。税金でまかなわれていることを重くうけとめてください。
- ・ 区議会議員の定数削減。
- ・ 区長を含め区議会議員に対して一言。選挙の時だけ良い事を言って、当選すると地元のその地域だけの口利き等の活動だけ。その他の地域は関係なしの考えを捨て、大田区から給料をもらっているのであれば、大田区職員と一緒に区役所・出張所などで順番に働いてみてはどうですか？

- ・ 区議会議員の海外視察は、是非やめて下さい。むだです。
- ・ 大田区議会議員の質があまりに低すぎる。あんな議会を区民や家族に見せられるのか、考えてほしい。
- ・ 選挙の時だけ。区長・区議さんが下の者へ「このように考えている」などの思い・考え方などが分からないです。どのように良くなっているかも分かりません。
- ・ 区議・区職員の数を少なくしてほしい。
- ・ 区議会議員の数が多すぎる！
- ・ 以前、保育園が近所に設立されるとのことで近隣住民と区の話し合いがあったが、出席していた区議会議員がこの地域のことをわかっていなかったことに落胆しました…。
- ・ 大田区の議員定数を減らして、意思決定が早く実行できるようにしてほしい。有能な人を集めるために減らした議員数の報酬を、すべてではないが割り振ってもよいと思う。一番良くないのは票が割れて、実施すべきことが遅れたり、先送りになることの方が損失だと思うので是非おねがしたい。
- ・ 区長区議員ダブル選挙にしたらどう？議員数・選挙・議員の給料をDownしてはいかが。待遇もう一度見直し、税の無駄、英国の議員のマネをして！ボランティア精神がない英国の議員は給料が安い、区役所の給料、人数も見直し、インフレ時代で給料が良すぎる。
- ・ 区議会議員 50 名いららない。
- ・ 区議会の内容や結果をもっと発信して欲しい。区への意見や要望がある時に、どこに言えば良いのかわからないので、それがわかるような表示等があると良いと思う。

12. 選挙

- ・ 若者が選挙に足を運びやすい町にして欲しい。インターネット、SNSを通じて選挙についての情報が簡単にわかるシステムがあると、自信をもって選挙に行き投票できる若者が増えると思う。上記について小学生などの無権者への教育も大切ではないか。
- ・ 今回のような、都議選の補選は不必要だと思います。ただでさえ日本は議員数が多いし、選挙のたびに税金が投入されるのは税金の無駄遣いだとおもいます。
- ・ ここに住み始めて区議会議員選挙に一度だけ参加したのですが、選挙新聞から候補者を選ぶ際、皆さん同じようなことしか書いてなくて、選びづらいと思いました。
- ・ 区議会議員補欠選挙の立候補規定を見直して下さい。辞職者が立候補できる制度はどう考えてもおかしいです。
- ・ 選挙の開票を翌日に実施する点は、現場に無理をさせないという視点で良いと思う。

13. 国保・年金

- ・ 高齢者の年金減らさないで欲しい。
- ・ きちんと年金を納めていても、毎年少しずつ少なくなっていく。どうしてですか？
- ・ 都、国が出来ていない事を、大田区は出来たみたい。例えば健康保険料の支払額枠を拡大し、所得の低い人の負担を減らす。
- ・ 後期高齢者医療の保険料が2倍、3倍と高くなり、困っています。区として何らかの補助があると助かります。高齢者福祉に力を入れて充実させて欲しいです。

<基本目標以外>

1. 新型コロナウイルス感染症対策への対応

- ・ コロナ時の住民への還元など、他区に比べるとなかった。
- ・ コロナ感染時にお電話した時の対応がとても丁寧で助かりました。

2. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

- ・ コロナ対策ですが、大田区ではワクチンの関係書類や予約方法も分かりやすかったですし、実際の接種までもスムーズで不安はなかったです。ありがとうございます。感染再拡大にならないように換気や消毒などの指導やアナウンスを今後もお願い致します。
- ・ コロナのワクチン接種の様に後手に回る対応は改善して欲しい（他区との対応力の差が顕著）。
- ・ コロナ禍ではワクチン申込もままならず、一人暮らしの高齢者はどうしたか心配した。自身は携帯からも取れず結局大手町へ行った。これからますます高齢者が増えるのは目に見えている。人口の多い大田区はマニュアル通りでなく、知恵をしぼってほしい。宜しくお願い致します。

3. その他

- ・ 大田区は、東京都内でも特徴のある区（場所、交通、施設、人口、住んでる人、他）なので、独自の、他のエリアにない区政をお願いします。
- ・ マイナンバーカードを申し込みしたいと思うがセキュリティがしっかりされていないので、申し込みできないでいる。
- ・ NPOを含めて区の活動が既得権益、利権につながっているように見える。非効率な活動で誰が儲けているのか。小さな自治体になってもらいたい。
- ・ 坂道が多いので、電動自転車購入の補助をしてもらいたい（ヘルメット、保険も含む）。
- ・ 特に無いが、少しずつ向上していけば良いと思う。
- ・ 高齢者や子どもにばかり手厚い支援してるが、まず結婚の出会いの場、産婦人科が少ない事。
- ・ 区政ではないかもしれませんが、マイナンバーカードの義務化（？）にはまだまだ課題が多く、慎重にすすめてほしい。個人データが流出するのがこわいです。
- ・ 暮らしやすさ優先。
- ・ 経済優先、都政、中央政治ありきではない。一般市民が健やかに楽しく生活できる、興味関心の持てる事をやって行って欲しい。
- ・ マイナンバーや保険証の問題が不安なので、大田区では先走らずにセキュリティが確保されてから使用できるようにして欲しい。
- ・ マイナンバーカードの受けとりの方法がよくない。他区をまねるべき。
- ・ 区議時代からお世話になっております。長期に渡り御活躍されます様、要望致します。
- ・ 印鑑や用紙なしでの（可能）手続きを増やす。仮想空間（←大田区は得意では？）の居場所づくり。アバターでの孤立、ひきこもり支援。
- ・ 公的組織は口先だけの政治屋を減らし、有能な行政官の多い街であってほしい。民間が自由にのびのび出来る街！
- ・ 言っても何もかわらない。
- ・ 大田区に暮らすメリットを感じない（他の自治体に比べて住民サービスが悪いと思う）。
- ・ 党利、党略で区政を進めてほしくない。
- ・ マイナンバーカードなど安全にそして便利に活用できるよう、情報の安全性も高めて行ってほしいです。とくに年配の方が利用しやすいように！
- ・ 開かれた区政というのをあまり感じた事が無い。

- ・ 目に見える区政を望みます。
- ・ 大田区の特性を区民が誇りを持てるようにして欲しい。都民としての意識は持つが、区民としての意識薄いのは、メリットが少ないエリアだからだと思う。
- ・ 今のところ不便がありません。
- ・ コロナの無駄な対策によって、青少年、若者の活力が失われています（常時マスクでのコミュニケーション、意味のないパーティー）。国際都市大田区として、グローバル基準で、自由な活力に満ちた市・区を作ってほしいです。若者や子育てを第一に考えて。
- ・ 区内に転居して3ヶ月あまりなのでわからない事が多い。
- ・ 年齢的に無理だから。
- ・ 長すぎる。
- ・ 何に対しても大田区は対応が遅い事が多いように感じています。（教育関係・道路公園整備コロナ関係など）良い事はどんどん取り入れて欲しいと思います。
- ・ まだ1年も大田区に住んでいませんが、今のところ大田区だからこその面白みや、興味が沸いてくるといったことがないため、区政への関心がありません。ただ、自分が暮らす街ですので、好きにはなりたと思っています。ですので、何か思い切ったイベントや、街開発をしてみたいです。
- ・ 区長さんをはじめ、区の先頭に立つ皆様、公平な立場で大田区を運営していただきたいと切に願います。
- ・ 区政に期待してない。区長にも同様。
- ・ 高齢者が暮らしやすい、外国人が暮らしやすい区政。
- ・ 手続きなど、今はパソコンやスマホなどでやる事が多いので、使えない人はどうするのですか？今までどおりでもいいんじゃないのかと思います。
- ・ 死亡時の手続きをひとつの窓口で済む用にしてほしい。
- ・ 箱モノは維持費がかかり将来にツケを回すだけなので、ムダな施設をこれ以上増やさないことである。大田区は年々住みにくくなっていると感じている為、子どもには住まないよう伝えている。
- ・ 区政の事はよくわからないが、他区の友人の話聞くといいなと思う事があった。
- ・ 大田区はペットが増えてきている区だと思うが、何も対策対応をしていない。他の区に比べて劣っている。
- ・ 自然がたくさんあって美しく、ここでの生活が気に入っています。私の住んでいる所も素敵です。近所づきあいもいいし、みんな親切です。嫌なことは、区役所での手続きが長いことと、オンライン手続きが不足していることです。また、ハンコの使い方もとても時代遅れです。時代遅れのプロセスです。
- ・ 本門寺、梅園 e t c…緑の多い寺町に住んでおります。アンケートを記入しながら新しい区長様の意気込みを感じ、とても嬉しくなりました。大田区が皆の住みたい町一番になったらいいなと思っています。区長さま期待しております。
- ・ 区政はよくわからない。
- ・ ペーパーレス化、完全に電子 I T 化反対（私は目の病気で手術してから何度か目を患い、I P S 細胞の手術を希望まで持つ処）。
- ・ 引越してきてから、特に不満を感じたことはないです。
- ・ 関心を持ちたいと思うが、行政は「当たり前」の整備に尽力して下さっていると思うので、「当たり前」に気づかず、何をやっているのかよく分からない、興味を持つと思うものの上手くいっていない。
- ・ キャッシュレスや電子化は悪くはないが、万人が利用できる様に使い方の説明を充実させることを併せて行って欲しい（+セキュリティは当然として）。
- ・ インボイス制度を導入しないでほしいです。未来の子どもが苦しまないために原子力発電をやめてほしいです。
- ・ もっと若い世代や女性が進出して活性化させてほしいです。

- ・ この年まであまり関心がなかったのですが、今後は少し視野を広げ、情報を受けとっていきます。
- ・ 今のまま進めていって欲しいです。
- ・ 電子申請の手続方法が説明不足である。東京共同電子申請・届出サービスについての説明がない。電子申請しようと思ったが、手続が不鮮明なので断念した。
- ・ 地域の特色を活かしたメリハリのある施策に期待しています。
- ・ 放射性物質測定室のようなNPO法人に、年間数百万円単位の予算が割かれているのはいかなもののでしょうか。事業の必要性や予算の妥当性を検討すべきではないでしょうか。
- ・ 羽田空港もあるのでもっともっと大田区が有名になったら良いなと思います。
- ・ 欠陥工事等による被害や融資などの経済支援・相談窓口がほしい。
- ・ 区民から見て他人事にならない区政を心掛けてもらえれば幸いです。
- ・ 社会的な政策に入っていると思いますが、飼育している動物（主に犬や猫）に対しての対応がもう少し親切であってほしい。
- ・ プレミアム付デジタル商品券の還元率が、他の区と比べて低い。
- ・ 銭湯の共通ポイントカード（スマホアプリ）があったら良いな。
- ・ 他区の事は知らないのですが、大田区政は大田区報を通じて、よく行なわれていると思います。ずっと住み続けたいと思います。
- ・ 良い自治体だと思います。
- ・ 動物愛護について。殺処分は絶対ダメ。お金があれば審査もなしにペットを買ってしまうのがダメ。だから簡単に手放す人もいる。店舗での生体販売を禁止して、ボランティアで里親探しをされている方達に手厚い補償を。大田区から発信してほしい。
- ・ 引きこもり支援を充実してほしいです。継続的なフォローアップや他区のような冊子など。
- ・ 電子申請を推進し、窓口まで行かないで手続きができるよう区民の利便性を図って欲しいです。大田区はDXが遅れているのではないのでしょうか。DXを推進し、区職員の効率化を図りスマートな区政運営を行っていただきたい。
- ・ 他の区と比べて補助金対象が少なく、対象になるのが遅い気がする。（例：自転車用ヘルメット。）
- ・ 土地の価格高騰を抑えてほしい。
- ・ 事実婚のパートナーシップ証明。
- ・ 区もそれなりに広く地域特性があり、居住者の属性も結構混在していると思う。正直、フルタイムで仕事をしているとほとんど関わりが無いので存在感を感じることは無いが、それが行政としてサービスが行き届いている状態なのだとも思う（嫌なところ不快な物が目につかない）ので現状に満足し、感謝しています。
- ・ 単なる猫ブームではなく、地域で守り育てているシンボルとして大田区に多い地域猫を活かした施策を検討してほしい。繁殖はバランスコントロールが必要。地域ネコに名前をつけて情報をHPに公開して都会の野生として観光にも一役買ってもらう。
- ・ 電子申請についても情報の手打ち込みが今回のシステムにも残っていましたが、こうした必要はマイナンバーカードの読み込みで必要ないはず。最後に、大田区としての魅力が伝わっていないところは住民にも行政にもいいことはありません。
- ・ 他区と比較して先進的な取り組みをしているとあまり感じられず、臨時特別給付金の振込の遅さからも不信感がある。もう少しスピード感や先進性を考えた区政運営を望みます。
- ・ 限られた財政の中で、必要な施策を効果的に進める為、過去からの計画に凝り固まる事無く、計画の変更や見直しをスピーディーに行ってほしい。
- ・ ペットと暮らしているので、猫や犬などの動物も暮らしやすい区にして欲しい。
- ・ 応援してます。どうぞ引き続きよろしくお願い申し上げます。
- ・ 何処よりも人と暮らしに寄り添う区政や街づくりがなされる事を切に願います。

- ・ 防災の出前講習会ははじめ、健康づくり・介護問題など、出前方式や時間帯、曜日も皆が参加しやすいように取り組んで下さい。いろいろな提言や計画の素案等の区民説明会をきめ細やかに出前式にやってもらいたい。
- ・ オムツの定期配送をお願いします。
- ・ 学費の援助に関して、高校生までではなく、学費の掛かる大学生がいる世帯にも補助があれば良いと思います。大学生のいる世帯だけでなく、一人暮らしをしている学生も生活は大変なのです。そういった助成があれば、元々どこに行くにも交通の便は良い街なので、大田区に住もうと思う人も増えるのではないのでしょうか？
- ・ 大田区の医療を見直ししてほしい。高齢者を対象にしている医師に高齢者が多く、認識不足。現在の医療に無知、古めかしい。知識がなく、処方する薬も危険なものがある場合が見受けられる。
- ・ 大田区は医療・福祉関係業務が他の区と比べ非常に遅れている。
- ・ 医療費削減できないでしょうか。
- ・ 高齢者負担を増やすだけではなく、どうしたら高齢者の医療費が減るか？薬を過剰に受け取るなど、対策しているのか？
- ・ マイナンバーの健康保険証のひもづけや廃止は高齢者にとってやさしくない法律。
- ・ 現在は健康に働けていますが、仕事のストレスで自殺願望が出てしまった時、区内の心療内科で予約ができる、すぐかかれる場所が見つからず苦しかったです（無理に頑張ることで解決しました）。
- ・ 大田区だけでなく、日本の政治・政策自体が、「今子どものいる家庭」のみ優遇しているように見えます。出産費用が払えない、私のように不妊治療を受けたいが、高額なため諦めてしまった人など、子どもがほしいけどそれができない人は世の中にたくさんいます。その人たちにももう少し支援してほしいなと思います。大田区から日本を変えて下さい！
- ・ 子育て支援や少子化対策で子を持つ世帯に支援は分かりますが、マナーがない方が増えています。チラシを作ってください。
- ・ 医療福祉介護業界の人手不足が深刻です。中小企業も含めた介護業界全ての職種の給料や働く条件の改善をお願いします。
- ・ 蒲田の街を根本的に浄化したり、文化発信力を高める努力をすることで、産業立地、企業立地の促進を図り、区のGDPを大幅に向上させることが可能なはずです。
- ・ 蒲田駅周辺について、クラブなどのキャッチの悪い印象があるので、居酒屋やカフェなど大人がゆったり楽しめる飲食店街を作ってください。
- ・ 私共は75歳以上の高齢者です。最近思う事は、道を歩いていてくたびれた時、近くに椅子があればいいのになあと、思います。年齢のせい、足腰が痛くなり、休む所が欲しいと思います。
- ・ よく事情がわからないのですが、消防署関係でしょうか？狭い通路の拡張工事を時々みかけますが、緊急車両が入りやすいようにとのことだと理解しています。
- ・ 羽田空港の第1と第2ターミナルにも駐輪スペースが欲しいです。
- ・ 大田区は23区の中で一番海外との結びつきを高められる。ポテンシャルは大きい。海外（国内含）日帰り圏も含め、羽田地区周辺を、ビジネス開発拠点地域とする事など一考。
- ・ 羽田国際空港がある立地を活かせていません。旅行者が最後に蒲田に寄りたくなるようにならないでしょうか？例えば、繁華街の全ての通りに名前を付ける、店のメニューの多言語対応を区が補助する、など。
- ・ 池上本門寺の整備。例えば、石畳にして、少し情緒を加えるなど。
- ・ ハンドメイドやフリーマーケットなど、誰でも参加できるイベントの開催を増やしてほしい。使っていない広場や人が集まる商業施設など、定期的なイベントができれば嬉しいです。大田区が主催だと色々な方が来訪して頂けると思います。
- ・ 区民農園に興味を持っていましたが、年々場所や募集数が減っているようです。増加させて緑を増やし、区民同士のコミュニケーションの機会となれば良いと思いました。
- ・ 頭上の電柱が災害で倒壊する不安があります（家の前に二本の電柱有り…）。

- ・ 多摩川の氾濫が怖いです。2019年の氾濫から何か対策をしているのかも全く分かりません。その様な情報がどこで出ているのかも分かりません。
- ・ 産業道路の萩中側の歩道に街灯をつけて欲しい。夜は真っ暗で危険。
- ・ スケボーの音がうるさい。行ったり来たりいろいろはねたり。1時間半ほど続いたり夜10時ごろすべったりして耳ざわり。注意してほしい。
- ・ 他の区でもすでに設置されているジェンダーレストイレは設置しないで下さい。女性や子ども達への犯罪が必ず多発します！
- ・ 治安は確実に悪くなっています。地域の祭りではPTAの見回りなどがコロナ禍に無くなったことによって明らかな未成年飲酒や喫煙が横行しています。せめて、そうした催しでは警察官の見回りを増やすなどの対策を打たなければ手遅れになると思います。
- ・ 古い桜の木は切ってほしい。
- ・ 大田区役所等での手続きについて、もっと効率性を重視したサービススキームにしてほしい。対応がアナログすぎる。納税者にもっとより良く公共サービスを提供できるよう、努力と工夫をしてほしい。
- ・ 大田区は人口が多く収入があるのに…。支出をもっと区民の為に使用してほしい。
- ・ 区民は私も含めインフレで生活苦、給料値上げなしで税だけが増税で困ってる人たくさんいる。
- ・ 少子化対策が頻繁に言われていますが、年金で暮らしていけない高齢者や、給料では生活が苦しい働く世代が大勢います。大田区は財源が残っていて、公共事業に使っていますが、税金を下げて、給料の手取りを多くして下さい。
- ・ 前大田区長の流れで区長が当選されたと思いますが、前区長は何も施策を行ってこなかった印象。そこは継がず、変革を求めます。
- ・ よりよい大田区になるように新区長の鈴木さんに期待しています。
- ・ ワクチン接種の対応等、他区に比べて遅かったなど、行政の動きに課題はありませんか？前区長も実行力に欠けるという評判でした。新区長に期待しています。
- ・ 都内でも大きい大田区なのに、何かあるときの決断が遅いと感じる。今回区長が変わり、大丈夫なのかと不安を感じる。
- ・ 歴代区長が23区中最低レベル。今後を期待してます。
- ・ 区長も若い世代が変わって、より住みやすい大田区への変化の年になってほしい。
- ・ たくさんの区の施設を利用して頂きありがとうございます。鈴木区長も、もう一度公約を区民にアピールして主張を区民に問いかけて欲しいです。大田区は、70万人以上の区民がいるとの事。区民のために独自の何かをやって欲しいです。

IV 調査結果の概観

IV 調査結果の概観

1. 生活環境の満足度

ここでは、生活環境の満足度（問5）と定住意向（問2）をクロス集計し、定住意向・転出意向を持つ区民の満足・不満足的项目を明らかにしていく。

問2の選択肢を下記に置き換えて集計する。

「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」：定住意向のある人

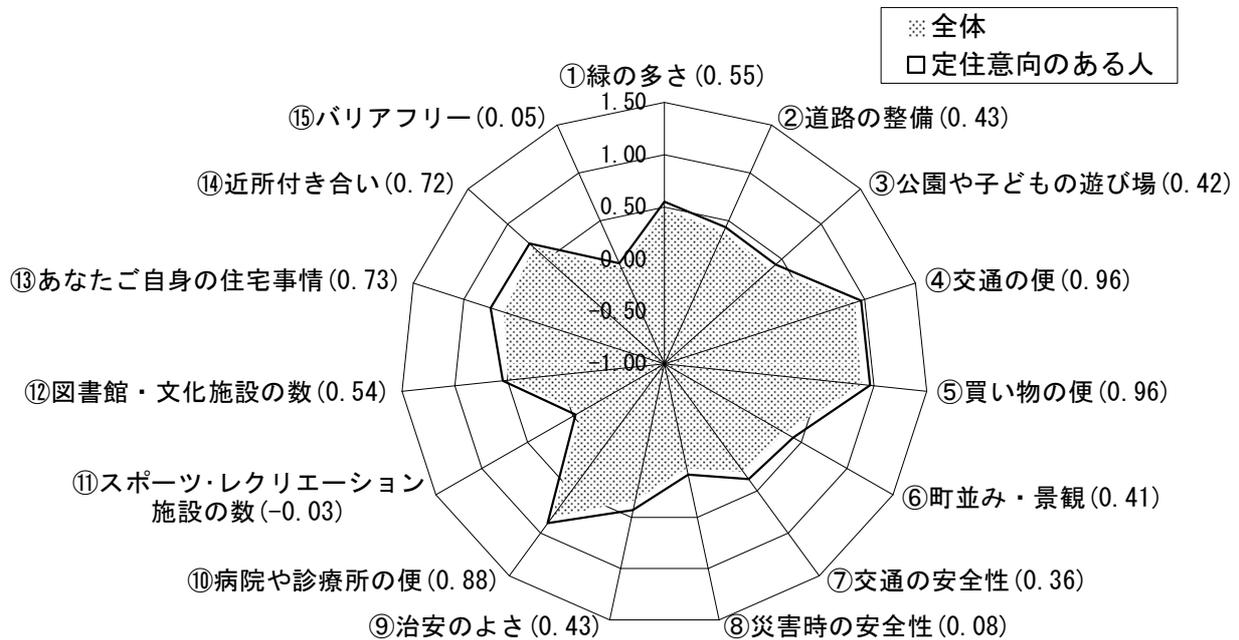
「できれば大田区外へ移りたい」と「大田区外へ移りたい」：転出意向のある人

また、52ページで求めたのと同様に、15項目にわたる生活環境の満足度の比較をしやすいするため、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{再掲}) \text{ 「満足している」} \times 2 + \text{ 「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{ 「少し不満である」} \times (-1) + \text{ 「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}}$$

(1) 定住意向のある人

問2：「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した人（n=1,711）

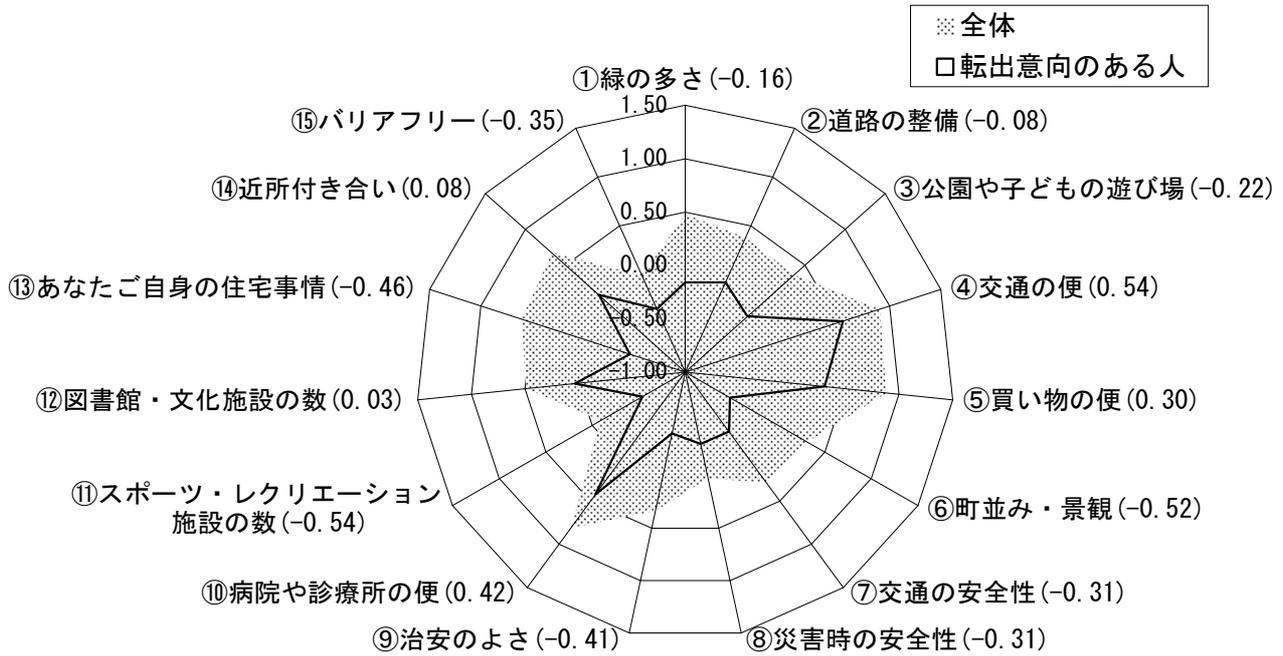


15項目の生活環境の満足度の評価点を全体と比較すると、「定住意向のある人」では、全ての項目で全体を上回っている。特に「あなたご自身の住宅事情」(0.73)が0.13ポイント、「治安のよさ」(0.43)と「町並み・景観」(0.41)がともに0.10ポイント上回って、評価が高くなっている。

一方、全体より評価は高いものの、「定住意向のある人」の中で評価の低い項目は、「スポーツ・レクリエーション施設の数」(-0.03)、「バリアフリー」(0.05)、「災害時の安全性」(0.08)の順となっている。

(2) 転出意向のある人

問2：「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」と回答した人（n=117）



15項目の生活環境の満足度の評価点を全体と比較すると、「転出意向のある人」では、全ての項目で全体を下回っている。特に「あなたご自身の住宅事情」(-0.46)が1.06ポイント、「町並み・景観」(-0.52)が0.83ポイント、「治安のよさ」(-0.41)が0.74ポイント下回って、評価が低くなっている。

一方、全体より評価は低いものの、「転出意向のある人」の中で評価の高い項目は、「交通の便」(0.54)、「病院や診療所の便」(0.42)、「買い物の便」(0.30)の順となっている。

(3) 評価点一覧

問5 生活環境の満足度	全体 評価点	定住意向のある人 評価点	転出意向のある人 評価点
①緑の多さ	0.48	0.55	-0.16
②道路の整備	0.38	0.43	-0.08
③公園や子どもの遊び場	0.36	0.42	-0.22
④交通の便	0.90	0.96	0.54
⑤買い物の便	0.88	0.96	0.30
⑥町並み・景観	0.31	0.41	-0.52
⑦交通の安全性	0.28	0.36	-0.31
⑧災害時の安全性	0.02	0.08	-0.31
⑨治安のよさ	0.33	0.43	-0.41
⑩病院や診療所の便	0.81	0.88	0.42
⑪スポーツ・レクリエーション 施設の数	-0.09	-0.03	-0.54
⑫図書館・文化施設の数	0.49	0.54	0.03
⑬あなたご自身の住宅事情	0.60	0.73	-0.46
⑭近所付き合い	0.67	0.72	0.08
⑮バリアフリー	-0.01	0.05	-0.35

「交通の便」、「買い物の便」、「病院や診療所の便」、「図書館・文化施設の数」、「近所付き合い」は定住意向の有無にかかわらずプラスの評価となっており、今後もこの水準を維持していきたい点と考えられる。

大田区政に関する世論調査

令和5年11月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

電話：03-5744-1135

FAX：03-5744-1504

実施機関 株式会社エスピー研

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目11番20号

電話：03-3239-0071（代表）

FAX：03-3239-0072
